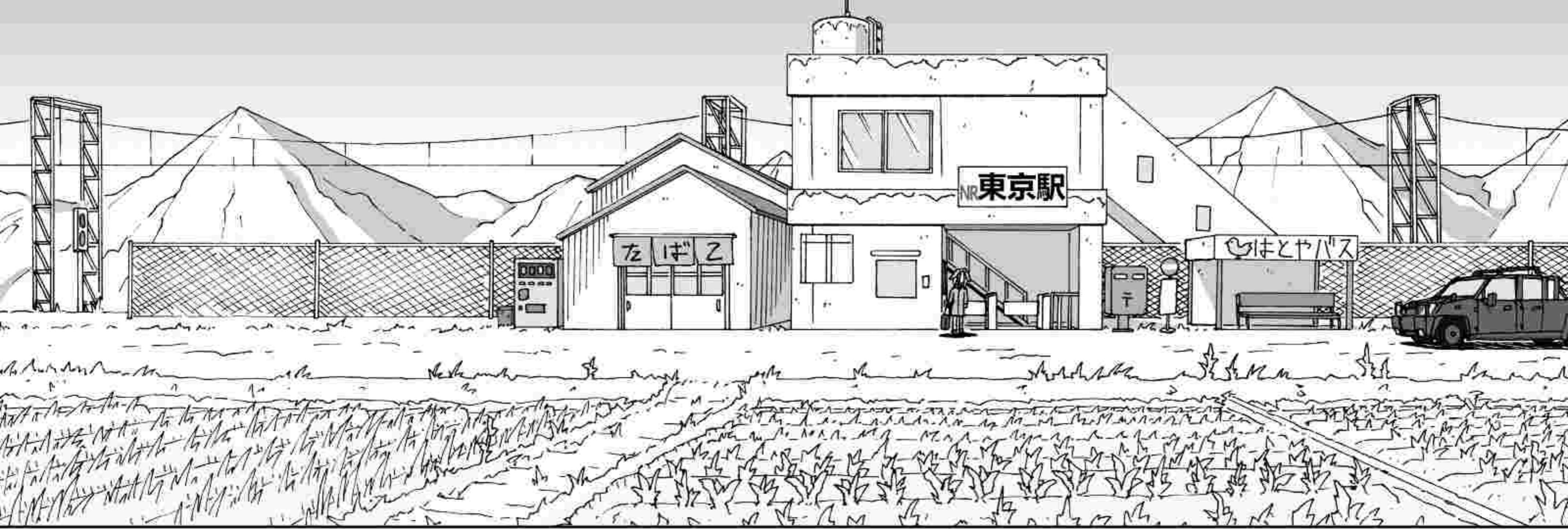


2021年1月

ななひめ  
七姫国

関東地方・東京

---



東京ですか……  
とんだド田舎に  
来たものです……



鬼...軍曹

!!?



夕狭霧真白二等兵  
...ですか?



ゴオオオオ



.....

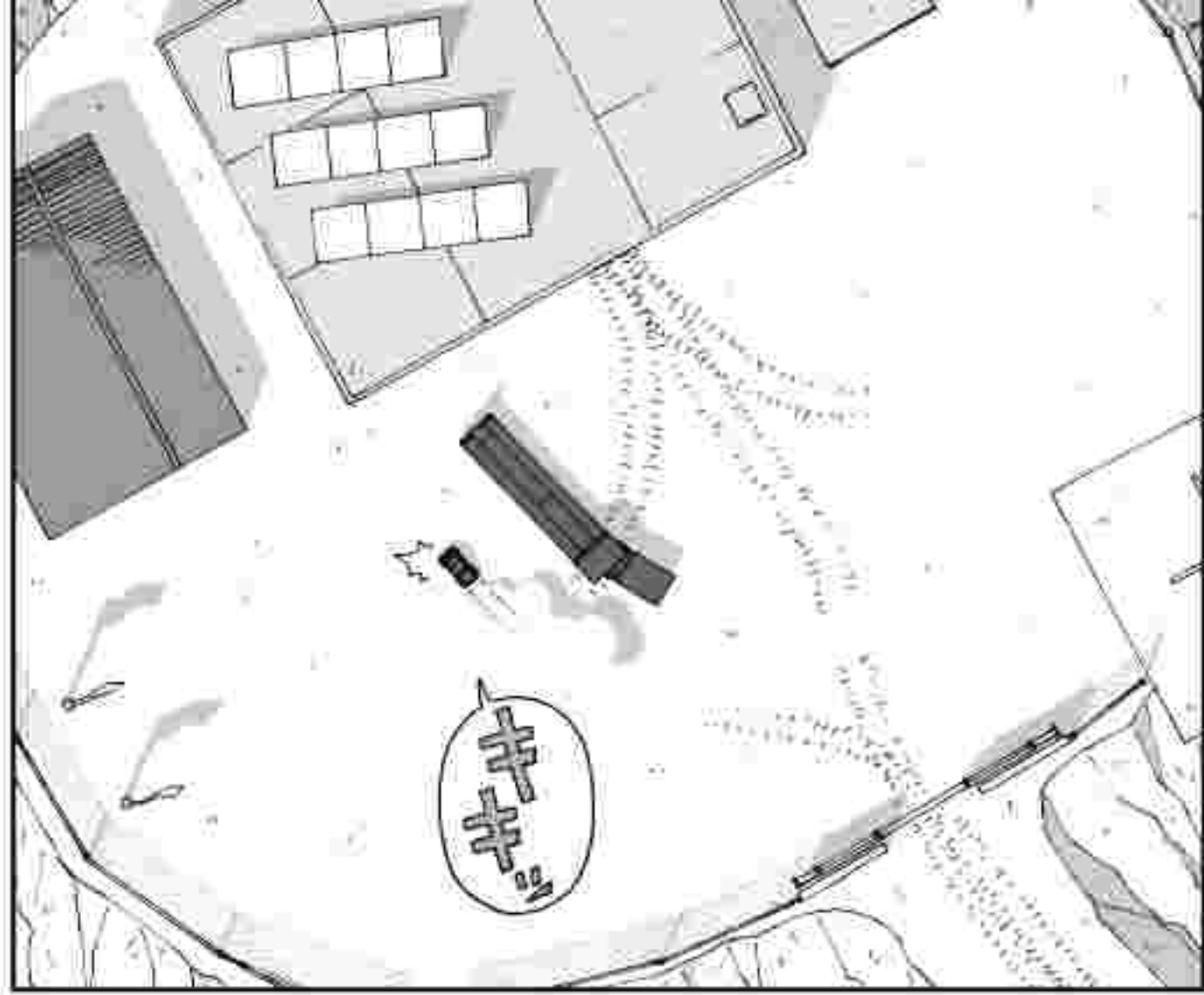
あなたの配属先の部隊から  
むかえに来たの

やっと見つけた  
私は鬼塚頼子軍曹



一話

忌まわしい記憶



今日からあなたは  
ここで暮らす  
ことになるわ

ようこそ  
すみだ  
墨田基地へ

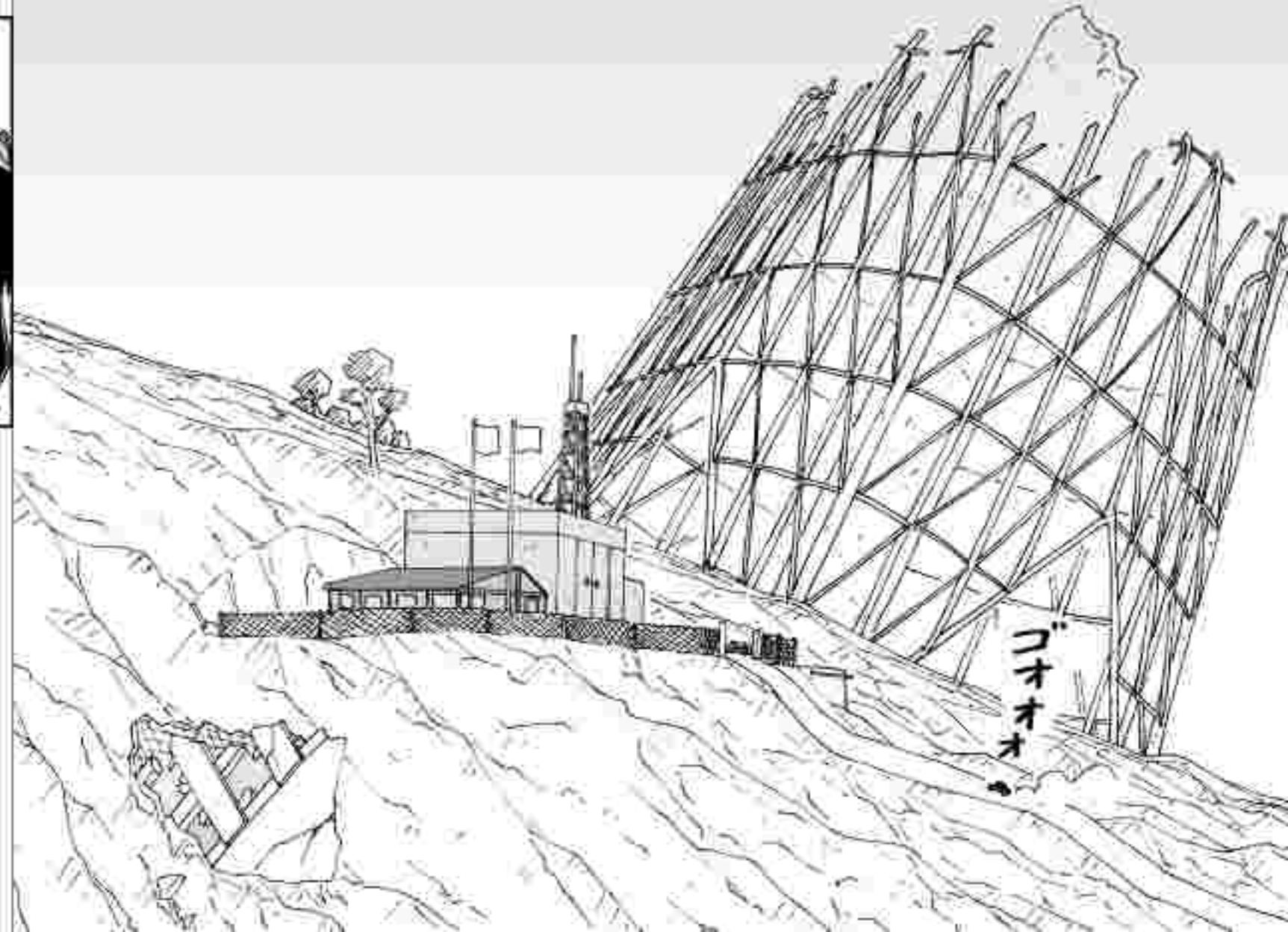


七姫陸軍では駐屯地を基地と呼ぶ



この時間だと隊員は  
格納庫じゃなく  
こっちの宿舎に  
いるはずよ

ここに駐屯する  
第77工兵隊は  
あなたを入れて6名

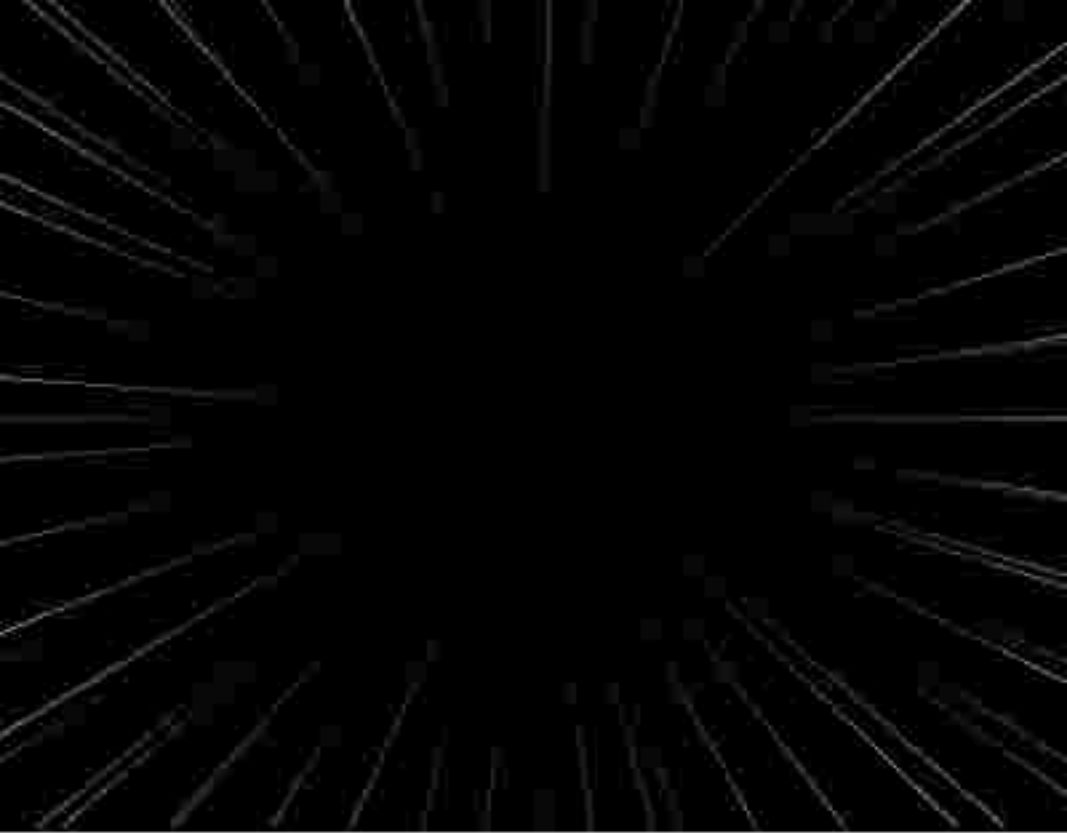




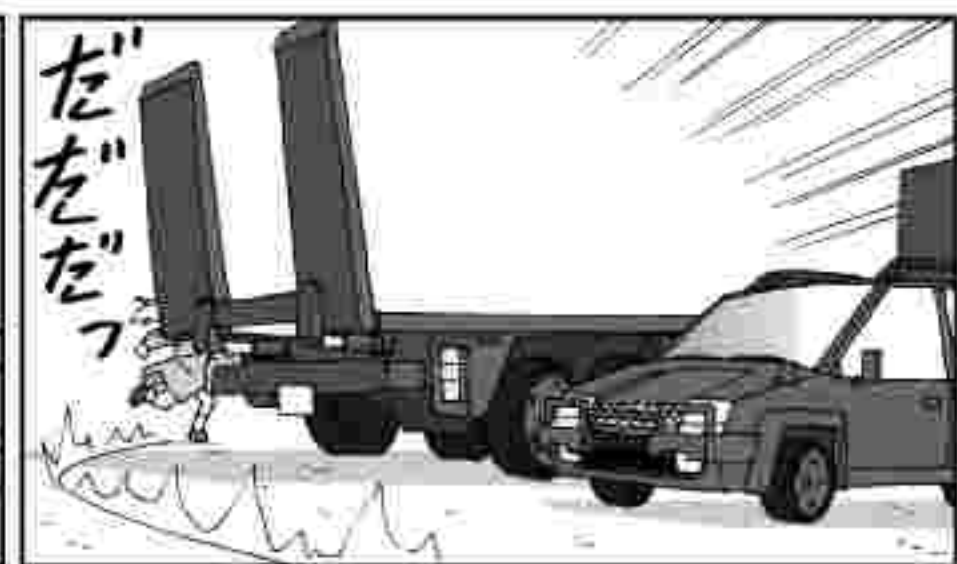














二式騎兵戦車  
通称「装騎」

通常の車両が  
進入不可能な山岳等で  
各種任務をこなす…

一人乗り  
多用途兵器だ

どうして  
逃げるの？

私達あなたと仲良  
なりたいのに…



私の…



戦車…



真白ちゃん!!

びくっ

あたしは 大神明理佳



この国の影の  
支配者よ!

…おまえら  
仲良くなる  
前にやること  
やったのか?

おっと挨拶も  
まだだった!



……

ちなみにあたしを  
倒せばこのゲームは  
クリアだから

何ですか  
ゲームって!?

あ…やっ  
話して  
くれた  
さすが  
あたしの  
つっこませ力

何ですか  
つっこませ力  
って!?  
そうやって思わず  
つっこみたくなる  
ようにさせる事

初めまして  
公星 星二等兵  
であります

夕狭霧さんは  
とても奇麗ですね  
よろしく…

はあ…あなた  
の方が美人だと  
思います…

いえ…自分は  
男であります…

嘘だツ…!!





で…この人が  
第77工兵隊  
隊長の……

た…隊長  
でしたか  
失礼しました

えっ

夕狭霧二等  
兵の着任を  
認める！

ああ…この  
基地では  
敬礼はしな  
くていいぞ

え……？

一つ教えておこう…  
現代の陸軍軍人は戦場では  
階級章もつけないし  
敬礼もしない

誰が指揮官か敵にバレると  
狙撃兵の的にされるからな  
スナイパー

だが敬礼癖がつくと  
戦場でもうっかり  
敬礼するかもしれん

だからこの基地では  
平時から敬礼をしな  
いと隊長が決めた

つまり……！！

僕は  
きば はつみ  
騎馬初未少尉

軍事知識には  
自信がある  
分からない事が  
あったら  
聞いてくれ



また分からないかも  
しれないので教えますが  
胸無いけど女です  
よけいな  
お世話だ！







階級なんて気にせず！皆仲良く！平等に！って事よ！

違う！  
断じて違う！！



あの新兵…  
他人と打ち解けない性格だな  
まるで昔の俺  
みたいだ…

僕はさつき彼女の左目が  
血がにじんでいたように  
見えたのが気になって…

鬼塚軍曹は変に思わ  
なかったようですが…



軍人たる者  
常に戦いに備える  
必要が…！！

頼子さんの  
つつこませ力  
あなどれないわね…

あれはただの  
天然では…

あーもういい…  
鬼塚軍曹…新兵  
に基地の案内を

あ…はい！



それにあの真っ白  
な髪…もしかして

自分で脱色したん  
じゃなくて何か  
強いストレスで…

うん…でも  
それは…

本人が話して  
くれるのを待った  
方が良いと思う…











あの  
人達を…

信用しては  
いけない



あの人は  
あなたなの…

敵

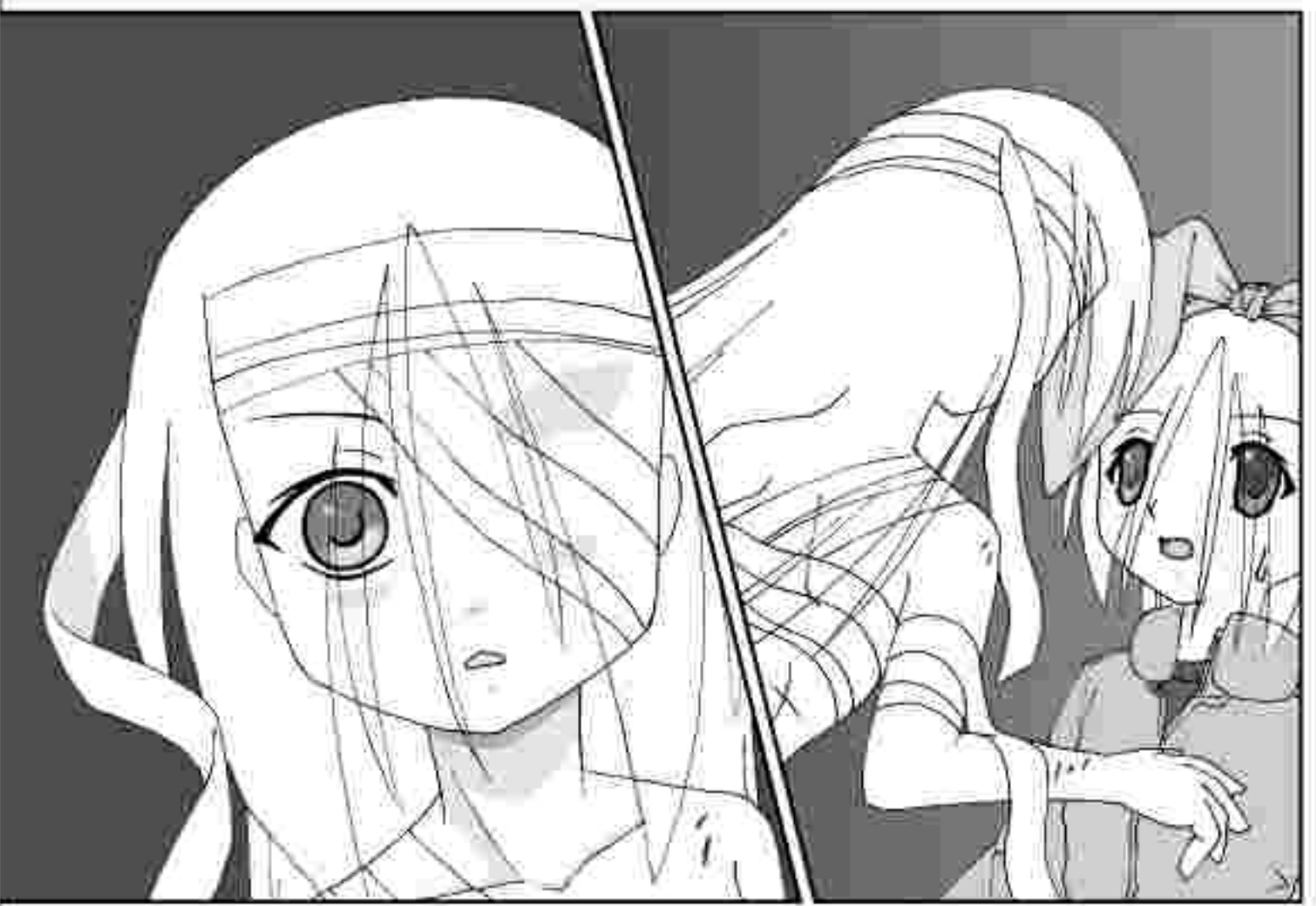


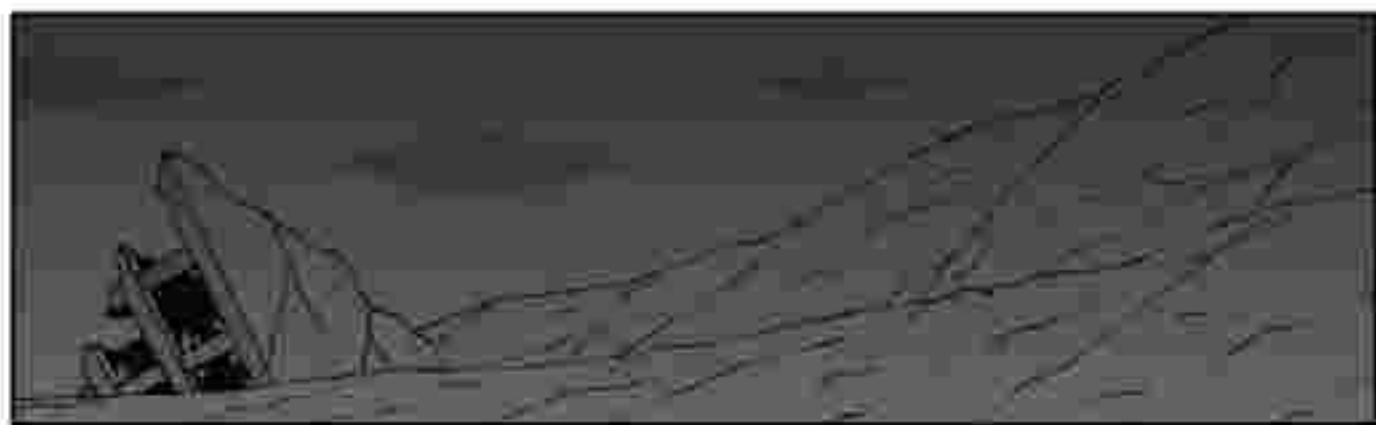
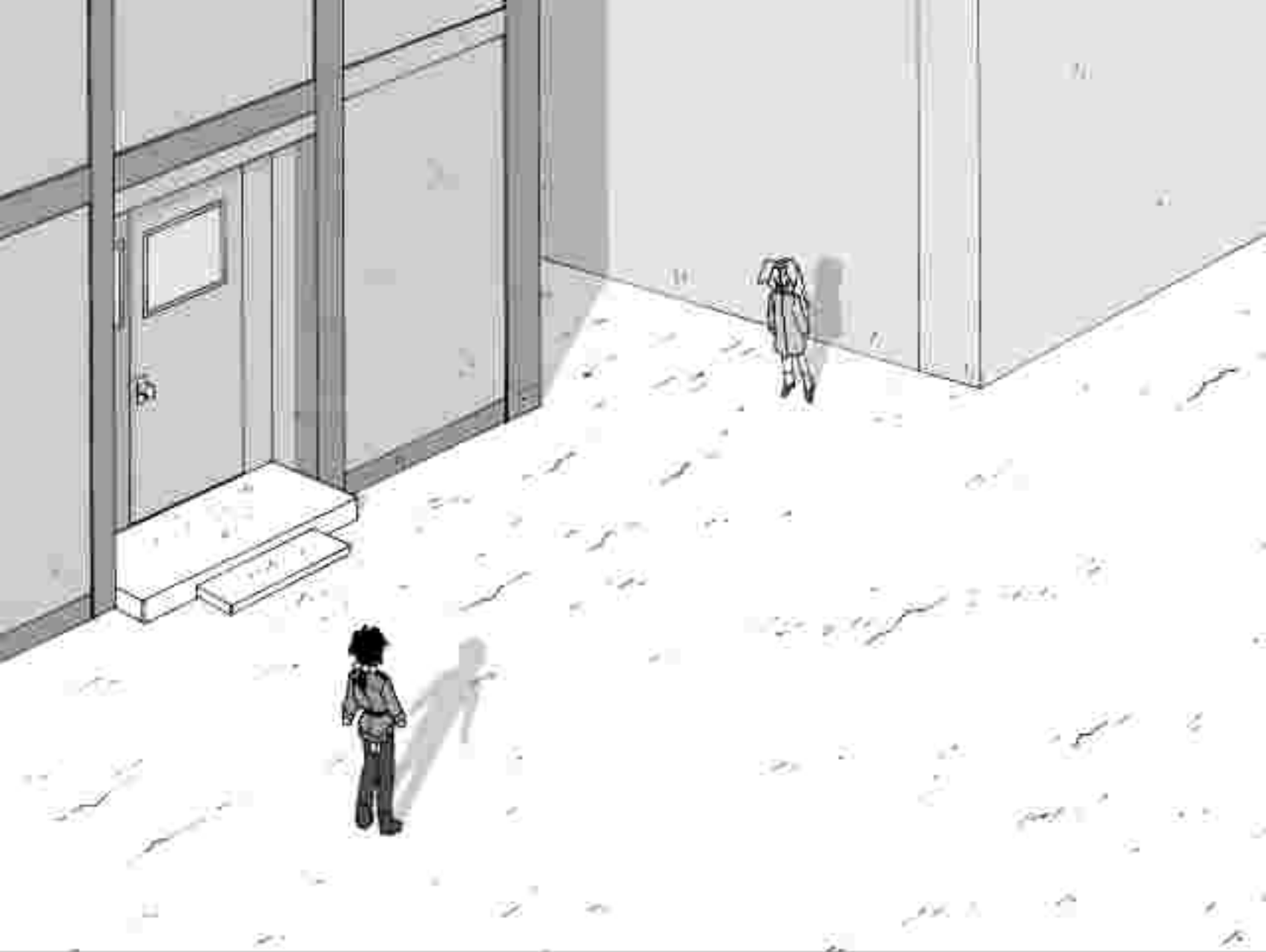
真白  
ちゃん？



またあなた  
なの！

消えて！！





で……こつちが  
事務室で……

じゃあ格納庫に  
戻ろうか



隊長……基地案内  
終わりました

ご苦労

夕狭霧二等兵  
せっかくだから  
整備の見学を  
していけ



そういえば僕の  
戦車もシートベルト  
が壊れかかって  
いるけど……

そこだけを  
交換する事が  
できないんだよなあ

あれ……？昨年  
シートユニットを  
発注してたん  
じゃ？

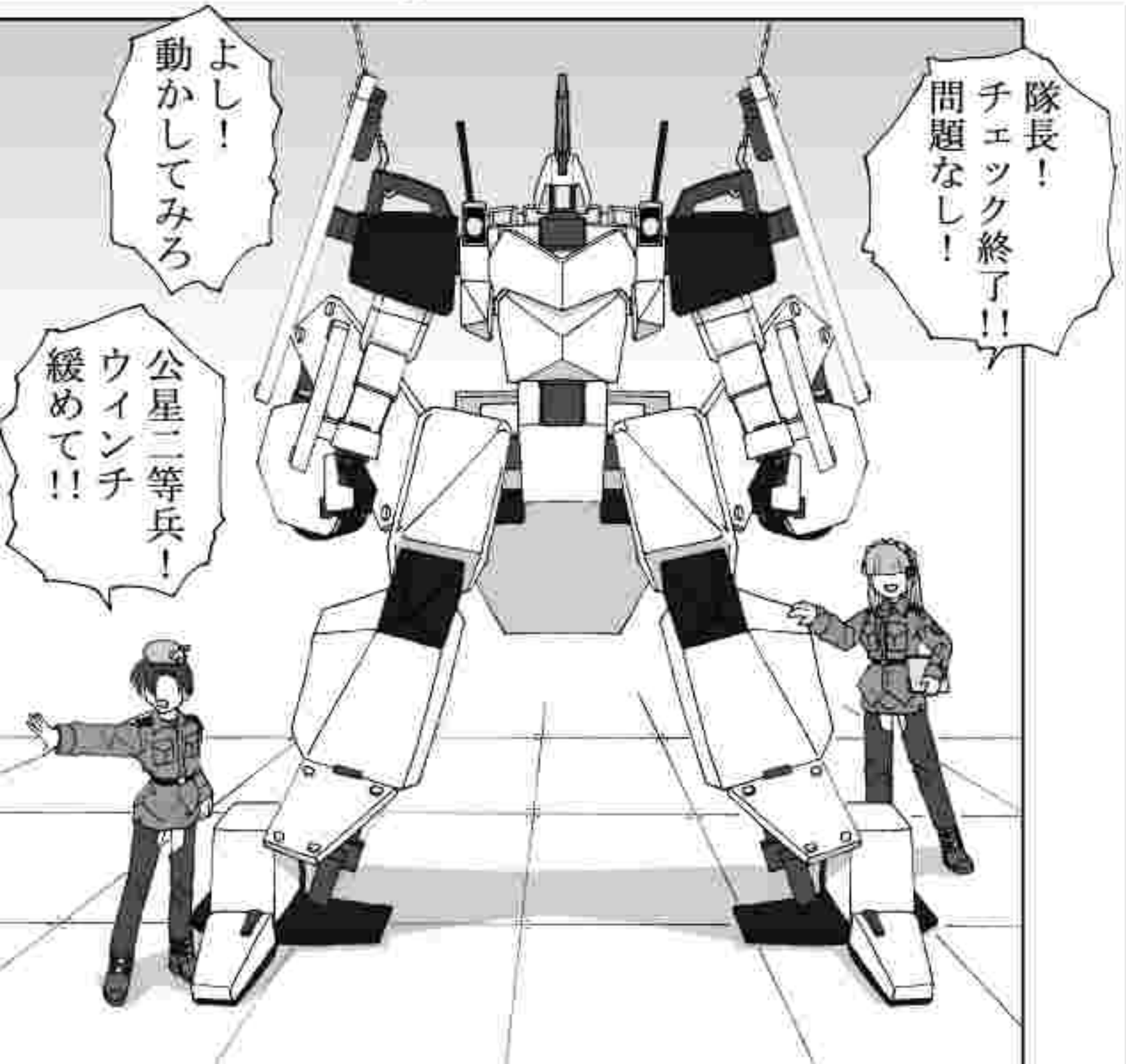
予算不足とかで  
まだ届いて無いん  
だよ



隊長！  
チェック終了！！  
問題なし！

よし！  
動かしてみる

公星二等兵！  
ウインチ  
緩めて！！

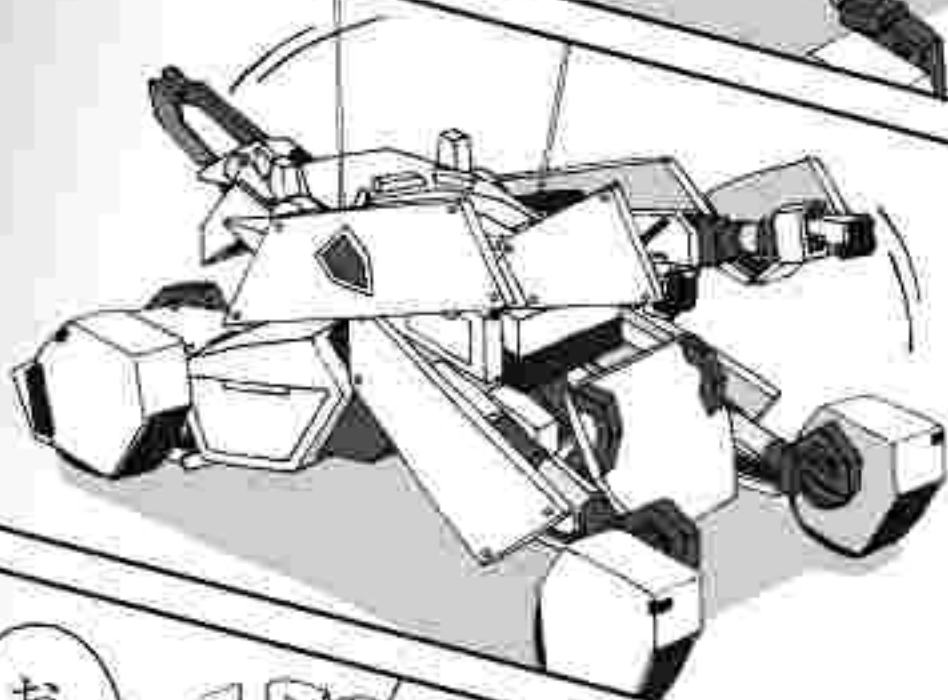
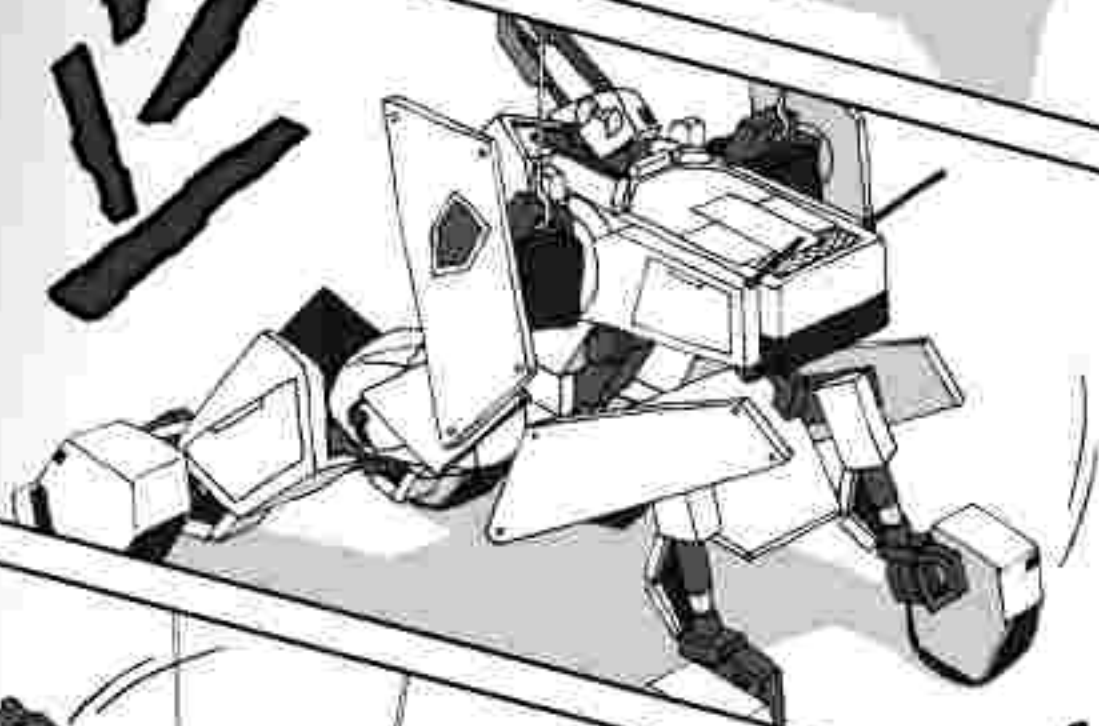


装騎は  
ブロック構造に  
なっている

不具合があれば  
関節を外して  
丸ごと交換だ

超高密度バッテリー  
もつとも……動力中枢  
だけは交換できない  
ここが壊れたら  
廃車だな





よし…  
大丈夫だな

これで明日の  
演習は予定  
通り行える

皆の努力の  
おかげだ

えへへへ  
もつとほめて

おい…





翌日

真白ちゃん：  
初めて来た基地で  
不安なはずよね…

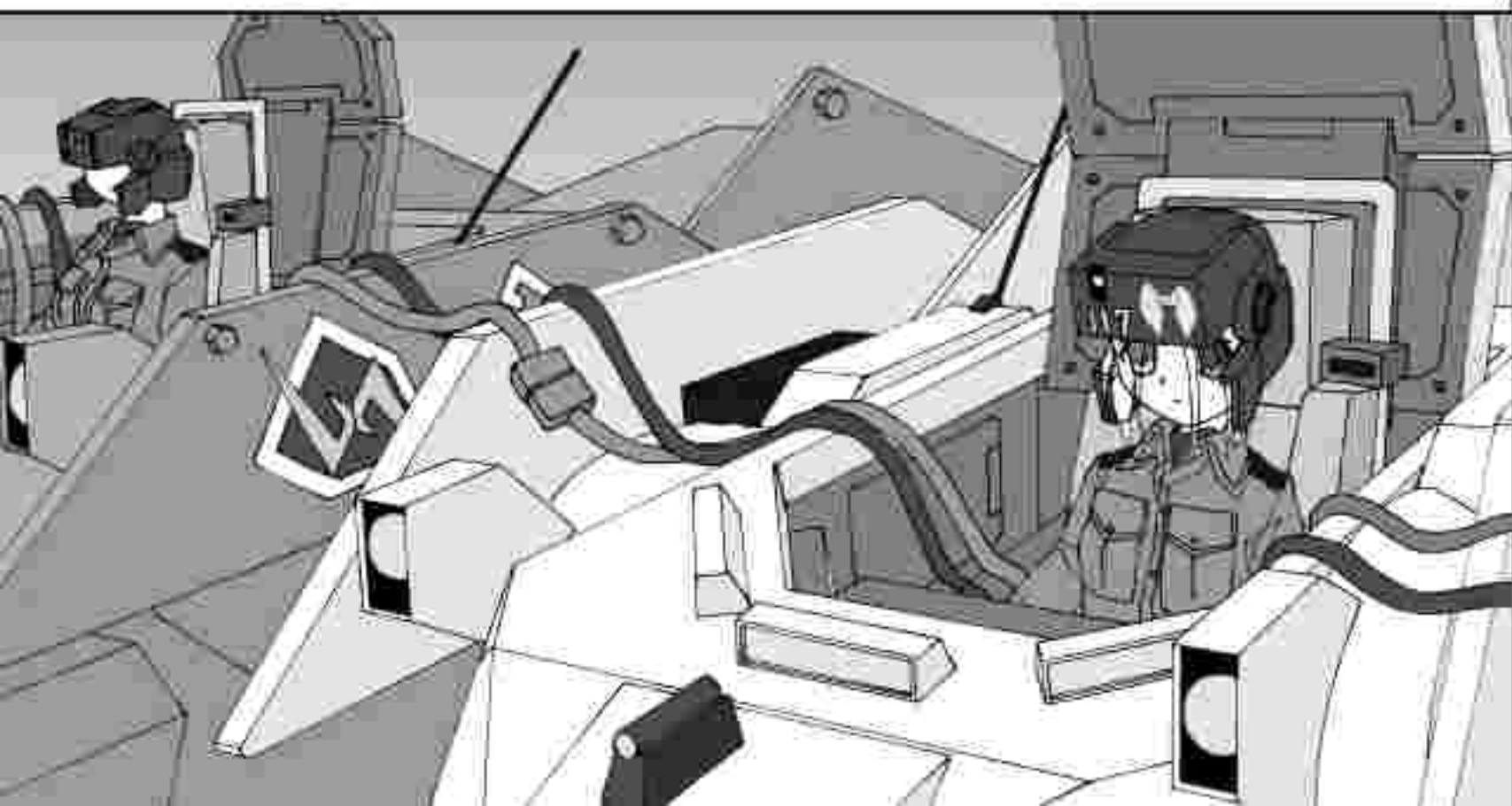
決めたわ！

私真白ちゃんと  
友達になるっ

いいね！  
がんばって  
頼子さん

それはいいが…  
上官としての  
義務を忘れるなよ

夕狭霧二等兵を  
つれてきました



夕狭霧二等兵！  
訓練所で習ったと  
思うが念のため  
説明しておく

騎兵戦車装騎しょうきの  
火器管制装置を  
シミュレーション  
モードにする

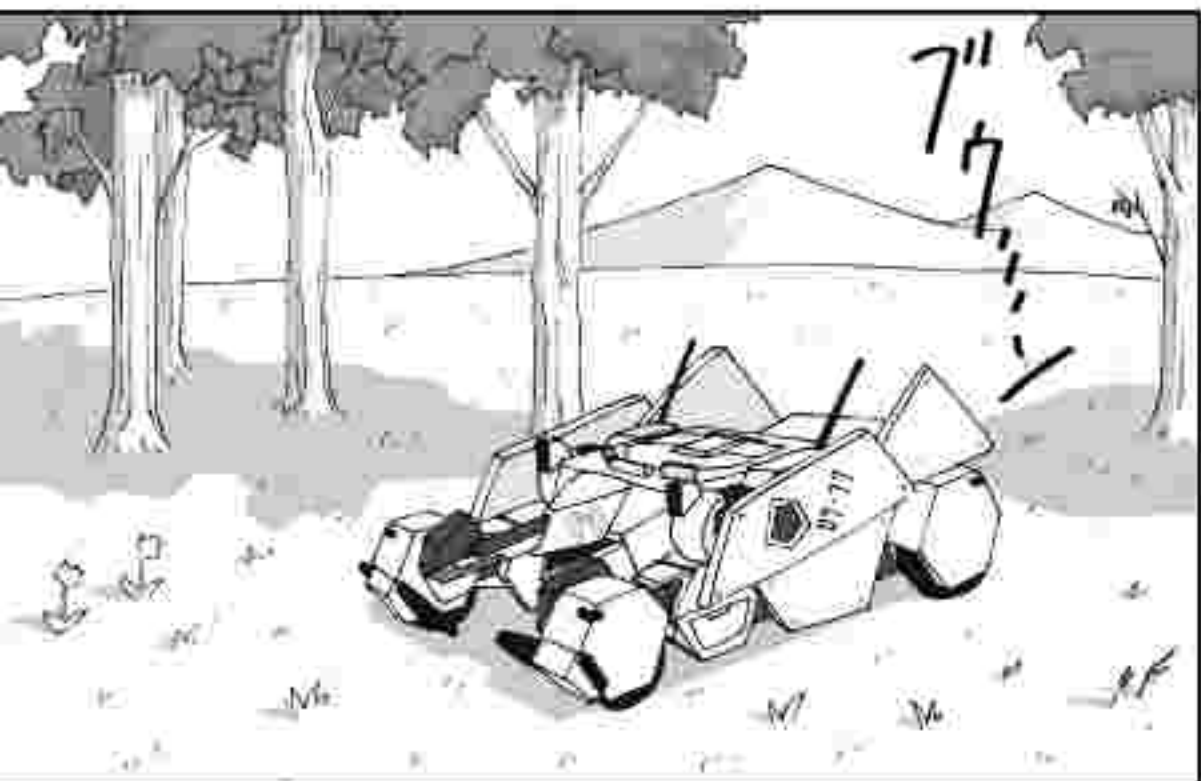
この状態では操縦桿  
を動かしても本体は  
動かず仮想空間の  
表示のみ動くはずだ

…全員  
確認しろ

では仮想空間内で  
模擬戦闘を行う

ルールは簡単  
お前ら三人がかりで  
俺を倒せ！  
指揮官は騎馬少尉だ

戦場は…  
森だ



騎馬機  
確認！

鬼塚機  
確認！

…夕狭霧機  
確認…

真白ちゃん！  
隊長ものすごく  
強いけど頑張り  
ましようね

はい…

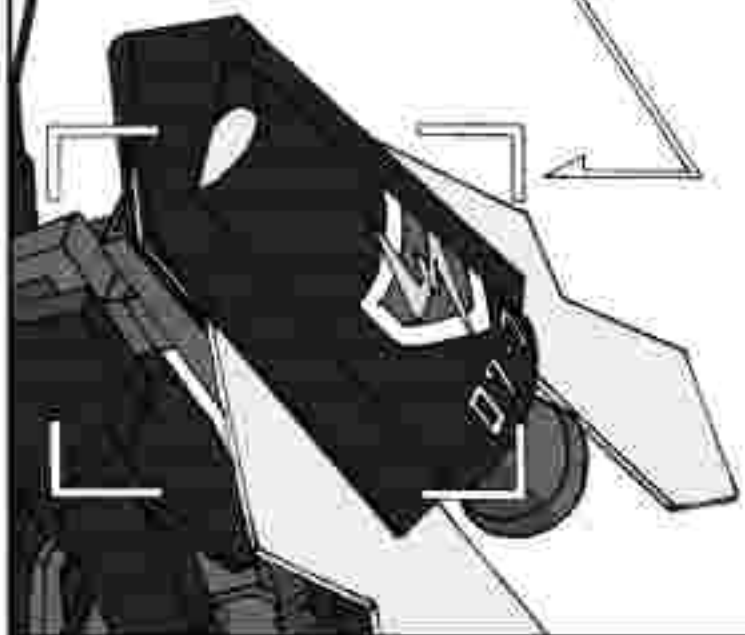


……？  
隊長はなぜ  
降下用  
スラスターを  
付けているの  
ですか？



アッ

降下用スラスター  
を確認



隊長は地上を  
高速移動する  
のに使うんだ



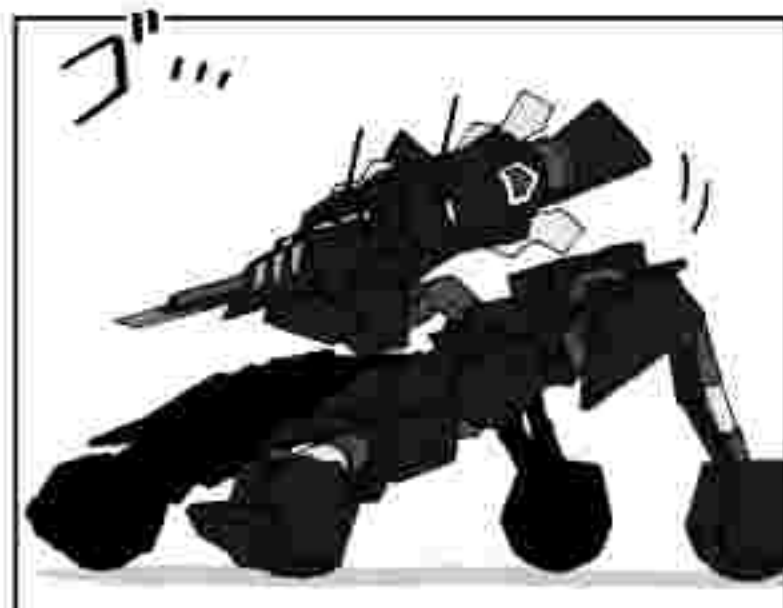
ああ：確かに  
本来は輸送機から  
空挺降下する時に  
使うんだが……

そんな事が  
出来るんで  
すか？

出来るのは  
隊長だけだ

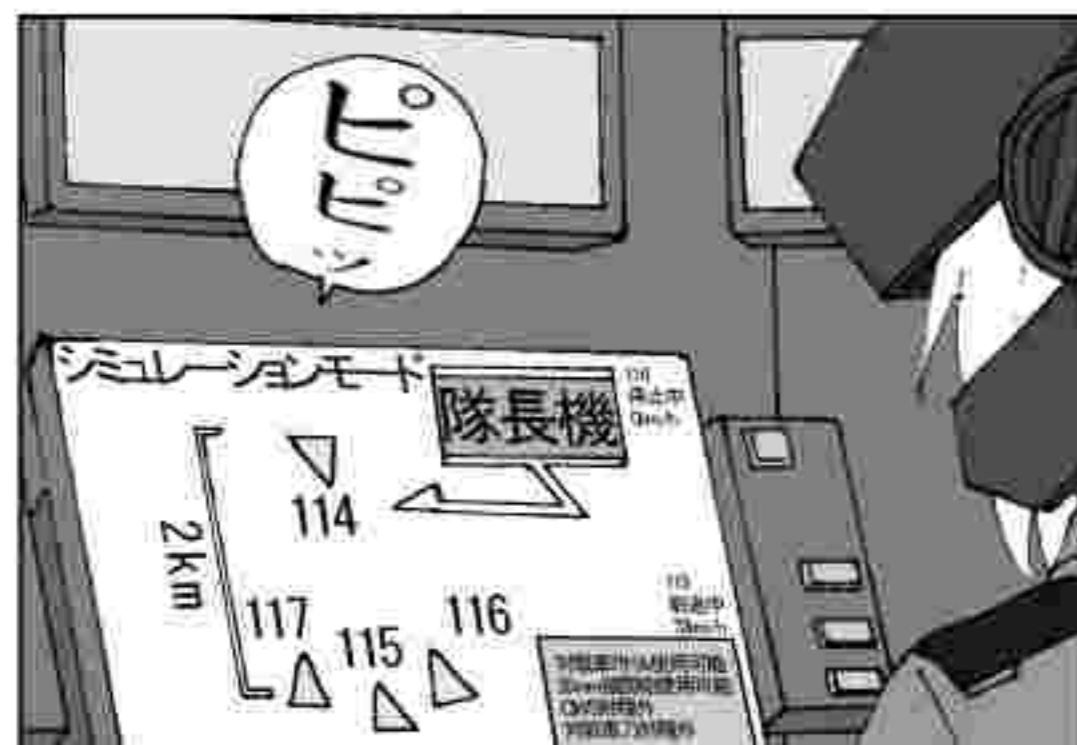
地上移動用に設計  
されていらないから  
普通のパイロット  
は制御不能になる

では演習を  
始めるぞ!!



# ゴォォォォォ

全隊前進！  
隊長機を  
包囲し  
飽和攻撃を  
行う！！





いかん！  
隊長機が  
森の中に…  
全隊攻撃！

隊長機後退

114  
116  
117 115



うう…訓練所で  
習った通りにすれば  
いいのかな…？

間違えたら  
怒られるの  
かな…何か  
嫌だな…



騎馬少尉は  
相変わらず  
教科書通りの  
作戦…だから  
手を読み易い

士官学校ではそれで  
満点かもしれんが…



CIWS  
作動！

ガッソ

正面から  
来るから  
迎撃し易い

CIWS=Close In Weapon System



新兵は…上手く  
地形に隠れて  
移動している…

鬼塚軍曹は  
相変わらず隠れる  
のが下手だな…  
長距離砲があれば  
狙撃できそうだ



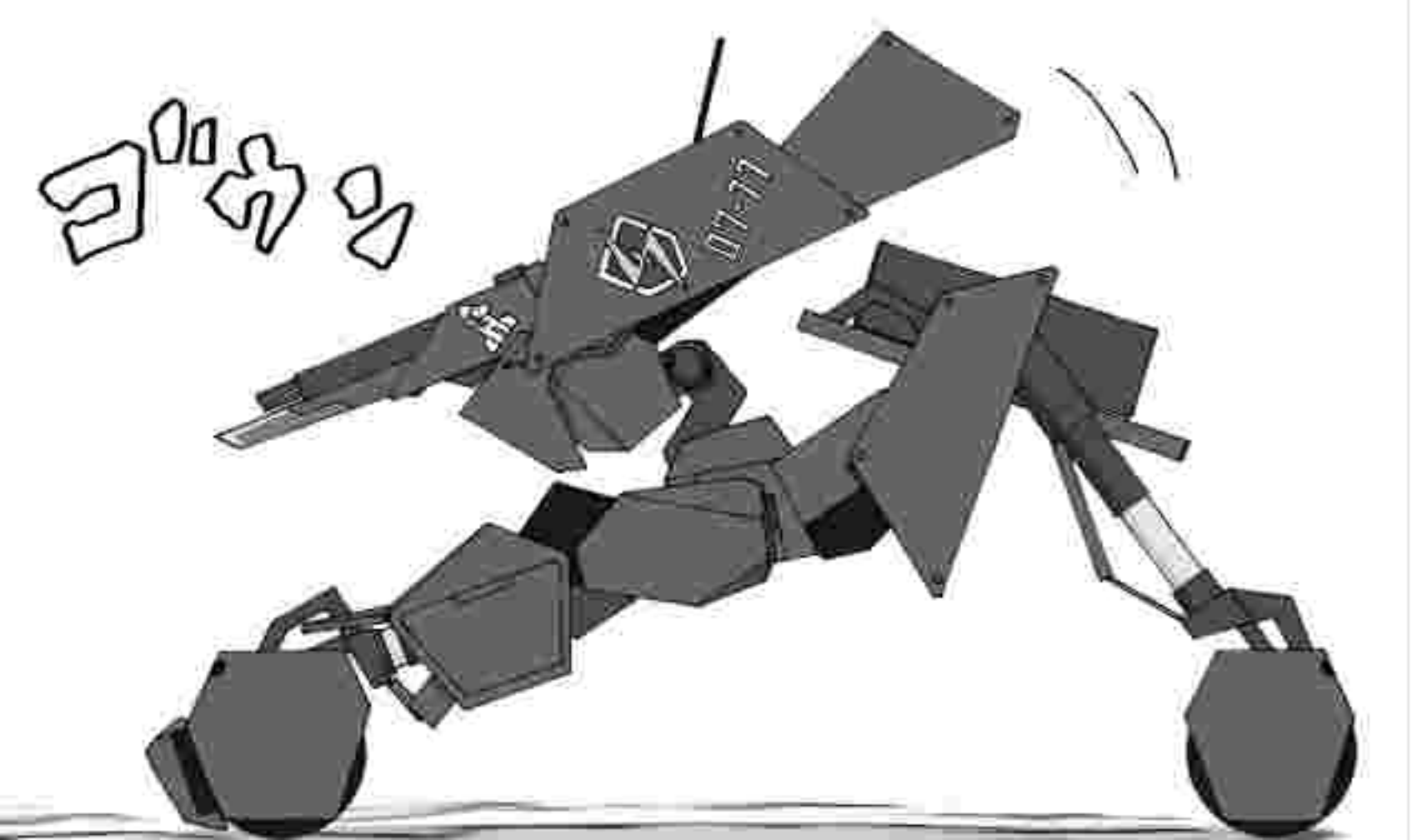
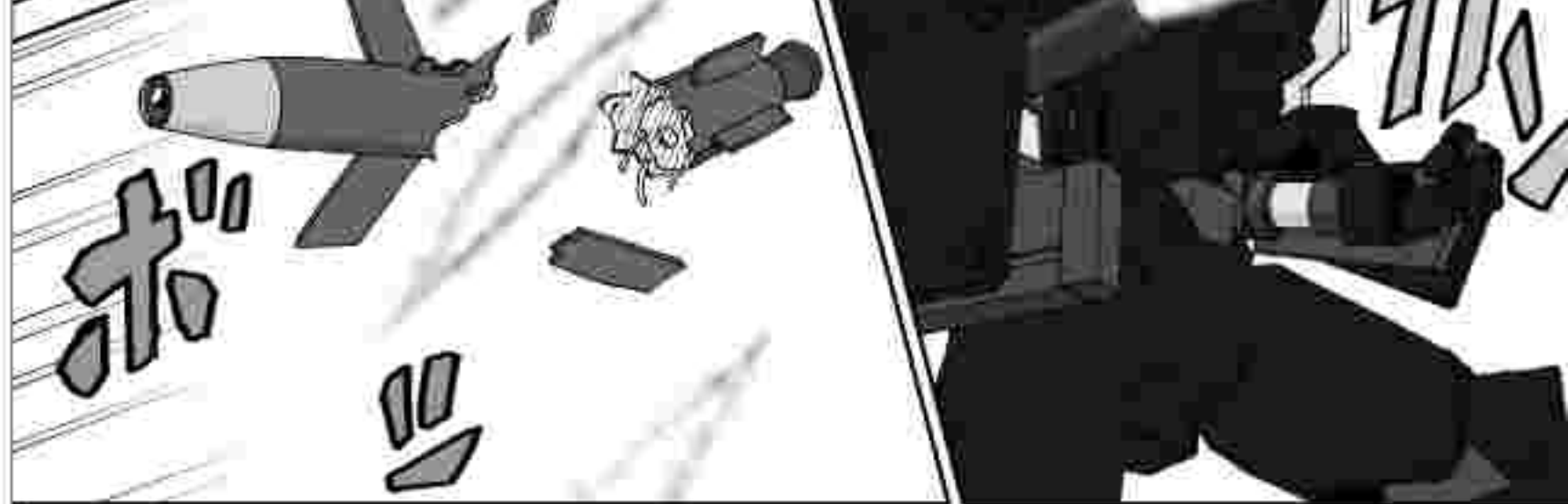
さて…  
包囲されると  
分かって  
突っ立っている  
バカはおらん

当然…包囲  
されにくい  
位置に移動  
する…



114

ガガガガ





騎馬機撃墜



うう...木がジヤマで 上手く狙えない...



泣き言をいうな こういう場所で 戦うための 騎兵戦車だ



20mm弾では 撃ち抜けんぞ

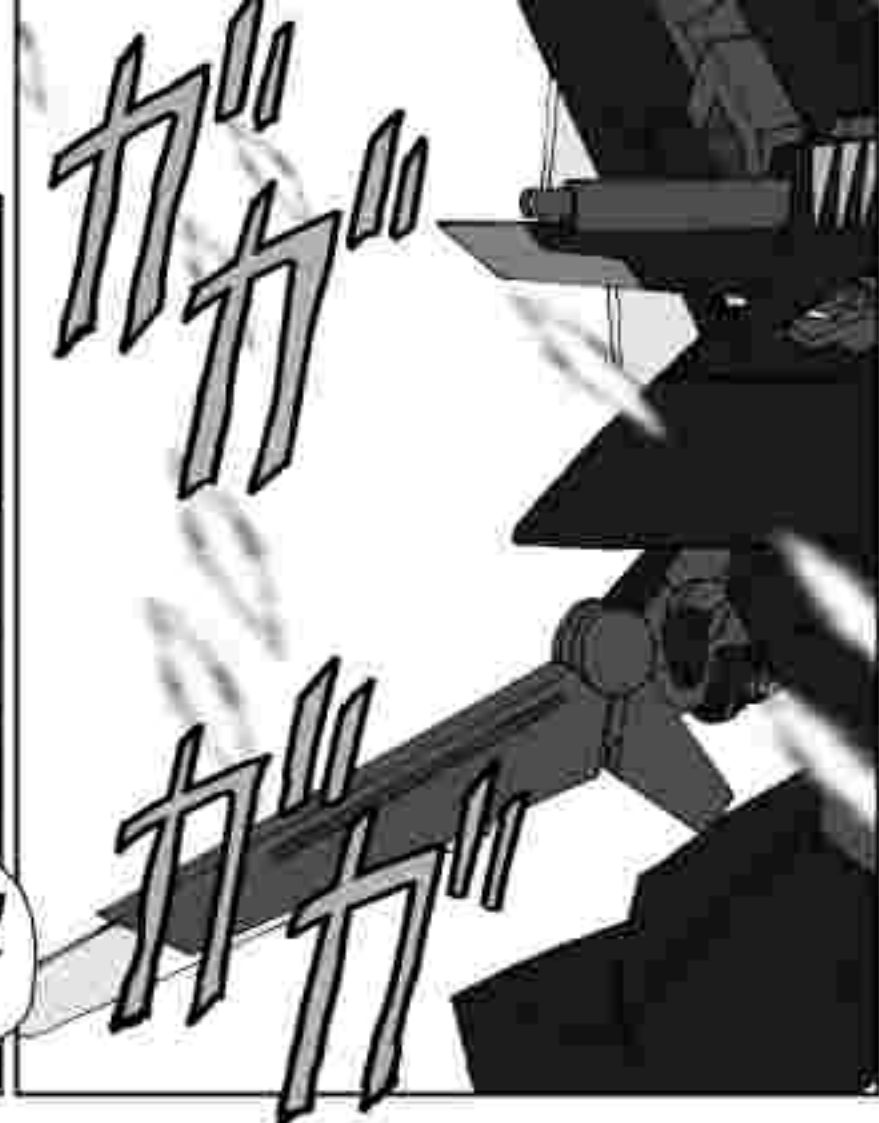


音声通信 ON OFF

ヒッ

関節部とか 弱い所を狙え! こんなふうにな!





こっちは  
まだ10発  
残って  
いるが……



ムダ弾を  
撃ちすぎ  
だ！

こいつはダイヤモンド  
コーティングのチェインソーで  
主力戦車の装甲も切り裂ける  
対戦車刀で  
かかってこい！



白兵戦の腕も  
見てみたい

### 鬼塚機撃墜



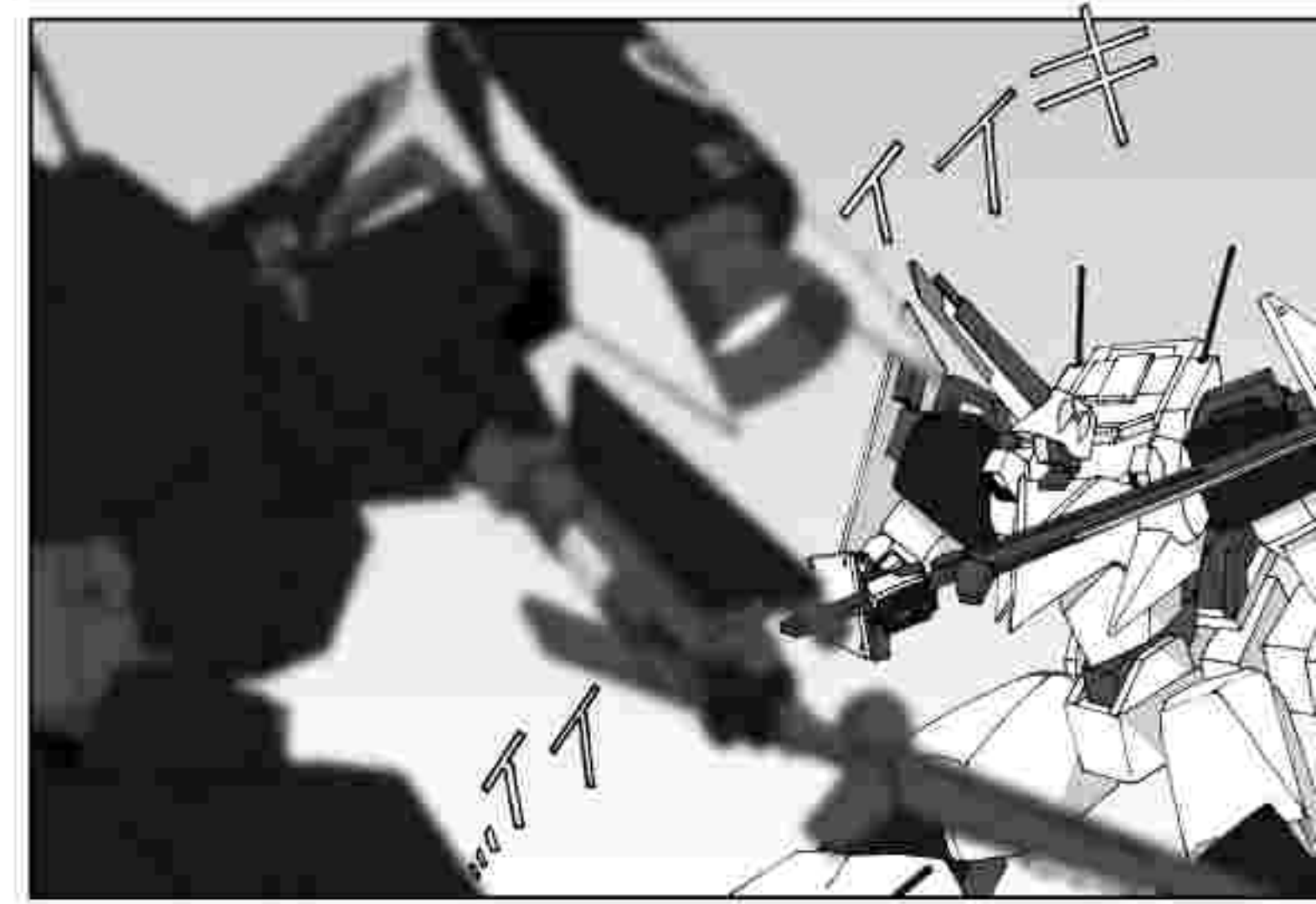
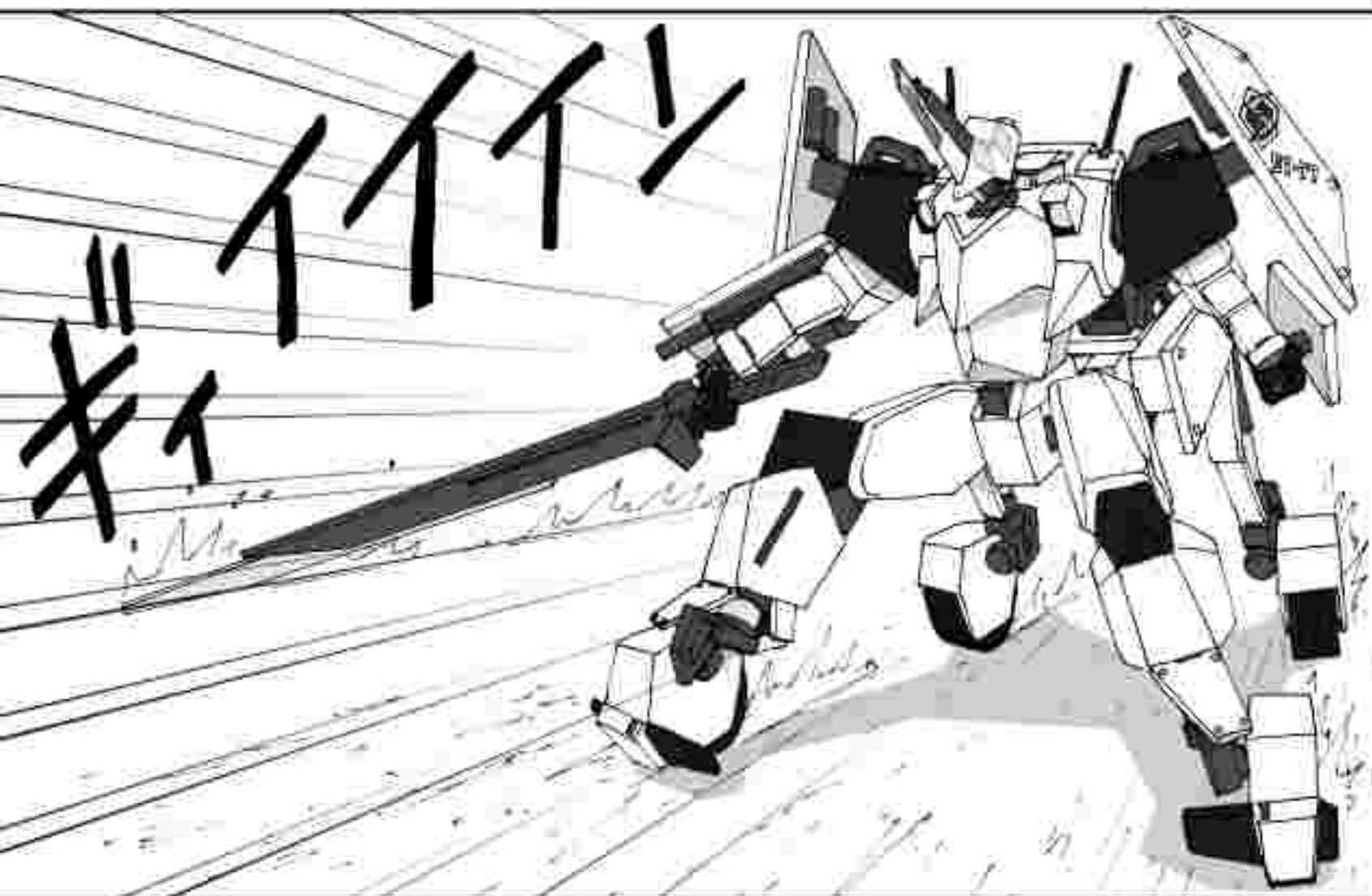
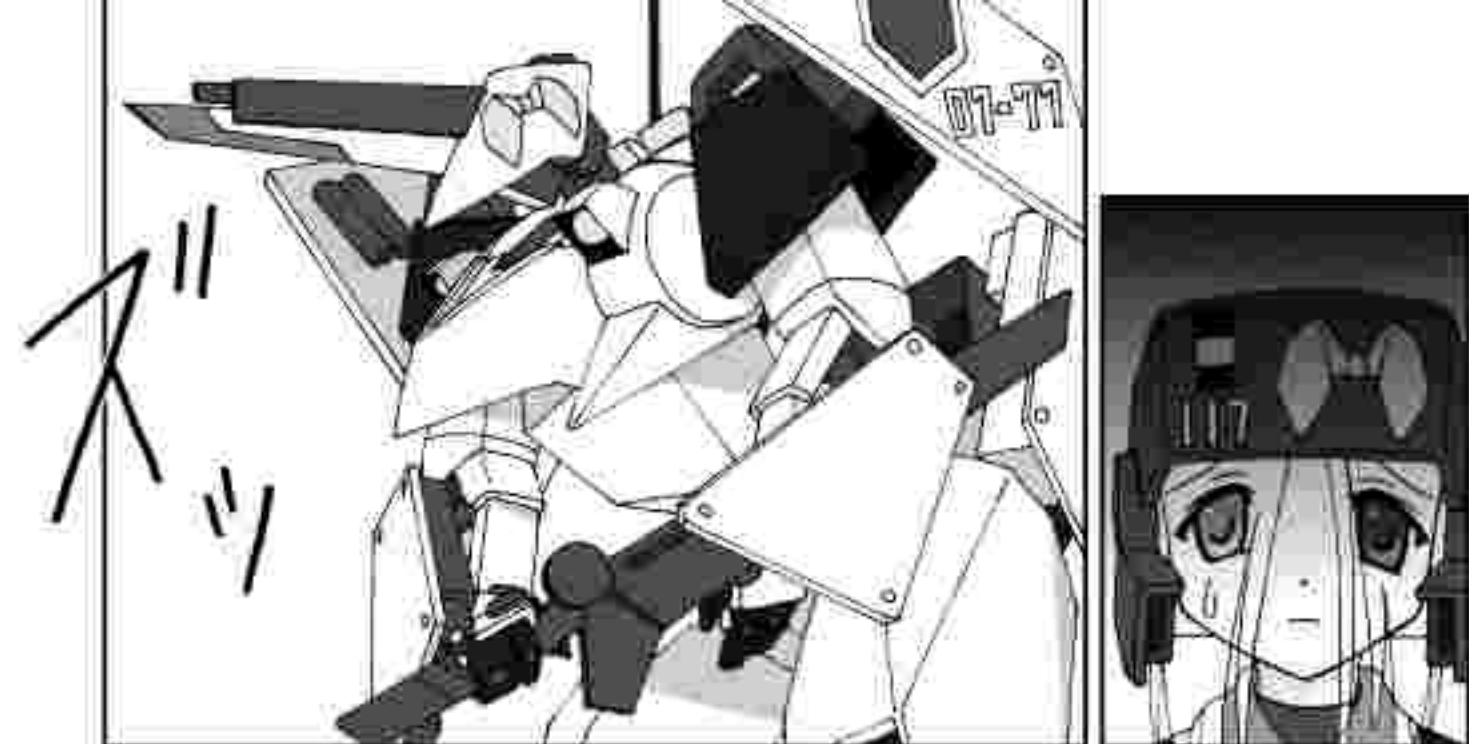
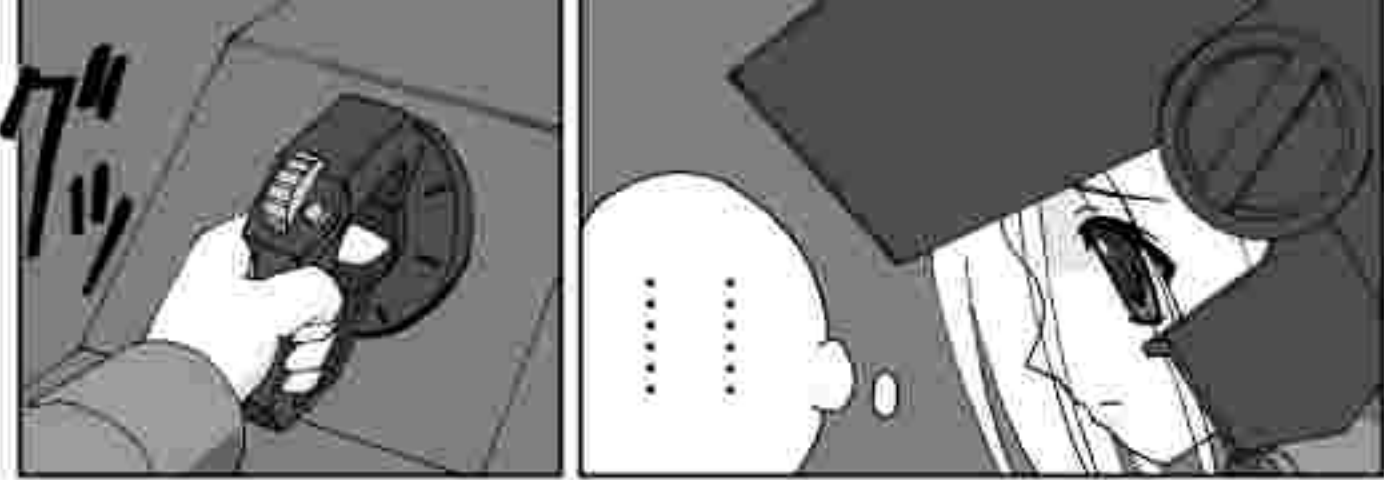
夕狭霧二等兵  
を一人にして  
しまったな……

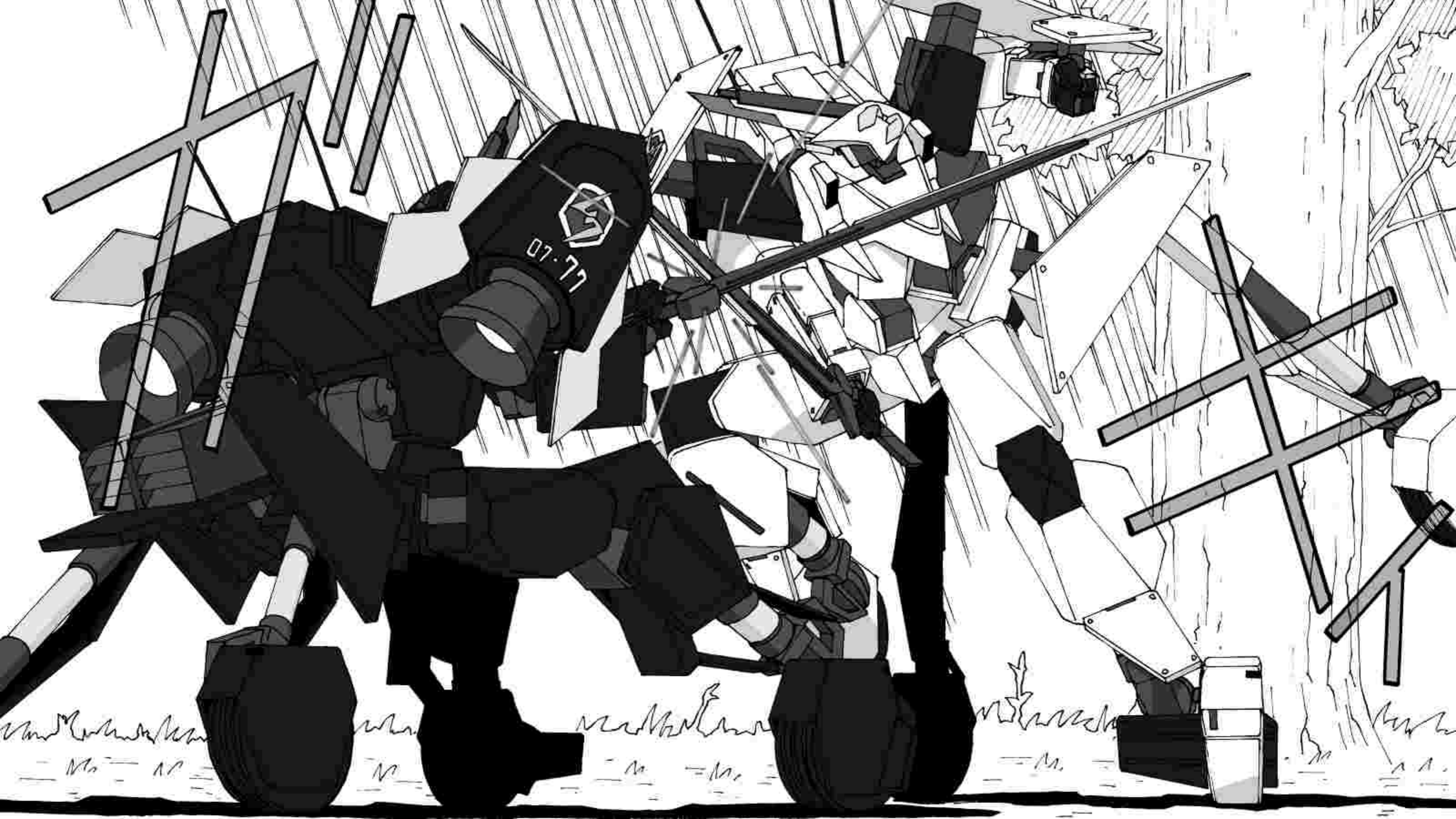


隊長あいかわらず  
鬼のように  
情け容赦ないわね

あうー……今日も  
あっさり撃墜  
されました  
……







07-77

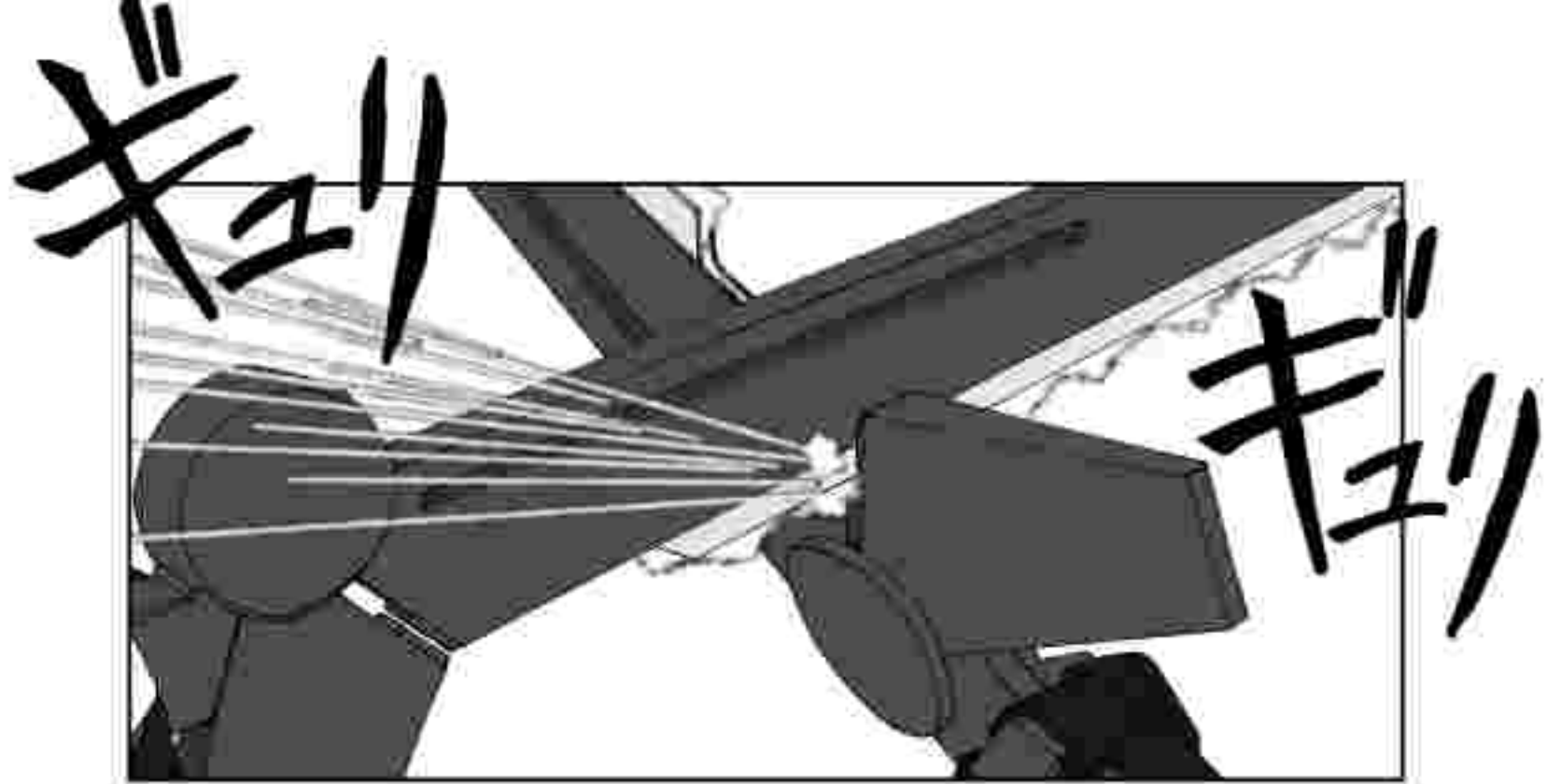
*Handwritten signature*  
— No — AP —

*Handwritten signature*  
— No —

*Handwritten signature*  
— No — No —

*Handwritten signature*  
— No —

*Handwritten signature*  
— No —

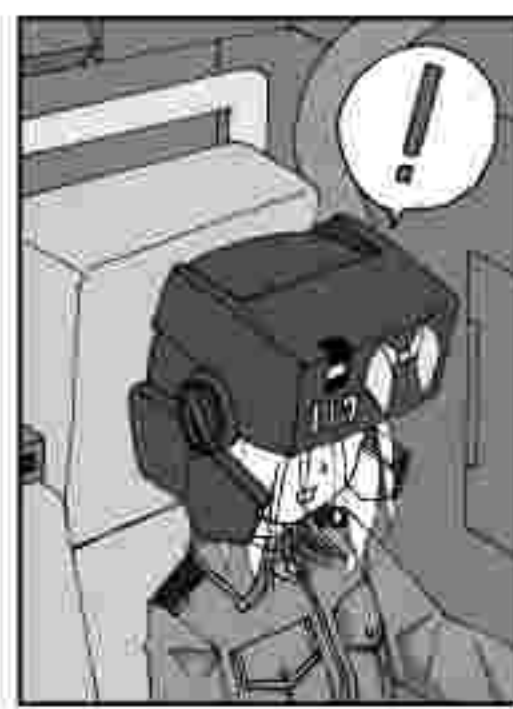


いい斬撃……に見えるが……

君はまだ全力を出していないな？

長年の経験で分かる

先輩より活躍するとメンツを潰してしまう……とでも考えているのか？



だが俺は隊長として部下の正確な技量を知らねばならん

また……君が実戦で生き残れる技量が無いと判断したら

……戦車に乗せるわけにはいかん

全力で

かかってくる！

……

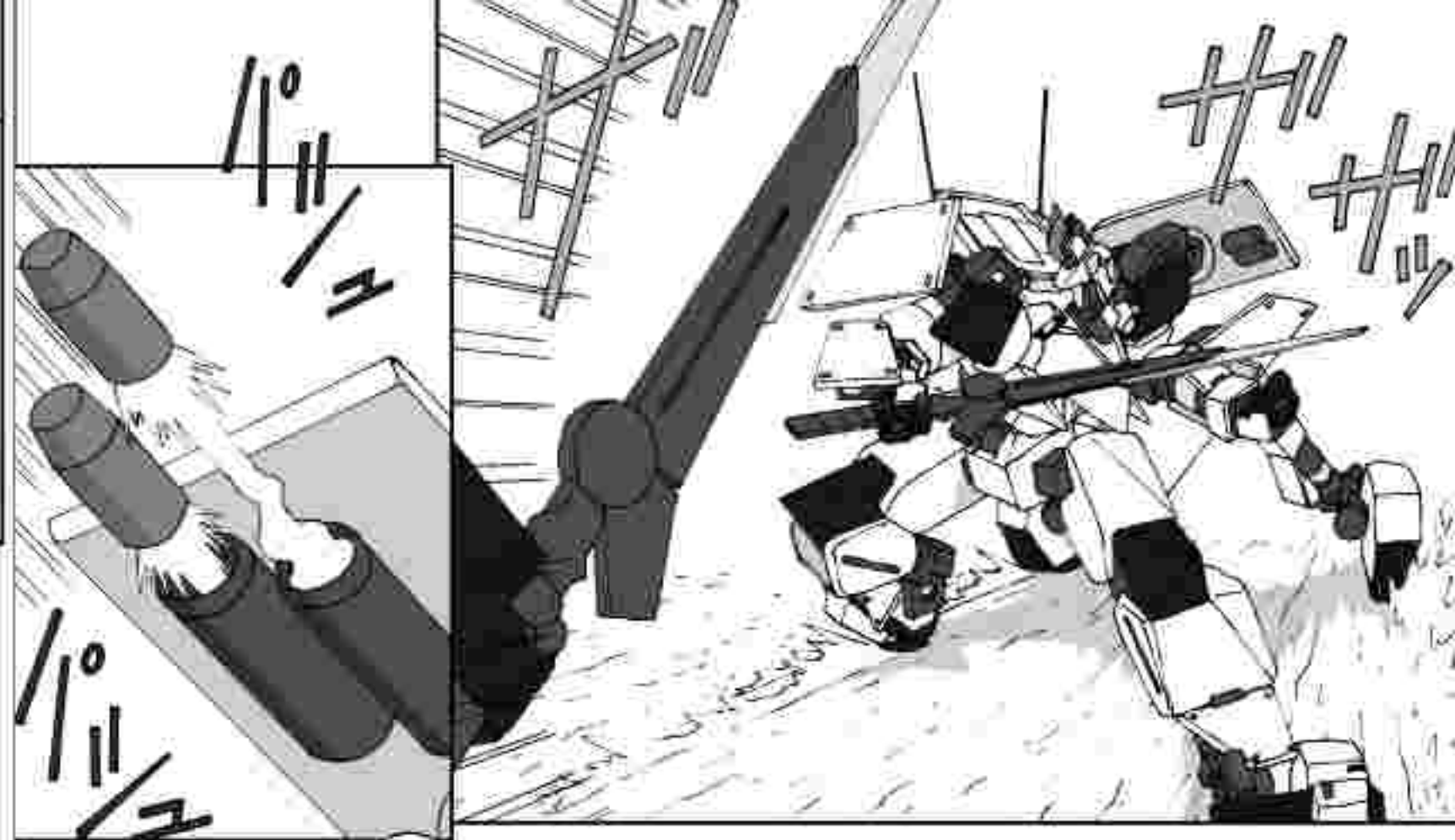
……はい



うおっ!?

CIWSが

反応しない…

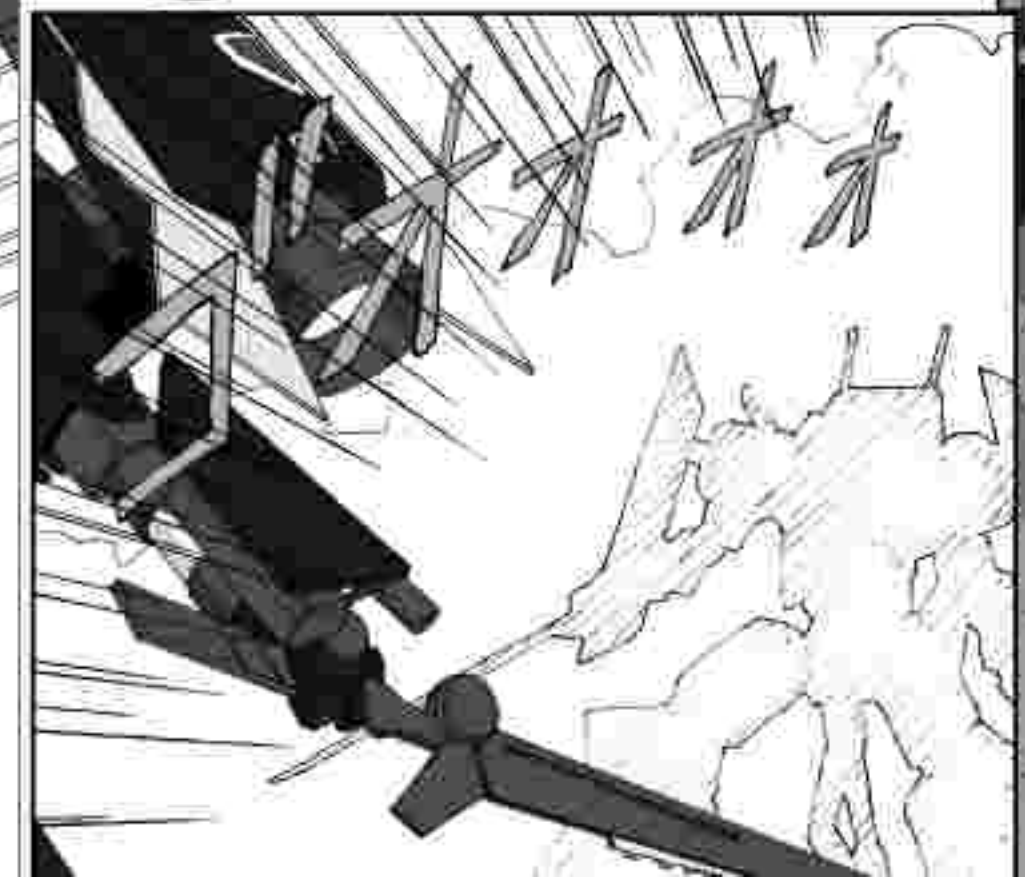
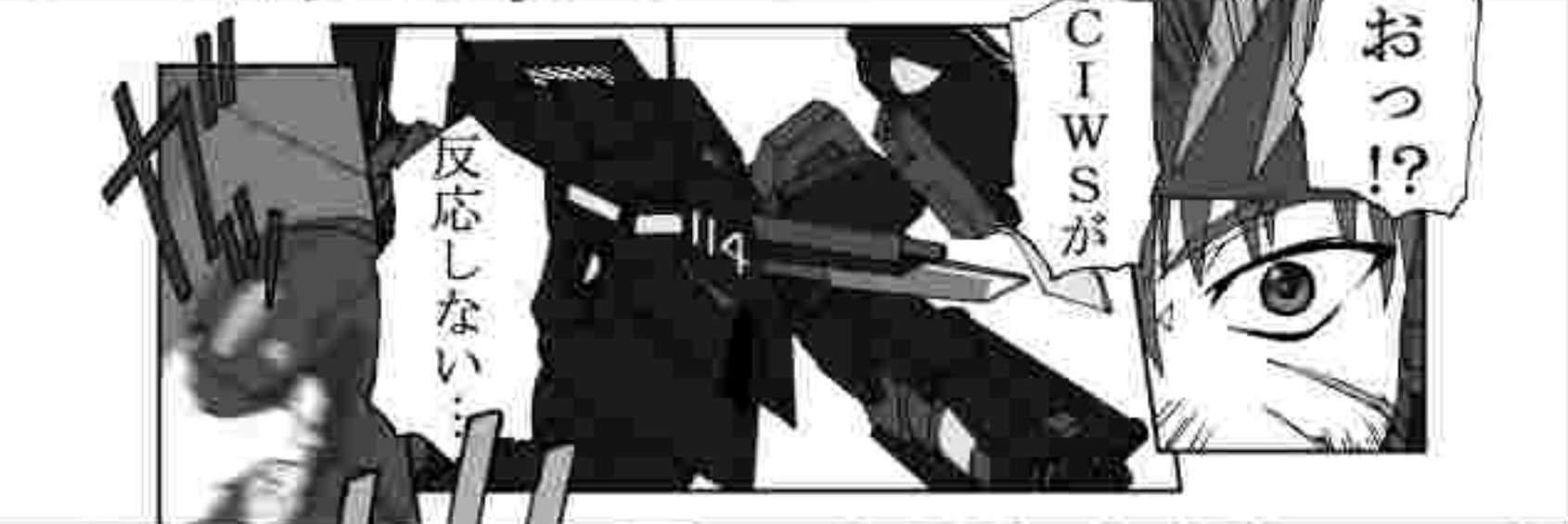


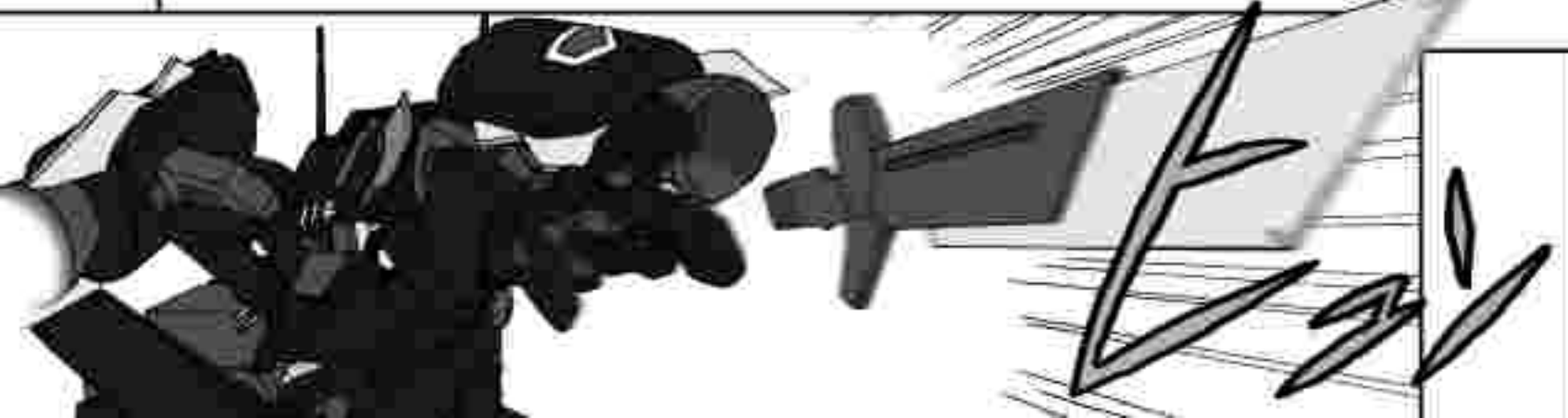
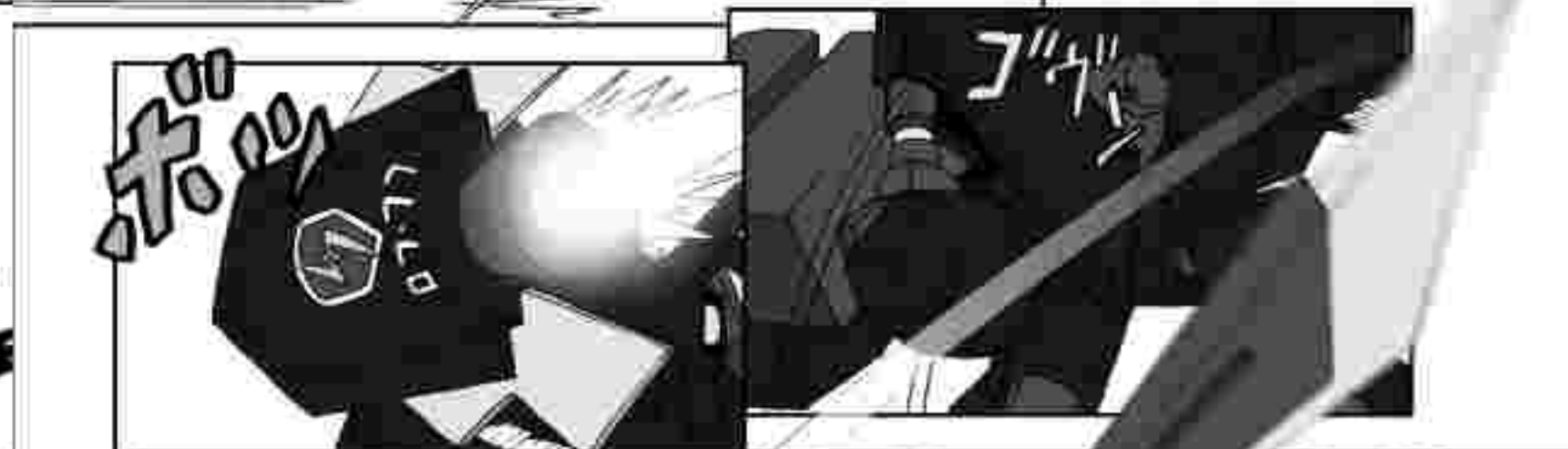
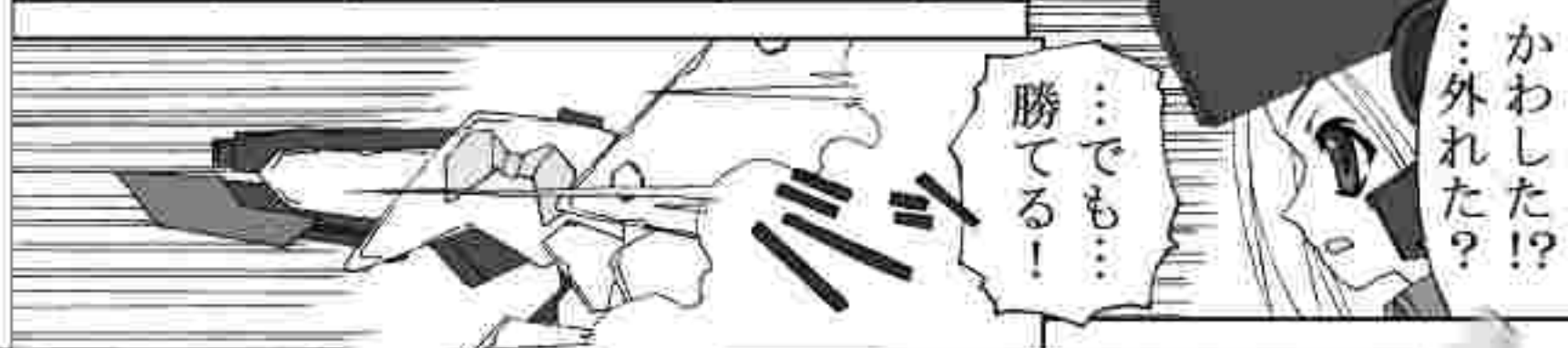
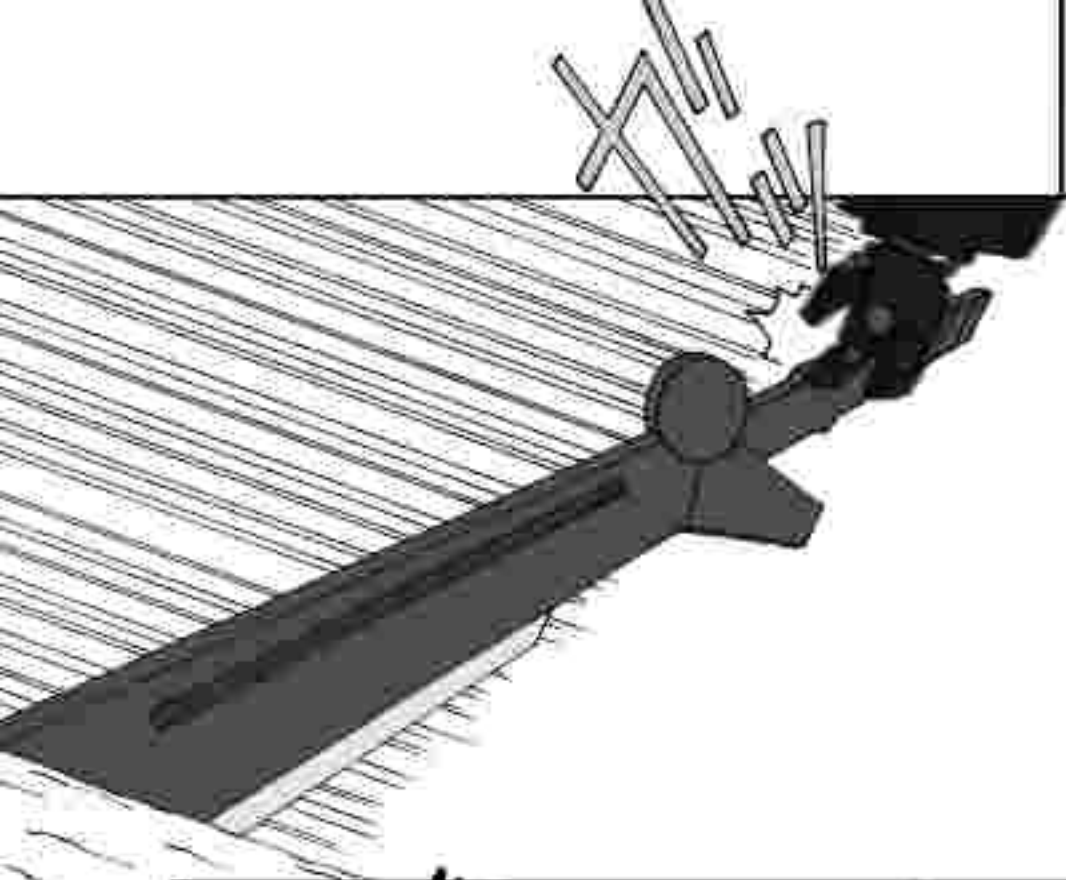
発煙弾か!  
だが…

レーダーは  
機影を捕捉  
しているぞ…

いや…

何か仕掛けて  
くるな…







すごいわ  
真白ちゃん！  
隊長機を中破  
させるなんて！

今まで七姫軍に  
そんな事  
できた人は  
いなかったのよ！



ん…？



あと十年もすれば  
隊長を倒せるん  
じゃない？

あの剣術はどこで  
習ったんだい？

もう天才と言って  
いいレベルだわ！

これからは頼りに  
させてもらうよ



あ…引っ  
込んだ

ん？  
ほめられるのに  
慣れてないのか？



…なんですか…  
あの反射神経は…

はあ…

おつかれ様です  
隊長

まさか刀を  
投げるとは思い  
ませんでしたね

あー…うっかり  
忘れてた…

CIWSって  
ミサイルと砲弾以外  
には反応しない事が  
あるんだよな！

ま…しよせん  
機械だからな…

プログラムに無い  
想定外の出来事に  
柔軟に対応  
出来ないんだな

夕狭霧二等兵は  
戦車に乗って  
いいんですよね？

ああ

…もう少し  
手加減しても  
良かったのでは？

いや…

諸外国では装騎以上  
の高性能戦車を  
開発中との噂だ…

皆には自分より  
強い相手との戦闘に  
慣れてほしい



二話

歷史

騎馬少尉  
…あの…  
その…



名古屋紛争の慰霊祭に  
出席されるんだ



はっ!  
では現時刻  
より僕が  
隊長代理を  
務めます





16年前：  
太平洋人民共和国が  
「名古屋は古来より  
我が国の領土だ」と  
言いがかりをつけて  
侵略してきたの

もちろん  
当時の七姫国は戦って  
名古屋を守ったわ……  
でも軍人・民間人に  
大きな犠牲を出して……

太平洋人民共和国

その話は  
誰でも知って  
いると思う……

そ……そうね……  
ごめんなさい  
……

この話は口外するな  
隊長が聞くと  
機嫌が悪くなるから……

はい……

その話は初めて  
聞いた……

本当にこういう話を  
聞きたかったの  
かなあ……

じゃあこの話は？

紛争に勝てたのは  
昔の隊長の活躍の  
おかげなのよ

それで我らが隊長は軍内部で  
でかい顔ができるのよ！

騎馬少尉！  
陸軍総司令官が隊長を  
呼びだしています！

分かった  
すぐ行く！

でかい顔って  
言うな……

隊長は紛争で  
民間人の奥さんを  
亡くされたんだ

大昔の地雷のせいで  
体が不自由だった  
から……逃げ遅れた  
らしい……

……

あ……あの……  
この基地では陸軍司令部  
から直接指令が来るの  
ですか……？

え……ええ……  
第77工兵隊はこの師団  
にも属さない……  
いわば独立部隊だから……

お待たせ  
しました…

ア



ぬうつ…残念!  
今日は地雷処理が休み  
と聞いていたのに……

隊長に直接話したい  
事でもあったのかな……?



ワシがツ陸軍  
総司令官ツツ

たいらのまさか  
平将香で  
ああるうツ!!!



まあいい  
本題じゃがな……

民間の考古学者が  
墨田基地の近くで  
遺跡の調査を  
したいそうじゃ…  
お前ら手伝え



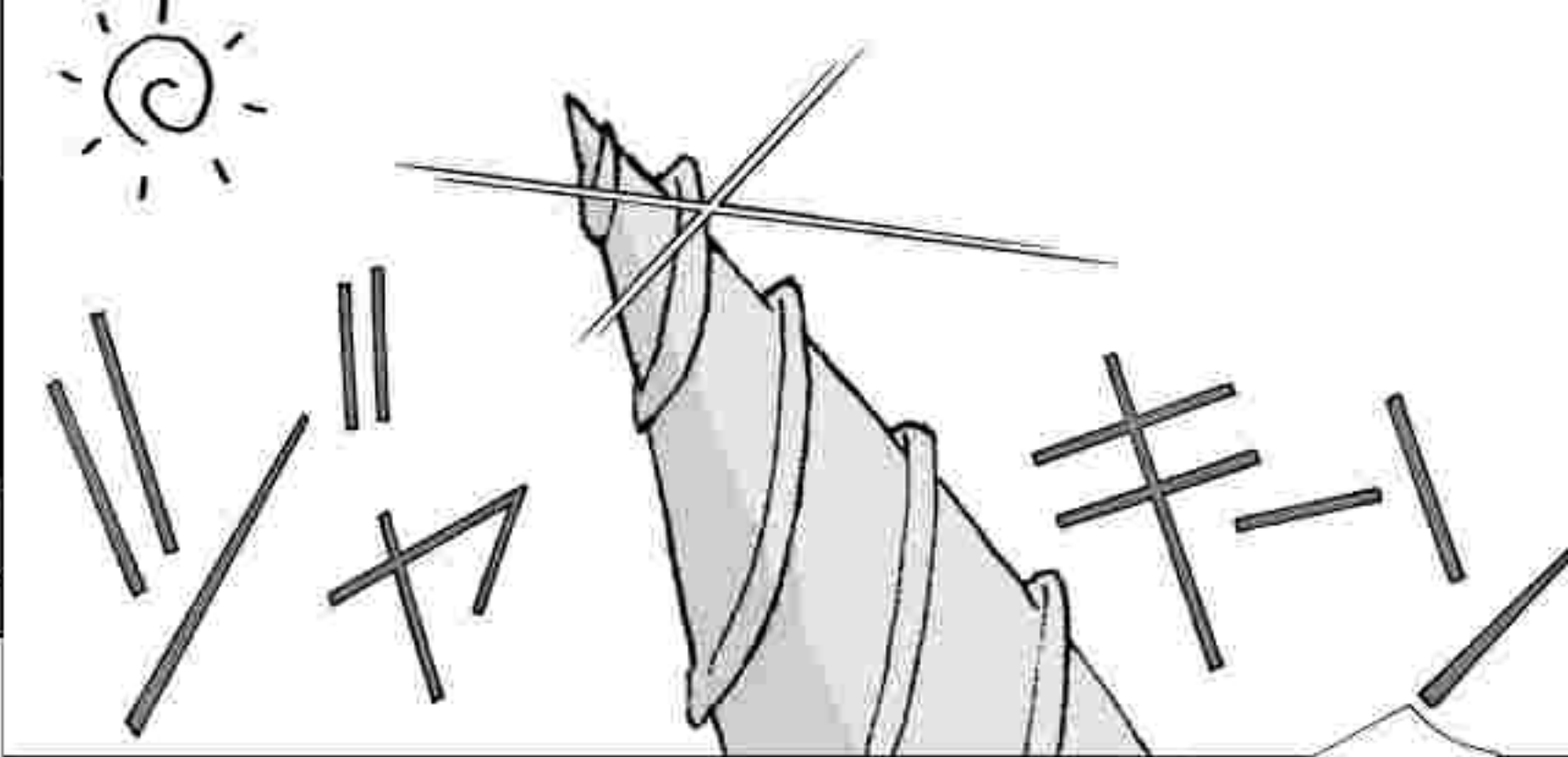
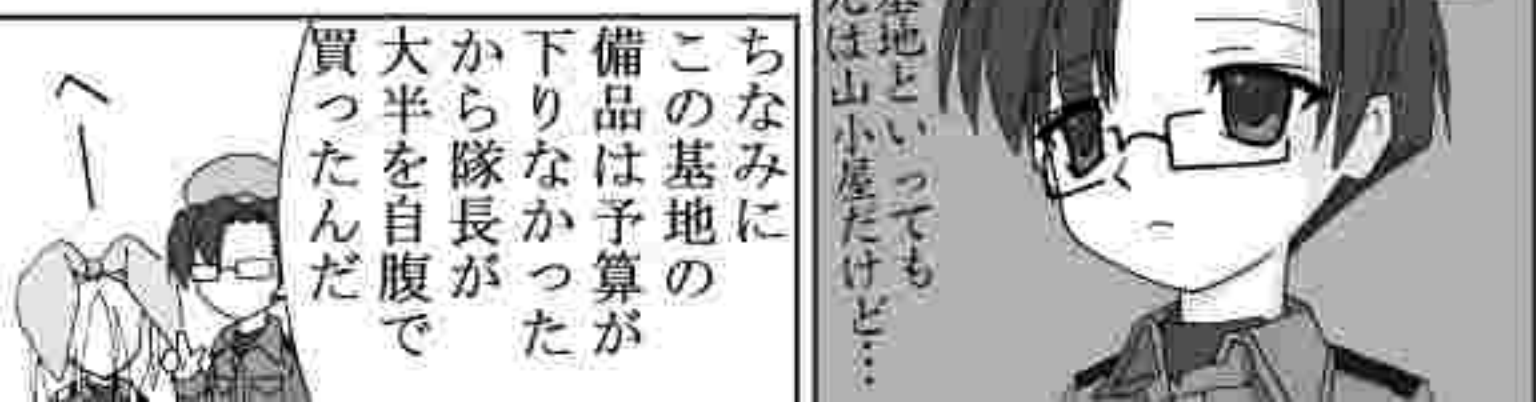
……って…あれ?  
騎馬家のお姫様か  
…お前らのポスは  
どうした?

隊長はつい先程  
慰霊祭に向かわれ  
ました



で……







歴史の講義：  
好きですね

あ……ごめん  
なさい……

いえ……講義が嫌い  
なわけでは……  
続けても  
かまいませんよ？

それは……学校でも  
原因不明としか  
習ってないなあ……

しかし答えられ  
なければ我が隊は  
アホばかりと  
思われる気が……！  
誰か！誰か賢者は  
おらぬのか？

太平洋人民共和国を  
脅威に思った他の  
先進国は合併して  
大西洋連合国を創り  
結局……両国は戦争に……

この大洋間戦争で  
世界中が焦土化……  
多くの知識や技術が  
失われた……  
両国は損害の大きさに  
戦闘不能……停戦となる

……



……あ……  
……あの……

この東京山脈……いえ  
クレーターはその時に  
出来たものだけ……

どうして出来たか  
知っている？



……？

トイレ？  
違うと  
思う……







真白ちゃん？

核……って何？

このクレーターは  
核爆発で出来た  
ものです……

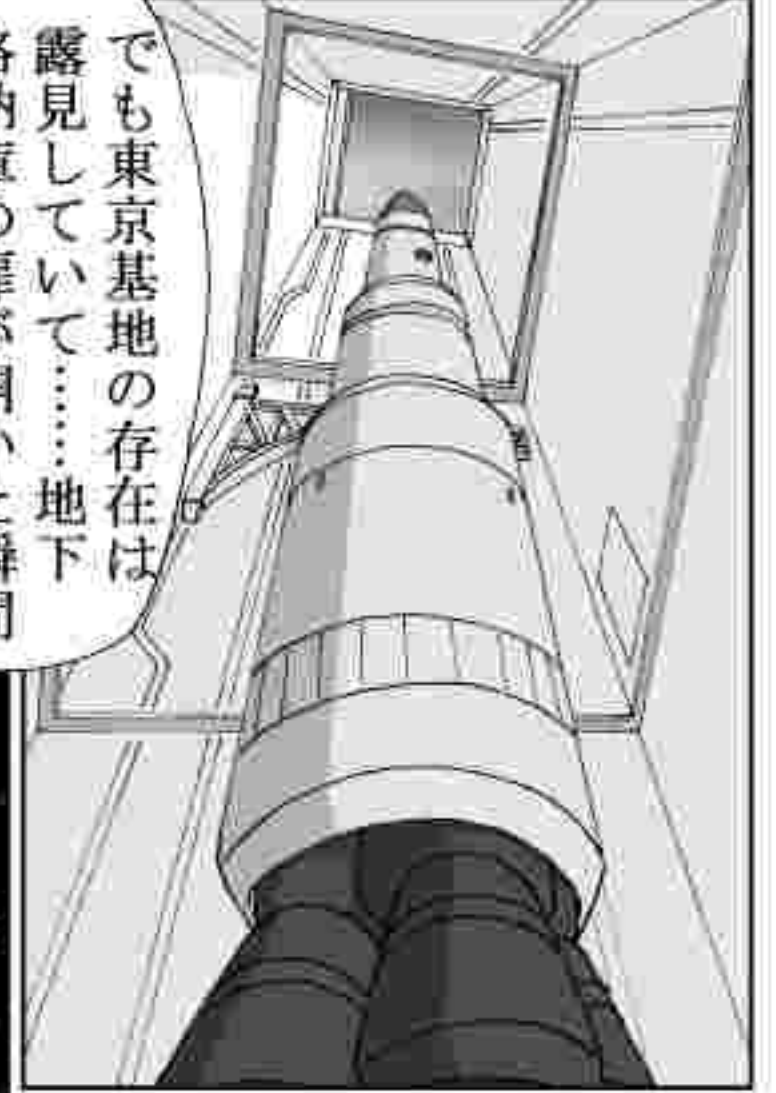


東京には侵略者が  
核ミサイル基地を  
秘密裏に建造し  
開戦時に発射される  
はずでした…

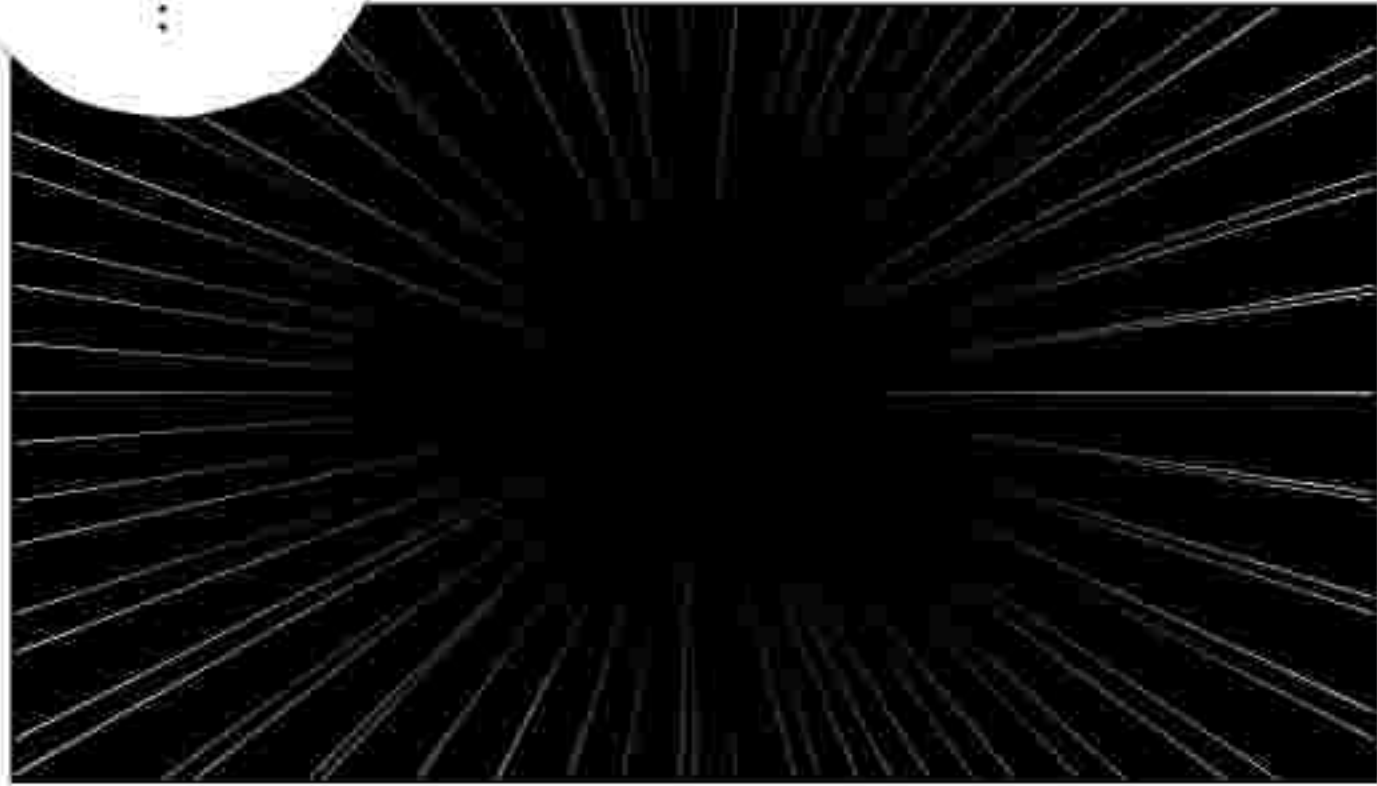



てほど一瞬……

でも東京基地の存在は  
露見していて……地下  
格納庫の扉が開いた瞬間  
連合国が極秘に配備して  
いたレーザー衛星が…



おそらく核兵器の  
起爆装置に欠陥が  
あったのでしよう…  
格納庫内で次々と  
爆発を起こし……





皮肉なものです  
日本という国は  
非核三原則を守って  
いましたが……

結局は核ミサイル  
基地が造られ……  
結果……大被害と  
なったのですから



ぽか～ ～ん



すみませんが：  
我々より詳しく  
知っておられる？

核兵器なんて…  
考古学者でも  
よくは  
知らないわよ

私たちが夕狭霧家  
はあの雪桜姫の  
子孫なの  
日本消滅前後  
の混乱の時代…  
雪桜姫は  
集められる限り  
の情報がある  
場所に隠した…  
…  
…  
…  
文化などを  
伝えるために…  
これを守る  
のが私たちの  
使命：あなたには  
その隠し場所を  
教えておくわ



でも…  
この場所には人々の  
役に立つ情報だけ  
ではなく危険な兵器の  
建造技術なども  
ごちゃまぜに  
保管されている  
だからこの事は信用  
できると思っただ人に  
しか話してはならない  
…と決められたの



私は…  
この人達を  
信用できるの  
だろうか…



本当なの  
お母さん…？

ええ



……



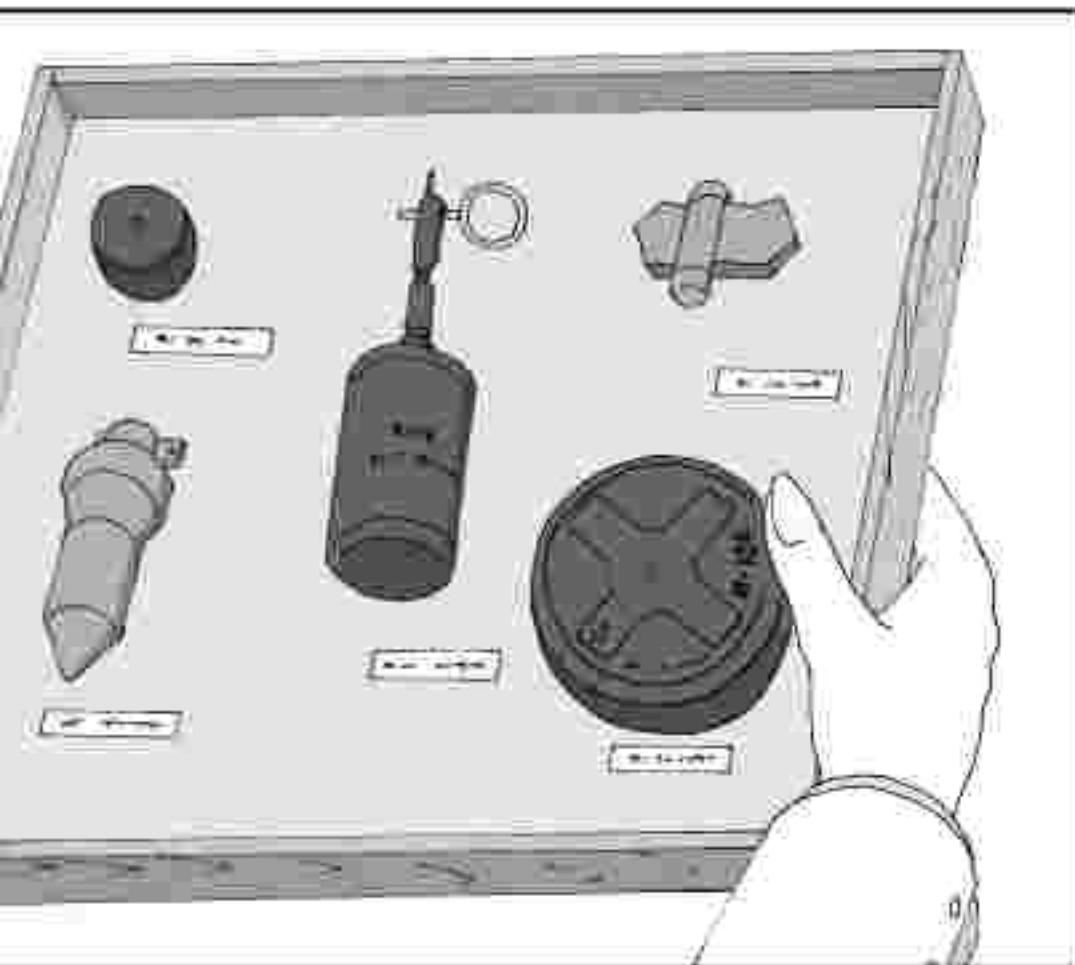
え……いえ……  
何かの雑誌の  
受け売りですが……

記憶違いかも  
しれません……



ええ……いいですよ  
これは我々が  
掘り出したもので  
サンプルとして  
置いてあるんです

火薬と信管は  
抜いてあります



やはりメイド  
インジャパン

……過去の  
負の遺産ね……



ん……？  
そんな  
雑誌が……？

……あら？

そこにあるの  
地雷？この辺りに  
埋まっていたの？

見せて  
くれない？



ええええ~~~~  
じやあご先祖様!?

当時から高い工業力  
を持っていた日本は  
侵略者におどされて  
地雷や各種兵器を  
作らされていたの

占領前は平和主義  
を唱えながら  
銃を突きつけられ  
ると戦争に協力し



あまりに情け  
ない日本の  
男達を見限り  
……

大洋間戦争後の  
混乱の中……たった  
七人の少女が  
独立戦争を  
始めた……

ああ……  
そこからの話は  
有名ですよ

ゆきざくら  
雪桜姫と  
解放軍

彼女たちが我が国の  
国名の由来であり  
王家や貴族の祖先である……  
やがて多くの人々が  
解放軍に加わり  
七姫国建国を宣言……

太平洋人民共和国は  
中東など各地で反乱が  
あいついだ事もあり  
鎮圧に失敗した



でも何で「日本復活」で無くて七姫国建国なんだろうね？



それについては諸説あるけど私が思うには……

日本をそのまま復活させてもすぐにまた侵略され兵器工場にされると判断したんだと思う……



だから彼女たち「七姫」は支配者になって侵略されにくい国を創った……日本という国には「生き続ける力」は無いと見限ったのよ……

……生き続ける

生き続ける為には戦いたく無くても戦わなければならぬ時もある

……力……

日本にはそれができない……

特に……男が頼りなかったんだと思う



何か……

すみません

でも七姫のリーダー格といわれる雪桜姫は支配者にならなかったのよね……



ええ……七姫のうち彼女だけが本名も戦後の消息も分からない……

建国神話では……「私の役目は終わった」と言い残し指導者の地位を腹心の友に譲って立ち去った……と



なんかカッコいいなあ……雪桜姫って歴史上の人物で一番人気あるよね

子孫が名乗り出れば国王でも首相にでもなれるんじゃない？

まあ……そういうサギはよくニュースに出るな……

実は雪桜姫は……





人気をねたむ  
他の姫に暗殺  
されたのです！

な……  
なんだって  
っ!?

まあ：弱ければ  
独立戦争  
勝てませんよね……

いくら太平洋人民  
共和国が大洋間戦争  
で瀕死とはいえ……

雪桜姫の活躍で  
有名なのは東京での  
戦いですよね！

ええ……と言っても  
例によって資料が  
ほとんど失われて  
いるんだけど……

たしかに  
そういう説  
もあるけど

わたくしは  
違うと思う  
わ……

だって雪桜姫  
強いもの……

人間とは思え  
ないくらい……

建国神話では……  
七姫はこの地の住人に  
よって召喚された  
13人の悪魔に追い詰め  
られたと言われている

悪魔というのは多分……  
密告者の通報で対ゲリラ  
戦用の特殊部隊が攻めて  
来たのでしょね

そう言う仲間が  
引き止める  
間もなく敵に  
向かっていった

突然敵の一人が  
地面に倒れた！

そして次々と  
倒れていく!!

六人の姫たちは  
何が起こったのか  
分からなかった

気がつくとも13人の  
悪魔は残らず倒れ  
雪桜姫は皆の元に  
帰っていた……

七姫たちは恐怖で  
戦意を失いかけた

しかしただ一人  
雪桜姫だけが  
立ち上がり言った



「私が一人で  
戦います」

制止の音があがる



「大丈夫です  
敵は群れているようで  
実は孤独です……ですが  
私には皆がくれた  
力があります」

飛龍の姫が心配そうに  
駆け寄る……「ケガは  
ありませんか」

「大丈夫です  
親友よ」



騎馬の姫がたずねる  
「いったい何が  
起こったのですか」

「私は証明したのです  
我々は心無き者には  
絶対に負けぬと」





カッコいいなあ…



実際にはどんな戦いだっただろうね？



うーん…  
目にも止まらぬ  
超スピードで敵を  
倒したとか…？

あるいは何か特殊な  
武器か乗物を  
使ったのかも？

いえ…雪桜姫は  
そんなに勇敢では  
ないですよ…  
…と思います…

え…？



…それにしても  
一人で特殊部隊と  
戦うなんて  
すごい度胸と才能だ…



うらやましいよ…

何か…知って…？

…あ…  
その…



…雪桜姫は…  
仲間を守りたかった  
だけなんです…

彼女は本当は軍や組織を  
指導する素質なんか  
持ってないんです



本当は雪桜姫も  
怖かった…

逃げ出し  
たかった…



でも仲間を  
守るため…

大勢の人々の  
未来のため…

震える手で自分より  
はるかに強大な敵に  
戦いを挑んだ…  
…のだと思います



雪桜姫は  
普通の人間  
だったと…？

自分は雪桜姫  
には英雄でいて  
ほしいです…

でも雪桜姫の本物の  
子孫が名乗り出て  
政治家になつたとして  
…七姫国は本当に  
良くなるのかしら？

独立戦争時の詳しい  
情報とか…何か子孫と  
分かる証拠を見せれば  
大衆の信用を得られて  
どんな改革も  
やりたい放題っすよ

そういう  
ものかしら…

まあ…雪桜姫伝説が  
美化されている可能性は  
あるわね…

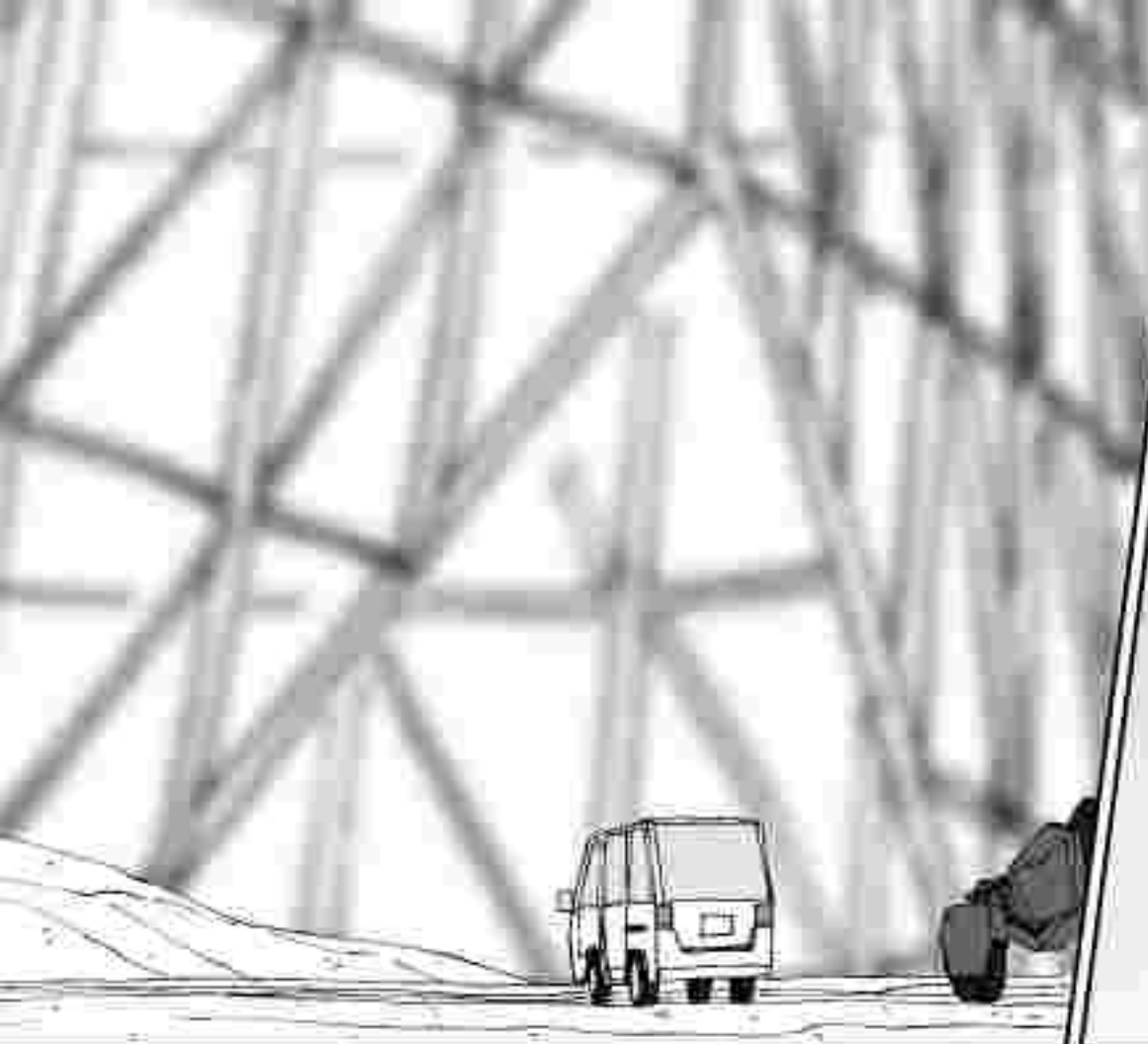
七姫政府は建国の気概を忘れ  
大国の機嫌をとる事しかせず  
国の将来像も示せない…  
七姫の子孫がいばる一方で  
庶民は格差社会に苦しんでる

国民全体に「また  
雪桜姫があらわれて  
助けてくれないか」と  
いう待望があるのかもね

つい話し込んで  
しまったわ！  
発掘作業  
しないと！！

はっ！

あ…！



キキッ



あ…ええ  
お願いするわ…



ようやく…  
来れた…



←るすばん



ゴオオ…



でないど地雷を  
踏む可能性が  
あります！

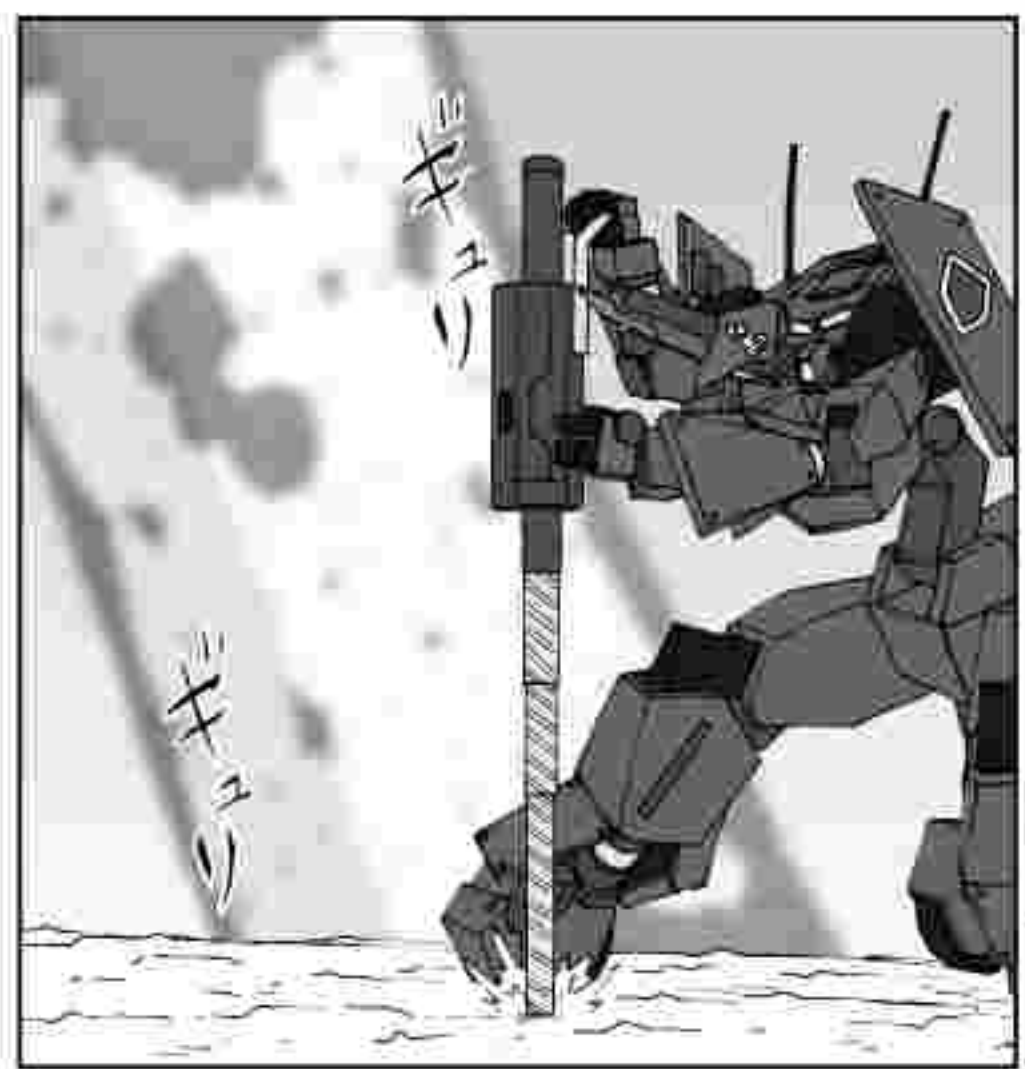
ゴオオオ

僕の後を正確に  
ついてきて下さい



了解…！  
すみません

ギョリッリッ!



ルルちゃん  
塔の土台の深さと  
形状が計測できたよ

ありがとう  
これで塔本来の高さ  
を計算できる……って  
誰がルルちゃんよ!



これでバベルの  
塔の謎が解明  
されるんですね

楽しみだわ……

あ……ごめん頼子さん  
……バベルの塔っての  
ウソだから……



やっぱりドリルは  
いいわね

本来は地雷探査の  
ために買ったん  
ですけどね……

各機  
地中用音波探知機  
設置完了!



ええっ!?

ひどいですよ!  
じゃあ本当は何て  
名前なんですか!?

え……と……  
……その……







ここは  
あたしに  
まかせて  
もらおう…

ザッ  
アッ

こんな事になつたのもあたしの責任

あたしの能力で解決するのが筋というもの…

……は？

オ…

オタク  
ですってー!?

びくっ

あ…明理佳…  
能力って…?

何を言ってるんだ…?

オタクって…?  
知っているんですか土竜さん

古代日本に  
実在し  
ニンジャと  
並んで人々に  
恐れられた  
超戦士の事よ…

あたしの…

先祖は…っ!

オタクだったんだあーっ!

オタクとは(中略)  
ニンジャ同様に正体や活動内容を他人に明かす事を禁則事項とする掟のため真実は不明  
…しかし数少ない目撃情報では彼らは年に二回アリアケやハルミの地に戦装束で集い武道の奥義を記したドウジンシなる物を交換していた  
そこで重さ八十キの荷を持ったまま八時間以上走り続けるほどの身体能力を持っていた

七姫国王立最高学術院  
公式編纂辞典より

さ…  
さらだー!

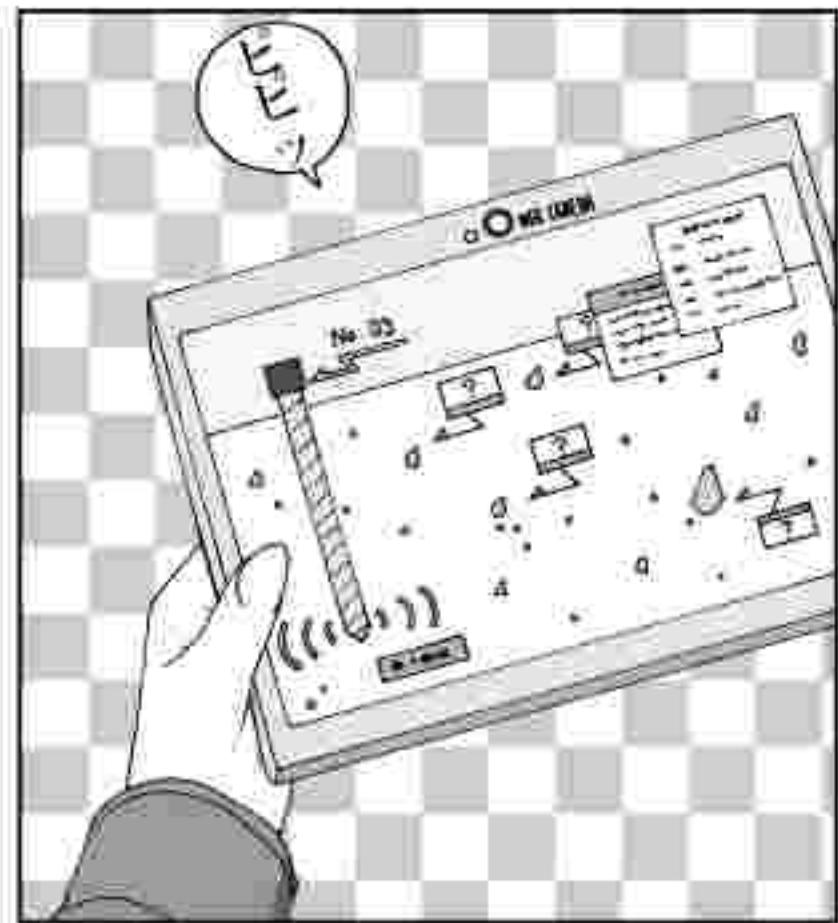


30才になった  
オタクは魔法が  
使えるように  
なるという！

おおっ！  
カッコいい！！

何かいろいろ  
間違ってる！







…昔……  
私が名古屋紛争に  
従軍した時……

色々……あつてね……

どんなに強くても  
人は助け合わなけ  
れば……

ありがとう

……生きて  
いけない……

ある時……私が所属する  
中隊がささいな事で  
仲間同士でいがみあう  
ようになって……

戦闘になつても  
お互い助け合わず……

結果……格下の敵小隊に  
中隊は壊滅させられた  
わ……

私も同じ隊の一番  
の親友に「二度と  
あなたの顔なんか  
見たくない」って  
言っちゃつて……

その通りになつて  
しまった……

その時にそう  
思った……から……  
私は何があつても  
仲間と……

仲良く  
やっつていこうつて  
……決めたの

そう……ですね……  
一人で何でもできるなら  
左目を失う事もなかった……

……真白……  
ちゃん……？



最近…私…  
口数が多く  
なった…気が  
する…



だめなのに…



それじゃ…

四話友

太平洋人民共和国と対立する  
環インド洋連盟国：  
その国境付近

大隊長どの  
報告します…

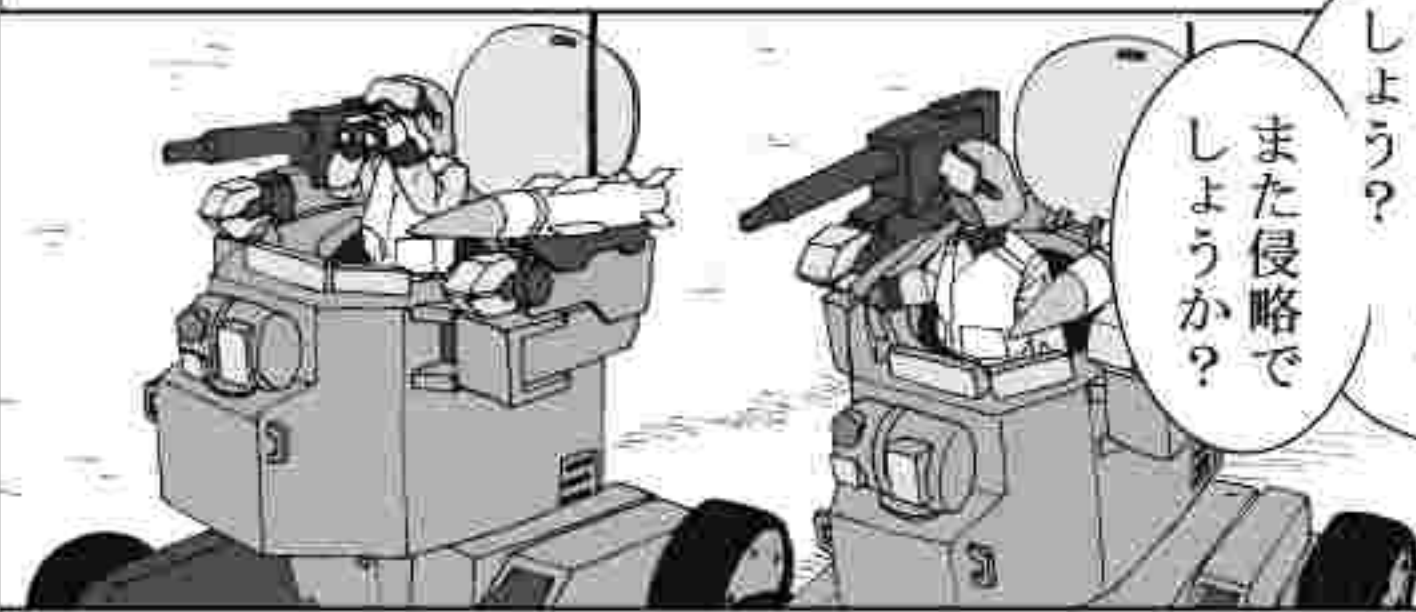
国境付近に現れた  
共和国の無人機  
部隊は今だ動きは  
ありません

うむ…



共和国は何を  
考えているので  
しょう？

また侵略で  
しょうか？



…いや…  
それにしても  
数が少なすぎる



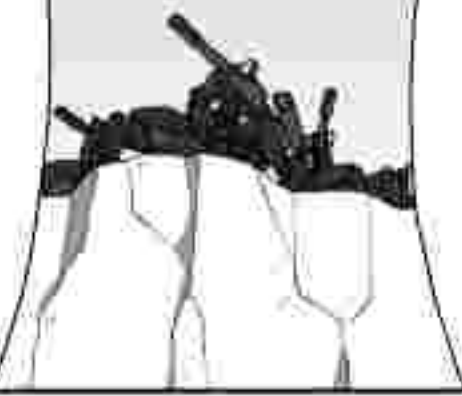
だが挑発  
くらいは  
してくるかも  
しれん  
用心しろ

はっ



…やつら…

こちらを監視している  
ようにも見える…  
まるで何かを試そうと  
しているような…



まったく共和国は…  
…軍事大国で  
逆らえる国が少ない  
からって…  
やりたい放題だな…  
…くそっ！

何っ!?

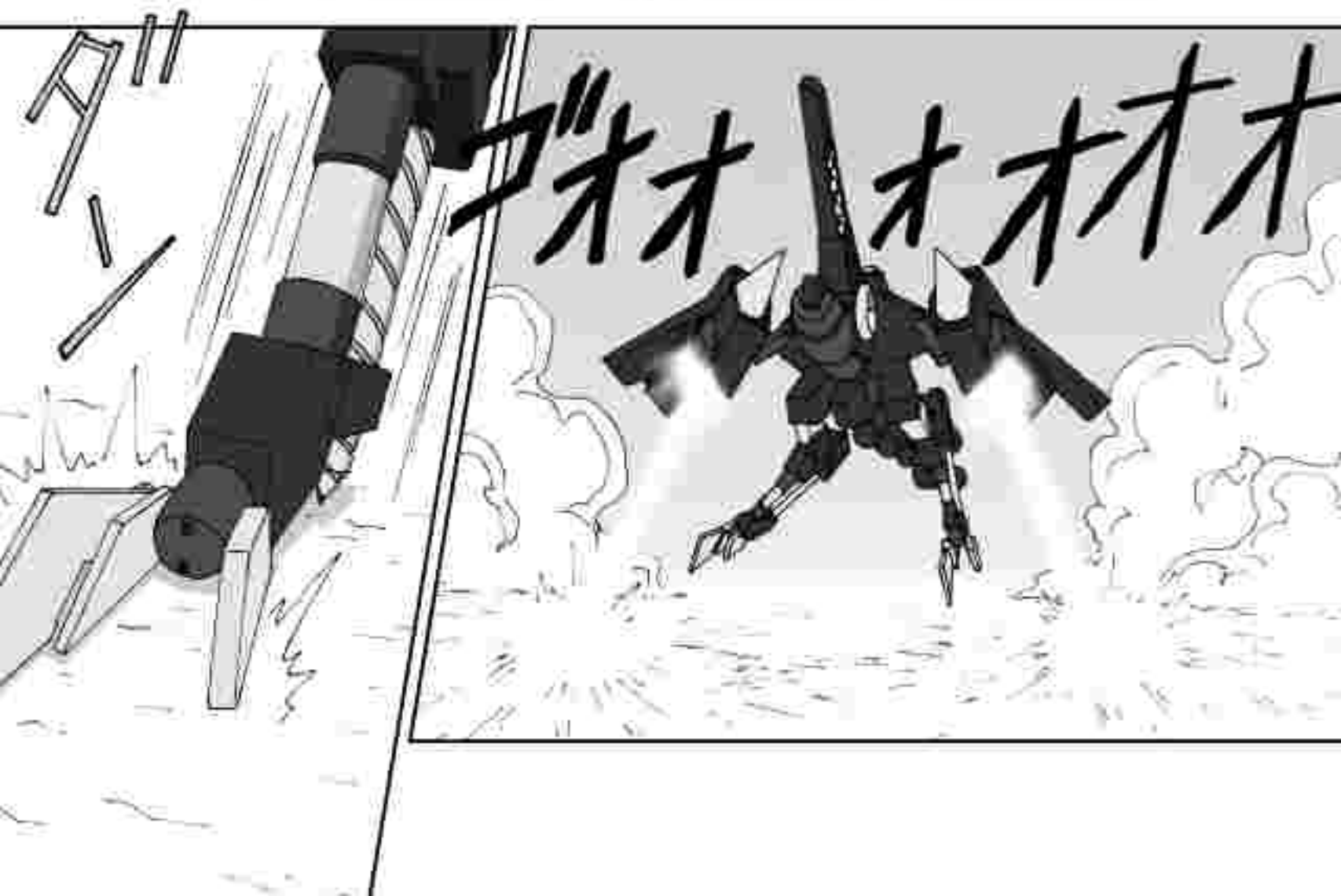
大隊長どの  
…共和国の  
爆撃機が！



ブオオオ…







く…敵対行為と見做す…全隊…



大隊長どの！敵機より妨害電波が!!! 師団本部とのデータリンク途絶しました！

コ"オオオオ

攻撃開始!!!



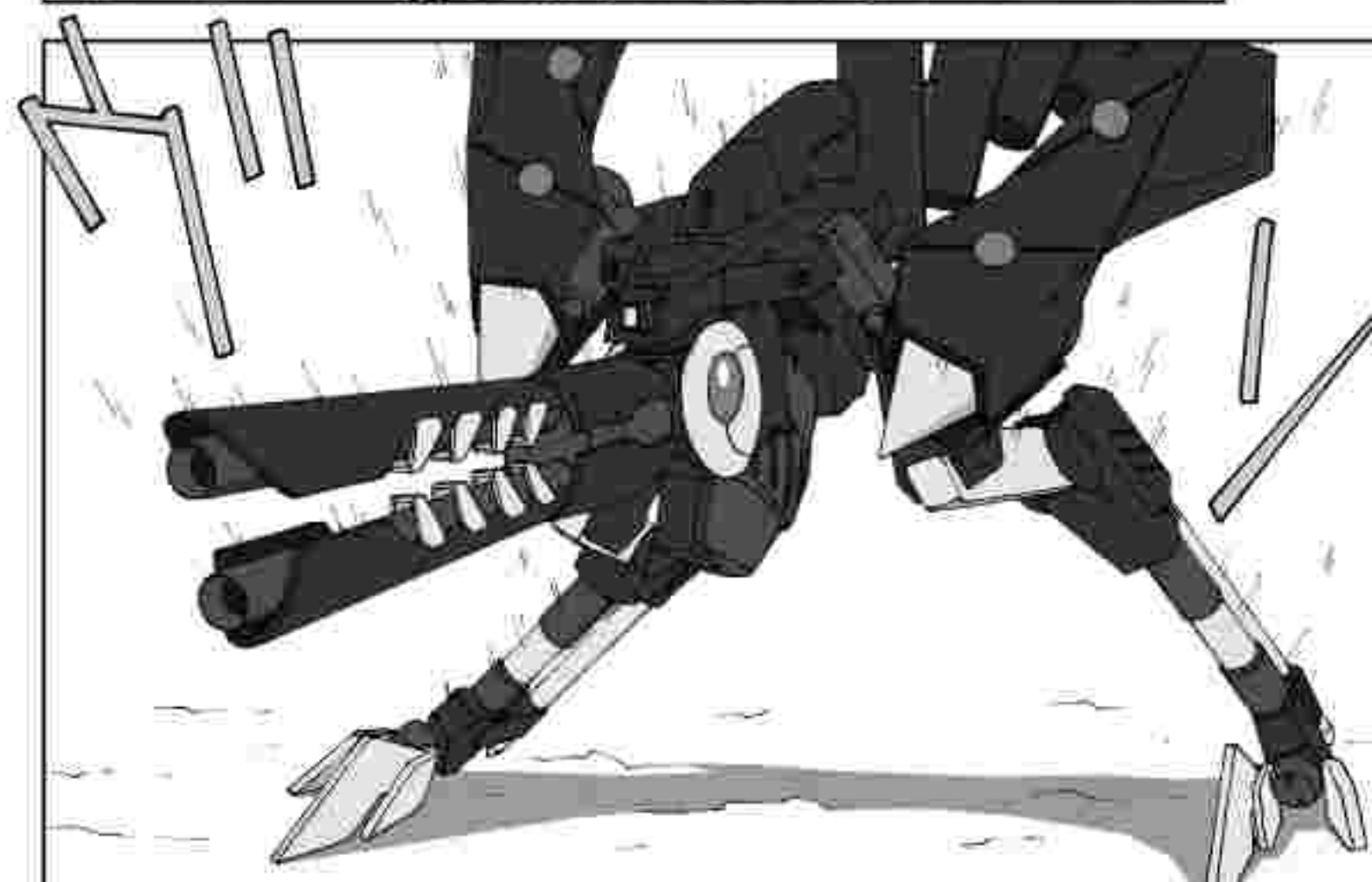
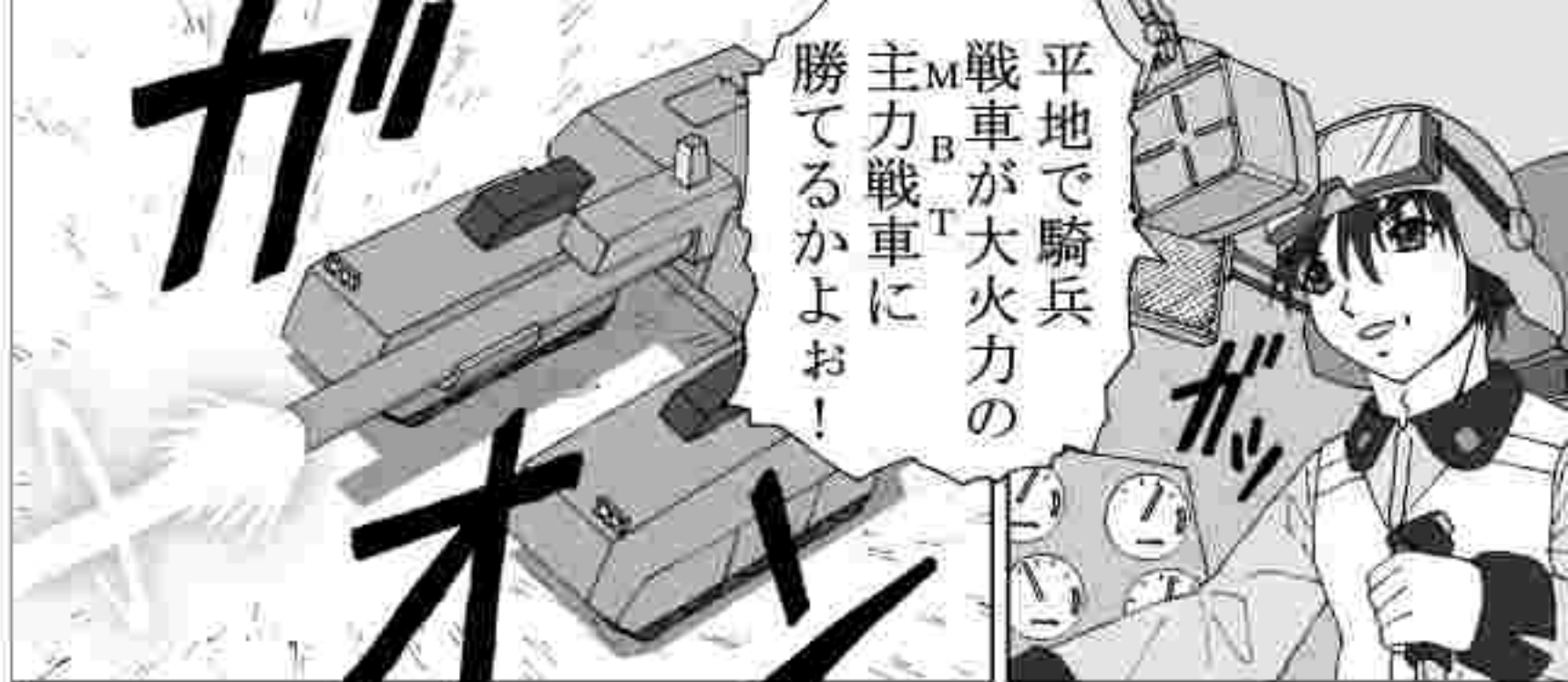
共和国の騎兵戦車が2機…？見た事無い型だ…



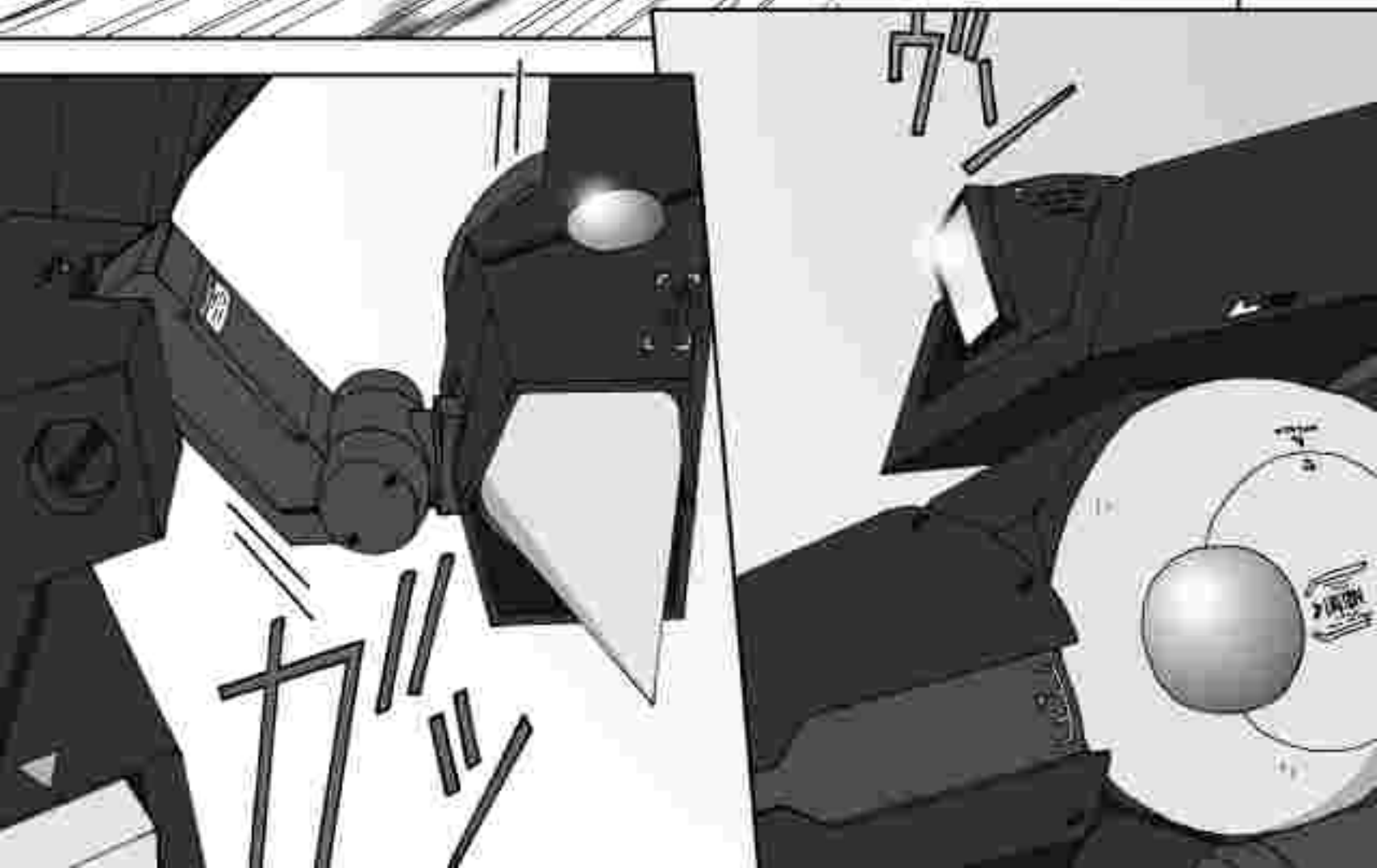
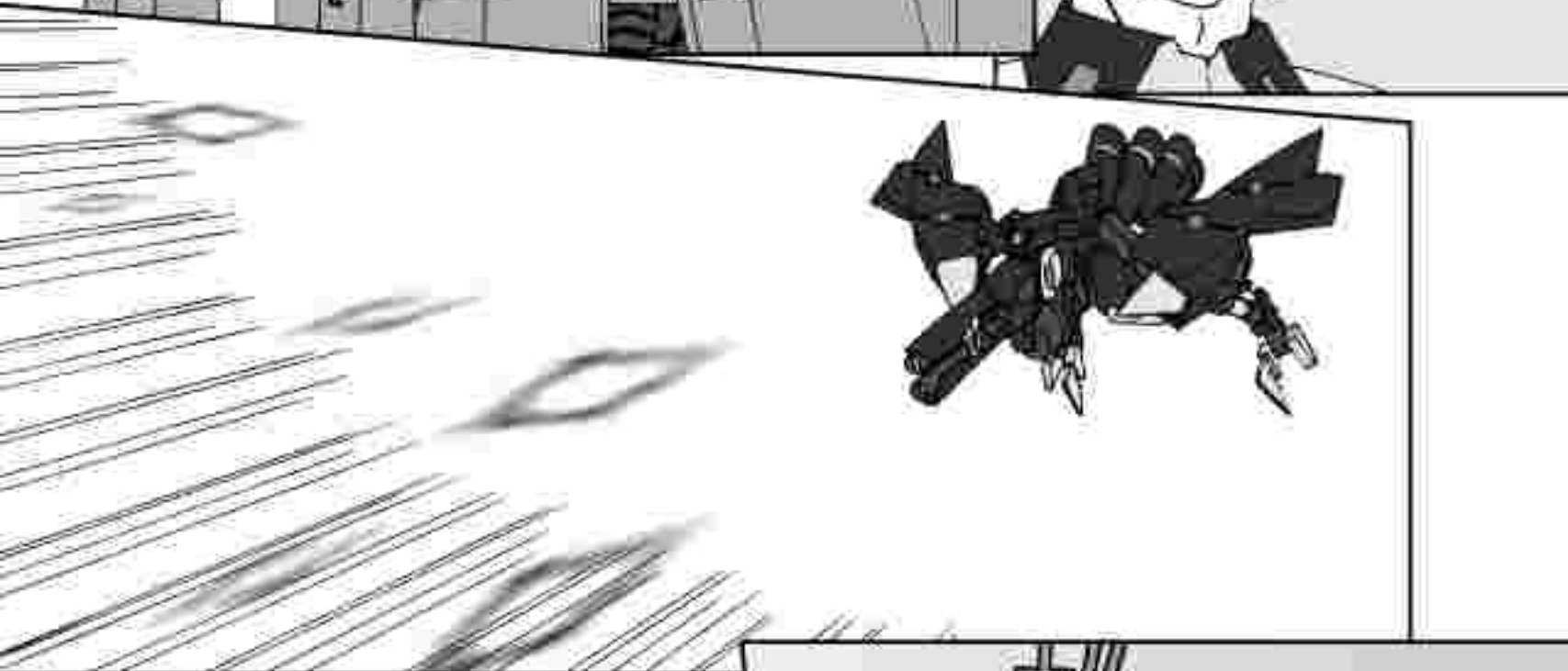
どちらも人が乗るスペースが見当たらない

…無人機か…？

4本足のが背負っているのは電子戦用装備…？データ収集用の機体か？



全大隊  
対空射撃！

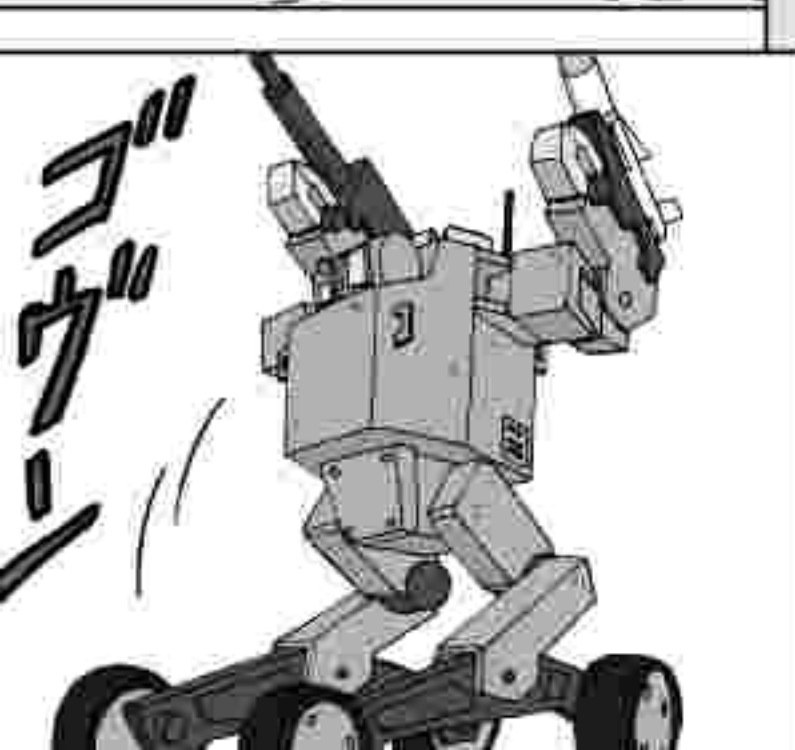
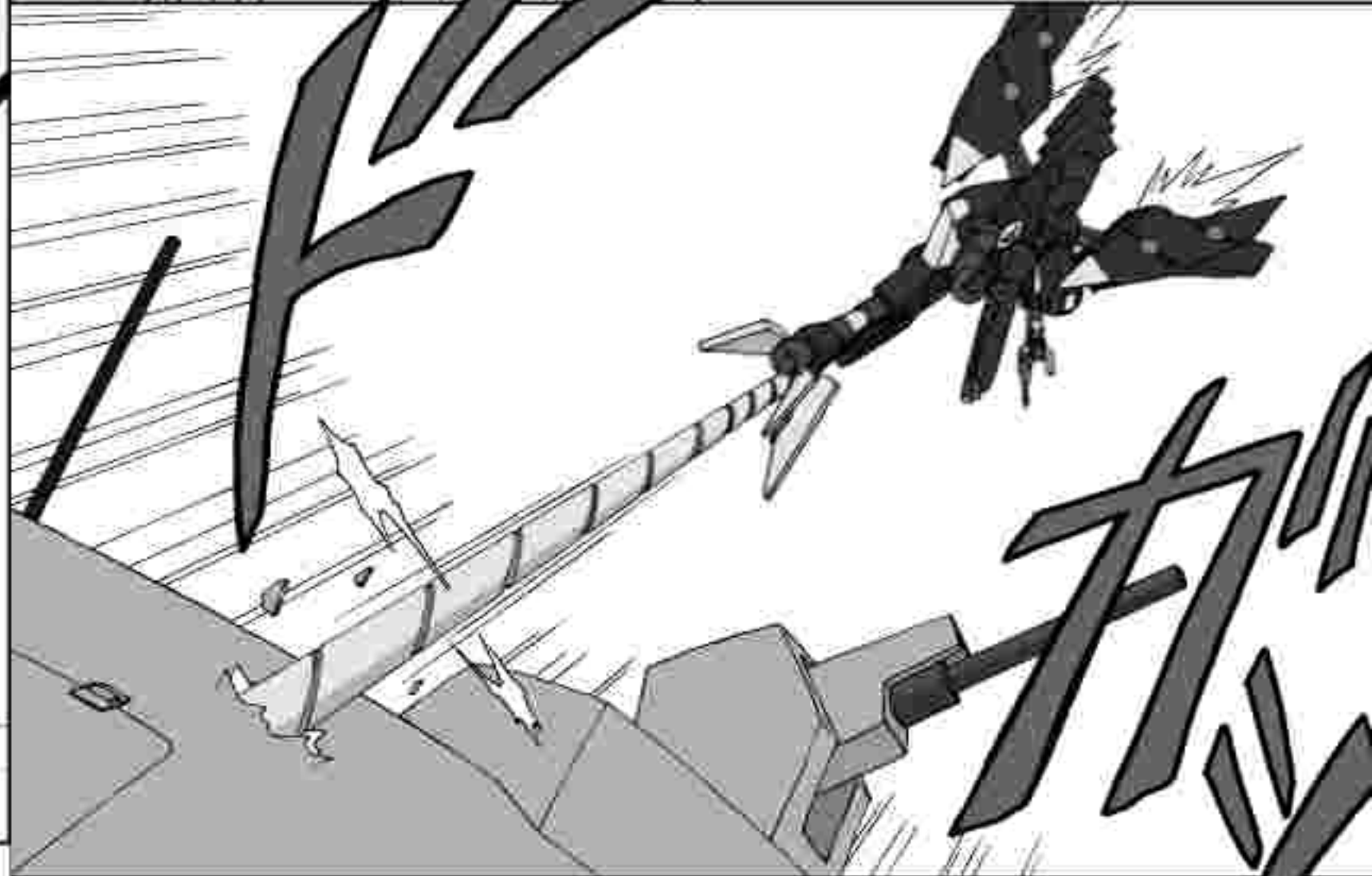


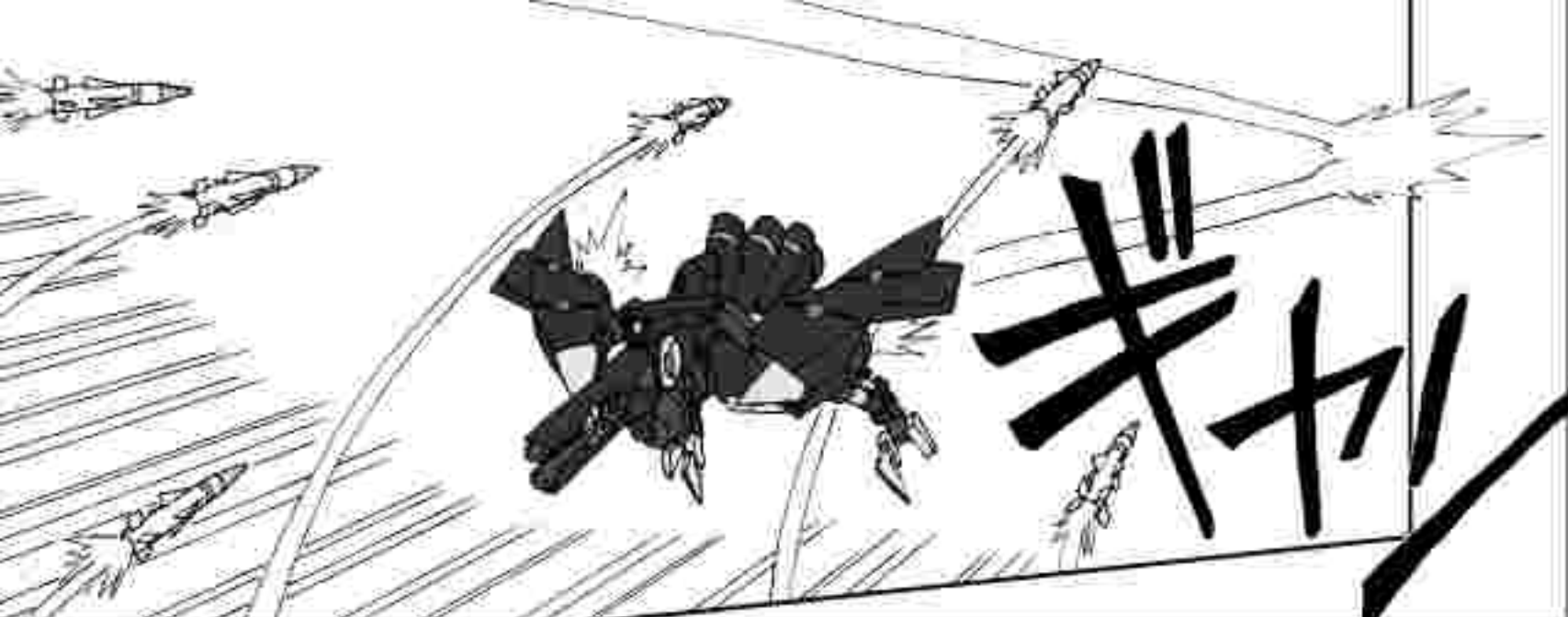


かわしたあ...!?



だ...弾丸を...





人間には勝てない...!!

人間を超える反応速度と耐G性能...

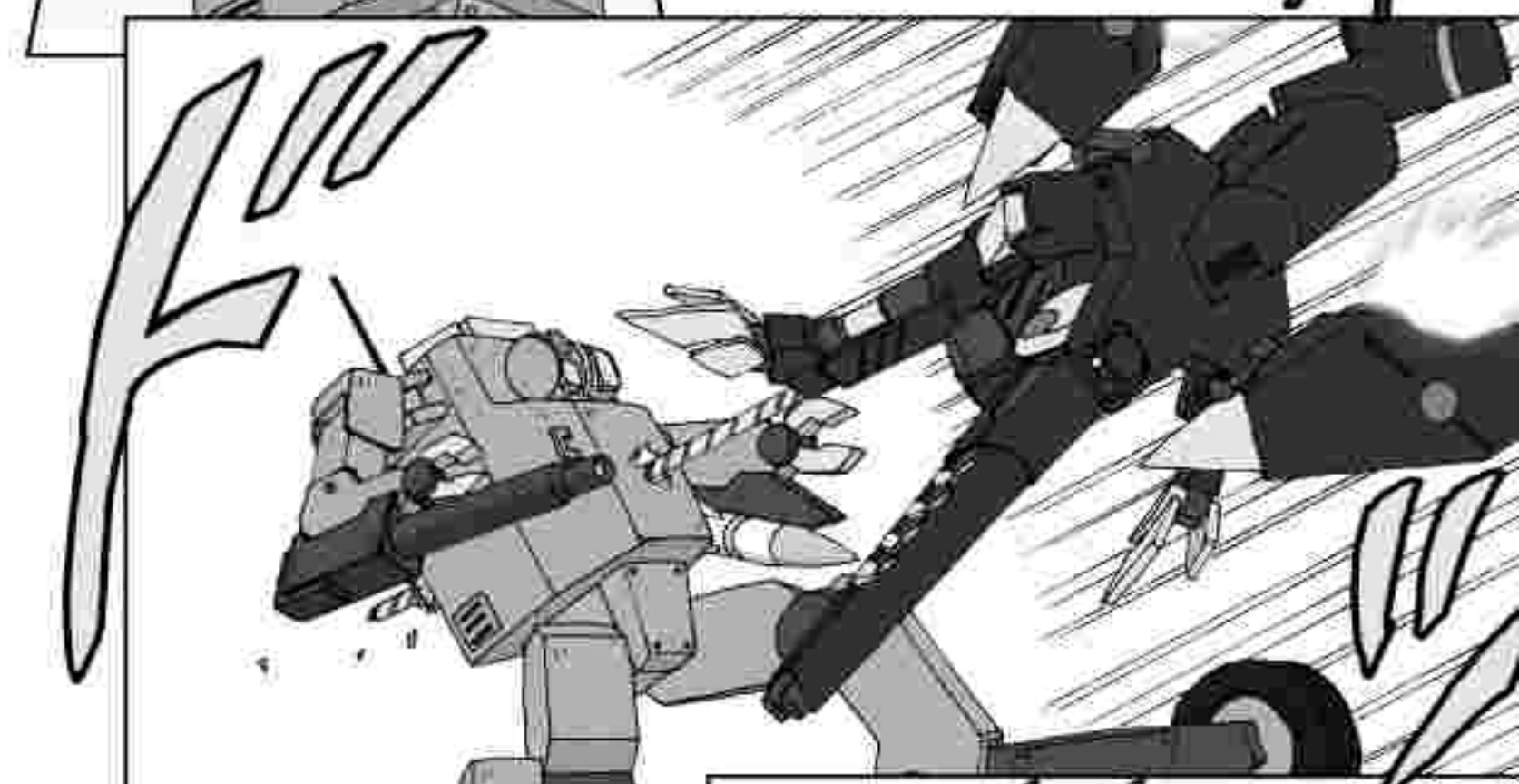
大隊長どの!! 18番機大破!

6番機大破!

主力戦車3番機大破!

31番機大破! 戦列維持できません!!

例え何十機の戦車を投入しようとしても...



退却だ! 大隊全機...

退...がはっ!?

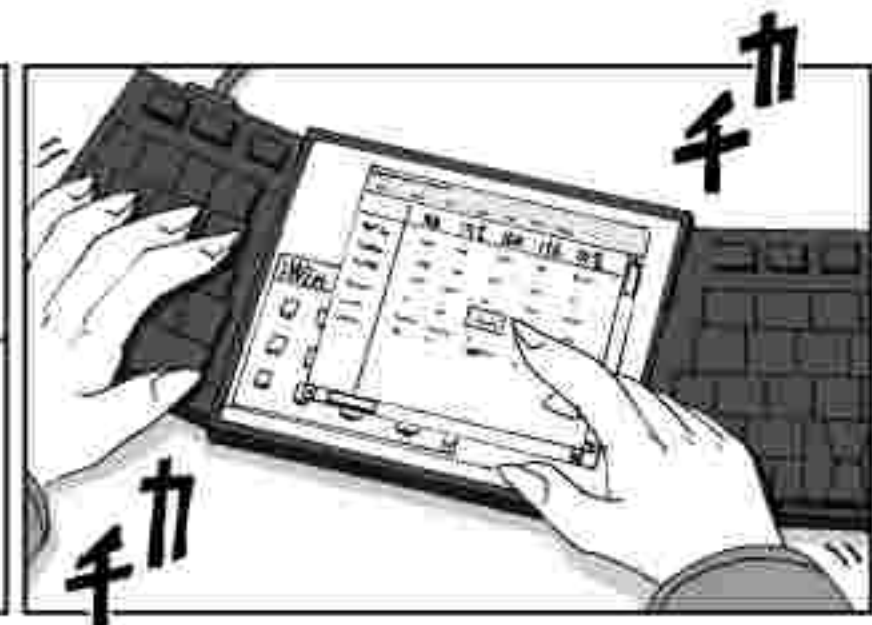


はは…  
すみませんねえ  
司令官は  
留守か？

相変わらず  
本人確認の必要も  
ないほど個性的な  
勤務態度だな

ども！司令部参謀の  
えんじょう  
炎上中佐です  
司令官から伝言です

隊長！  
訓練日程表  
作成でき  
ました  
うむ…  
ご苦労



…あ！司令官  
めずらしく隊長さん  
いましたけど…  
…何イ？すぐ  
代われえい！



大神一等兵！  
予算配分表は  
できたか？  
もうちよつと  
待ってて…  
今年も  
部隊運営資金の  
支給が遅れていて…  
食費が足りない  
のよ…  
貧乏な軍隊は  
つらいわね…

ハードな訓練を  
無くせば  
カロリー消費が  
減って食費を  
削れるんです  
けどねえ…  
お前が言うのと  
サボりたいだけ  
に聞こえるな…  
隊長！  
司令部から  
通信が…  
うむ…  
俺のPCに  
つないでくれ





ふん…今日は  
いたか



突然だが明日  
ドローン  
無人騎兵戦車と  
新装備を送る

CV-17輸送機の  
着陸準備をしておけい！

無人騎兵戦車…？  
この基地には  
トルーパー  
有人騎兵戦車だけで  
十分だろう！

だいたい俺は  
無人機は好かん

遠隔操作を妨害され  
れば自律行動させる  
しかないが…

…お前の女房の  
事を忘れた  
わけではない

だから軍人も民間人も  
みさかい無しに殺す



しよせん人工<sup>AI</sup>知能には  
人間並みの判断力は無い

だが理由が  
あるのじや

太平洋人民共和国と  
環インド洋連盟国との  
国境で何かあったらしい

何か…とは  
具体的に何だ？

そこまでは分からん…が  
我が国に敵対的な太平洋  
人民共和国で妙な動きが  
あるのは確かじや

これはワシの  
勘じやが…この先  
何かが…起きるぞ

だから西日本の基地は  
すべて強化する事にした



…



開発部から来ました  
多々乃美枝少佐です



いわゆる「姫」の  
一人だよ…

知っての通り  
七姫国で「姫」といえば  
伝説の七姫とその  
子孫の女性のことだが…

軍内部などで「姫」は  
一般人より出世が  
早かったり優遇されている



しかし…  
それをいいことに  
いぼりちらす姫もいる

彼女もそういう  
一人だと聞いた…  
まあ…まじめな  
姫も多いけどな…

理想的な国を目指して  
七姫国を建国したはず  
なのに…うまくいかない  
ものだよ…



多々乃少佐か…  
めんどろなものが  
来たな…

え？…どんな  
人なの？



早く帰りたいから  
さっさと運んで！

この基地の補給担当は  
誰？早く出てきなさい！



何か…パワハラ  
受けそうな気が…

ふむ…まあいい  
代わってやろう



上官に暴言を  
はいたからには  
厳罰ものだが……

まあ大目にみて  
やろう

だがな……

これは  
貸しだからな

この貸しは  
一生消え  
ないからな

一生恩を  
忘れるなよ

ぬが  
ああ  
ああ  
あーっ!!

隊長さん……  
怖い人だった  
んですね……

大丈夫よ……  
怒らせなければ

それは  
さておき……

新兵器について  
説明して  
もらおうか

うう……  
……はい

これが20式無人  
騎兵戦車です……

大西洋  
連合国から  
供与された  
技術を元に  
私が開発  
しました……

首都防衛隊に  
配備予定だった  
最新鋭機ですが……

そのうち16機が  
この基地に  
回されます

大西洋連合国から  
技術をもらったんだ……

太平洋人民共和国と対立  
しているのは連合国も  
七姫国も同じだからな……  
敵の敵は味方だよ

連合国は七姫国に  
人民共和国を牽制して  
ほしいんだらうな

こっちは？

しょうき  
装騎用の  
光学迷彩です…が  
まだ二組しか試作  
できていません…

ノイズキャンセラー  
ってヘッドホンとか  
に付いてるやつ？

原理は同じね…  
これは機体の  
駆動音はおろか  
切削音まで  
消してしまう  
強力なものだけど

階級の高い  
者に優先的に  
与える…との  
司令部からの  
命令です

…そうか…

この対戦車刀も  
新型か？

ノイズキャンセラー  
はい…消音装置と  
光学迷彩に  
対応したものです

何か…カッコいい  
ですね…

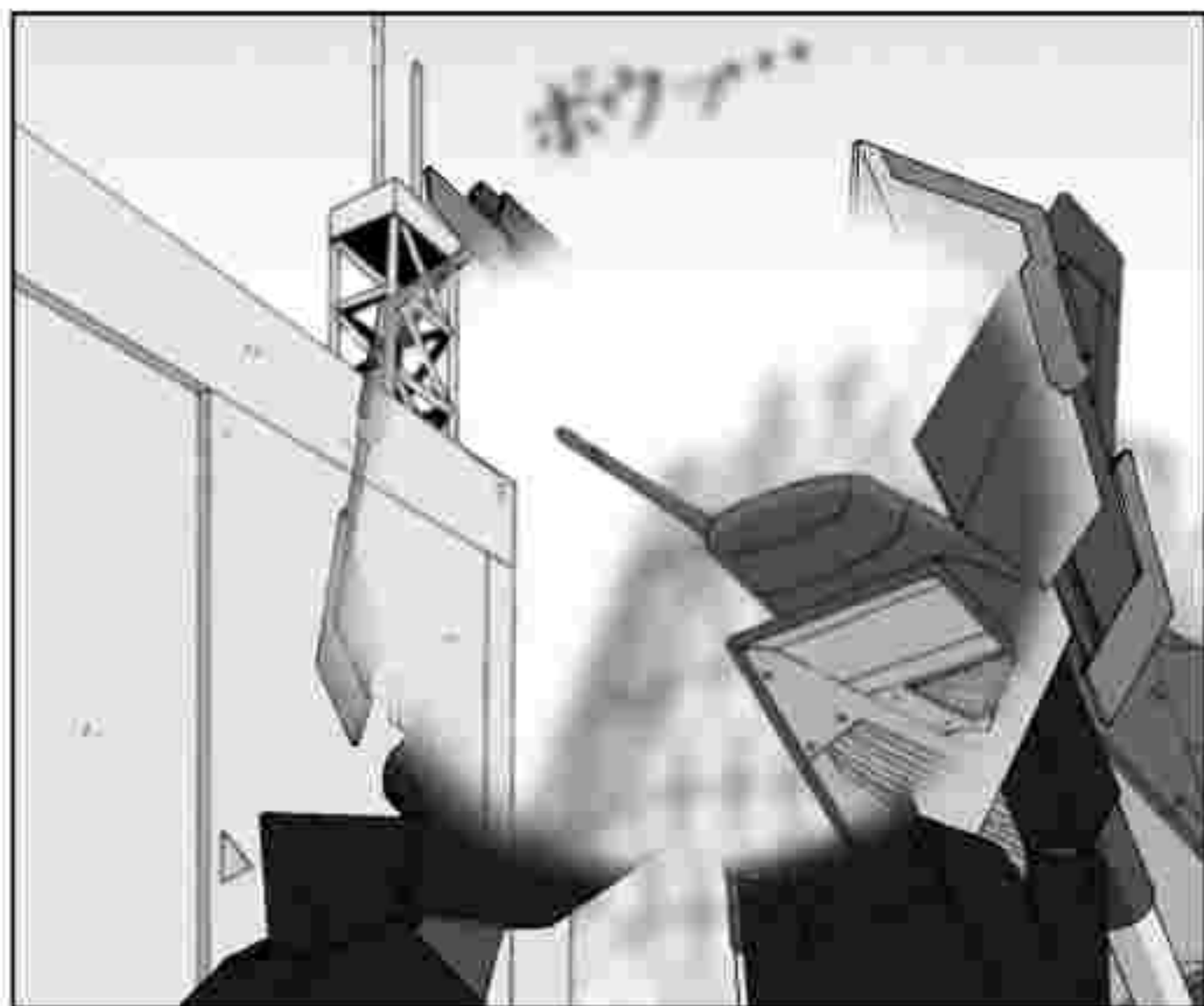
真白ちゃん  
あれ使ってみたい？

中将殿！機体に  
光学迷彩を設置した  
のでテストをお願い  
いたします！！  
分かった！

ザッ

むー







多々乃少佐!

ひ...ひやい...!!  
なんででしょう?

足跡は  
光学迷彩で  
消せない  
のか?

それは...原理的に  
ムリです...  
...すみません



あの...足跡を  
つけない  
方法なら  
ありますが...

ん...?



すでに  
付いている足跡の  
上を歩けば  
いいんです



こうやって  
...  
...



さすが  
真白ちゃん!!  
隠れる事に  
関しては  
天才的だね!

ほめてるのか  
それ...



...せこい  
光学迷彩...

ぼんっ



失礼ね!!どこの  
国のも同じ  
ような性能よ!

大洋間戦争で失われた  
製造技術が最近  
どっかで発見されて...

公表されたそれを  
復元しただけ  
なんだから!



少しでも見えにくく  
なれば無人機や  
ミサイルのセンサーを  
ごまかして攻撃が  
当たりにくくなる...

パイロット  
人命保護の点では  
全くの無意味では  
無いわ

まあ...実戦での  
効果は操縦者の  
腕次第だけど...



あと一つ…  
重要なのが  
この通信機



連合国の無人機は  
司令部から遠隔操作する  
…というシステムなの

そのためには近くの  
有人機がこれを積んで  
通信を中継しなければ  
ならない…

20式無人騎兵戦車

司令部サーバー



通信なんぞ…  
実戦では  
すぐに電波妨害  
されるぞ

その場合は  
近くの有人機が  
赤外線通信で  
無人機を制御  
できるわ



それも不可能な  
場合はAIで  
自律行動  
させるしか  
ないけど

それだけは  
カンベンして  
ほしいものだ…

とにかく…通信機は  
鬼塚軍曹の機体に  
取り付ける



あの…私の機体  
には何か装備が  
付かないので  
しょうか…?

…あ…いえ…  
付けてほしいと  
いう訳では  
ありませんが…

何か付けて  
ほしいんだ…



ガラ…

クタ…?!

まあ…  
いいんじゃない?

どうせ何を  
付けようと装騎は  
ガラクタなんだし



そう

装騎はもう旧式機…  
新型有人機の開発予算  
が無いから仕方なく  
使われ続けているだけ



今では装騎が実戦で  
敵機を撃墜する事は  
不可能ね…最新鋭の20式は  
もちろん楽勝だけど

装騎は時代遅れの  
動くゴミ……って  
ことよ！

……

ま……私の20式の  
指揮だけやって活躍させて  
くれればいいわ

……



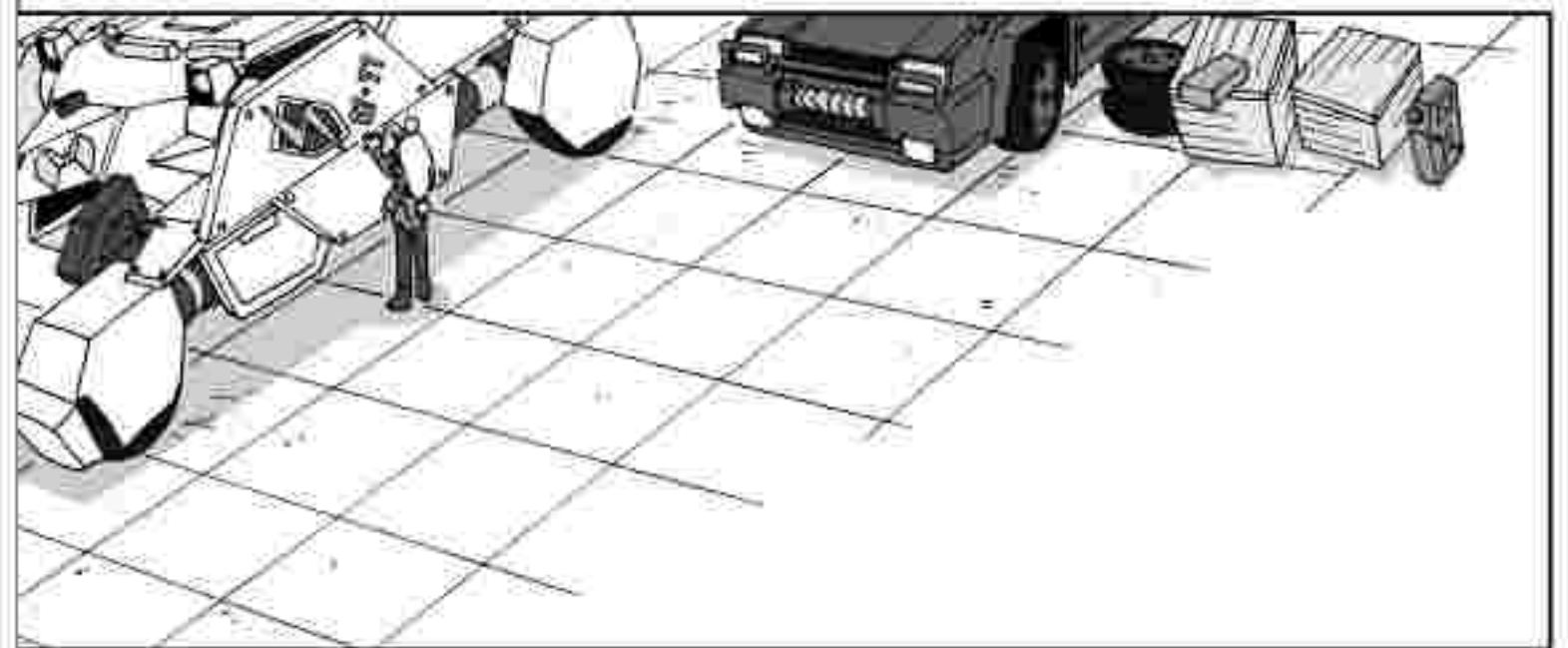


お前はいつか私が  
大活躍させて  
あげるから……

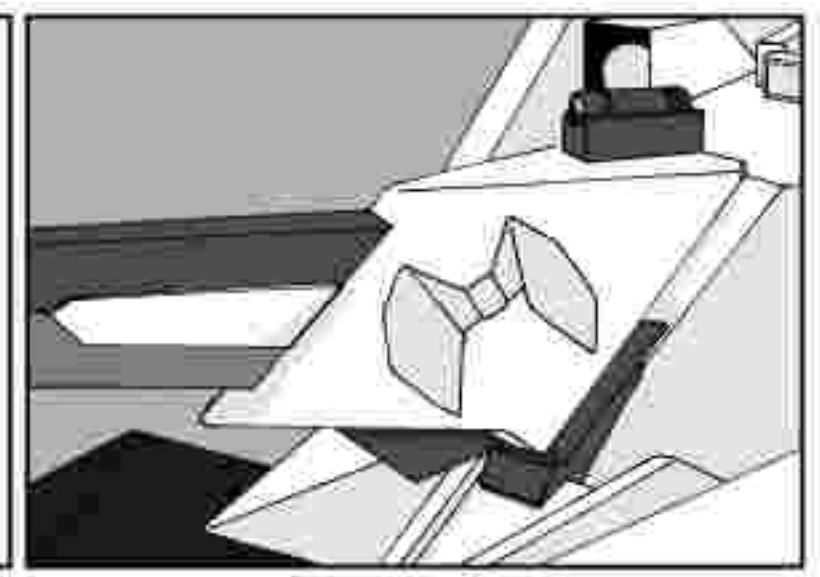
そして……  
あの偉そうな人を  
見返してやろうね……



あー……  
やっと帰って  
いった……



……？  
お前は……争いは  
嫌いな……？



……装騎……  
お前は……

ゴミなんか  
じゃないよ……



よりこ  
頼子さんが  
話があるって！



あー！！  
ここにいた！



まままま...  
待って下さい!

すると  
隊長のを...?



私思う  
んだけど...



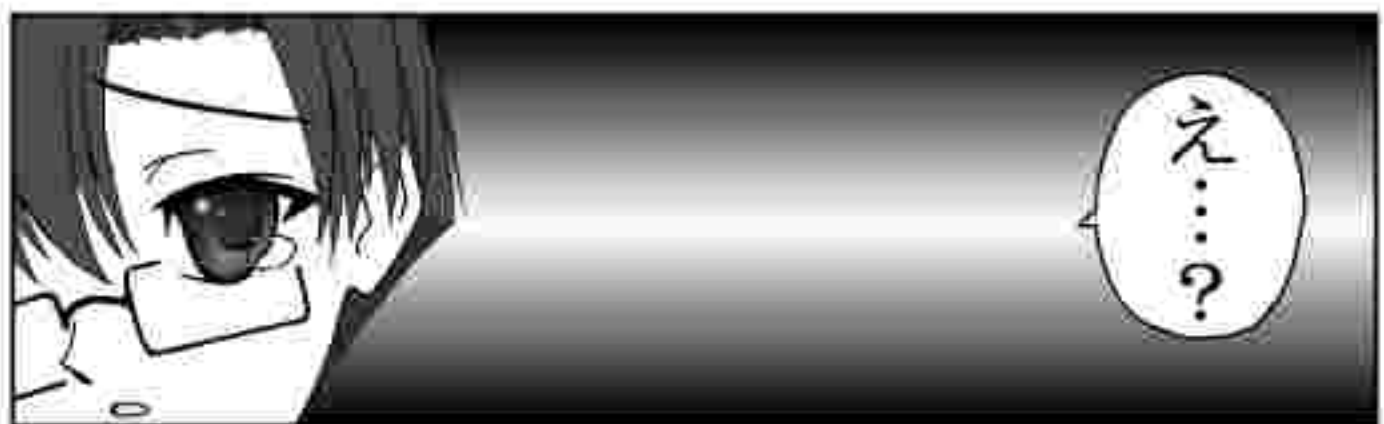
...いら  
ないの?

...いえ  
でも...

階級の高い者に...と  
いう司令部の命令に  
逆らったら皆さんの  
立場が悪く...



あの光学迷彩を  
真白ちゃんに  
使わせたいの



え...?



いや...自分が  
正しいと思っただ事は  
はつきり言っただ方が  
いいぞ

あたしも  
光学迷彩は  
隊長には  
似合わない  
気がするな...

さつきも  
使いこなせて  
なかったみたい  
ですし...



あああ...泣か  
ないで  
生存率上昇を  
喜んでいる  
初未ちゃんのは  
取りませんから

...ななな  
泣いて  
ないし!

あと初未ちゃん  
と呼ぶな!

うう…  
何か問題になったら  
私のせいに  
されるのかな…?

何か嫌だな…



隊長ーっ



そんな理由では  
聞けんな…  
出直して来い!

ええっ!?



お願いです!



ましろ  
真白ちゃんに  
光学迷彩を  
使わせて  
下さい!

ま…  
待って  
下さい!



失礼ながら隊長や  
僕より夕狭霧二等兵の  
方が光学迷彩に適性が  
ある気がします!

彼女が使う方が  
この部隊にとって  
有益だと思うんです!



ふむ…  
理由を述べよ



え…?  
えっと…

真白ちゃんが  
光学迷彩に興味  
あるらしいので…



ふむ…実は  
俺も同じ事を  
考えていた

えっ…では!

俺の機体の  
光学迷彩を夕狭霧機  
にませ換える

…司令部には俺が  
話をつけておく  
お前らは心配するな



よかったわね  
真白ちゃん!

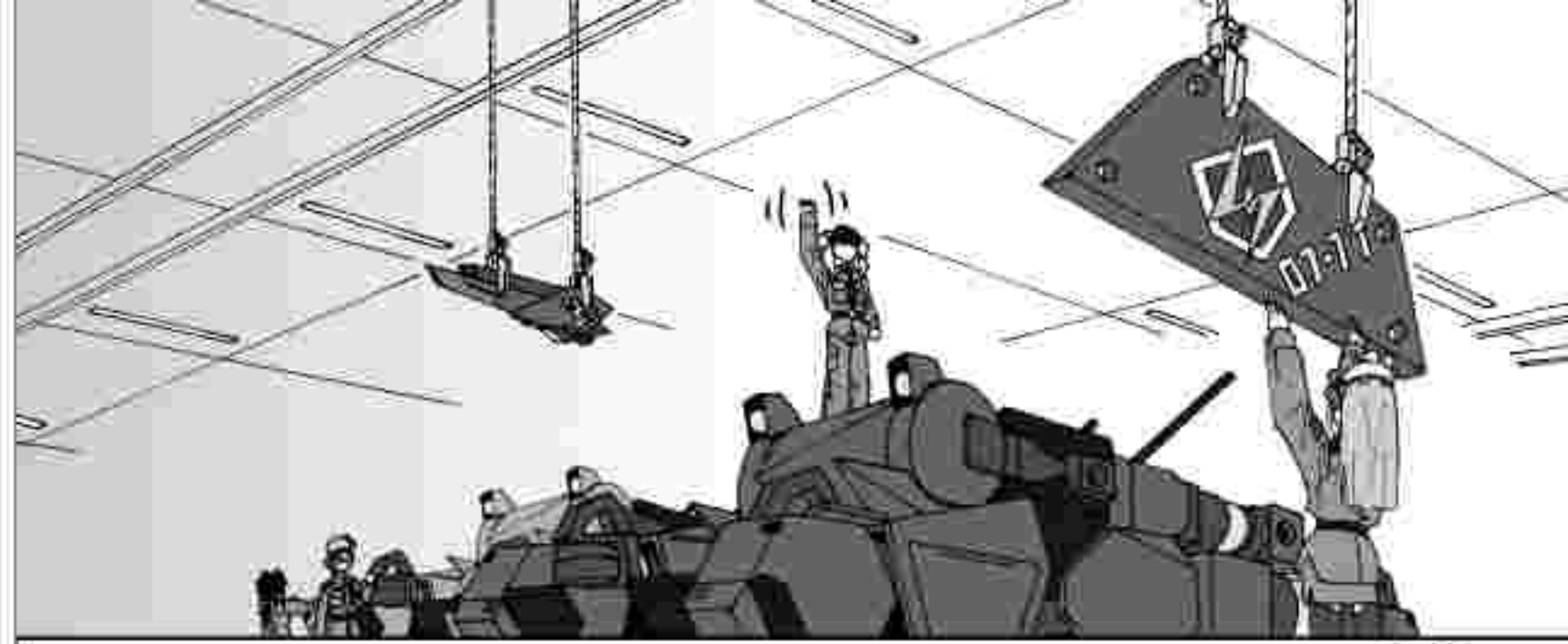
…はあ…





はい  
大丈夫です

どうだ？  
他の隊員と  
仲良くやって  
いるか？



ウソだな…  
君は他人と  
距離を取って  
いるだろ

…！



…隊長さんは  
私の考えている  
ことが分かるん  
ですか？



仲が  
どうだろうと  
ほっといてくれ  
…と言いたい  
だろうがそれも  
いかん

部隊が効率よく  
運営されるため  
には隊員には  
仲良くやって  
もらわんと…



一人じゃ  
大変だろう…  
手伝おう



夕狭霧  
二等兵！



ムリするな

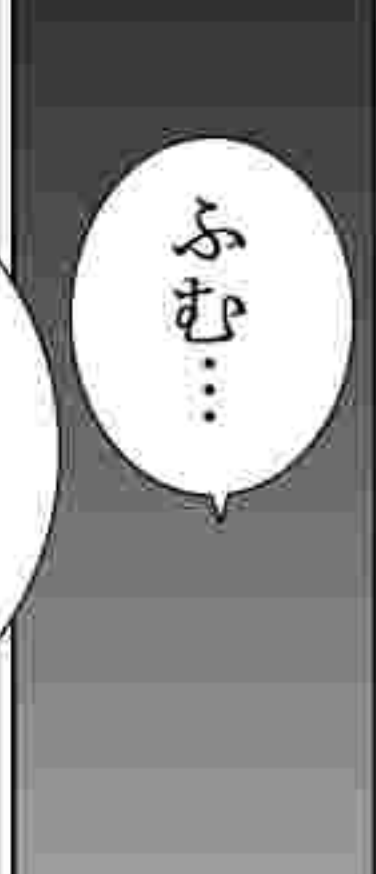
いや…  
光学迷彩は  
かなり重いぞ

はあ…



いえ

大丈夫です



「なぜ中將が新兵の手伝いなんかするんだセクハラ目当てか?」  
...とか?

ふむ...



...何で...  
そう思うんですか...?

他人を疑ってばかりだと  
そういう考えになると推測

例えば:  
平時は自分は勇敢だと思っ  
ているヤツが  
いざ戦場に出ると腰抜けになる...とかよくある事だ



人の心は複雑だ

一人でいる時の自分

家族と一緒の時の自分

おびえた時の自分

初対面の人と話す時の自分

...全部別々の自分だ



ま...実の所俺も女房に出会うまでは君みたいな性格だったからな...ついおせっかいを焼きたくなる...

とはいえ...他人の考えを知るのは難しいものだ...人は自分の事さえ分かつちやいないからな

ある意味：全ての人間は多重人格なのかもしれないな

君も部隊の皆と家族みたいに仲良くなれば…

真白ちゃん！

こっち終わったから手伝いに来たわよ！

俺の知らない一面を見せてくれるのだろうか…

……

ご苦労！ではこの図面の配線を…

君も部隊の皆と家族みたいに仲良くなれば…





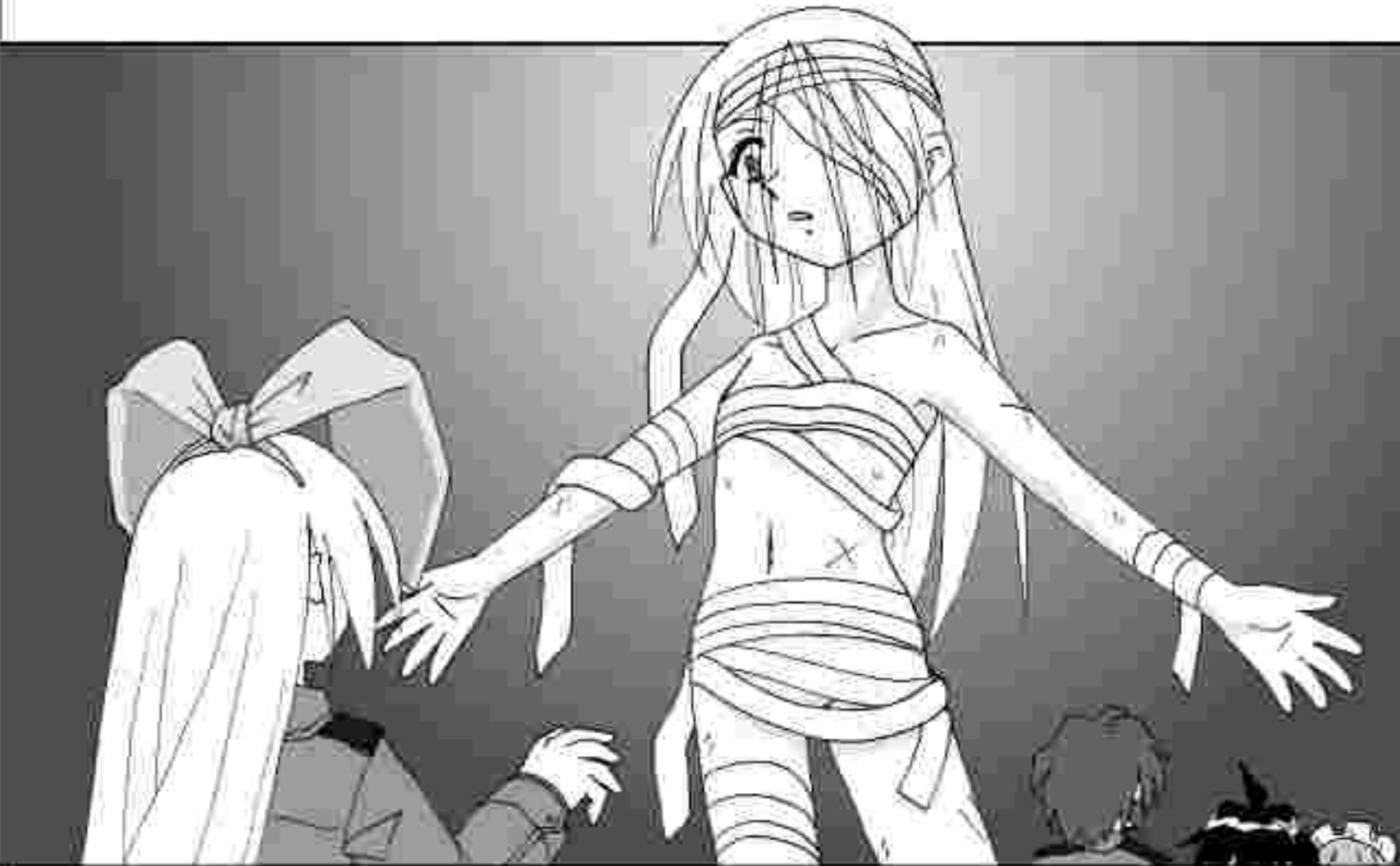


……

……名古屋紛争で  
あなたは父を  
亡くし……

その後あなたを  
育てた母も病死し……

あなたは養護施設に  
送られた……



そこで  
あなたは  
知ったはずよ  
……

人間がいかに  
醜く暴力的な  
存在かを……



あなたは殴られ  
すぎて左目が  
失明したと  
いうのに……

まだ理解  
できないの……？

全ての人間は  
他人を傷つける  
事が嬉しいのよ



私だって本当は  
一人は嫌だよ！  
友達ほしいよ！  
家族がほしいよ！  
仲間がほしいよ！！



彼らと……

仲良く  
なりたいの？

わ……

この基地の  
連中も  
同じ…

必ずあなたを  
傷つけようと  
するわ…

真白  
ちゃん!?

どう…

したの?

…何でも…

…ありません

四話

深まる

絶望 ぜつぼう

そっちの  
モーターを外せ  
昔の車には  
レアアース  
とかが  
使われててな…

売り飛ばせば  
妹の入院費が  
稼げるはずだ

やったあ!

あつ…？

…ねえ  
あれ…  
何…？

ん？

何かの光が…  
降りてくる…？

な…何か知らねーけど  
立入禁止区域に入った  
事がばれたら大変だ…

すぐ帰ろーぜ！



ねえ…兄ちゃん…  
ここ入っちゃいけ  
ないんでしょ？

バカだなあ…  
立入禁止区域だか  
ら「お宝」がまだ  
残ってる可能性が  
あるんだろ



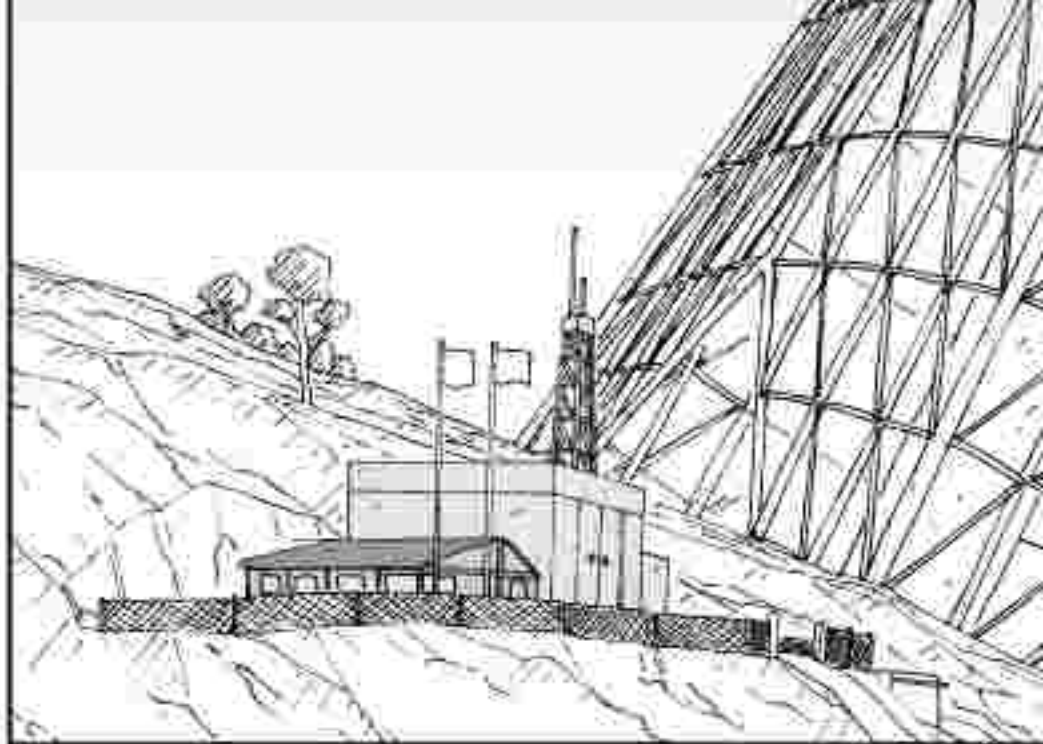
お宝発見！

お！

大昔の  
車だあ！

ヒュウウ…

寒っ…！



司令部から通信が…



お前らのボス  
はいるか!?

隊長は現在  
地雷処理で  
出動中です



ぬうっ…

…まあいいッ  
第77工兵隊に  
緊急指令を伝えるッ  
心して聞けえい!



は…  
はっ!!

…昨夜東京上空で  
13秒間だけ  
未確認の航空機を  
レーダーが捉えた



は…?  
領空侵犯機…  
という事ですか?

多分…な  
どこその国が…

と言っても太平洋  
人民共和国しか  
ありえないが…



レーダーに写り  
にくいステルス機を  
送り込み「何か」を  
した…というの  
がワシの勘じやが  
確証はない…

空軍とかは  
レーダーの不調と  
決め付け何もせん

で…お前らは大至急  
付近の市民から  
目撃情報を  
集めるのじや



任務了解  
しました

しかし一つ  
意見具申が  
あります



このような  
任務は情報部が  
適していると  
思います…

これもワシの  
勘じやが…

一刻も早く真相を  
つきとめねば  
まずい気がする…



だから情報部も  
使うが他の部隊も  
コキ使う

とにかく  
大至急だ！  
いいな！！



……



公星二等兵！  
鬼塚軍曹ら三人は  
土浦だったな？

はい…土浦の補給処で  
弾薬を分けてもらって…



その後秋葉原の  
スーパーで特売の  
サンマを買って  
帰る予定です



秋葉原村



えーと…つまり  
村人から不審  
な飛行機の  
目撃情報を  
聞き出せば  
いいんです  
ね？



そうだ！！  
大至急という  
のが司令部の  
命令だ！  
頼んだぞ

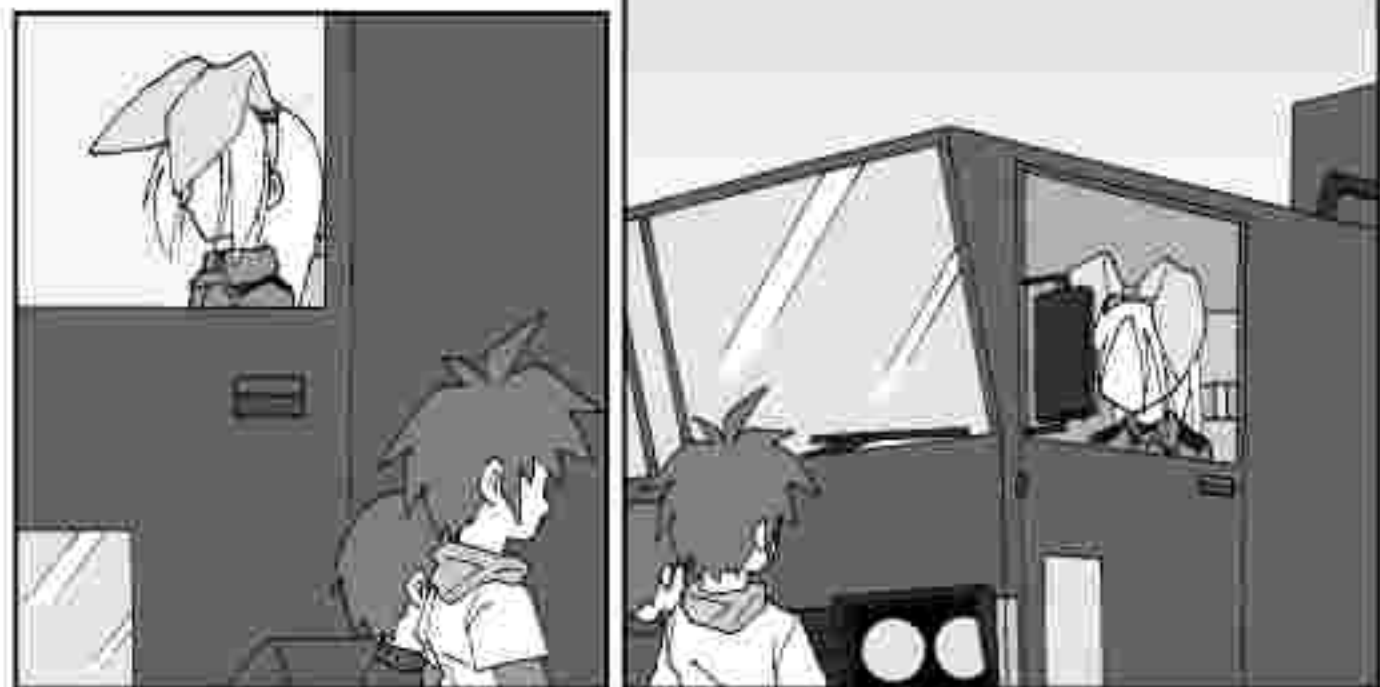
はっ！



聞いての通りよ  
サンマはあきらめて  
皆で聞き込みを…

いいけど  
頼子さん…







その話は  
今はいいので  
光の事を...

う...うん  
昨夜...

ダメだ! 無料  
で教える訳  
にはいかん!

兄ちゃん!!



頼子さん  
目撃者見つけ  
ました!



...ち...  
ちよっと  
待って...



お...?



さ...さつき  
の光の話...  
く...詳しく  
聞かせて

?  
...うん



ばか!



立入禁止区域  
に入ったって  
バレたら...

怒られる  
だろーが

ツ!!

うわあーっ  
自分でバラ  
したーっ!



すげー機関銃だ  
カツコいいーっ  
あ...あれ  
さわらせてよ  
そしたら話して  
やるよ!

兄ちゃん!

いえ規則  
では...





夕狭霧  
二等兵!!!



パツッ...



「大至急という  
のが司令部の  
命令だ!  
頼んだぞ」:

はっ



...で  
その光から二つ  
別の光が降りて  
きたところ  
までしか見て  
なくて:

降りたのは  
二つだけ?

ばんばん  
ばんばん!



絶対に人に  
向けないで  
下さいね:

おう!  
おう!

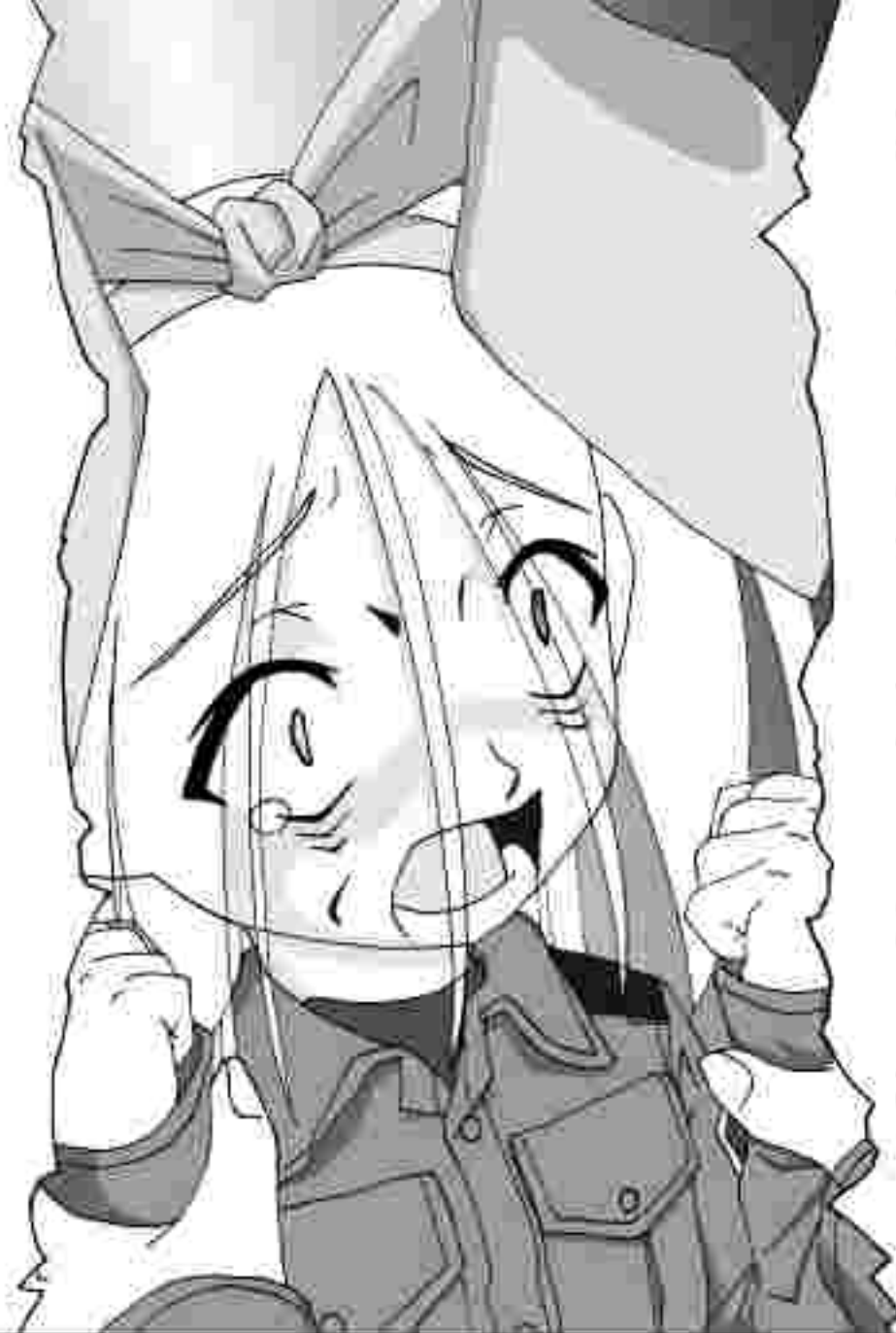


クワ





うわあああああ  
あああああああ



あああああああ  
あああああああ

真白ちゃん!!



話を聞いて!

真白ちゃん!





7・7ミリ弾で  
撃ち抜けるか…？

幸い  
あまり深くない



ガッ

ガッ



禁止 立入  
地雷・不発弾  
未処理区域

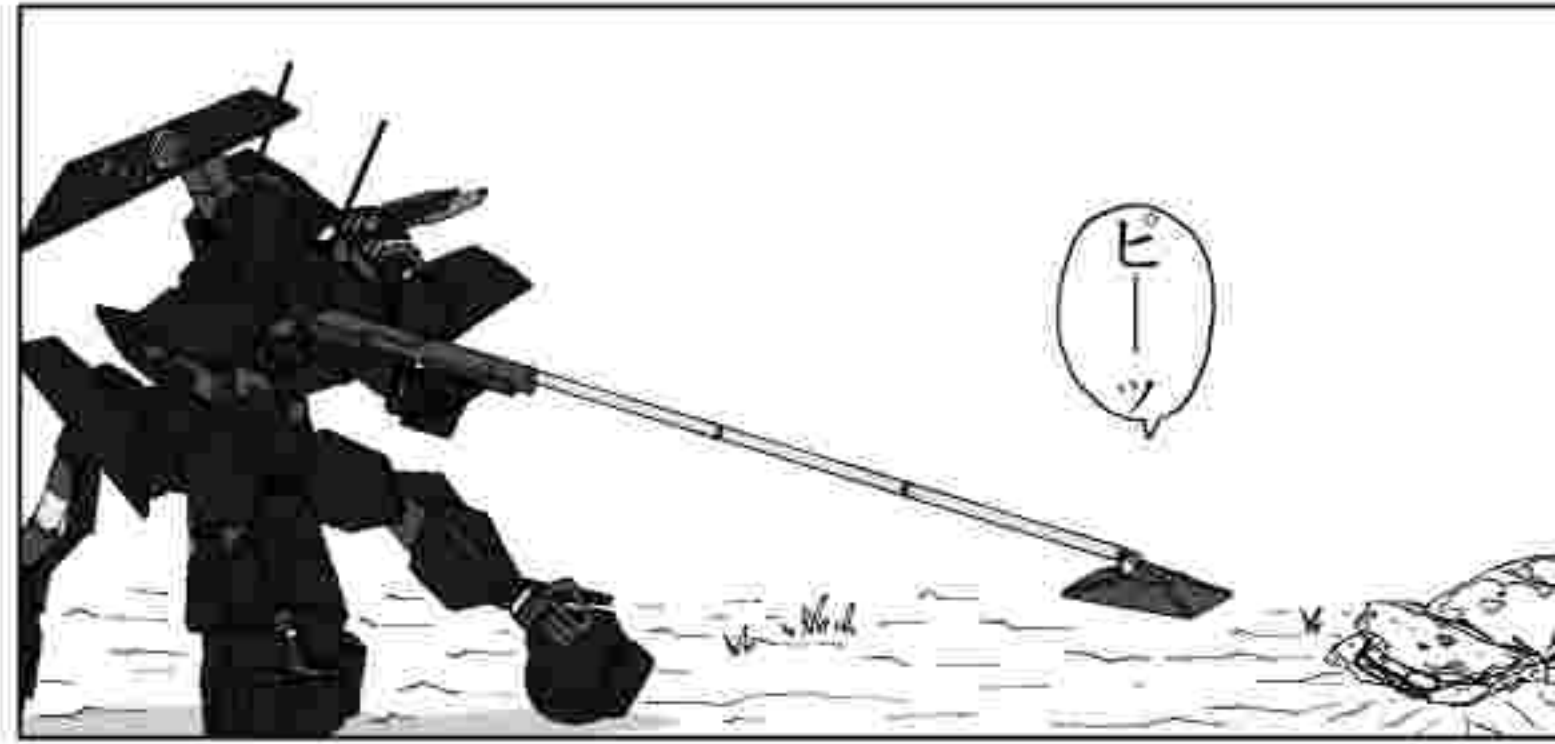
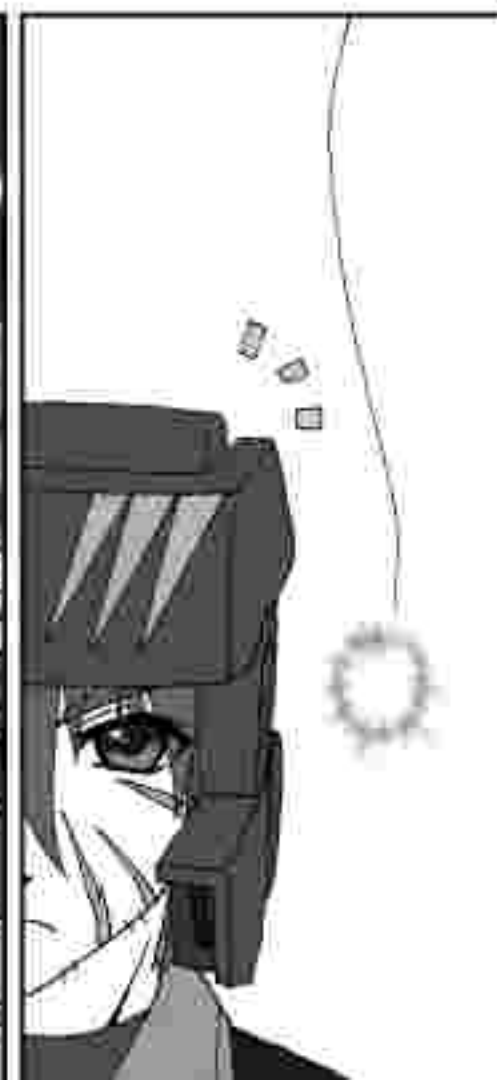


シブッ

> 豊田基地  
より  
通常回線



雪か…

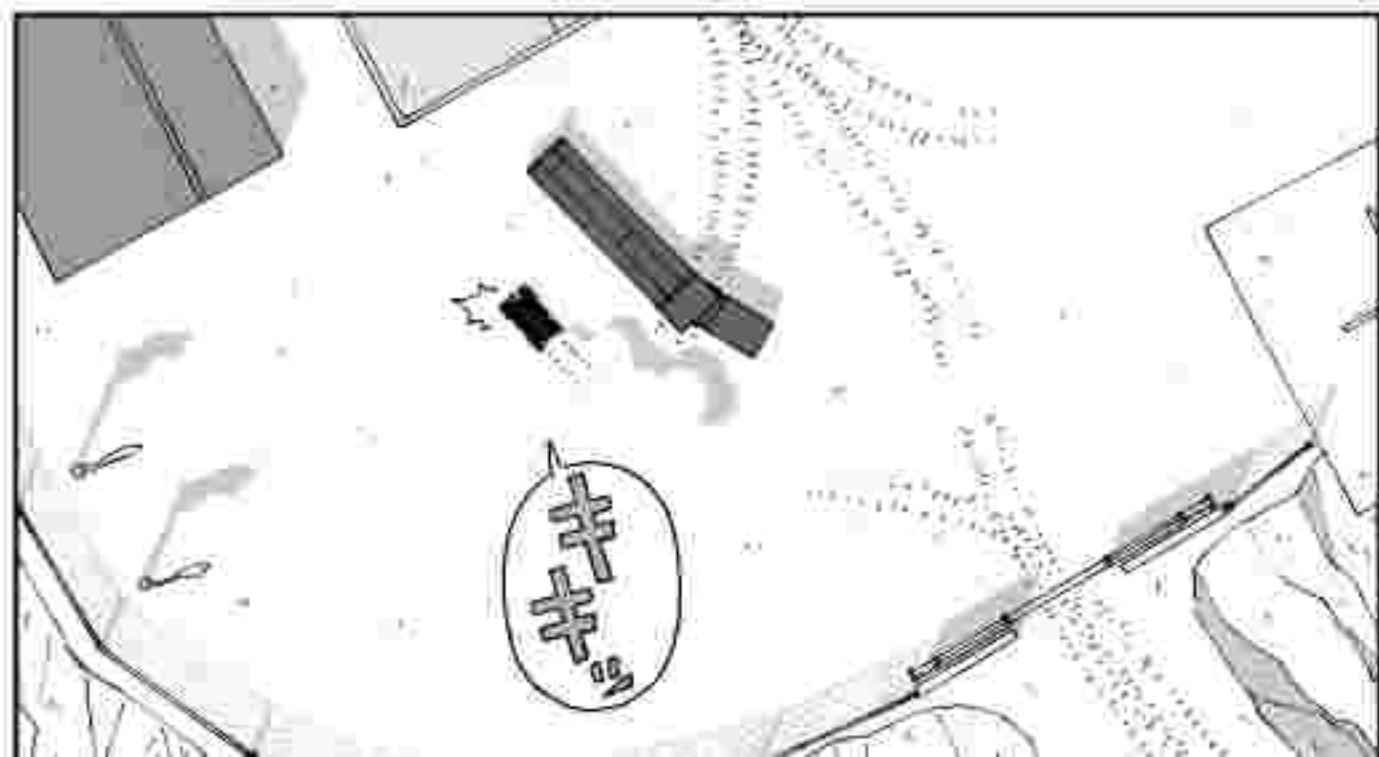


ヒーツ

戦車の足一本を  
吹っ飛ばす威力は  
残っている  
だろうな…



この反応は  
日本製か…ムダに  
高性能で長寿命  
なんだよな…



…状況は  
分かった



夕狭霧二等兵は  
どこにいる？

寝室で毛布を  
かぶってます  
…連れてきま  
しょうか？

いや…いい  
後で俺が  
話しておく

あの…私が叩いたのが  
いけないかったんで  
しょうか？

私…入隊以来  
失敗しては叩かれる  
事が多くて…  
…それで…

…いつの間にか  
暴力に慣れてしまつて…  
自分も平気で他人を叩く  
様になつてるみたいで…

いや…

七姫陸軍の規則では  
兵器を民間人に  
さわらせては  
ならない…

その規則を破った  
夕狭霧が悪い…だが  
それを説明してから  
叩くべきだった

いきなり叩けば  
不当な暴力を受けた  
と思ひ込むだろう

わああああああん  
私真白ちゃんに  
謝つてきます！

気にやむな  
あいつは利口だ

…説明すれば  
理解するさ

まさか…軍法会議…  
なんて事…ないです  
よね？



私が真白ちゃん的身代わりになります！

いや…色々とムリがあるたる

…ところで例のクソガキ二人はどうした？

はあ…一応立ち入り禁止区域には二度と入るなど言い聞かせましたか？

指示を出していたのは僕ですから全責任は僕が…

いや

七姫軍規則では作戦行動中の軽微な違反は部隊内で処理して良い事になっている

何か腹立ったんで奴らの通う学校にチクツツといて…

キツく叱っておくよう頼んでおきました

容赦無いなお前…

鬼塚軍曹が叩いて罰を与えたのでこの問題は片付いた

…と上には報告しておこうぜ

…か…肝心の彼らの証言ですが…夕狭霧二等兵のメモを司令部に伝えました

それを読んだ司令官の推測はこうです…



太平洋人民共和国  
のステルス爆撃機  
が侵入し……

騎兵戦車を投下  
した……目撃されたの  
は降下用スラスター  
の光で……

爆弾庫の扉を開いた  
13秒だけレーザーに  
写った……と

……





ピッ



おい！  
今すぐお前らの  
バカボスを  
呼び戻せい！！

司令部から  
通信が！

ピッ



悪天候のため  
足跡の先を追跡  
できなかつた…

だがッ  
おおよその進路は  
推測できる…



騎兵戦車の足跡が  
二つ…？

七姫軍じゃ無い…  
見た事無い型だ



うわー！  
こんな時だけ  
居やがったあ

誰が  
バカボス  
だッ!!!



…いや今はそんな話を  
している場合じゃ無い！

さつき…  
偵察機からの  
映像が届いたッ  
見ろ!!

おそらく  
3時間後  
足跡の主は…

秋葉原村に  
到達するツ

何ッ!?

た…隊長!  
秋葉原村  
村長から  
連絡が…!!

何!?

無論…途中で  
進路を変える  
可能性もある…

だが…この  
不法侵入者が  
村に到達した  
場合…

万が一と  
いう事も  
あるツ

村の猟師が一人  
猟に出たまま  
帰ってこない…

さっき…悪天候で  
動けなくなると  
携帯電話で連絡が  
あった…

司令!  
秋葉原村  
には連絡  
したか?

ああ…  
すぐ避難するよう  
指示を出した…  
が…時間的に  
間に合わん  
だろう…

お前達は  
村へ行って  
警護を…

場所は…

正体不明の  
騎兵戦車がいる  
付近らしいんだ…

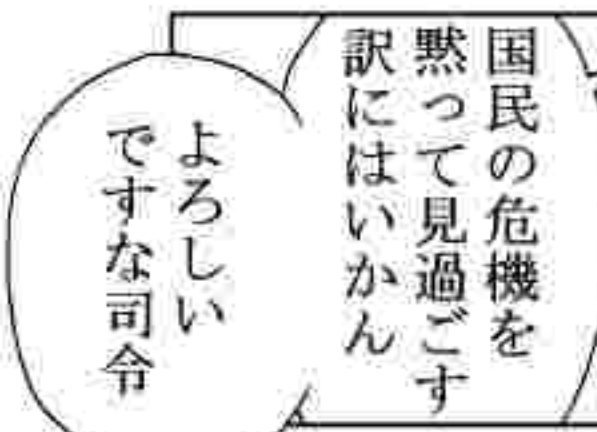


……



いきなり最前線勤務ですよ……

……ははは……まいったね……地雷処理だけやってりやいいと思ってるのに……



よろしいですな司令

国民の危機を黙って見過ごす訳にはいかん



……確かに我々は戦闘部隊ではない……が



……ああ……大丈夫だ……俺は嫌われ者だからな……死神にも嫌われてるさ……



ん？

死ぬなよ……

ああ……



総員ツ全騎兵戦車出撃準備！はっ！！



アッ



ツ……！！



分かりましたその猟師は我々が搜索し保護します……

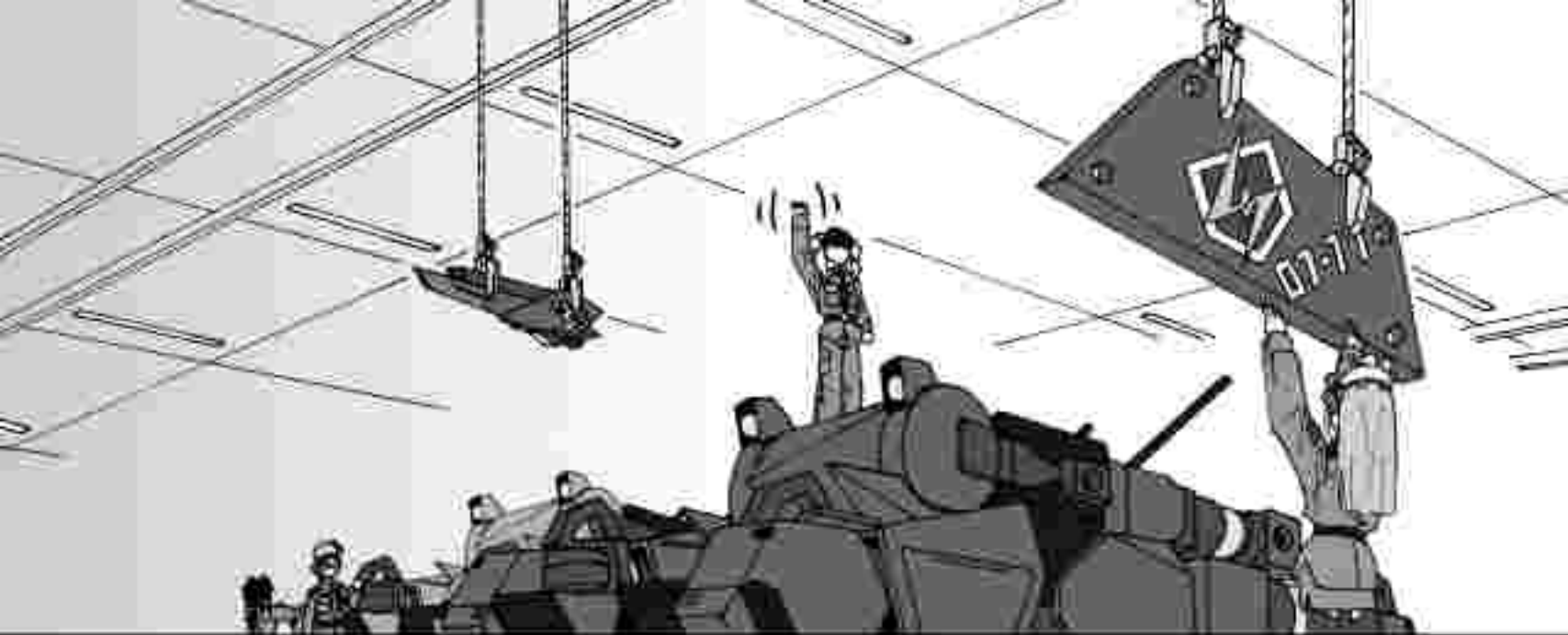


ブッ



村長は他の村人と避難を

すまない……頼んだぞ英雄殿！



土浦から  
持ってきた武器を  
全部載っけるーっ

は…はい

援軍はどうなっ  
てるんですか？

悪天候で輸送機が  
飛べないそうだ

ここから一番近い  
基地は土浦…  
そこから陸路で  
主力戦車中隊が  
来るはずだが…

到着は  
5時間後…  
間に合わない  
…

たたるわね  
悪天候…

というより  
敵は悪天候を  
計算の上行動し  
てるんだろうな

「敵」か…

どう考えても  
友好目的じゃ  
ないだろ

泣いてるのか…？

いえ…



俺だ

話がある



コン  
コン



そうだ…  
私は泣かない

泣いたって  
助けを求めたって  
誰も助けてなんかくれない  
精神的弱者だって笑われて  
よけい傷つくだけだ



……



いや…銃の  
件はもう  
いいんだ

君なりに  
情報を  
得ようと  
がんばって  
たんだろ



泣いたら  
もう  
生きていけ  
ないんだ

泣いても  
許される  
人達とは  
違うんだ！



……



それともう一つ

出撃だ

戦い…

なの…？

そうだ  
村に危機がせまっている

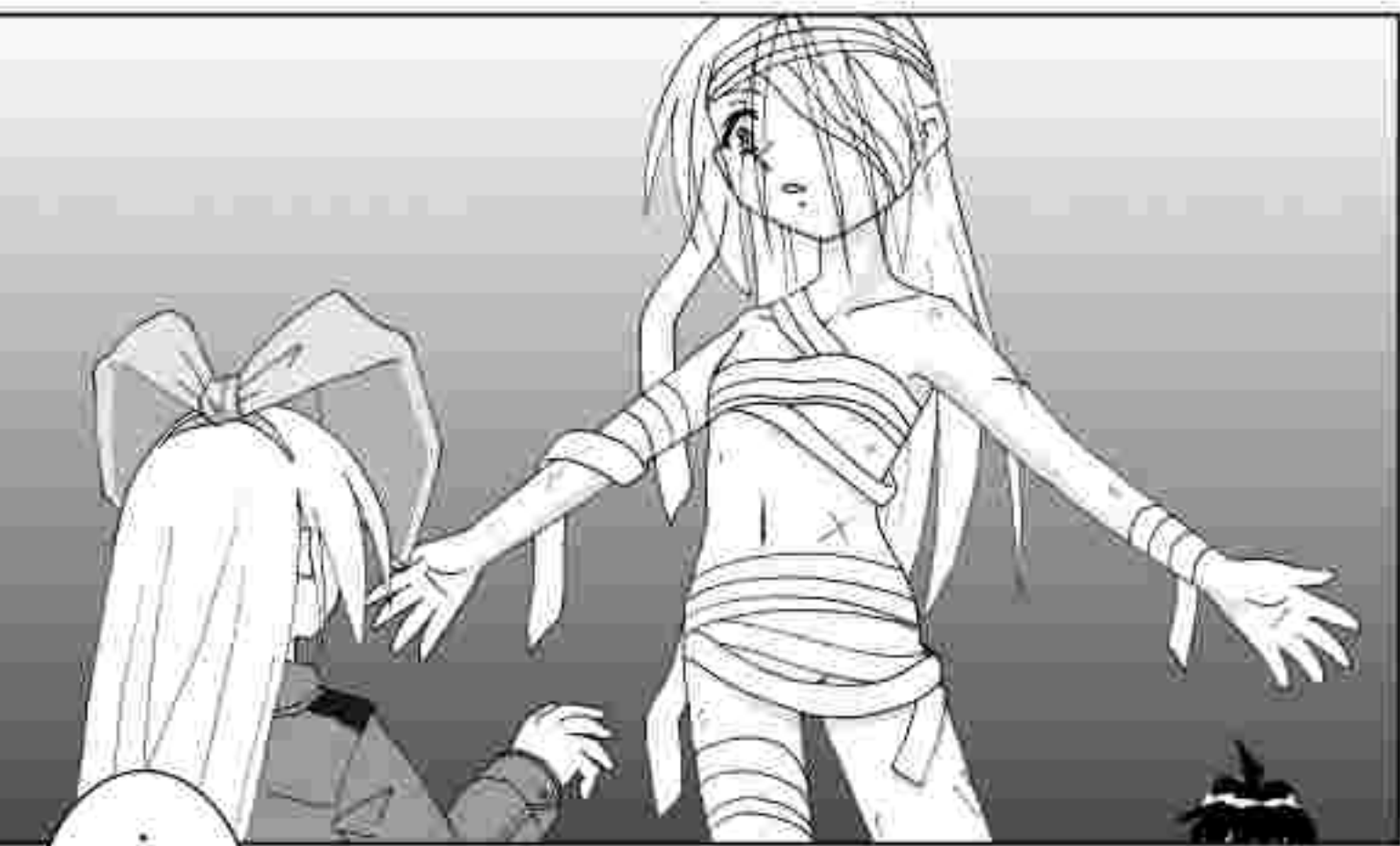
君が村人を好きか嫌いか  
はどうでもいい

彼らを守る事が  
我々の存在意義だ

はい…

我が隊には君に  
休みを与える  
余裕は無いが…  
大丈夫か？

問題ありません







隊長は真白ちゃんの事  
分かってるみたい  
なので…教えて  
ほしいんです…



真白ちゃんは  
今まで持った部下  
とは何か  
違って…

私…もう  
どう接していい  
のか…



隊長！  
お話が  
あります…



ん？もうすぐ  
出撃だぞ

少しでいい  
ですから！



俺も全部理解してる  
訳じゃ無いんだがな

ただ…あの目を  
見れば推測できる



あいつはいわゆる  
被害妄想に囚われ  
ている

だが昔の俺より  
重症だな…

……  
真白の事か

心配なのか

はい

はい…

…分かった



例えば…



他人が笑っているのを見たら自分が笑われているかもと不安になる

優しくしてほしいと思いつつも優しくされると相手に下心があるかもと疑う

他人のささいな行動を自分への攻撃かもと怒ったり悲しんだりするから…

普通の人よりストレスを溜め込んでいるし自分は嫌われ者だと思いついて

他人はすぐキレて自分に攻撃すると思っているから…

表面上はいつも不安を隠して人間関係を円滑にしようとする

誰も信用しないから困った事があっても相談しない

他人に叱られても間違っても愛の鞭とは考えない

叱らないほうがいいと？

そうじゃない

身の回りで何か異変を感じたら反射的に他人に攻撃されていると想定しなければ生き残れない

何年もそんな生活が続いて…  
こんな性格になってしまった…

世の中にはそういう人間もいるのさ

……

私は…どうすればいいんでしょう…



普通に接すればいい

軍には軍のルールがある

それを理解させ守らせる

君はそれだけをやっていればいい

ずっと仲間が欲しいと願いながら...

自分は世界中の人間に嫌われていると信じて...

世界中の人々を憎み続けるか...

あるいは自分は世の中に不要な存在と思うか...

絶望したまま一生を終えるのだろうか...

それに真白の心は思った以上に重症だ...

多分...救う事は出来ないだろう

俺達がいくら優しくしても真白は優しくされたと信じない

真白は一生俺達に心を開くことは無いだろう

だが...


例えば俺達に心を開かなくても真白は俺達の仲間だ

そして鬼塚軍曹...君は心を開いてくれない部下でも面倒を見る義務がある

それはそうですが...

でも...






鬼塚軍曹：君は  
心の傷は癒せると  
思ってるのか？

軽い傷なら他の傷に  
埋もれ目立たなく  
なるだろう…だが…

記憶喪失にでも  
ならない限り  
決して消える事は  
無いんだ




だからこそ安易  
に他人を傷つけ  
てはならない…



…

違うか？



それと…「あなたの  
不幸など大した事は  
無い」などと真白に  
言っただけはいかんぞ

「それなら他人が  
不幸になっても大した  
事では無い」と考える  
ようになるからな

これより我が隊は  
民間人を捜索：  
村に連れ帰る

運悪く未確認機  
に遭遇した場合  
臨機応変に対処

未確認機侵入の  
可能性があるため  
墨田基地は放棄…



天候は悪化の  
一途で航空支援は  
期待できない

村を救えるのは  
我々しかいない

状況は不明だが  
困難も予想される



大神と公星は  
PCのデータを  
消去後村人避難  
の支援を

村人と共に  
土浦の部隊が  
来る東に行け！

は…は  
はい…



だが俺は知って  
いる…君達が  
いつも真面目に  
訓練している事を

君達ならこの  
困難な任務を達成  
できる実力があると  
俺は信じている！



…  
…  
…

皆聞いてくれ



行ってきます

心配するな



無事に帰って  
きてねーっ!

ましろ  
真白  
ちゃん!



.....



ブオオオオオ

第77工兵隊  
出撃!



御武運を!



ooo

みんなーっ



お前達も  
がんばれよ



帰る………？

私の帰る場所は本当に  
ここなの……？

皆……本当に私に  
帰ってきてほしいと  
思っているの……？



何の取り柄もない私が  
いなくなっても誰も  
困らないんじゃないの……？

私がいなくなっても皆  
すぐに私の事  
忘れてしまうんじゃないの……？





五話

消滅

ゴ"オオ...

池に張った  
氷に雪が積もると  
平地に見間違え  
やすいからな！

ゴ"オオオオオ オオ

この辺は池が多い  
地面に注意しろ！



だが未確認機も  
近くににいるかも  
しれん

猟師の携帯電話の  
座標はこの辺だ！

総員警戒を  
怠るな！



ゴ"オ オ オ

上手く  
やれるかな...

吹雪で視界が  
悪い.....





ズッ





おお！英雄殿では  
ないか：なぜ  
あなたが直々に？

説明は後で：  
すぐ我々と  
来てください！

何じゃ：戦争  
でもあるまいに

そーいや村長が  
電話で何か言っとつ  
たのう：吹雪で聞こ  
えんかったが：

おや：：吹雪：  
止んでおる：



よかったわね  
真白ちゃん  
雪：止んだわよ

：：  
すぐまた  
降りますよ

何か：嫌な  
雰囲気：

まるで昔：  
私のいた  
中隊が  
壊滅した時の  
ような：



隊長：

：何か：  
来ます：




あなたを救出に  
来たんですよ！




熊かと  
思ったら：

何じゃ  
おぬしらは！



何も  
いないが…

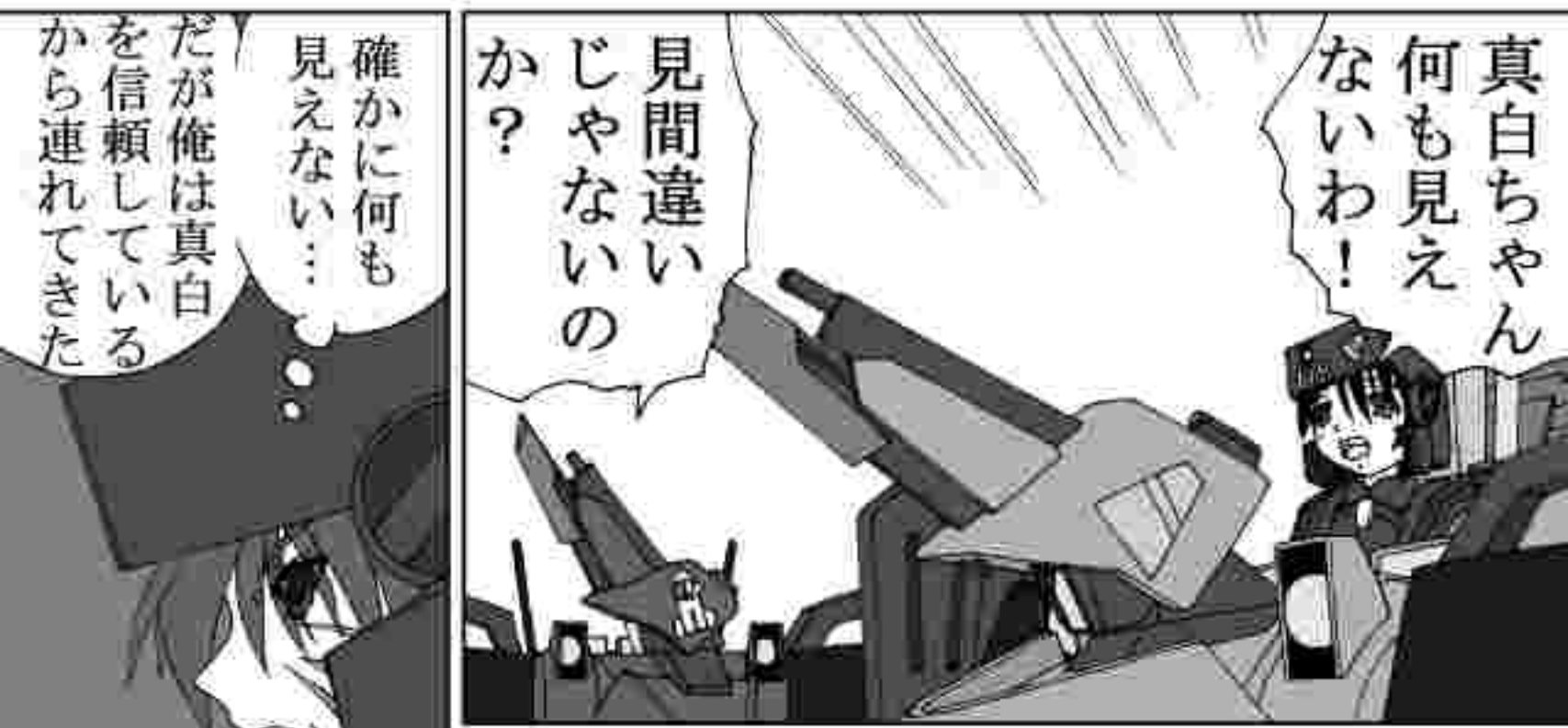


確かにいる…  
部隊すぐ右…

不気味な…  
機械…？

足音を消音  
装置で消して

近づいて  
くる…



真白ちゃん  
何も見え  
ないわ！

見間違い  
じゃないの  
か？

確かに何も  
見えない…

だが俺は真白  
を信頼している  
から連れてきた

全隊右転進！  
戦闘準備！！

騎馬！獵師を  
岩陰に隠せ！

鬼塚！無人機を  
部隊前面に展開  
させろ！

ブグッ

急げ！

は……  
はっ！

夕狭霧！その何かがい  
そうな辺りの画像を  
車両間ネットワークに  
アップロードしろ！

だいたいこの  
位置で

かまわん！  
は……はい！



第77工兵隊  
117夕狭霧橋  
メインカメラ映像

七姫国首都  
札幌……

陸軍総司令部



第七作戦指揮所

第77工兵隊が  
戦闘態勢に  
入りました！

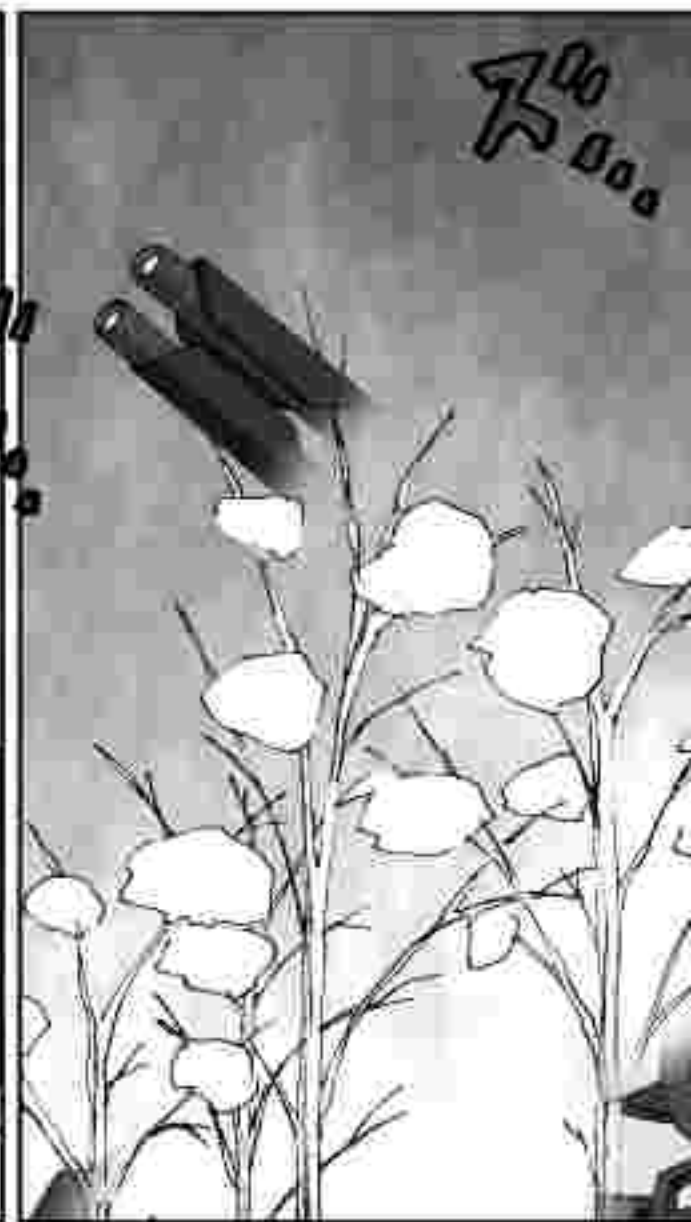
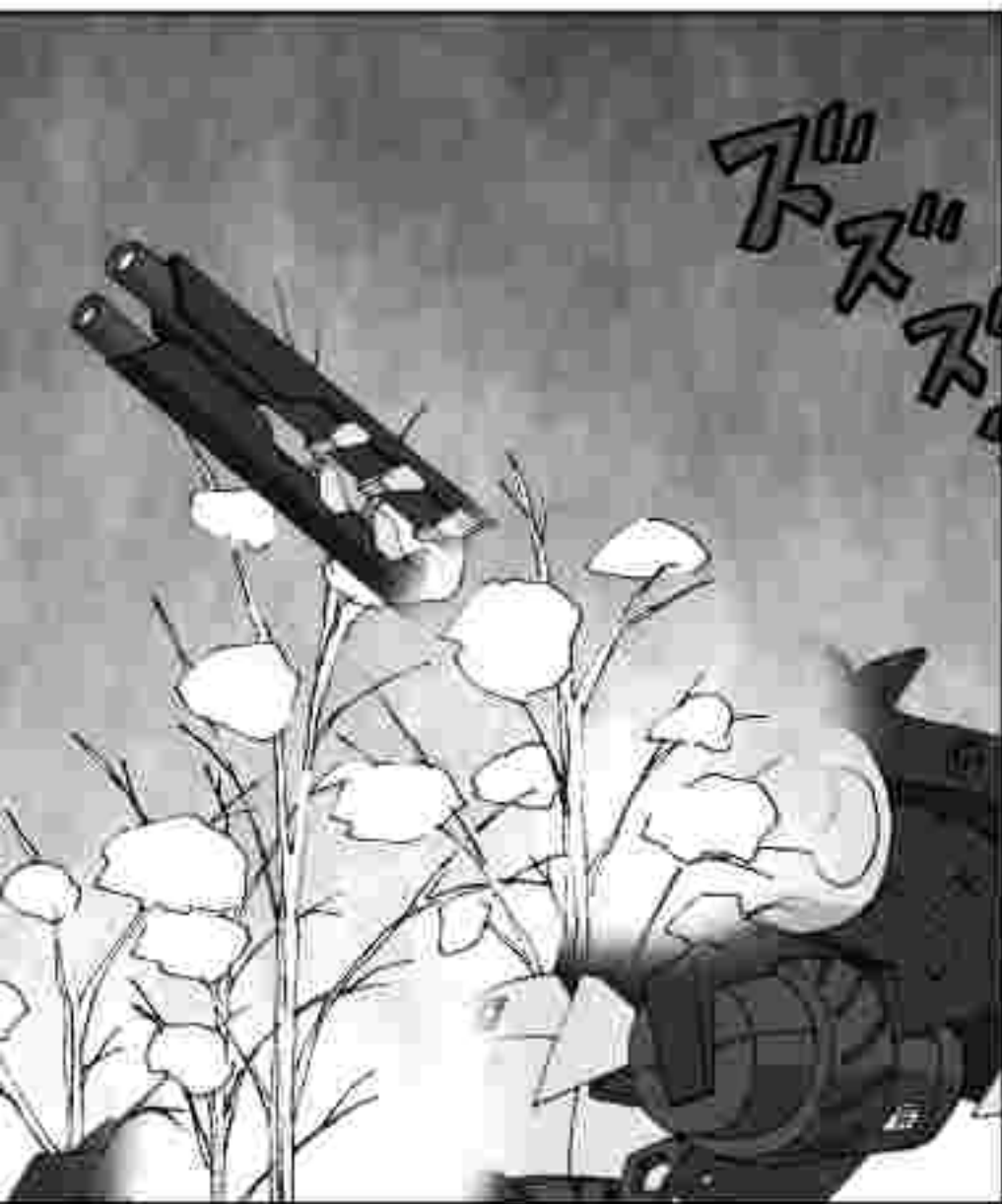


ただ……車両間ネットに  
画像がアップロード  
されていますが……  
怪しいものは何も……



いや……  
これは……！









全部で…13機……

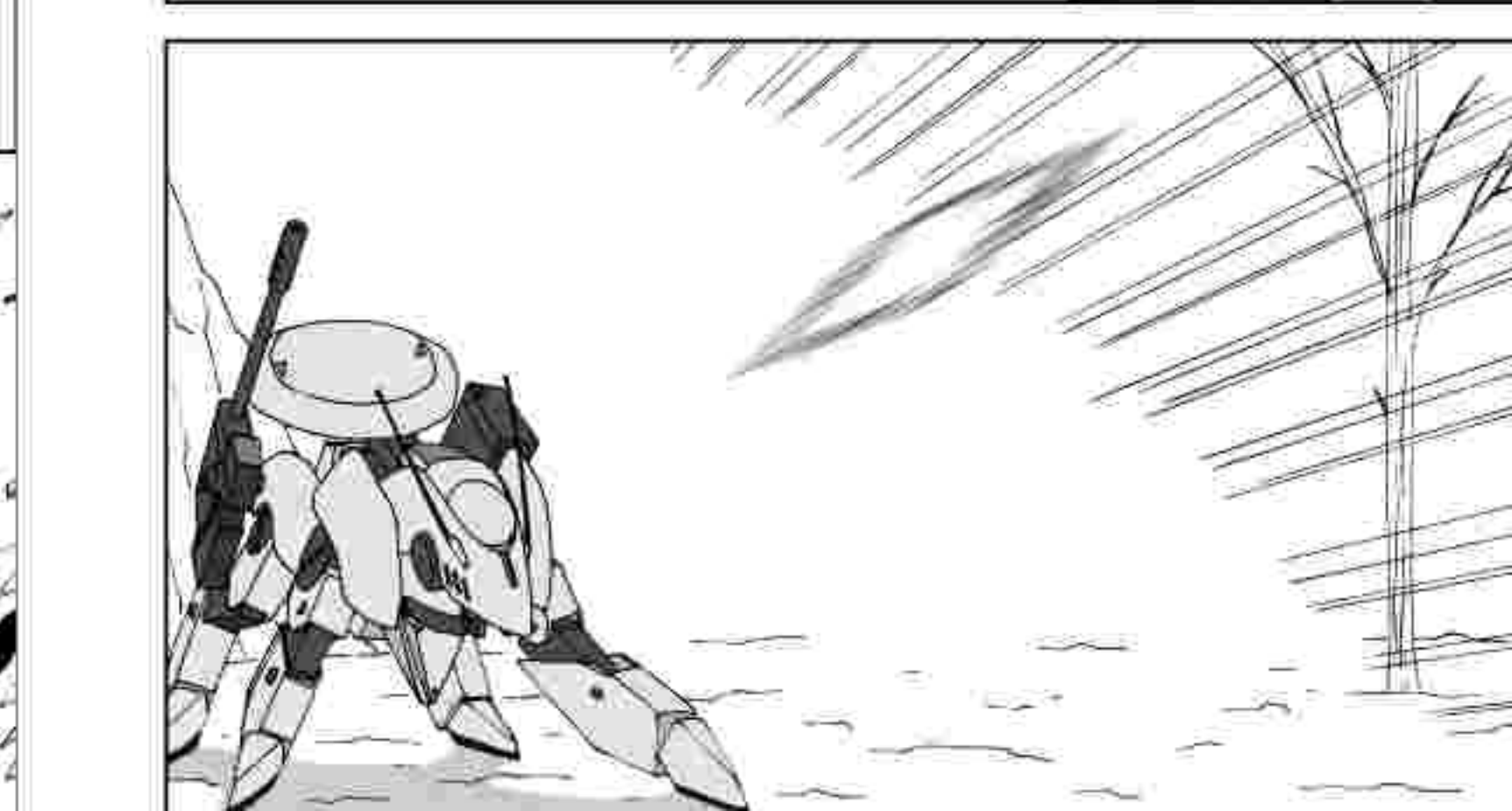
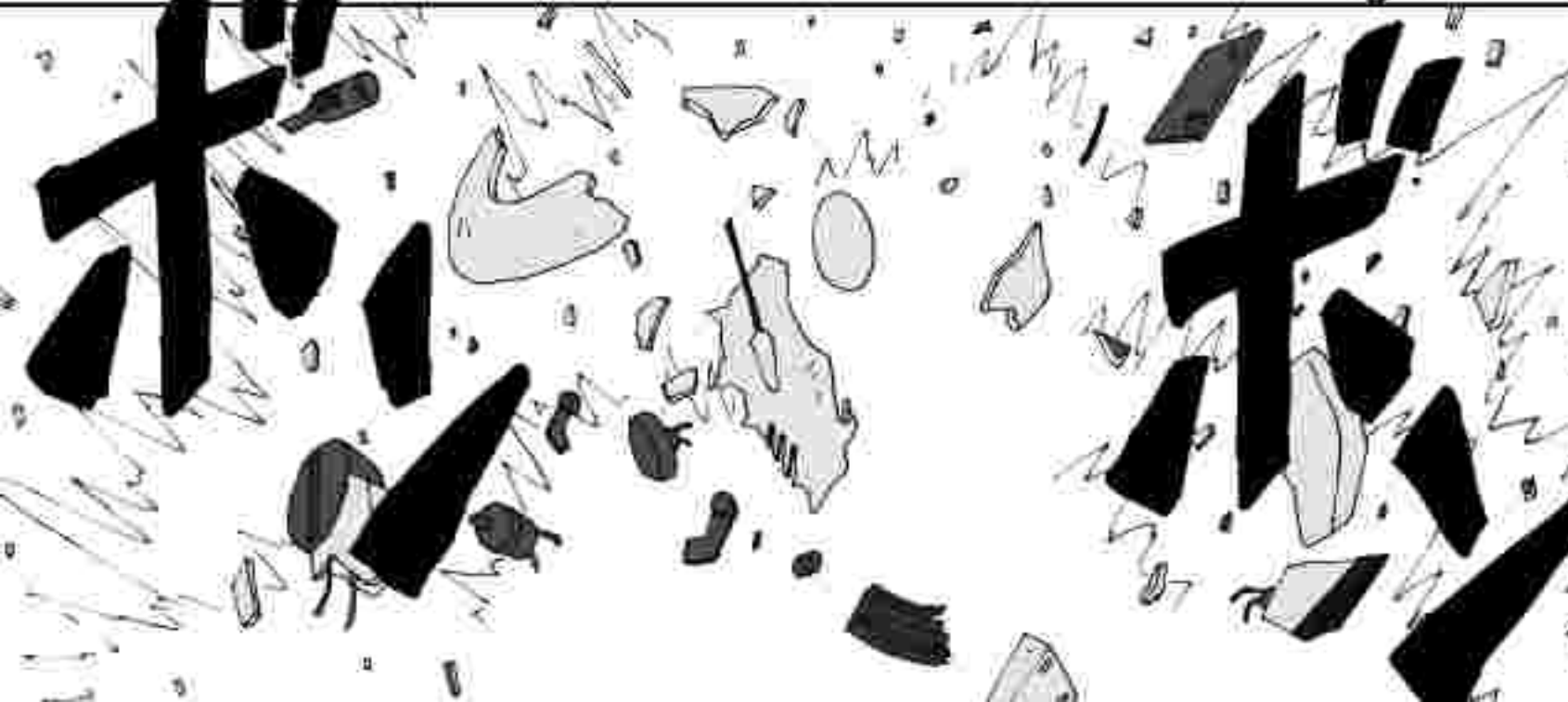
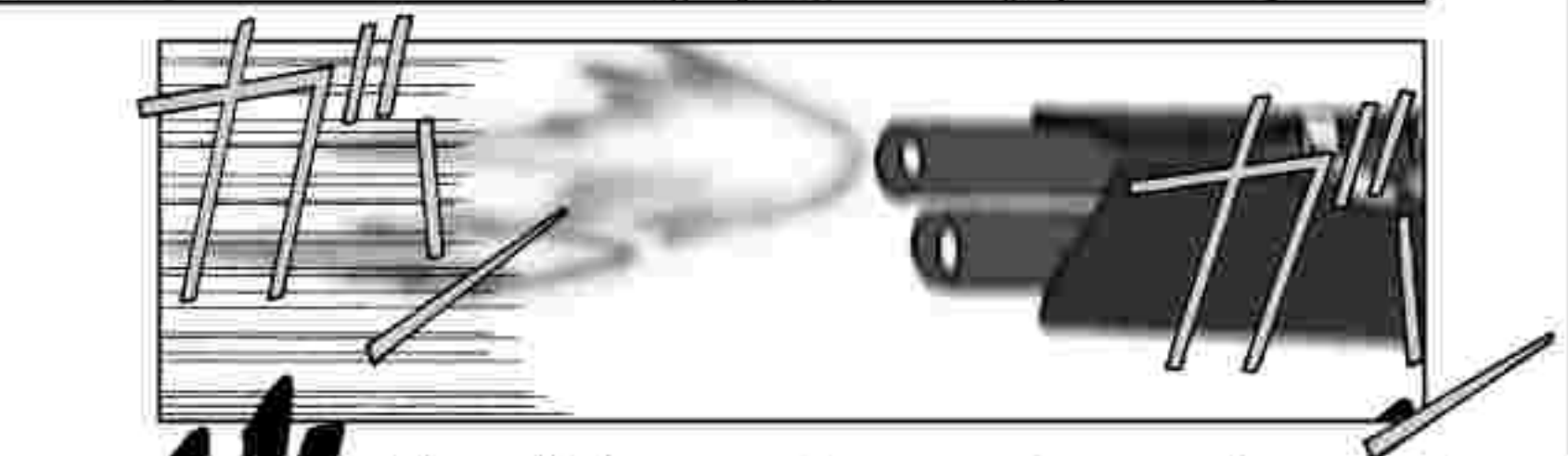
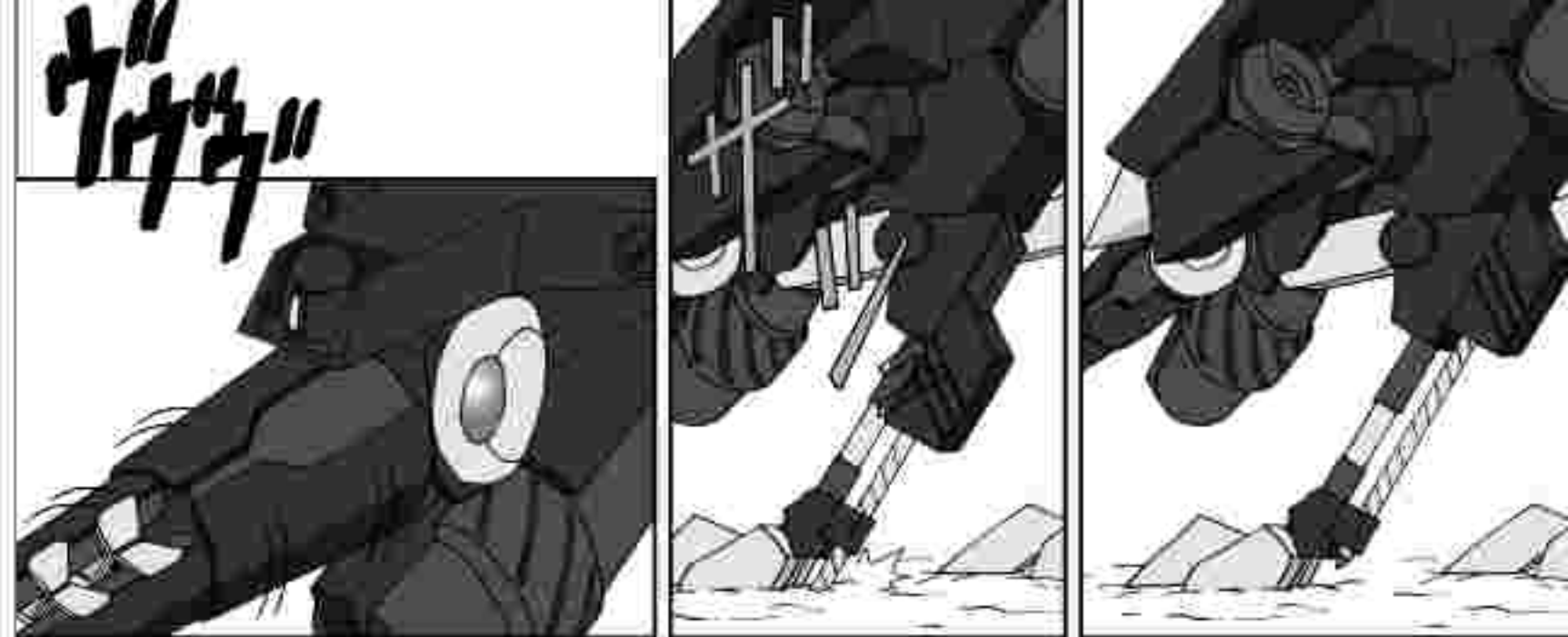
いえ…

でも二機だけ  
なら何とか…

光学迷彩を使う…  
…無人機…か…?  
確かに不気味な  
機体だが…



<p>ん…？</p>	<p>あ…足跡を つけない 方法なら ありますが…</p>	<p>はっ</p> <p>なぜ…？偵察写真では 足跡は二機分しか…</p>
<p>すでに 付いている足跡の 上を歩けば いいんです</p>	<p>…や…て</p>	





…あの4本足の  
やつか！

数秒だが敵機の  
映像を記録  
できたはず

解析し性能を  
推定しろ！



そうだ！  
多々乃少佐が  
司令部に来て  
いたはずだ

ヤツを呼べ！  
技術面で助言  
が欲しい！！  
はっ

工兵隊が  
勝てる相手  
ならいいが…

それにしても  
敵の目的は  
何だ……？



鬼塚！赤外線  
通信で無人機を  
指揮しろ！  
全隊ミサイル  
全弾発射！！  
正面以外を狙え

ぜ…全部撃って  
いいんですね！？

そうだ！  
撃て！！  
撃て！！



ほ…本当に  
戦争が始まっ  
たあああ!?

ガガガ

ガガガ

猟師さんは  
隠れて絶対に  
動かないで！

携帯も使わ  
ないように！！



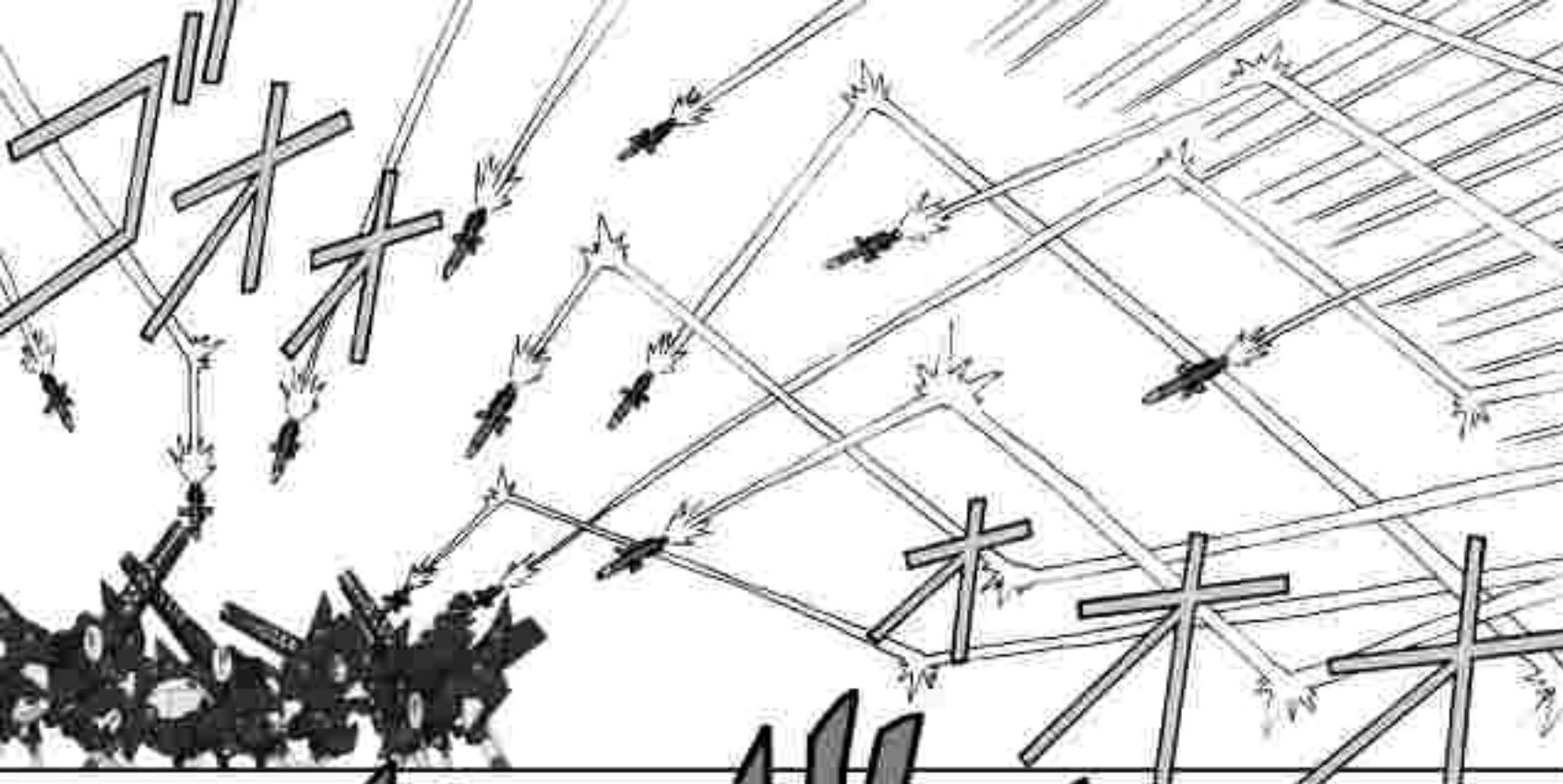
やむをえん！  
反撃する！

いいな  
司令部……

司令部!?

通信が  
切れたぞ！

現場で電波妨害が  
行われたもよう！  
ジャミング



……？  
なぜ迎撃しない……



ミサイル着弾！

ブオオ...



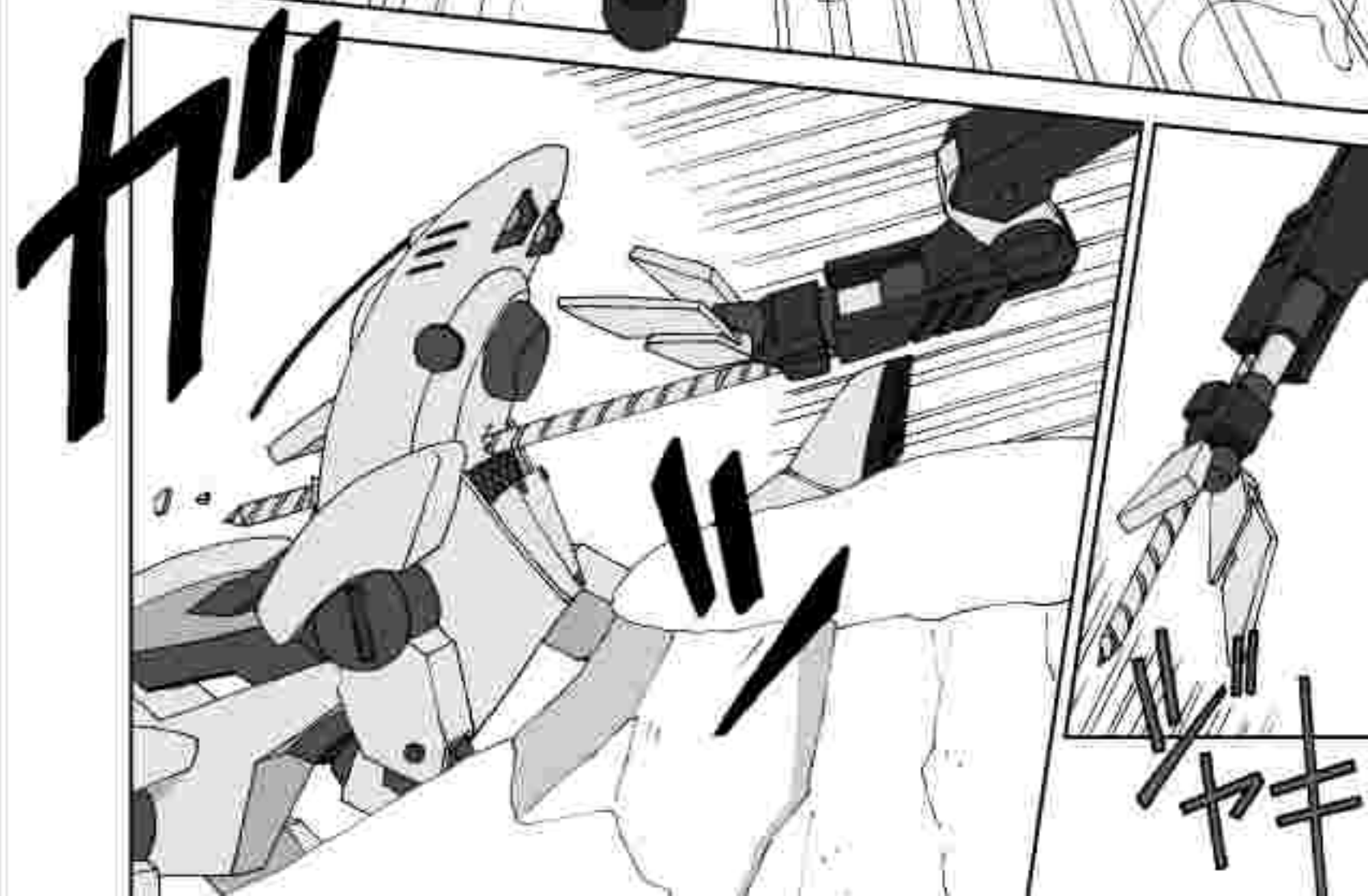
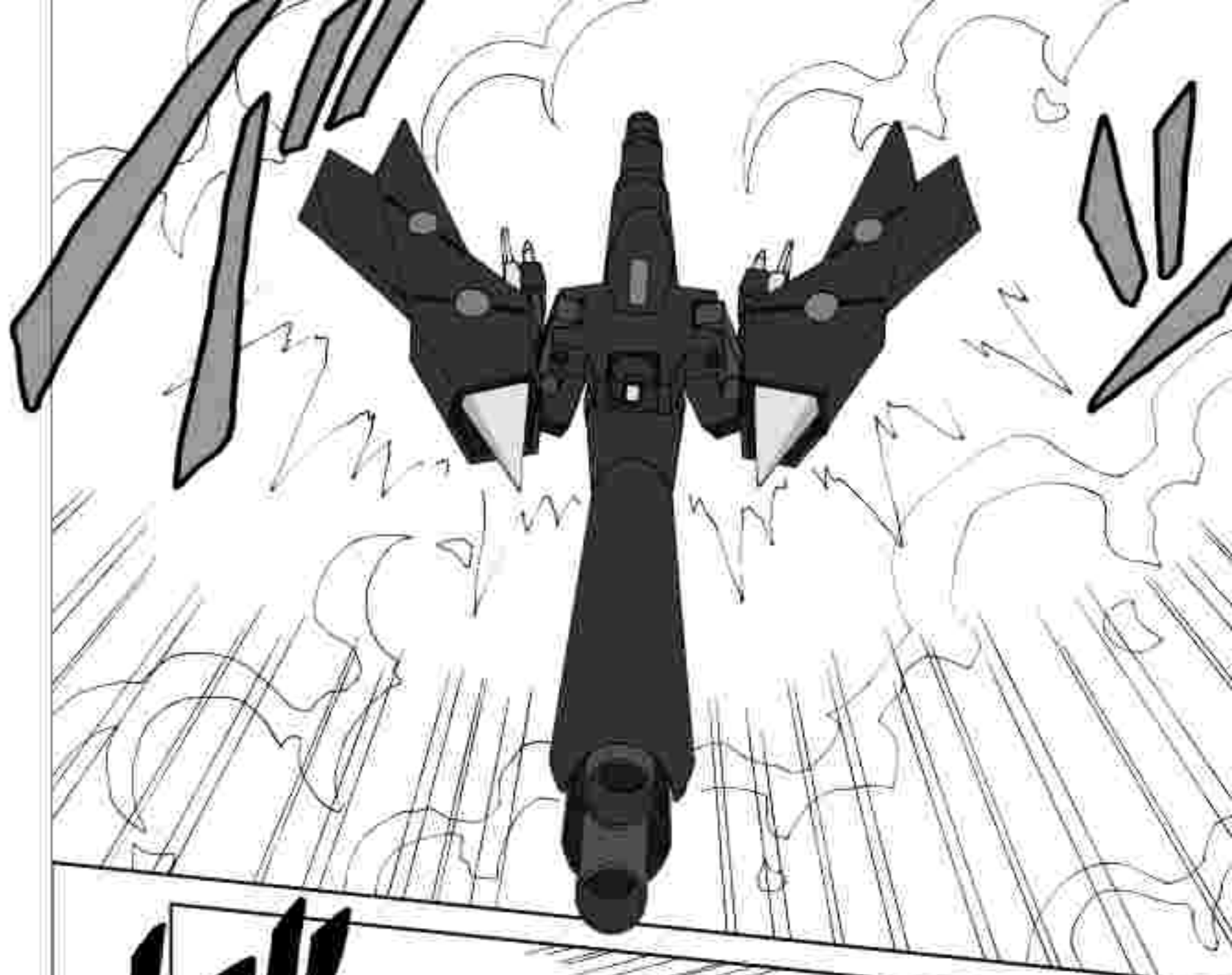
く...全隊  
砲撃!

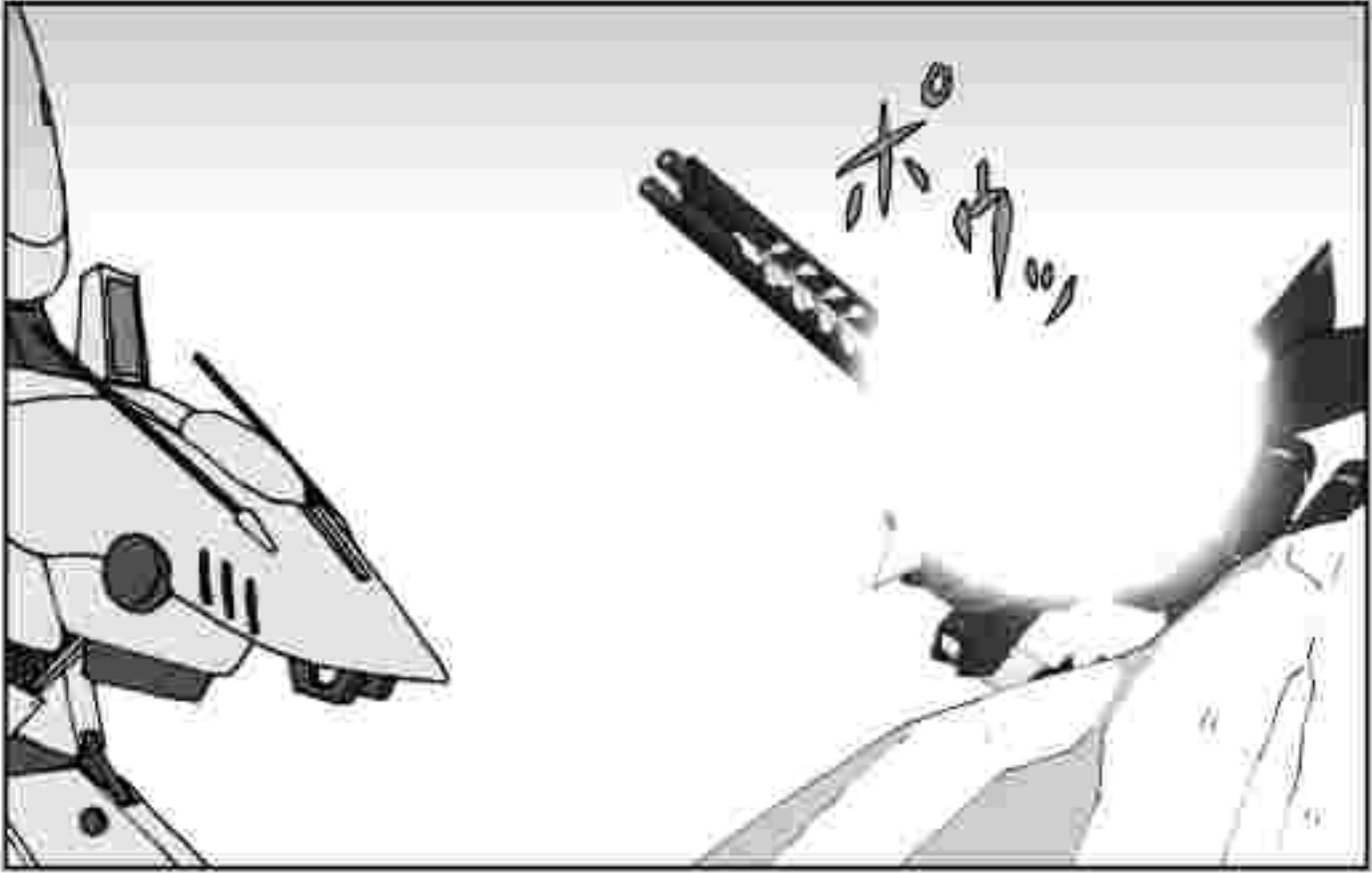


外れた...?  
...まさか...



ミ...  
ミサイル  
命中...ゼロ

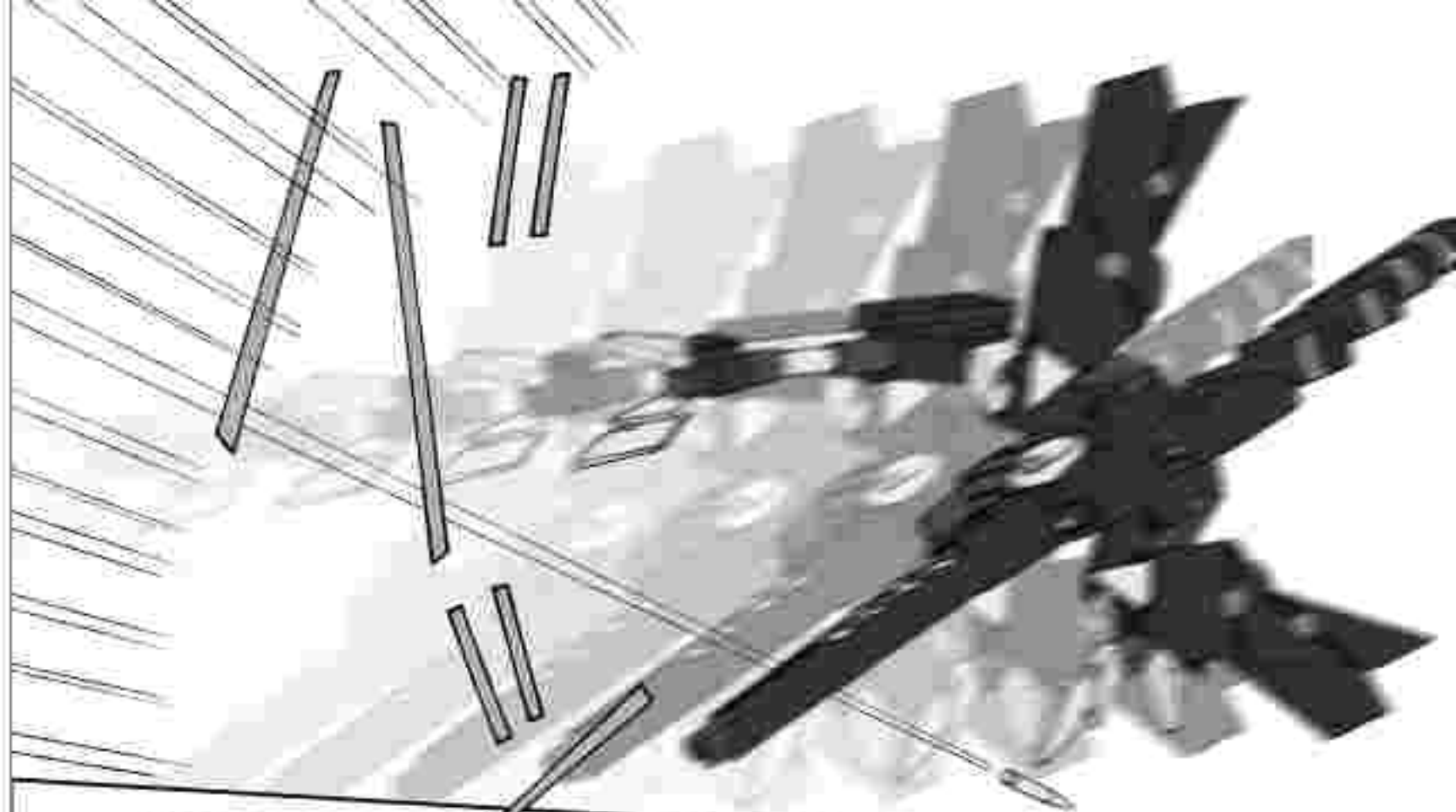




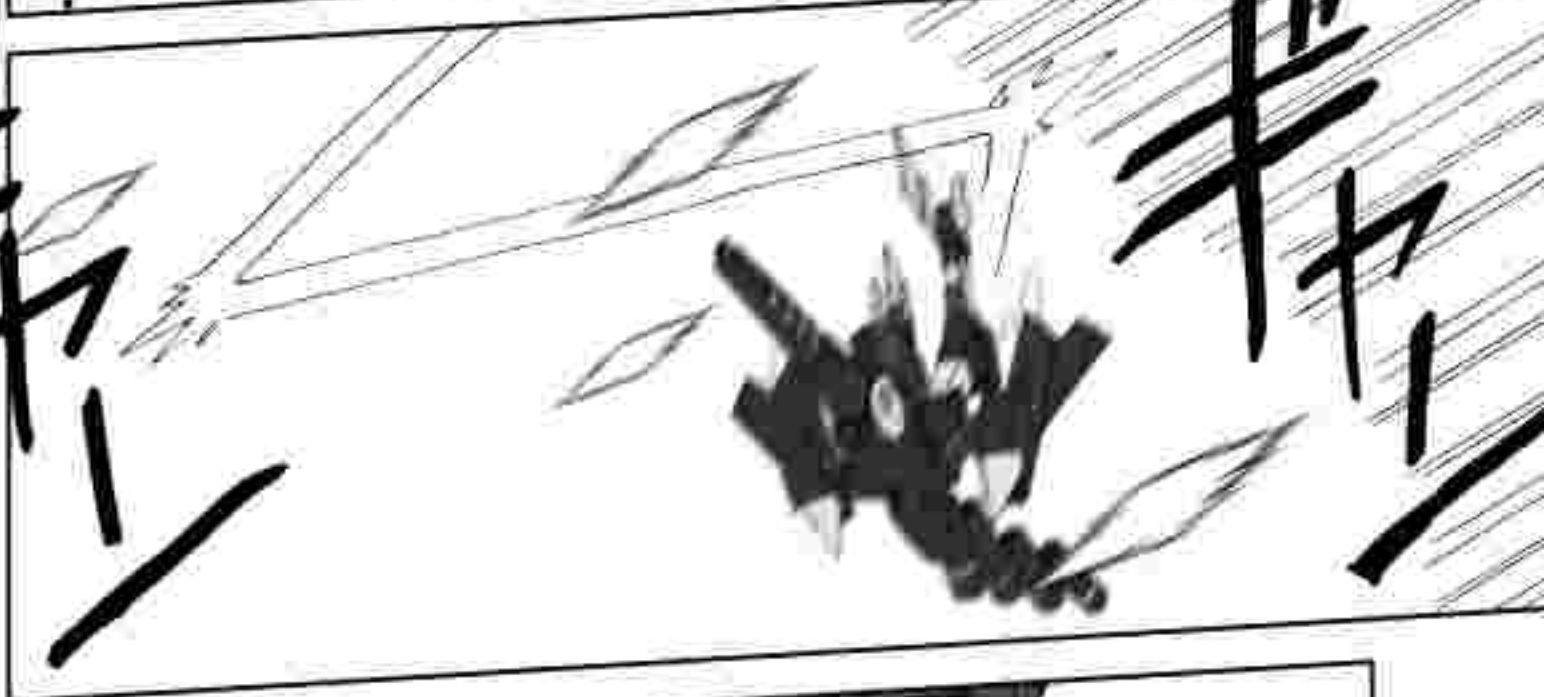
敵機の性能は  
明らかに  
こちらより上…

このままでは  
部下が大死に  
するだけだ…

どうする…？



だ…  
弾丸を…



かわ…  
してる…  
…？

全隊に命令！  
これより敵と  
交戦しつつ…

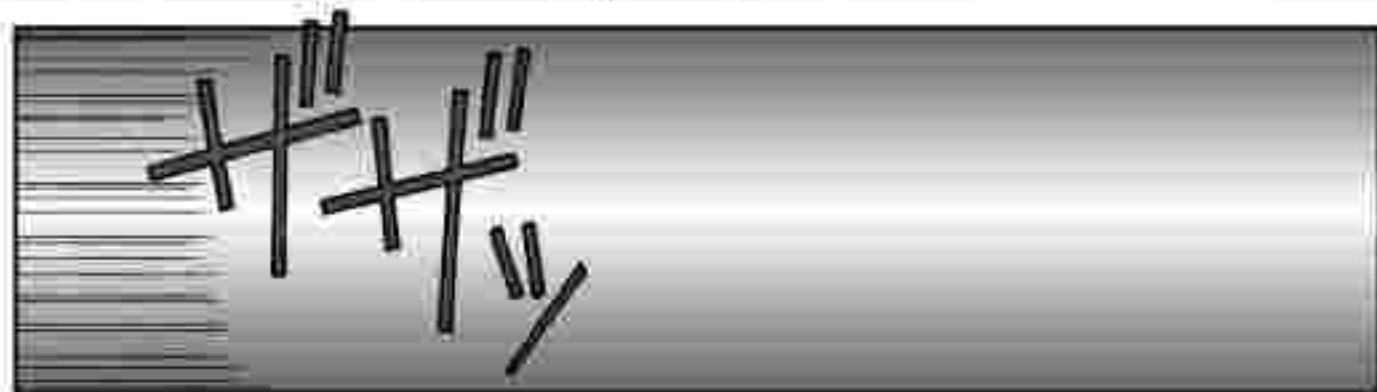


村の反対方向に  
退却する！  
村人が逃げる  
時間を  
かせぐんだ！

騎馬！夕狭霧！  
光学迷彩は使うな

獵師が発見  
されないよう  
敵を  
引きつけるんだ！

り…  
了解！







時間を稼ぐ  
だけだ！  
希望を  
捨てるな！

苦しい戦いだ  
皆がんばれ！



衛星通信  
使用不能  
赤外線通信  
使用



そうだ…戦いが  
終わったら皆で  
遊びに行こう

最悪の事は考  
えるな！ 生きる  
気力を失うぞ！



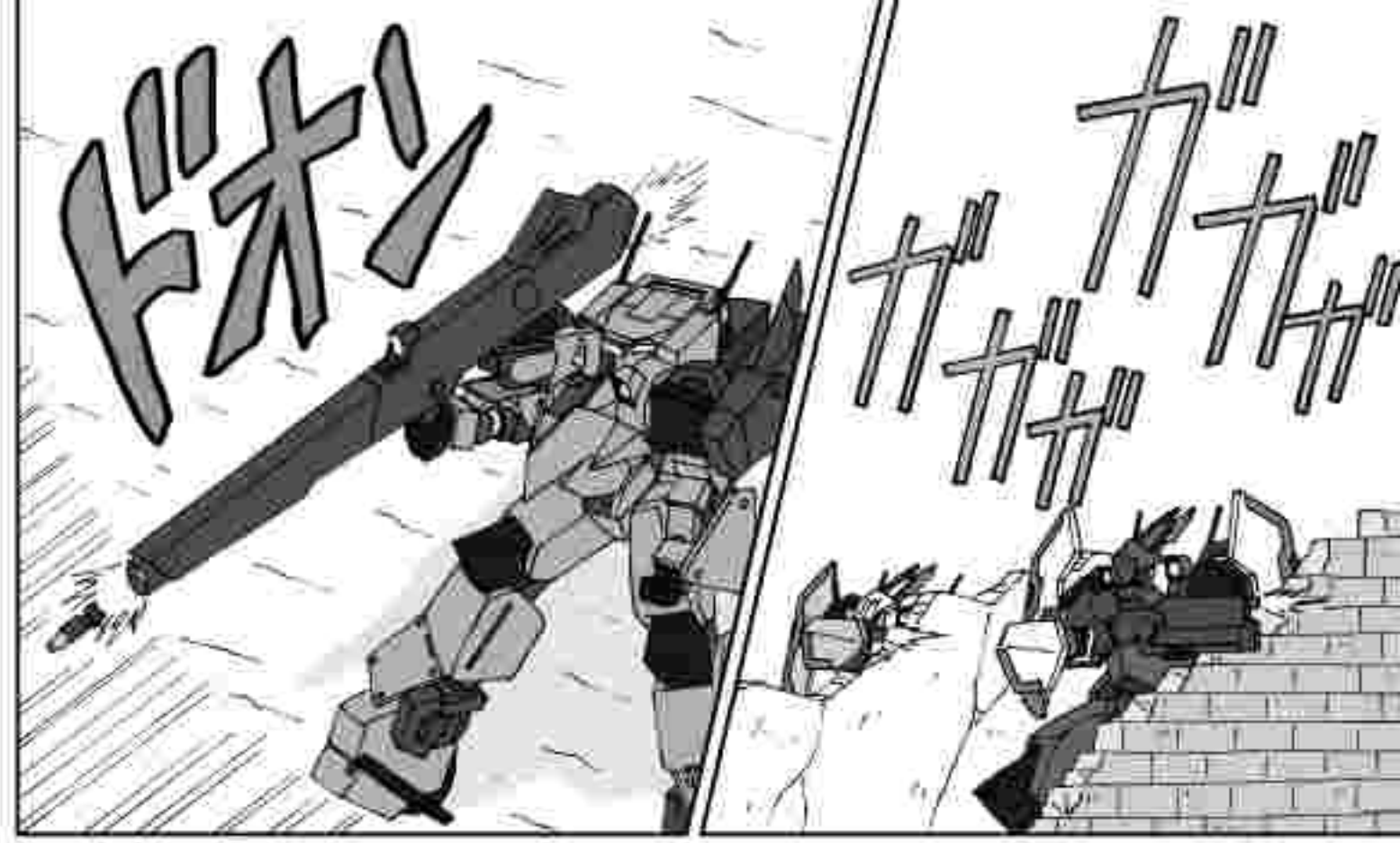
私達…  
ずっと一緒  
ですね！



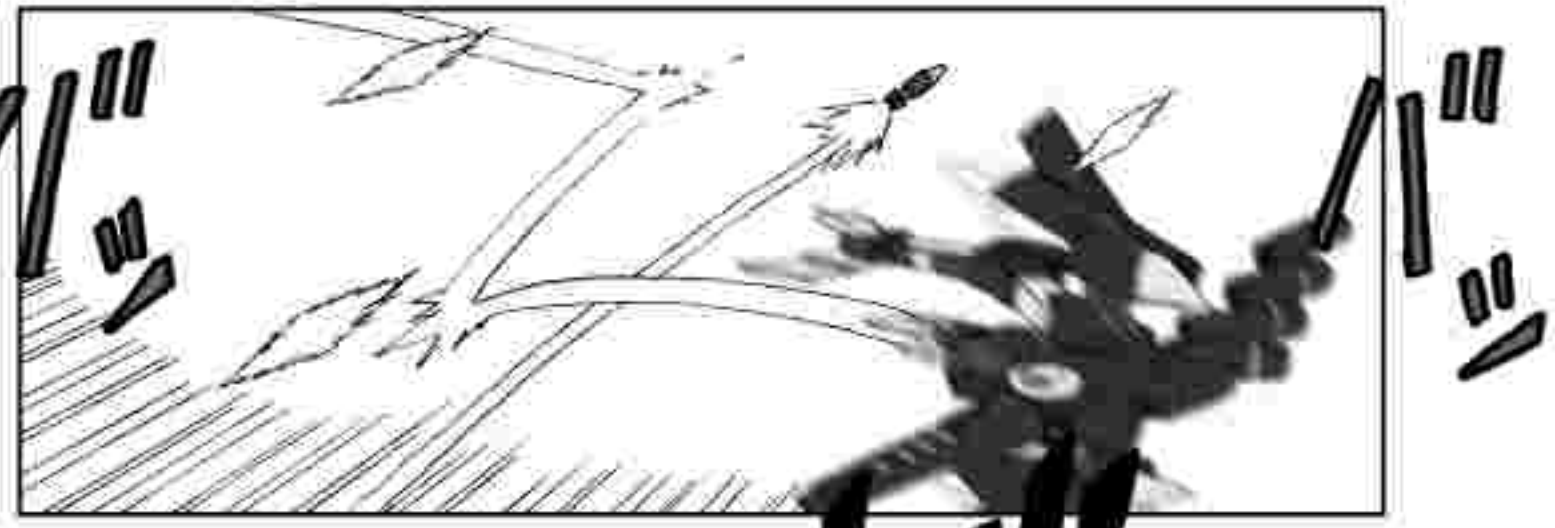
いいですね…



つきあい  
ます…



ドオオ

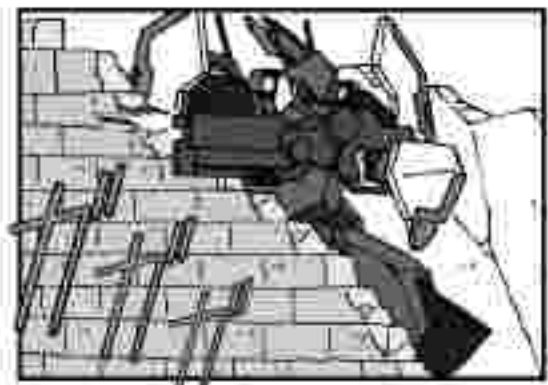


私達…  
死ぬの…  
…？

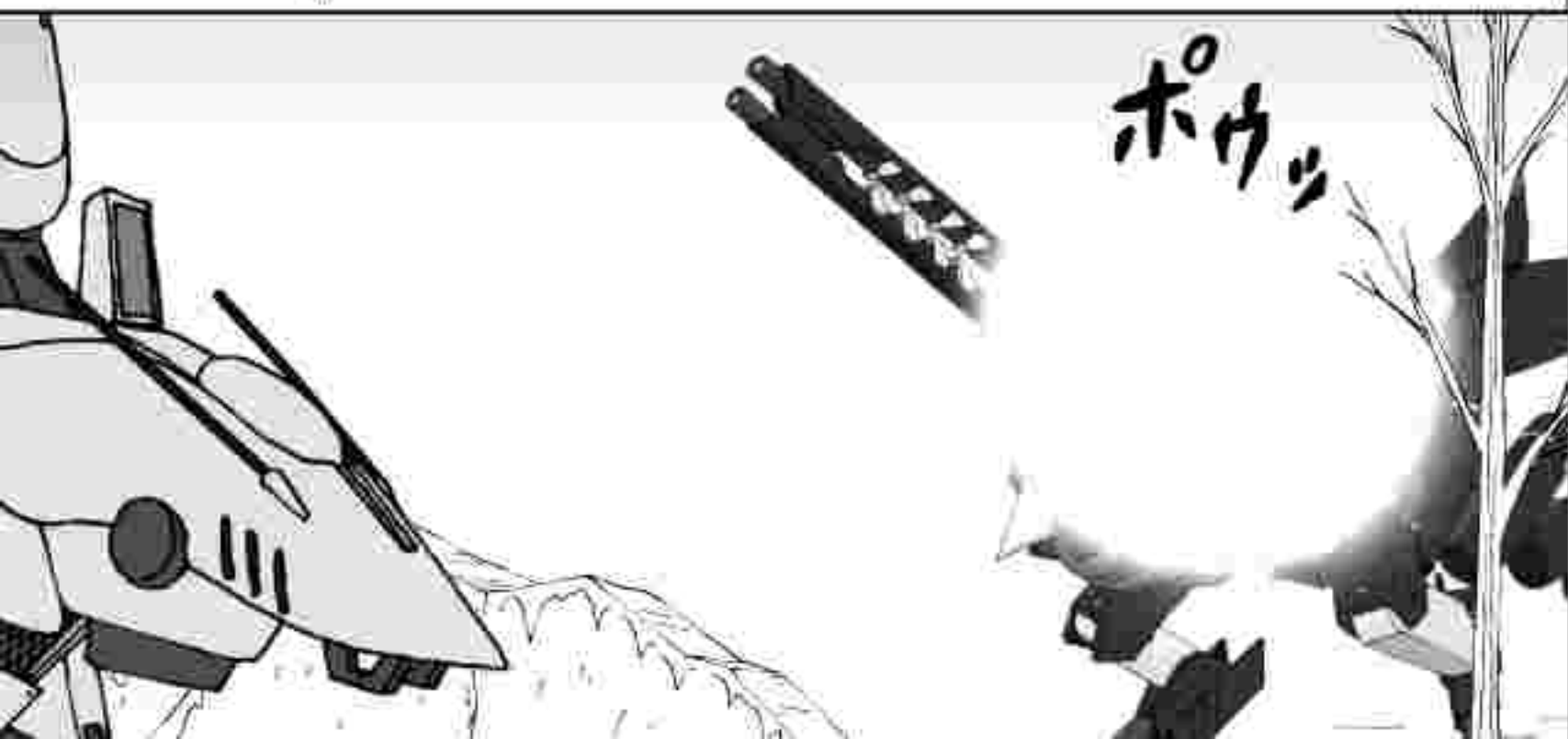


勝ち目が  
…ない…





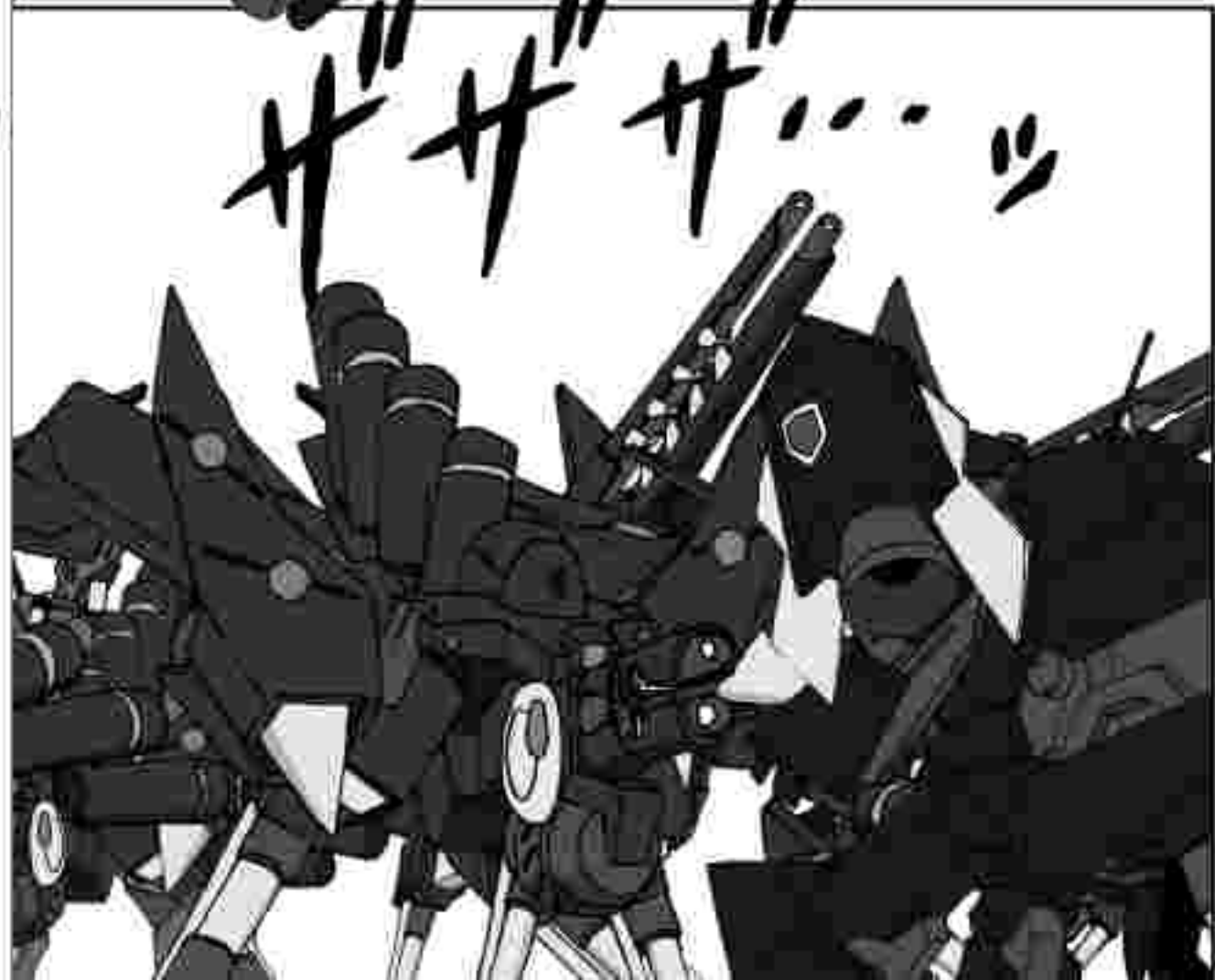
敵を近づけるな！



僕には雑に思えない...



敵は光学迷彩の使い方が雑です：移動時に本体が揺れ正面以外を向く時わずかに見えます：



接近戦でも  
敵の性能の  
方が上か！

ぐ……！



隊列を維持  
できない……！



そんな……！！  
一緒に戦う事すら  
できないなんて……



騎馬！夕狭霧！  
光学迷彩を  
使え！！

猟師から  
多少は離れた  
はずだ！

り：  
了解！



あ…あ…っ  
隠れる  
時間が…！



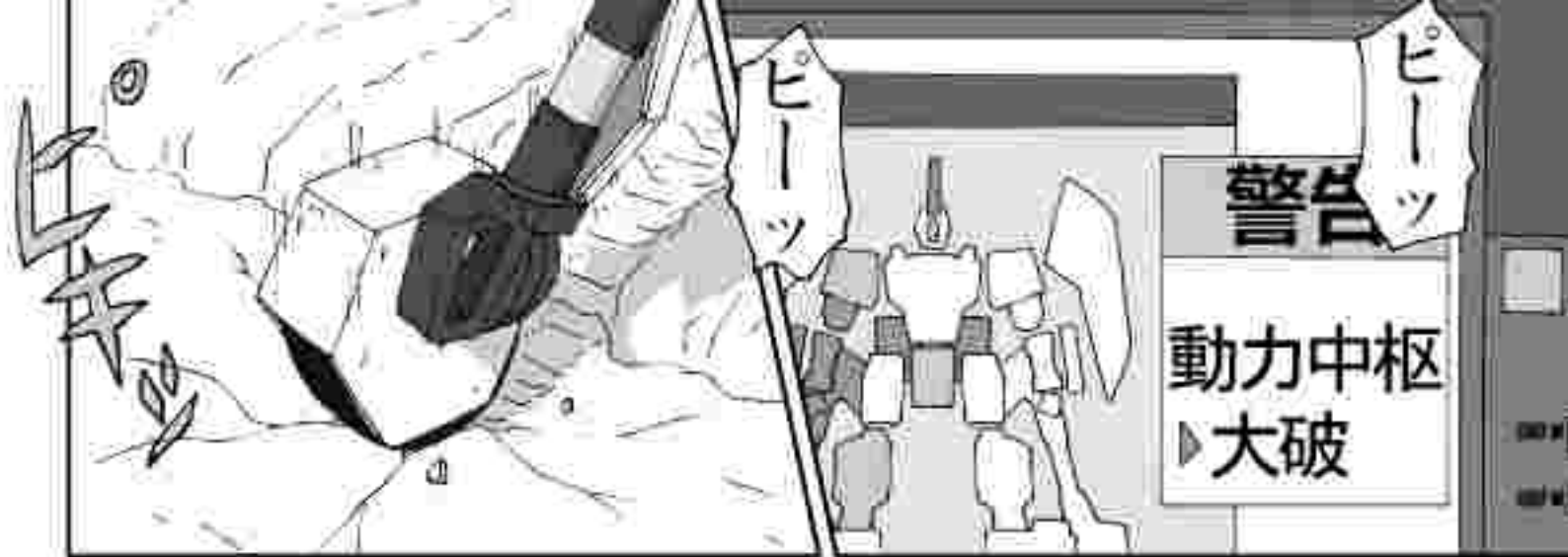


壁が無ければ  
装甲を撃ち  
抜かれて  
いた!!

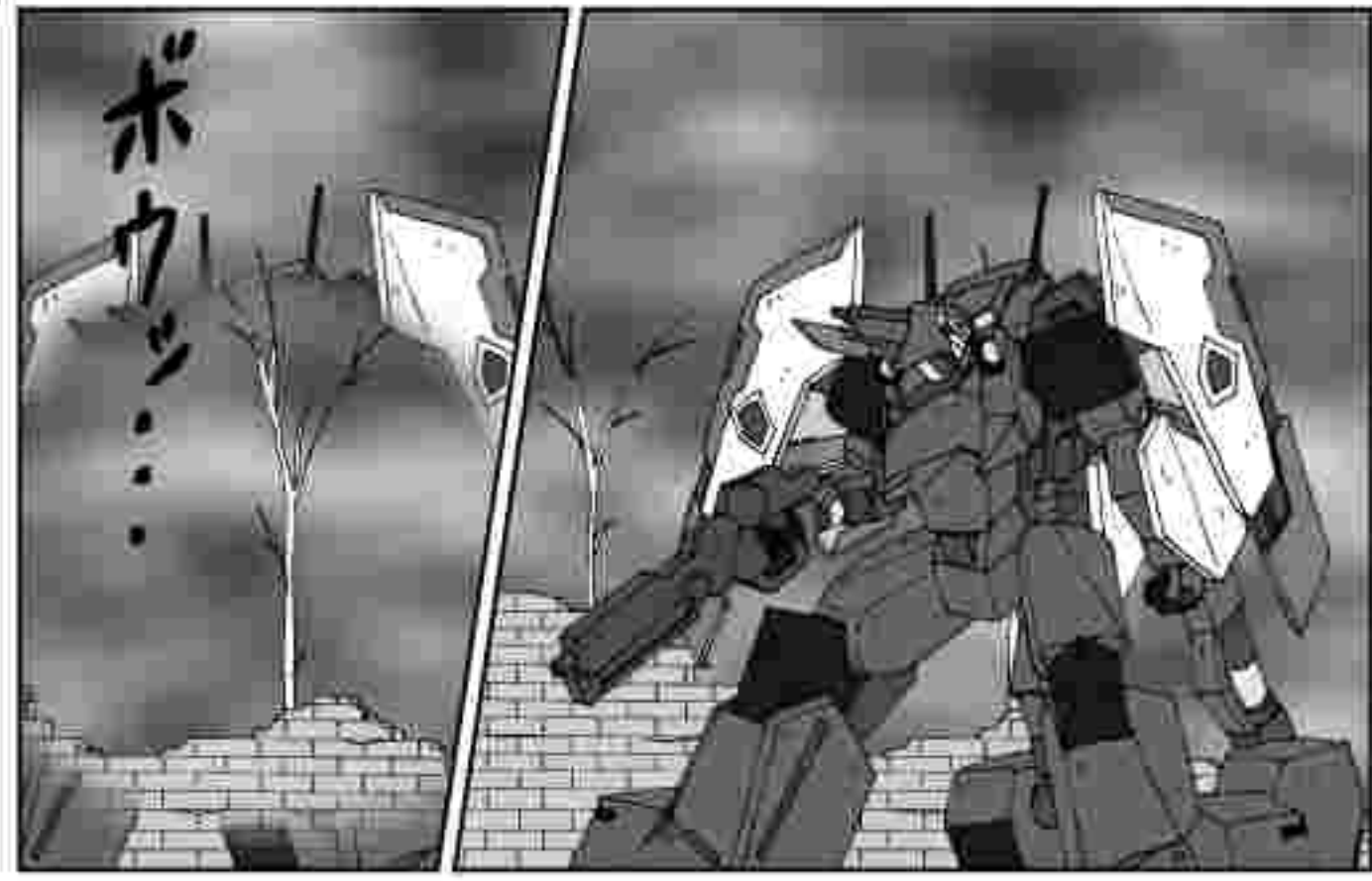
なんて  
強力な  
砲撃だっ!



わああッ  
ガッガッガッ



ピーッ  
警告  
動力中枢  
大破



ボウッ...

光学迷彩  
正常に  
作動中...

これで無人機  
には見つから  
ない...

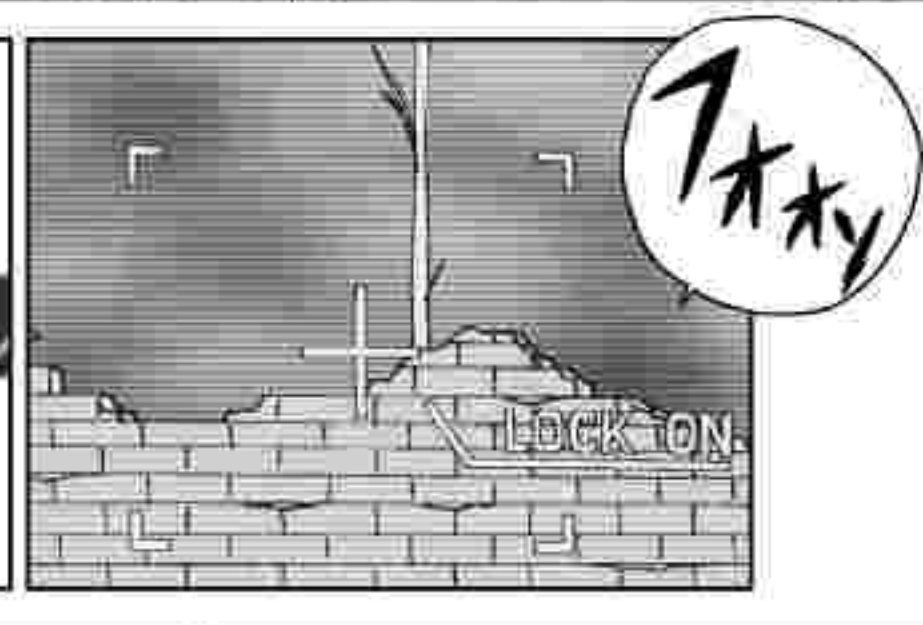
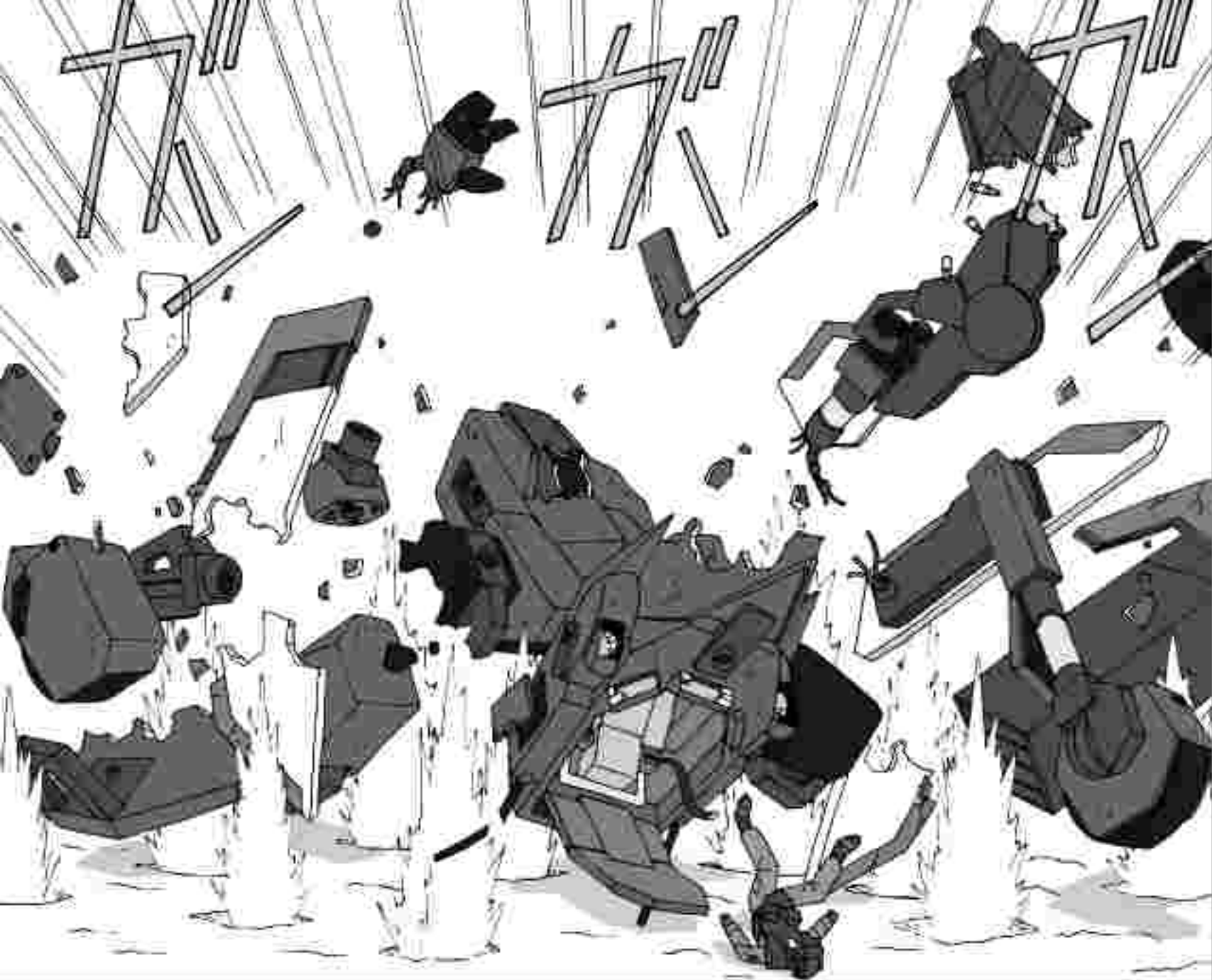


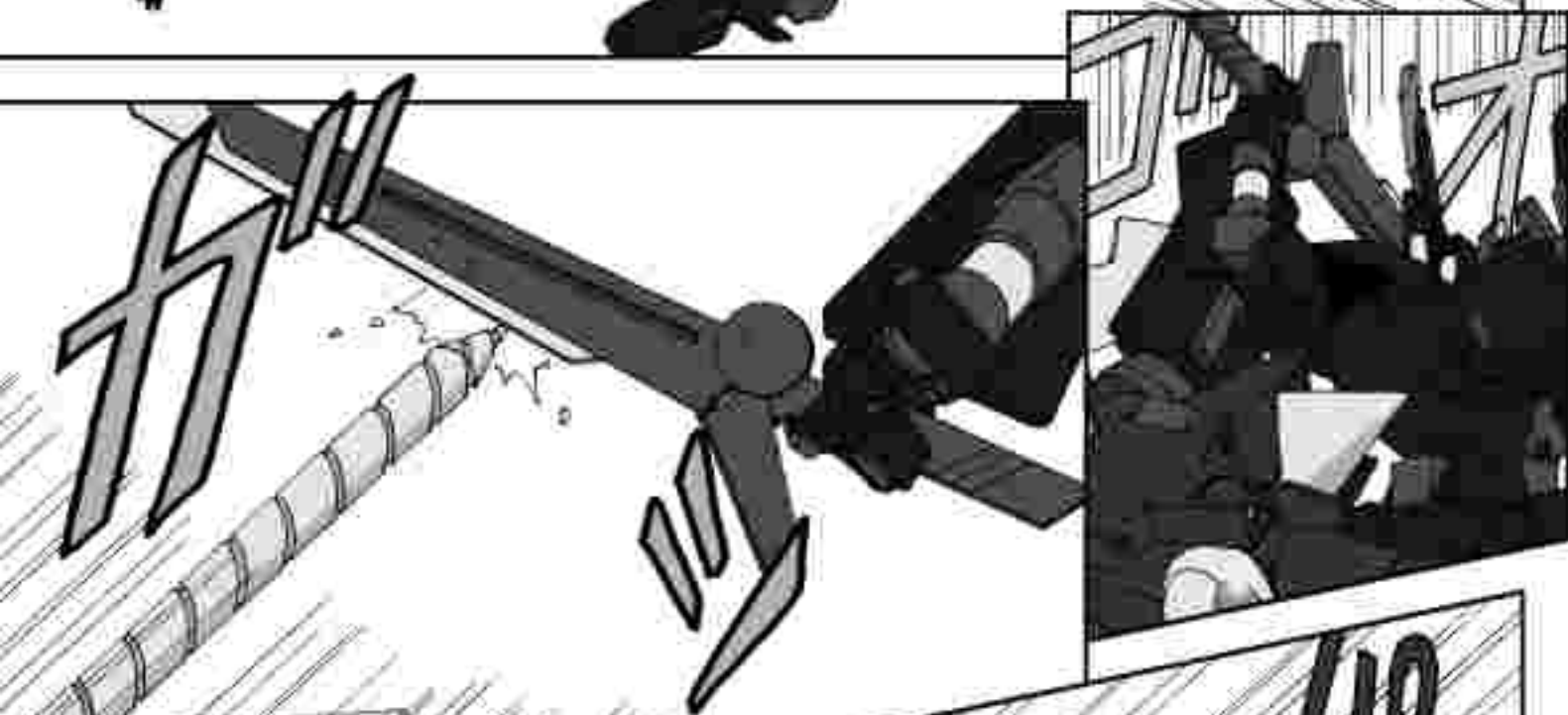
隊長!  
真白ちゃんが  
池に...

ああ...みんな  
どこに  
行ったの!?



!! 真白ちゃん







でも……予備  
バッテリーが使える……  
あと17分戦える……



メインバッテリー  
使用不能  
予備バッテリー  
00:17:07

いいのよ……  
……あなたは  
もう……

戦わなくて……

いい……



生き……  
てる……？

コポ

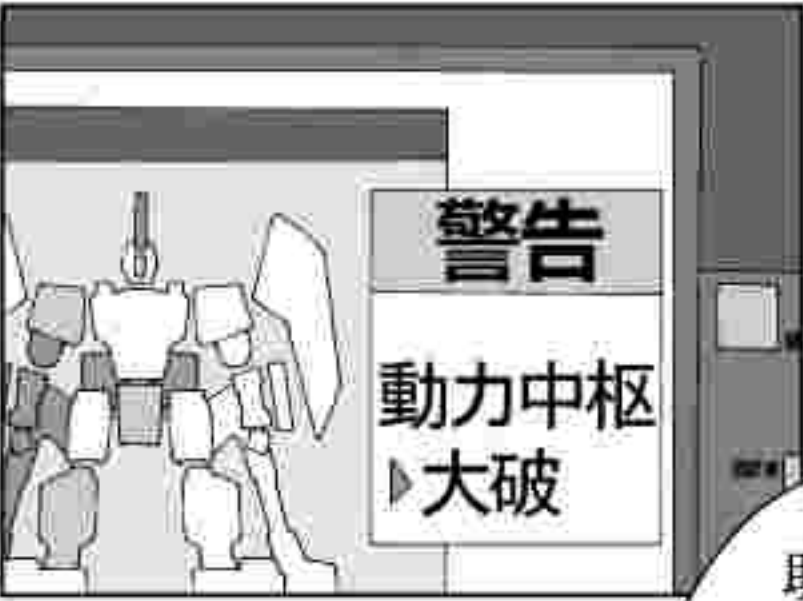
ゴポ

私……

う……う……



ここが壊れ  
たら廃車だな



警告  
動力中枢  
大破

いつか大活躍  
させてあげるって  
言ったのに……

ごめん……装騎……

装騎……もう  
助からないんだね……



これ以上…危険な  
事をしないで…

…何を言ってるの…？

私がどうして  
軍に入ったか  
…知っている  
んでしよう？

人民共和国は…

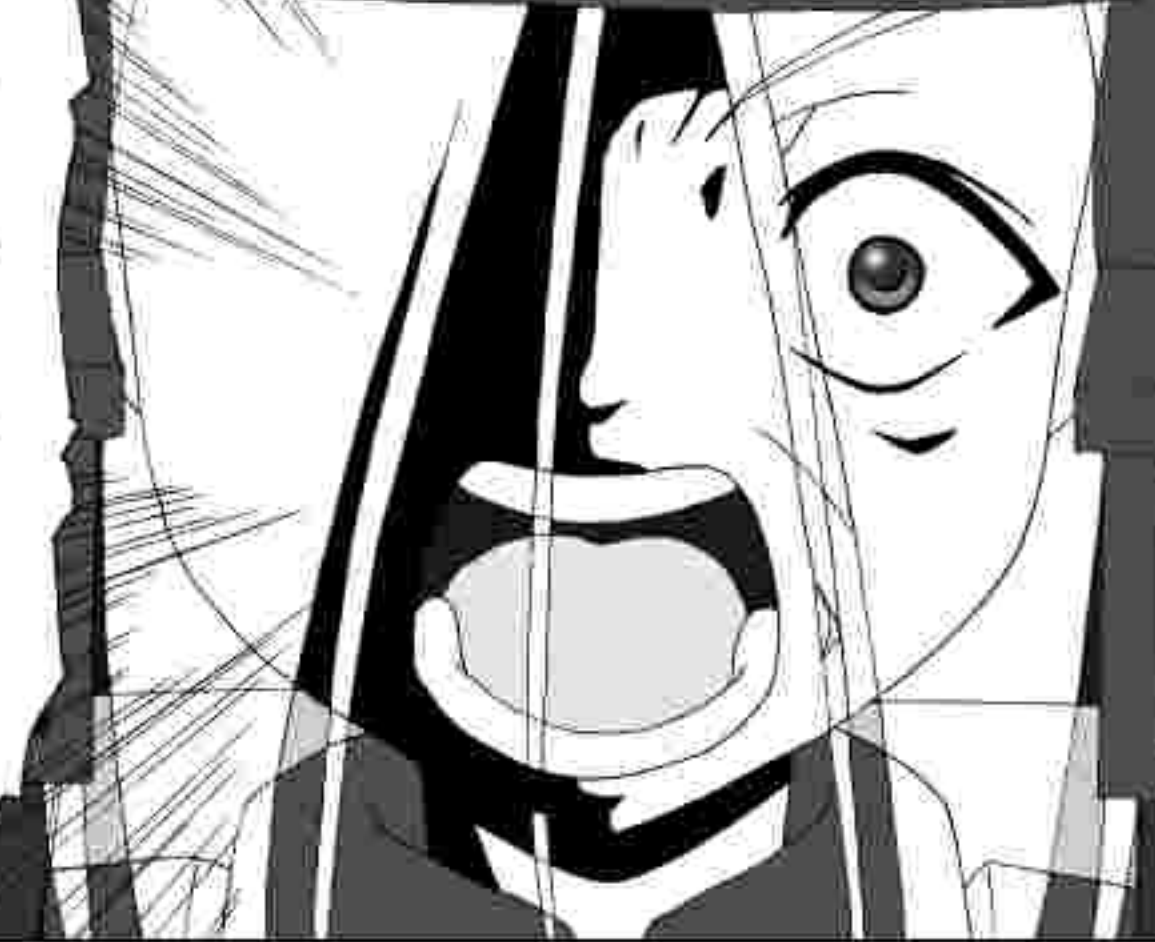
あいつらは…

私は養護施設に  
入れられ…地獄の  
苦しみを味わった…

私の父さんを  
殺した…

母さんはそのせいで  
苦労して…死んだ…

117



全部あいつらの  
せいだ!!!

私が死ぬまでに  
一体でも多くの  
敵を倒す!

行こう  
装騎!!

ピッ

システムエラー	電力中	ピーッ
予備バッテリー	大破	
00:17:07		
使用不能		

装騎...?  
...どう...  
した...の?



言ったでしよ...  
いつか大活躍  
させてあげる  
...って!



どうして  
動かない  
の!?

ピッ



私は仕返し  
してやるんだ!

誰にもジヤマは  
させない!!

私と一緒に  
戦って...装騎!

騎馬！鬼塚！  
夕狭霧！  
応答しろ！

くそっ！

撃墜されたのか？  
赤外線通信の範囲外  
なのか？

まあ…  
どのみち…  
…

あの電子戦型だけ  
でも墜とせば…  
味方が少しは楽に  
なるはず…

この損傷では…  
助けに行けんか

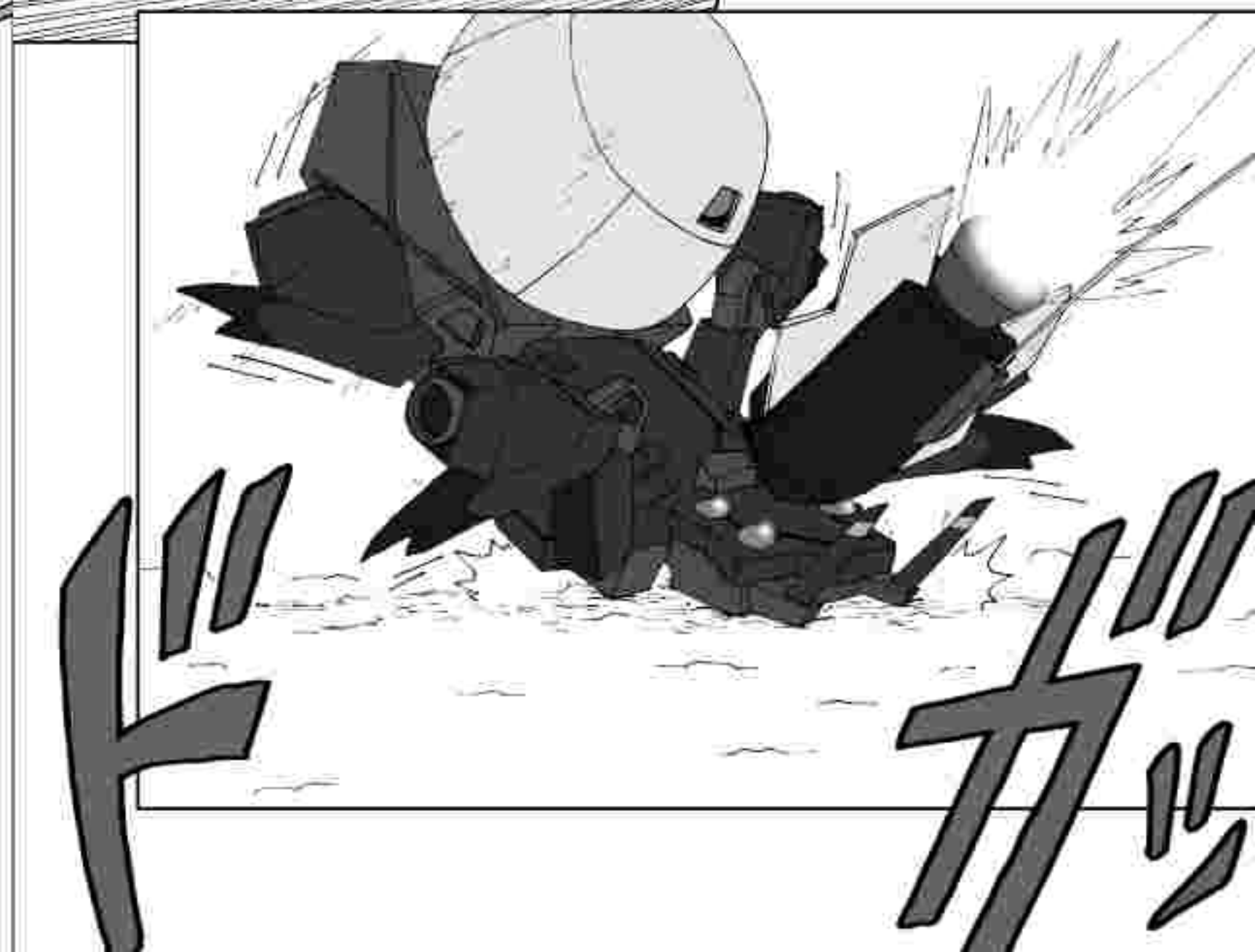
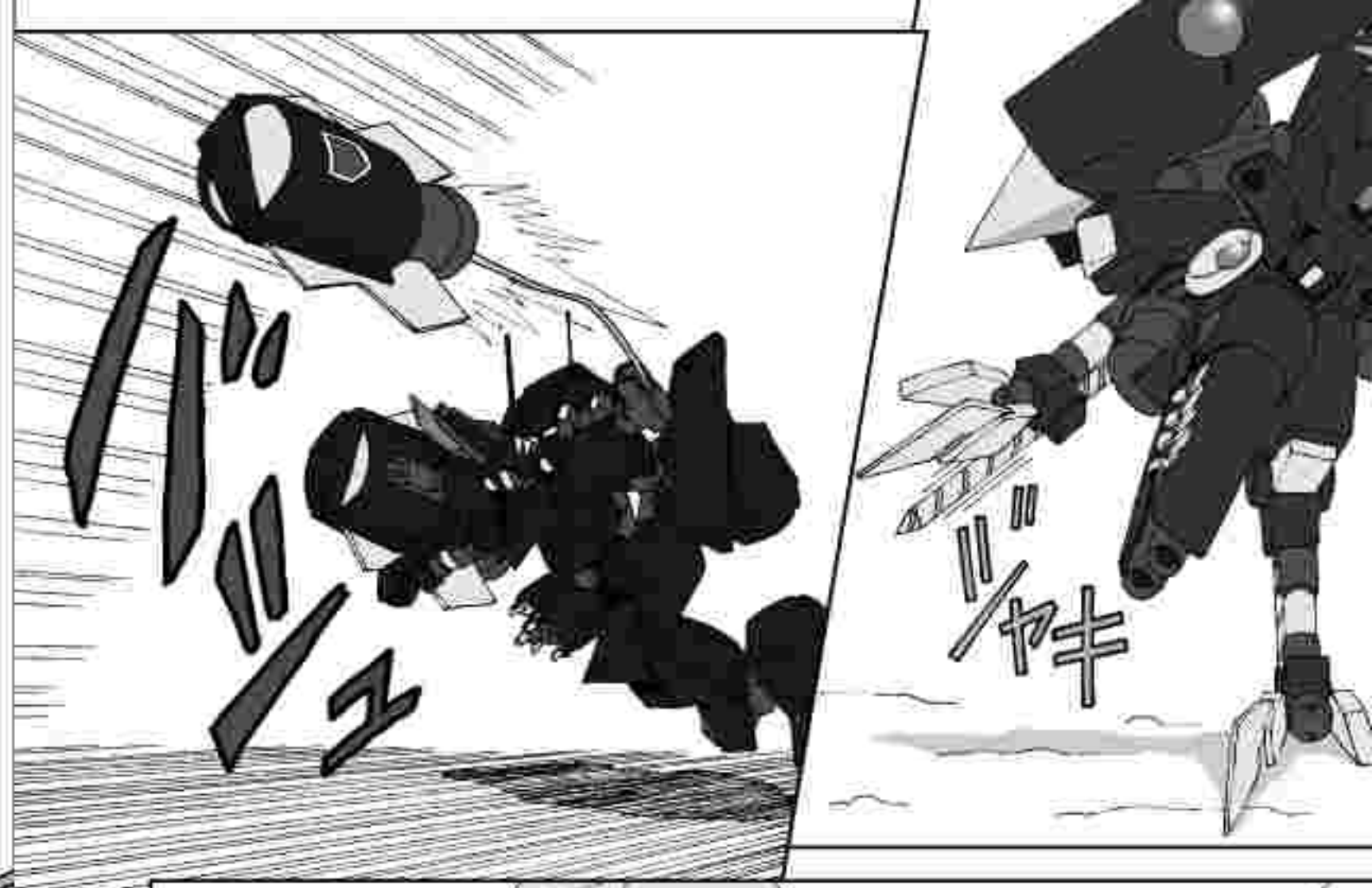
だが…

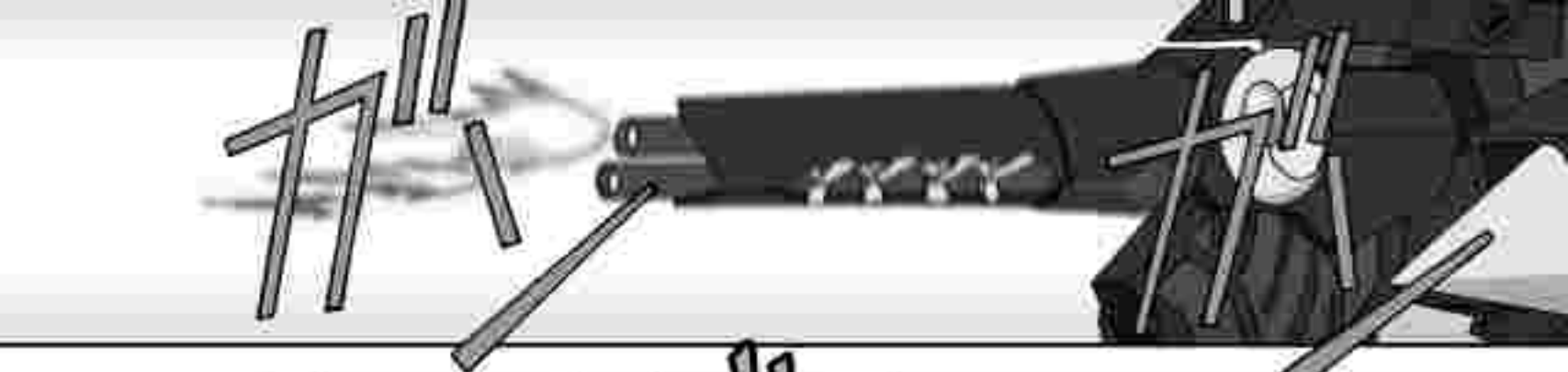
よし！



機械相手なら  
遠慮はしねえ…

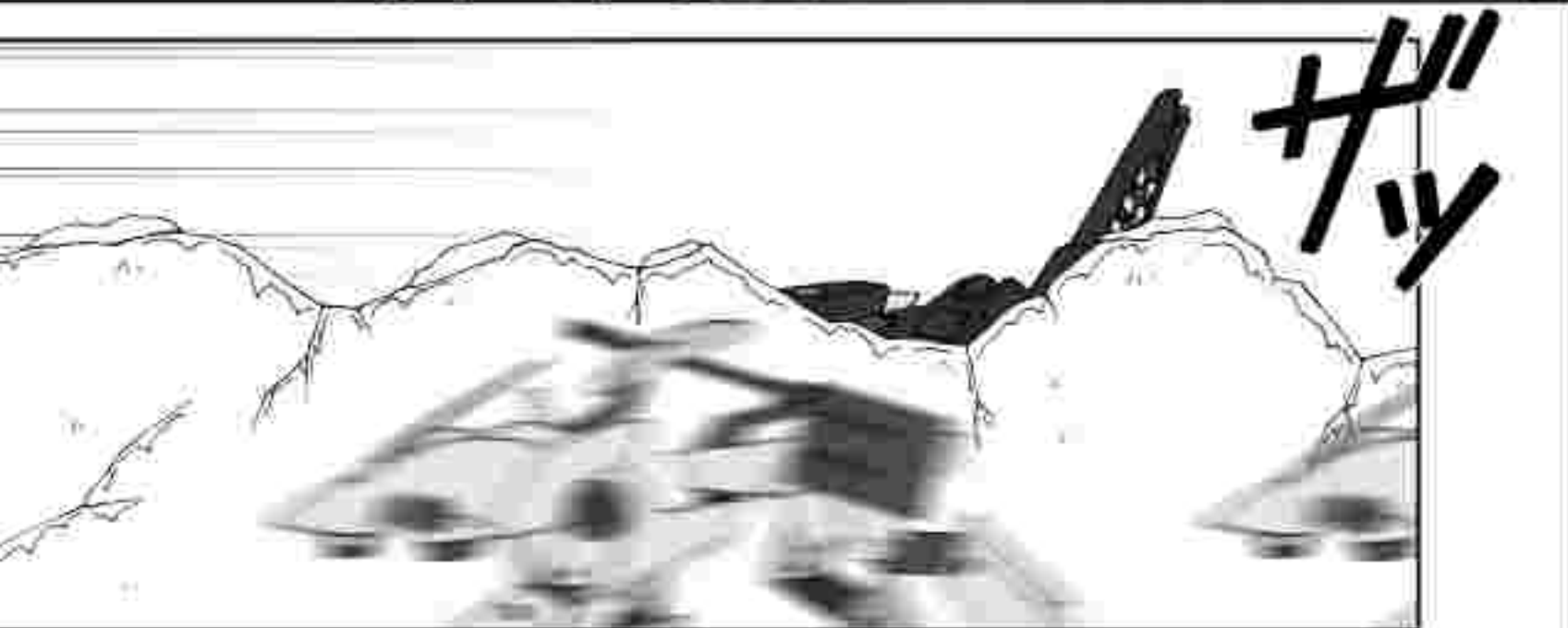
敵を盾にする  
なんざあ  
汚ねえ手だが…





しまった!  
こいつら味方  
ごと撃つのか...





第77工兵隊…壊滅！  
稼働中の有人機は  
鬼塚機のみ……！！



司令！衛星通信  
回復しました！  
し…しかし…！！



り…  
了解！

20式無人機を  
この司令部サーバで  
コントロールします！



鬼塚軍曹！



人間以上の  
判断力を  
得られる！



20式はサーバ内の  
膨大なデータを  
利用する事で…



あ…あの…先ほど  
指示された計算  
結果が出ました…

て…敵一体の戦闘力は  
装騎の57倍  
20式の39倍！

第77工兵隊が  
消失する確率  
100%！

関東の全軍が出撃しても  
光学迷彩を持つ敵を捕捉  
困難…むしろ航空支援なし  
では各個撃破の危険が…



何…ですって…？

あり…えない…  
そんな数字…

そんなの…人間の  
力で勝てるわけ  
無いじゃないッ！



うう…

ドリル嫌いに  
なりそう…

どうなってる！  
ちっとも勝てないぞ!?



そ…そんな…  
…はずは…

まるで…

…悪魔…



…司令部より  
第77工兵隊へ  
…



命令を伝える…

全ての装備と  
任務の放棄を  
許可する

以後自身の生還を  
最優先に行動せよ

幸運を祈る

…了解  
感謝します

とても敵を  
振り切れるとは思えない…

こうなったら…

とは言ったものの…

真白ちゃん！  
聞こえる！？

いい？絶対  
そこを動かさないで

私は敵を  
引き付けたまま  
出来るだけ遠くに  
移動するから

…頼子…  
さん…？

よかった  
無事ね

…私は大丈夫  
20式が凄いい性能で  
敵を  
圧倒しているの

…それと…  
たたいた事  
ごめん…

70011

あとは私に  
まかせて

Type20 UTTO1	撃墜	Type20 UT	撃墜
Type20 UTTO2	撃墜	Type20 UT	撃墜
Type20 UTTO3	撃墜	Type20 UT	小破
Type20 UTTO4	撃墜	Type20 UT	撃墜

……

隊長も初未<sup>はつみ</sup>ちゃんも  
運が良ければ  
生きているかも…

私一人が  
犠牲になれば  
皆助かるはず…

がんばるのよ  
頼子お………!!

………

敵を圧倒なんて  
…何でウソを…



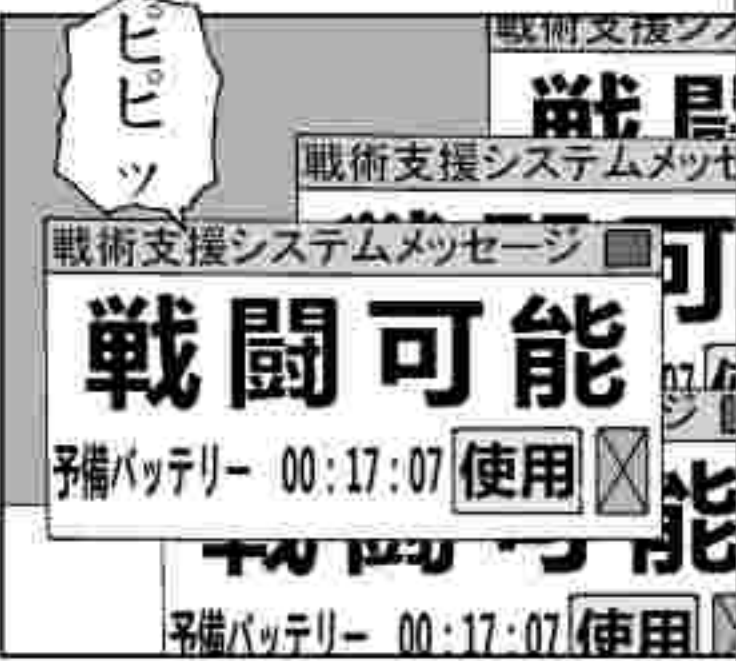
もしかして私は……  
助けてくれる人を……

生き続ける為に  
必要な人を……



見殺しにしよう  
としているの？





…これが偶然  
なのか……

誰かの  
意思なのかは  
分からない……

でも……

きつとこれは……

私に与えられた  
チャンスなんだ！

私達には先祖が残した  
特殊な戦闘技術がある  
……それでも……

あの敵は危険すぎる

うん……でも

あなたの力を  
使いこなせれば……

あるいは……

私は……  
皆を助ける！

それに……

もしかしたら……  
私が皆を  
助けられたら……

こんな嫌われ者の  
私でも……

仲間だと思って  
くれるかも  
しれない……

最近ようやく  
……

あなたが誰なのか  
分かったの

あなたは私の  
数多くの人格の  
一つ…

家族と一緒の  
時の自分

初対面の人と  
話す時の自分

…全部  
別々の自分だ

おびえた  
時の自分

本来は生命の危機  
の時だけ出てくる  
べき存在…

ある意味…全ての  
人間は多重人格なのかも  
しれないな

でも私が他人を  
信用せずいつも身の  
危険があると思って  
たから…あなたは度々  
私の表面に出てくる  
ようになった

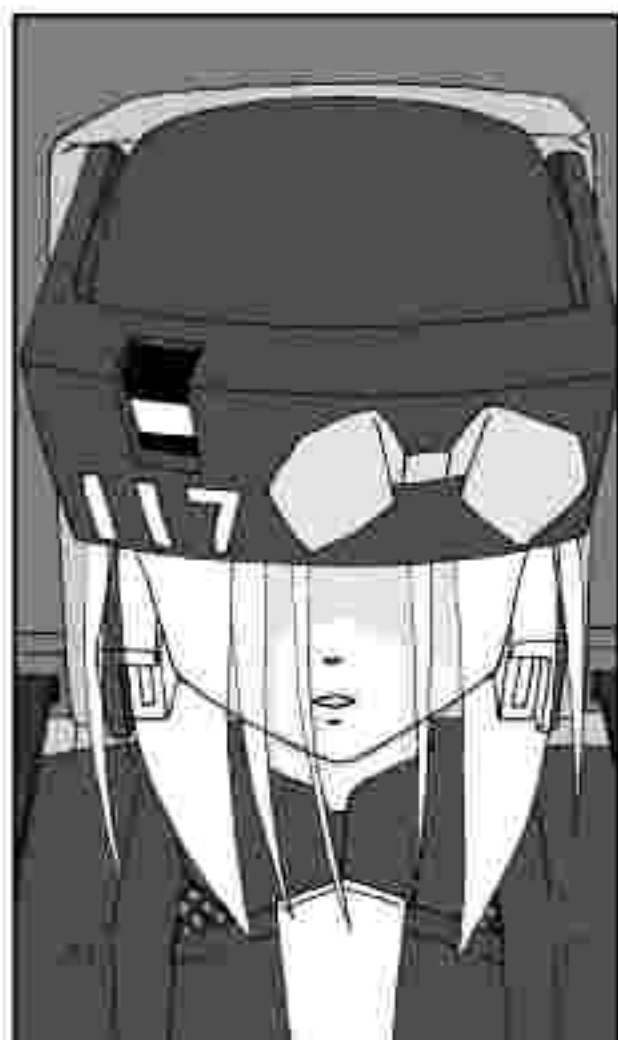
そう…私はあなたを  
…いえ…自分を  
守るための存在

でも…あまり

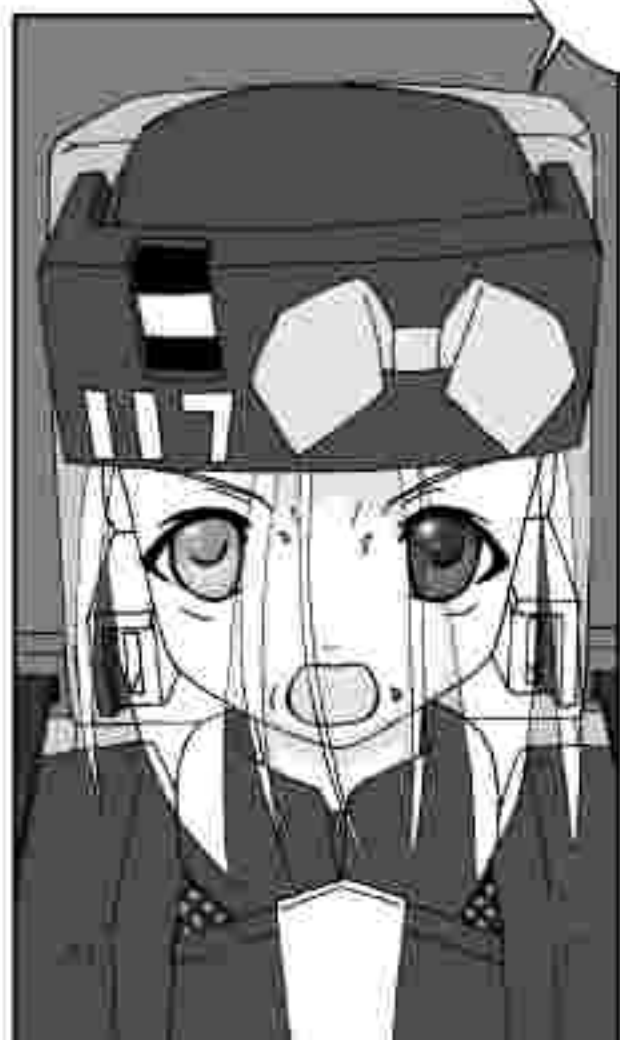
自分を信用

しない方がいいわ

それでも戦うと  
言うなら…一緒に  
戦いましょう…



うん！





損傷チェック

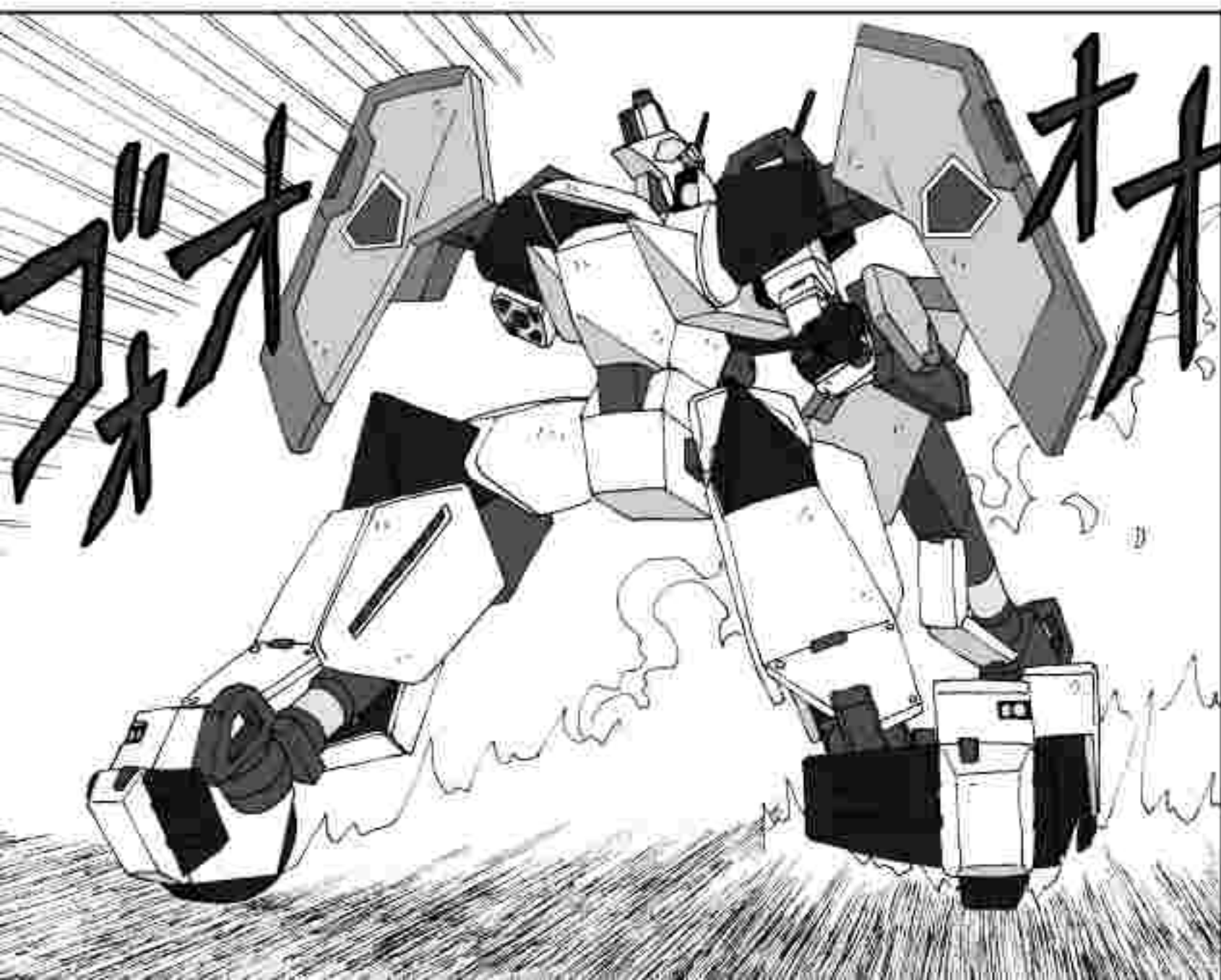
機体出力  
70%に低下

20mm砲使用不能

ミサイル残弾無し

CIWS大破  
ミサイル防御不能

対戦車刀と光学  
迷彩は使用可能



戦闘可能時間：17分  
大丈夫：戦える：！！



しょうき  
装騎：あなたの  
最後の力……  
私に貸して！





残弾も残り  
少ない

これで20式は  
全滅……



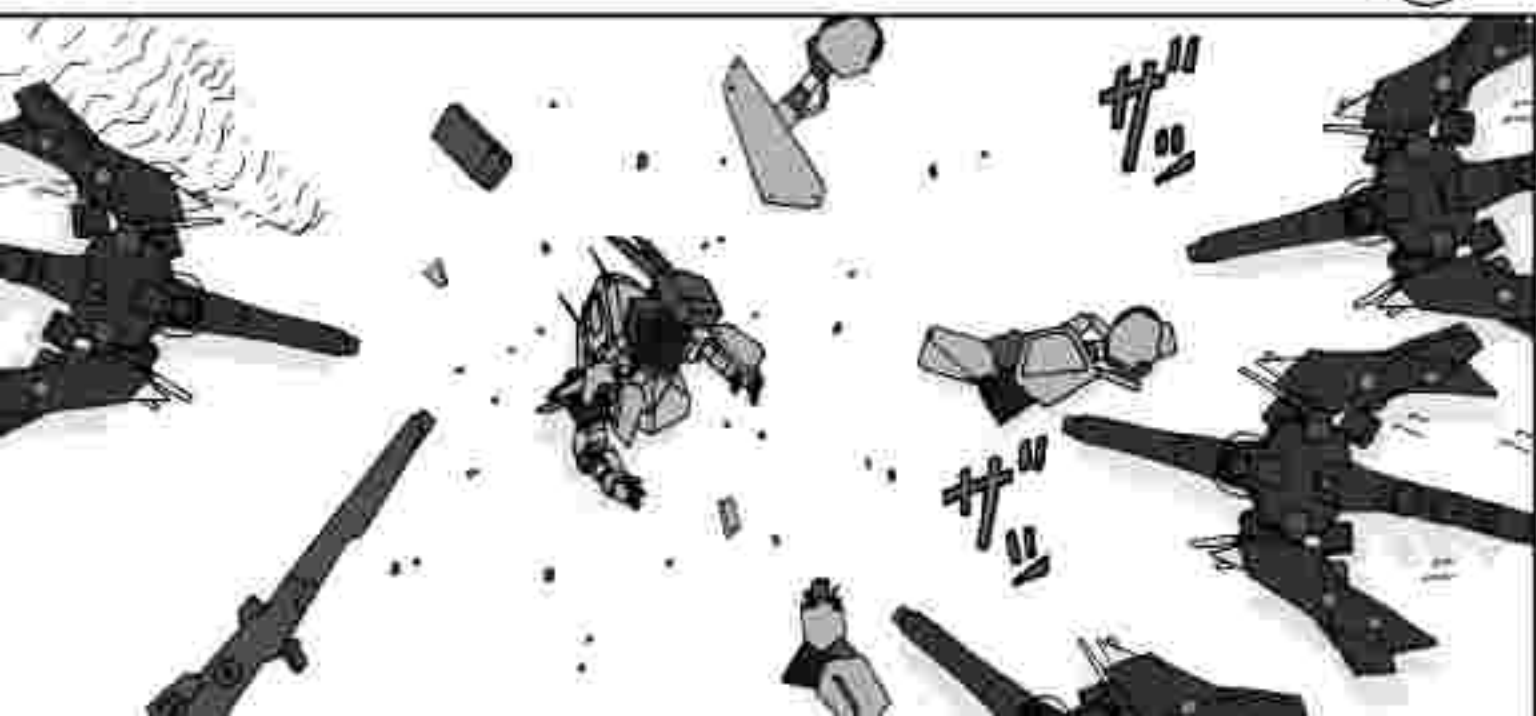
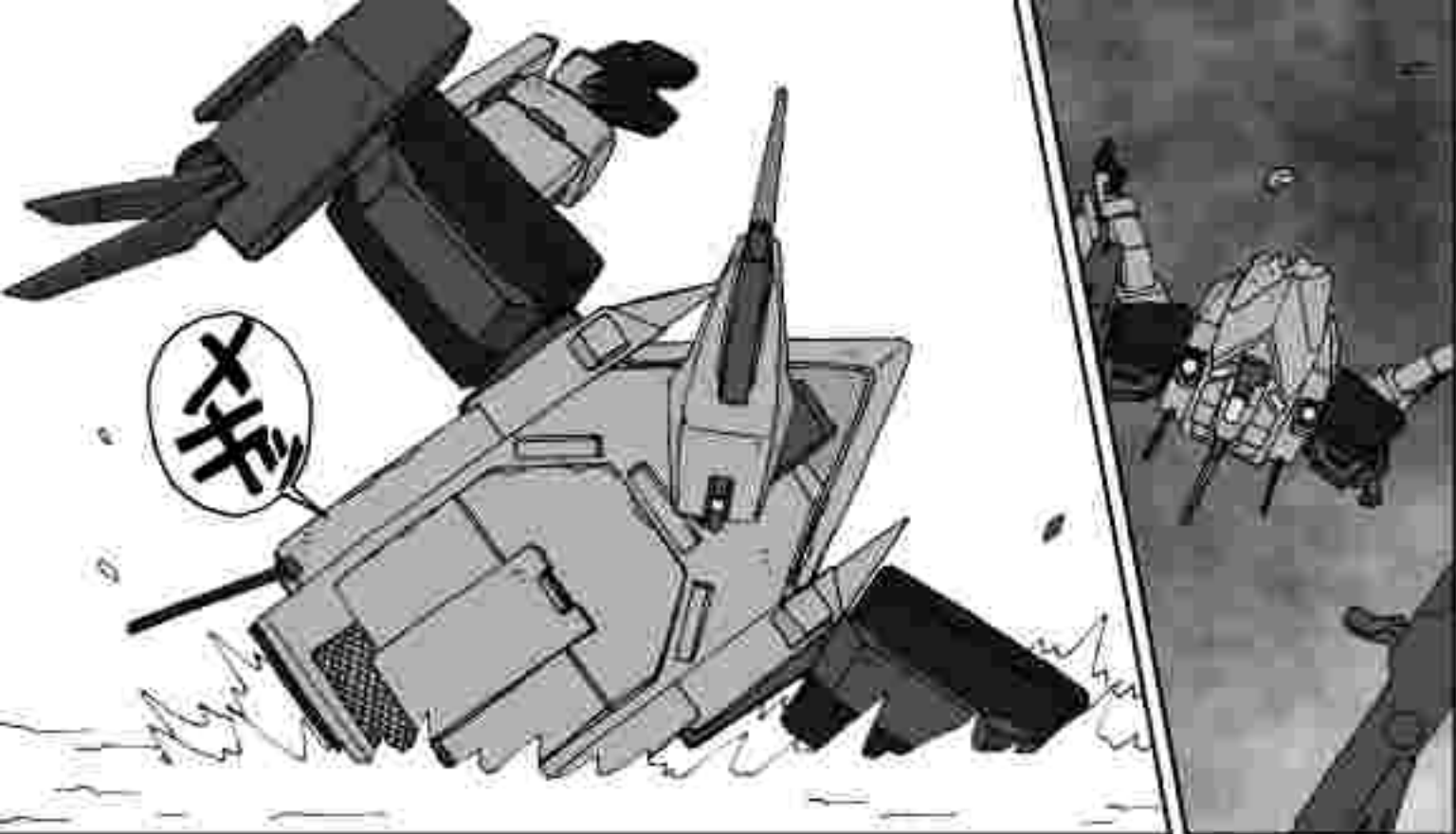
でも敵も  
撃ってこない……

アアアア……



くっ！

ド



送信を中止  
できません！

サーバの電源を  
落とせ！

操作できません  
ウイルスに操ら  
れて……！

やむを得んツ  
サーバを壊す！



被害を  
報告しろ!!!



何事だ!?



サーバ内  
軍事機密の  
37%が流出……

敵無人機が  
入手したかと……

1%でも致命傷  
となるデータが  
……37%だと……!?

ま……まさか……  
わ……私の設計した  
無人機システムに

……こんな  
欠陥が……!!

このサーバが  
ウイルスに感染!  
データが勝手に  
外部に送信されて  
います!

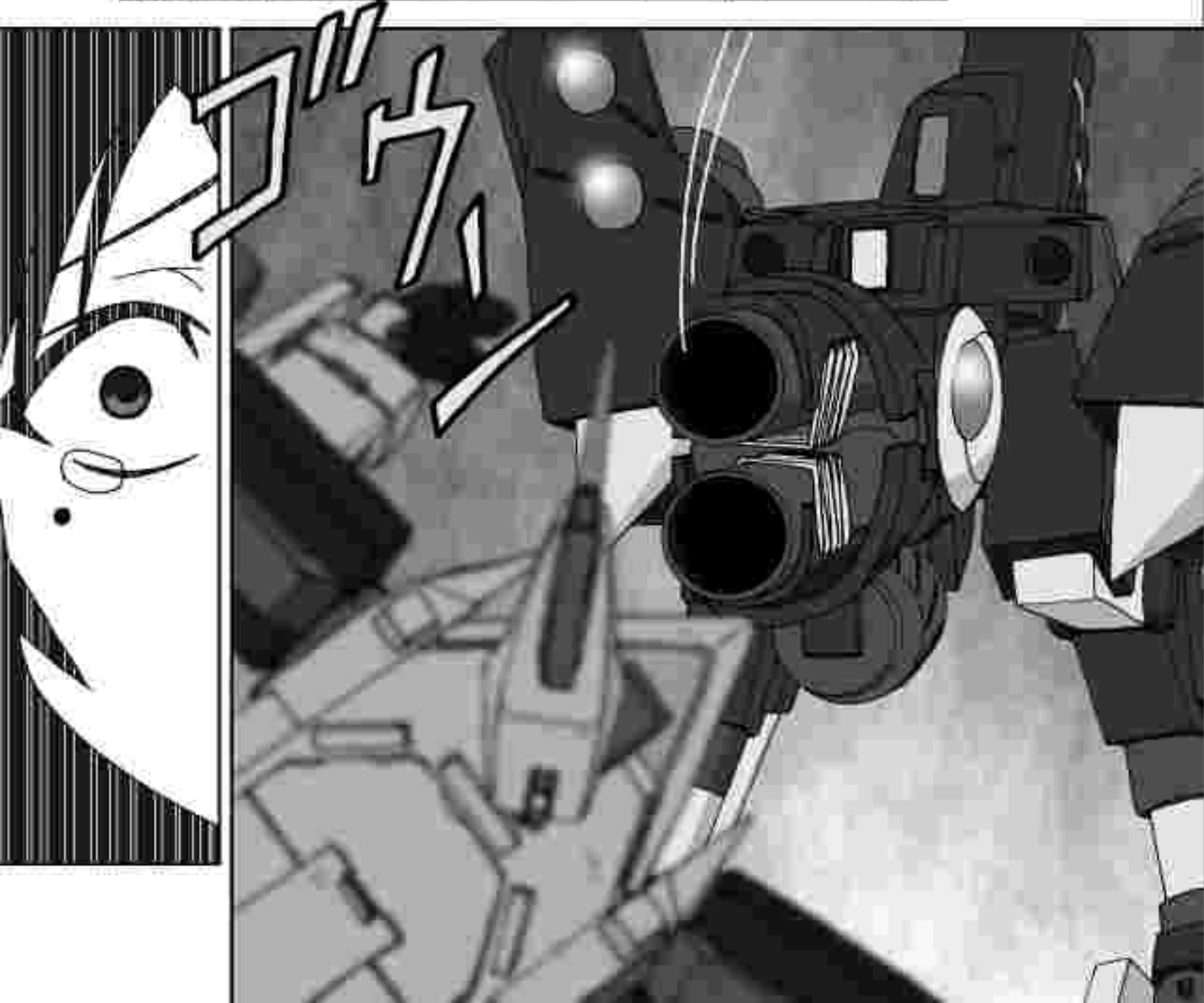
お……おそらくは  
敵無人機が工兵隊の  
回線を利用して……!!





英雄として!!!

そして  
私は皆の心の中で  
生き続けるの!



…ま…  
…さ…  
…か…?

司令部サーバ ⇒ 不明なデバイス  
データ転送率 >>> 37%  
警告 >> 第一種機密情報です

…敵の狙い  
は…  
最初から…  
司令部  
サーバとの  
リンク回線  
を持つ…  
私だった…

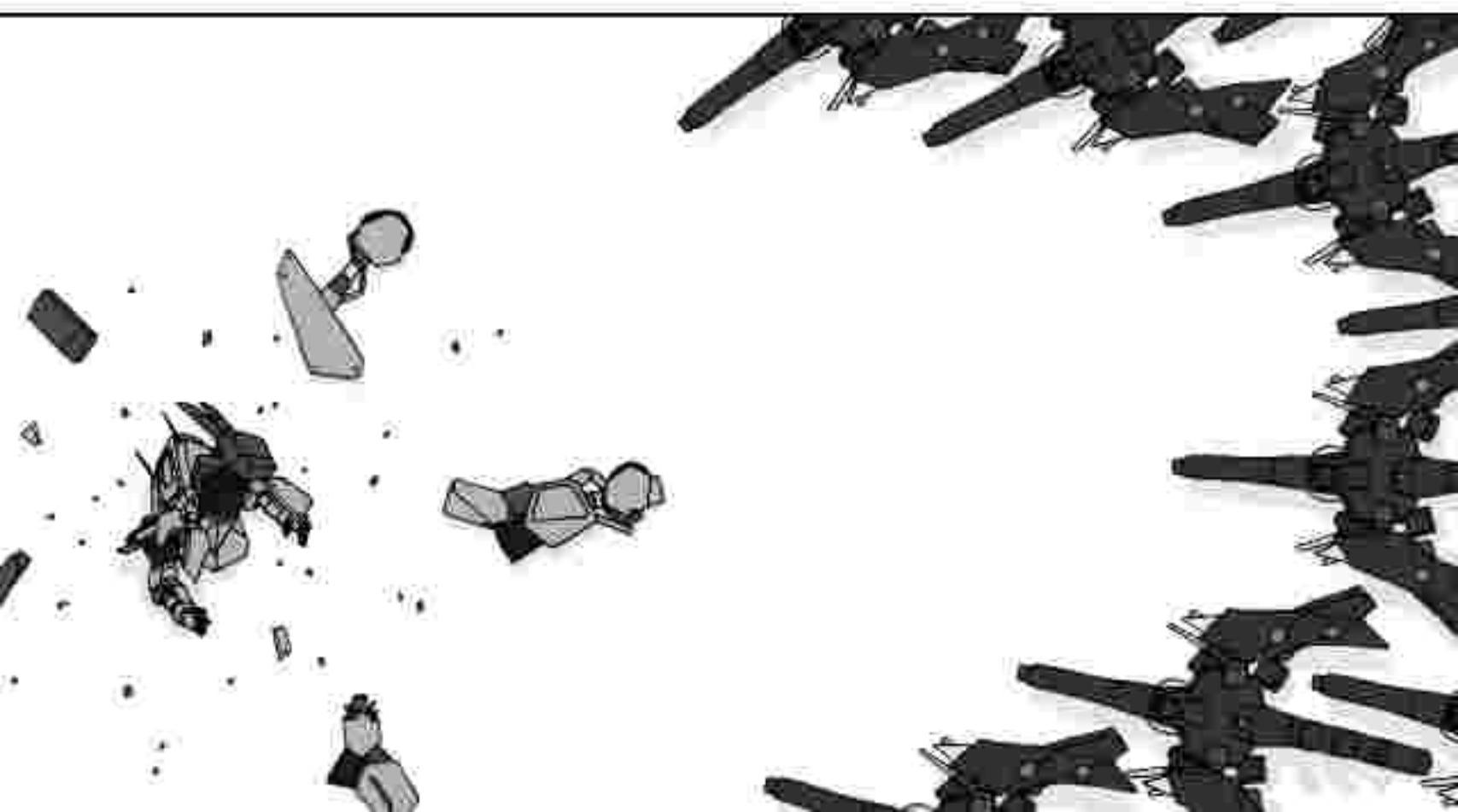


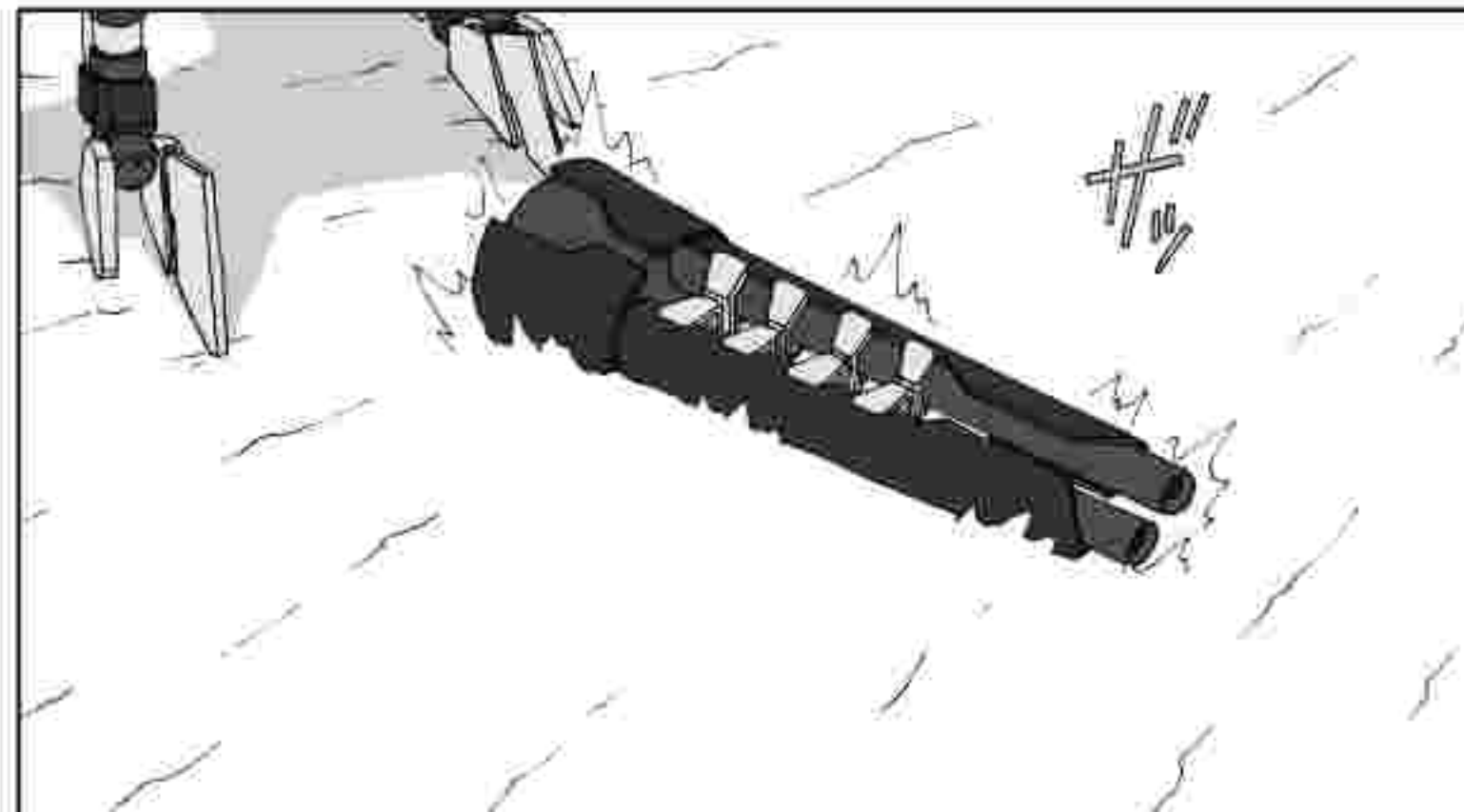
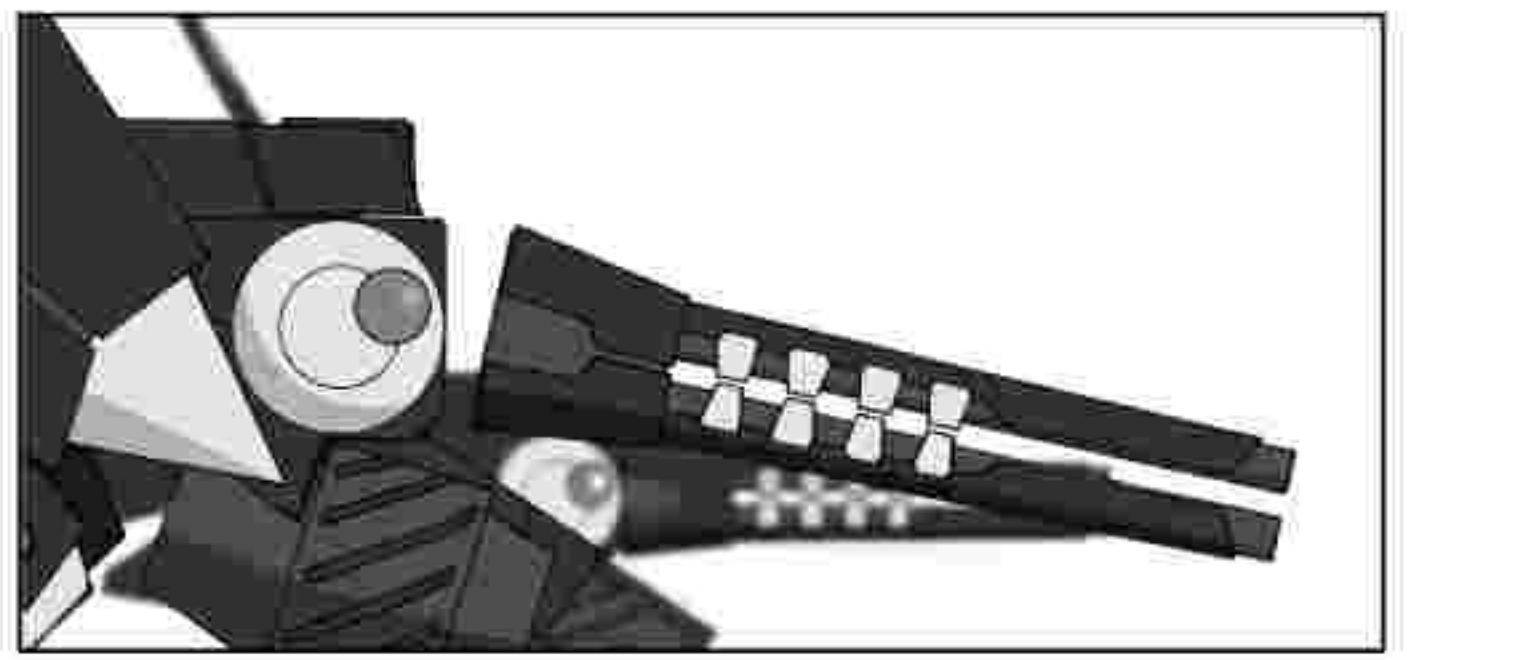
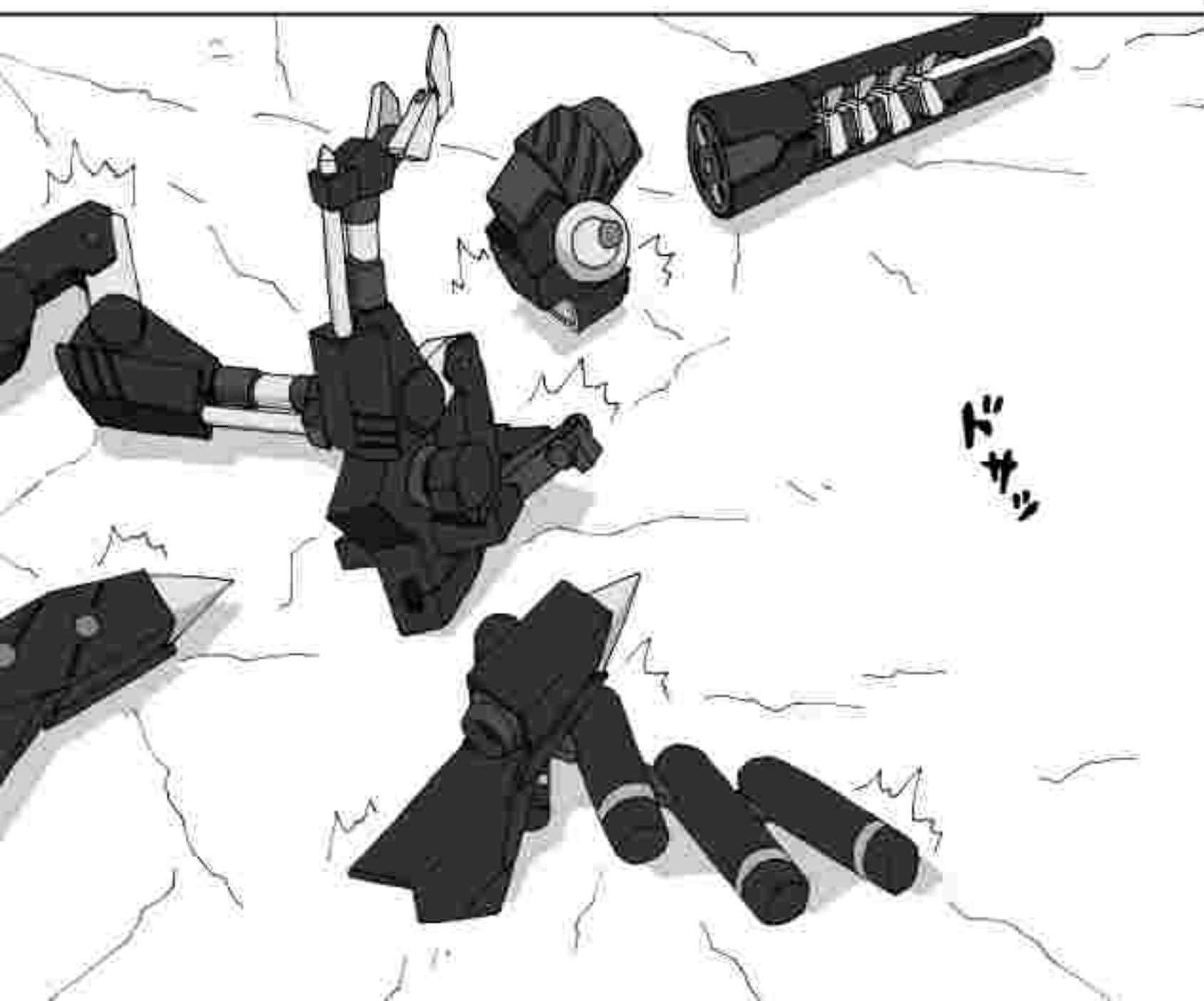
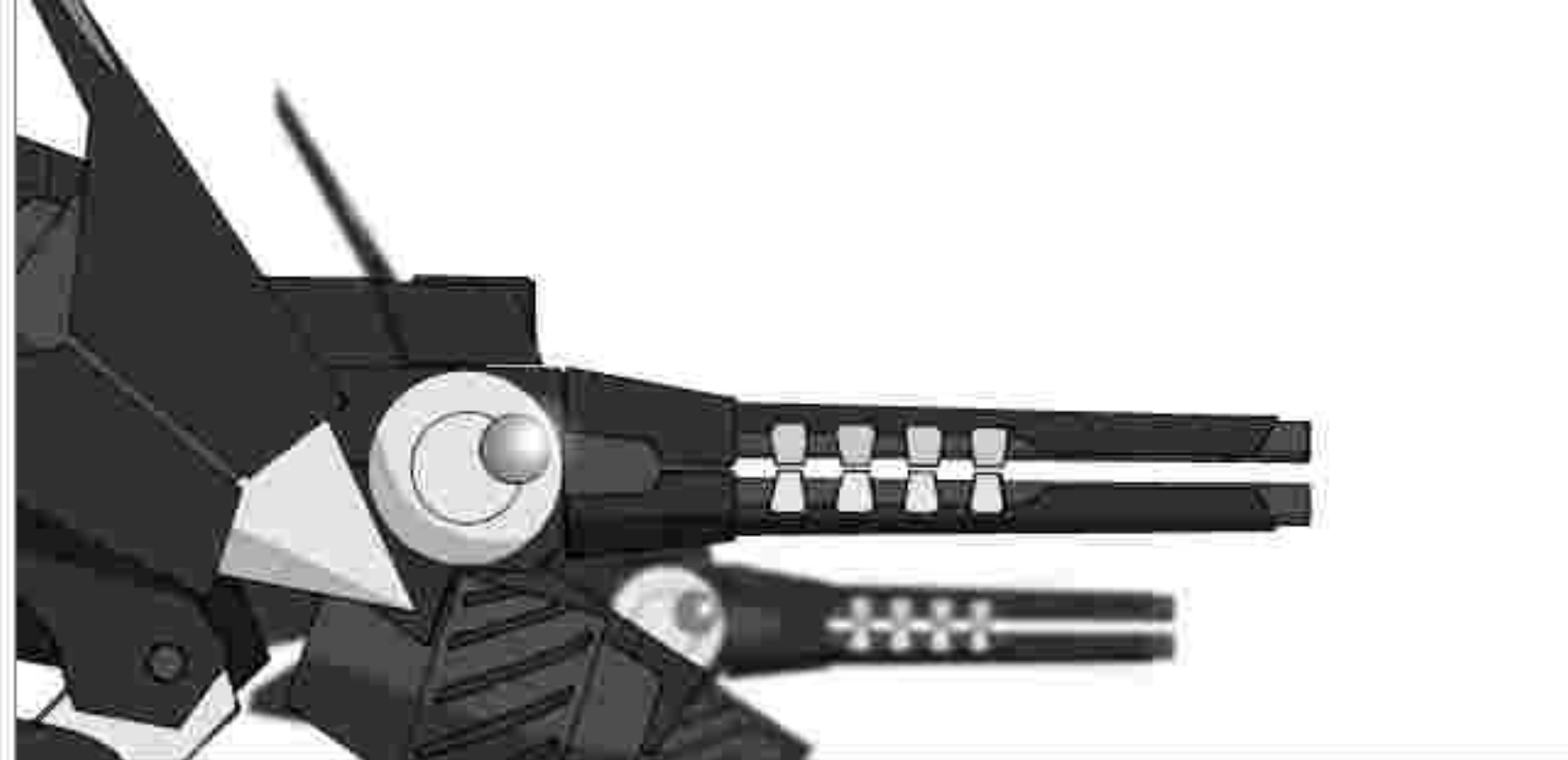
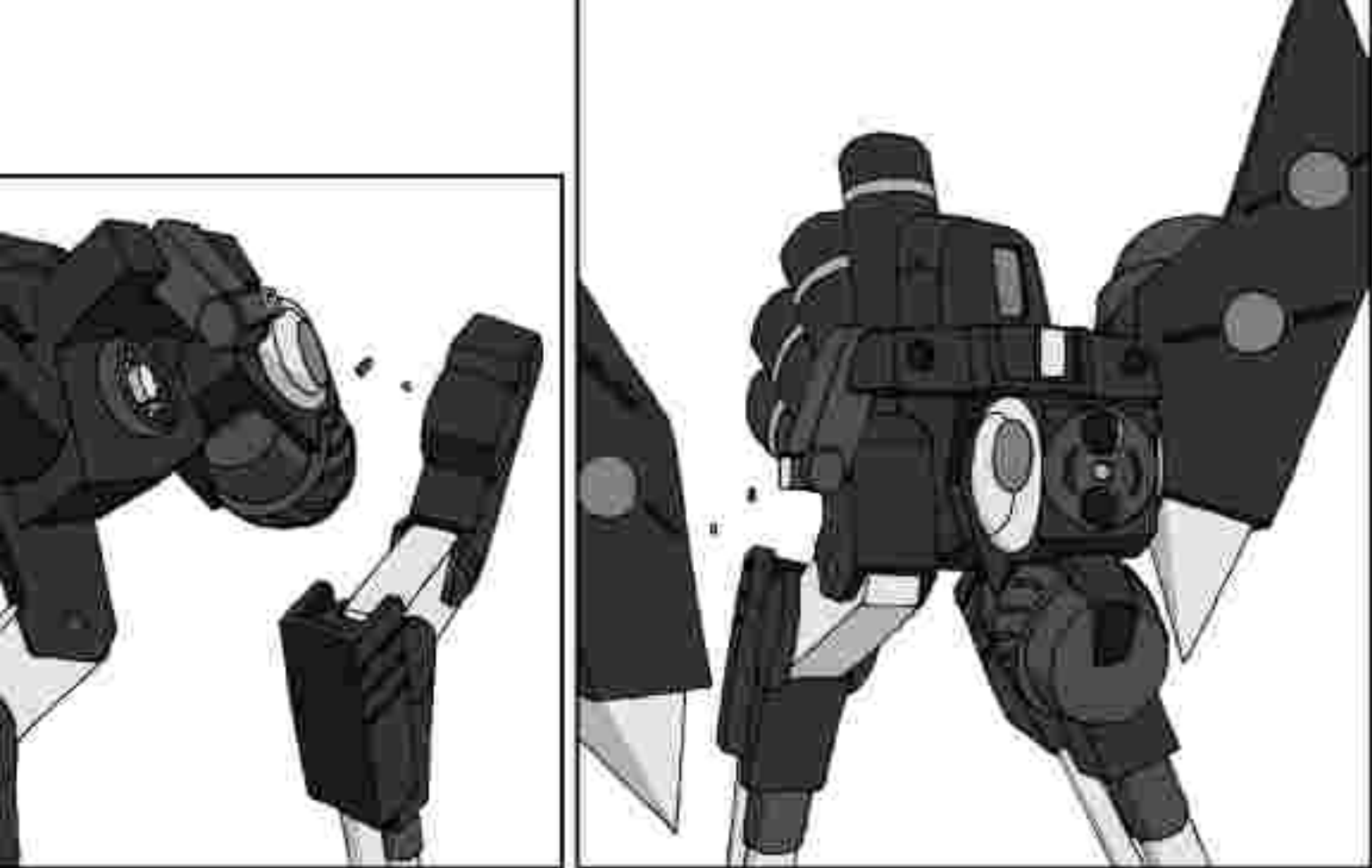
私は敵を  
引き付けている  
つもりで…  
敵に追い込まれ  
ていた…?



違う!!!

そんなはず…  
そんなはずない!  
私一人が犠牲に  
なることで他の皆は  
助かるのよ!!





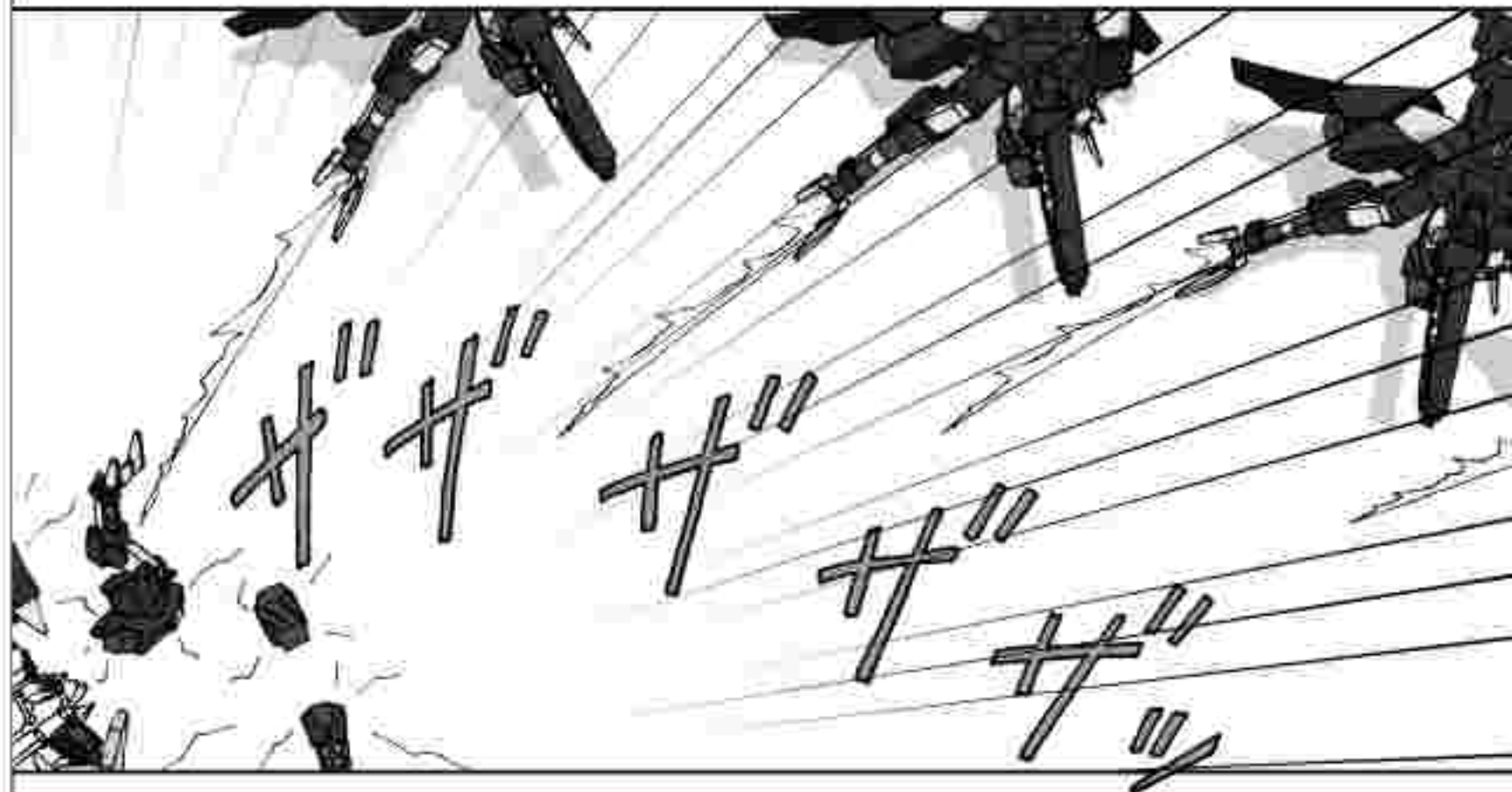












生命の危機に  
対応するため脳の  
使用回路を変更…

倫理観などに支障が  
でる可能性あり

代わりに闘争に  
必要な能力を…

限界を超えて  
引き出す！

誰よりも  
上手く…

使いこなして  
みせる!!!

失礼ながら隊長や  
僕より夕狭霧二等兵の  
方が光学迷彩に適性が  
ある気がします！

皆のくれた  
ちから  
この力…

あの  
光学迷彩を  
真白ちゃんに  
使わせたいの

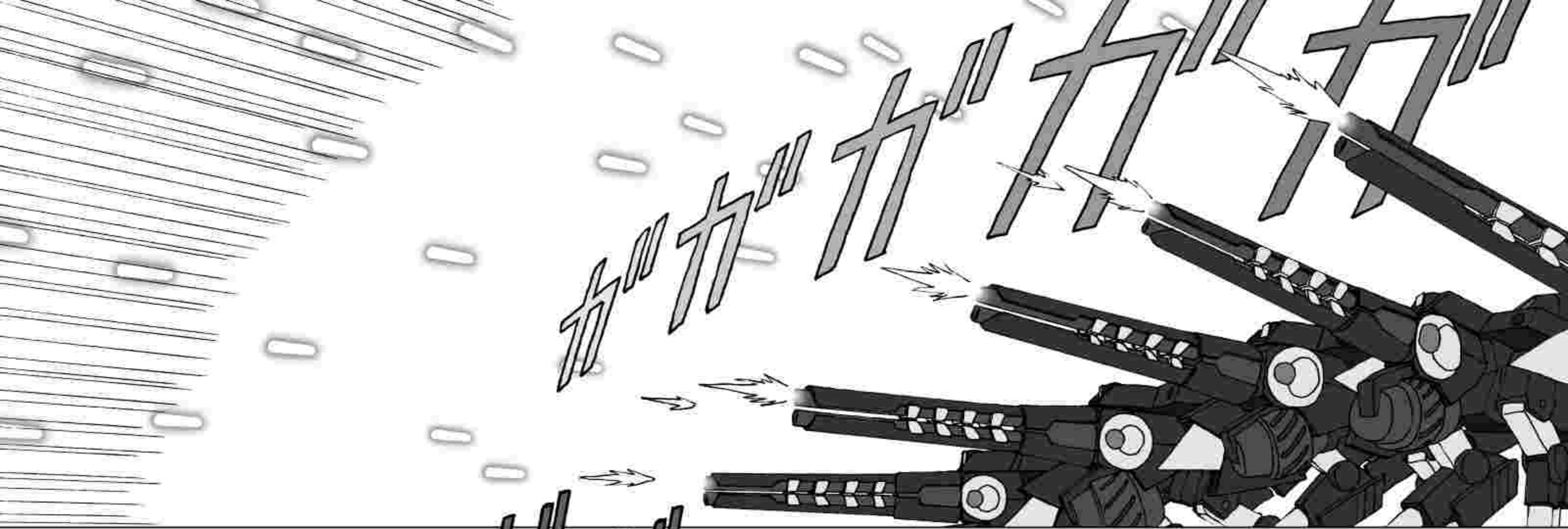
…司令部には俺が  
話をつけておく  
お前らは心配するな

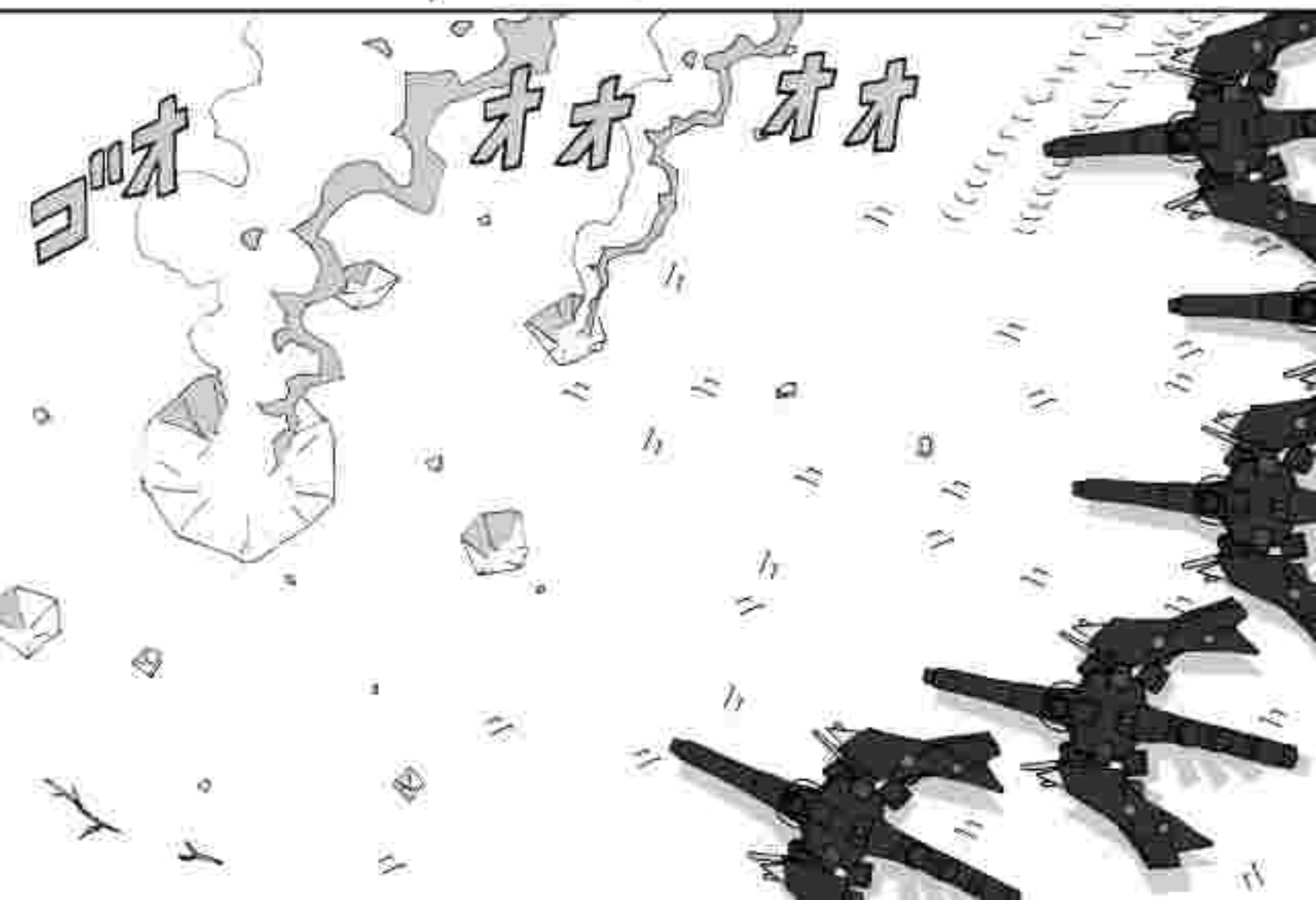
相手の次の行動を  
精確に予測し…

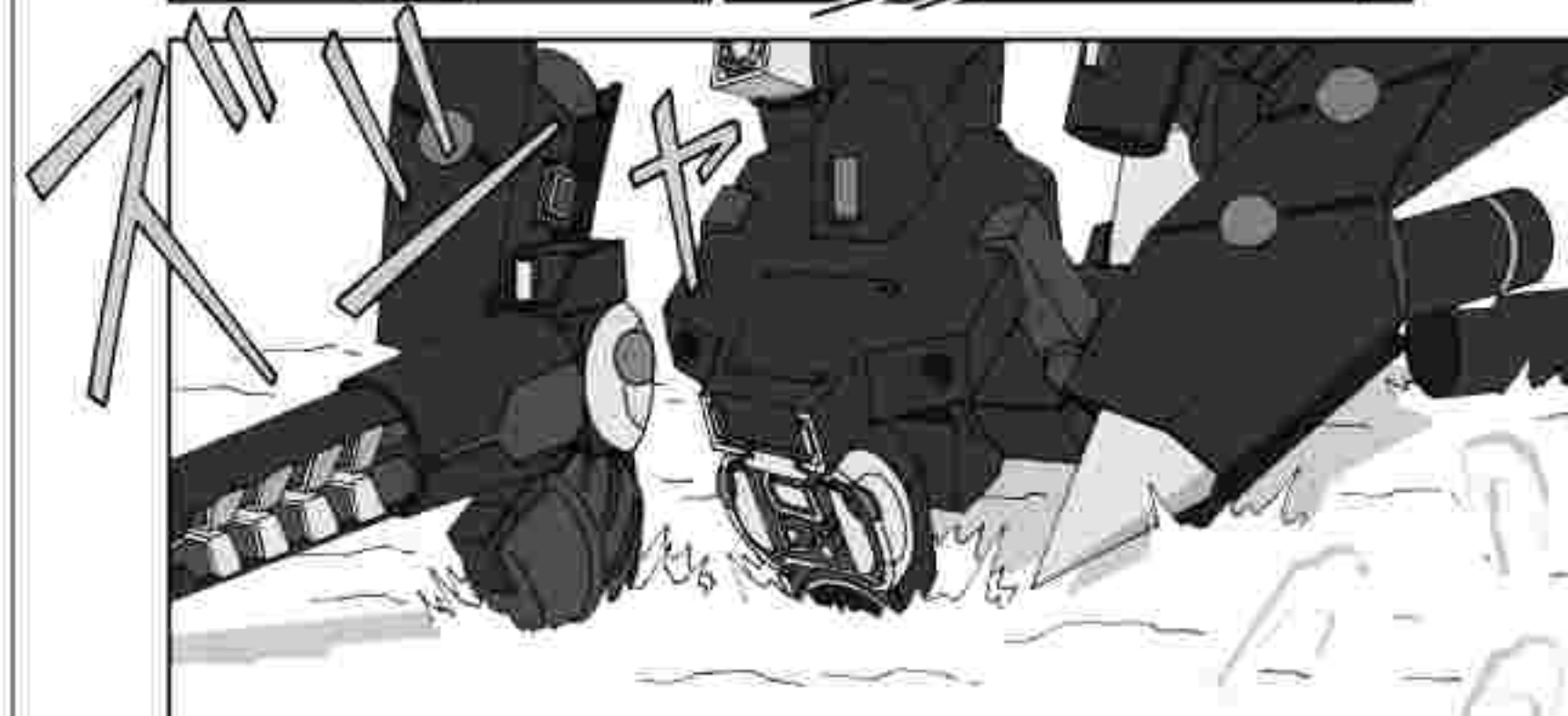
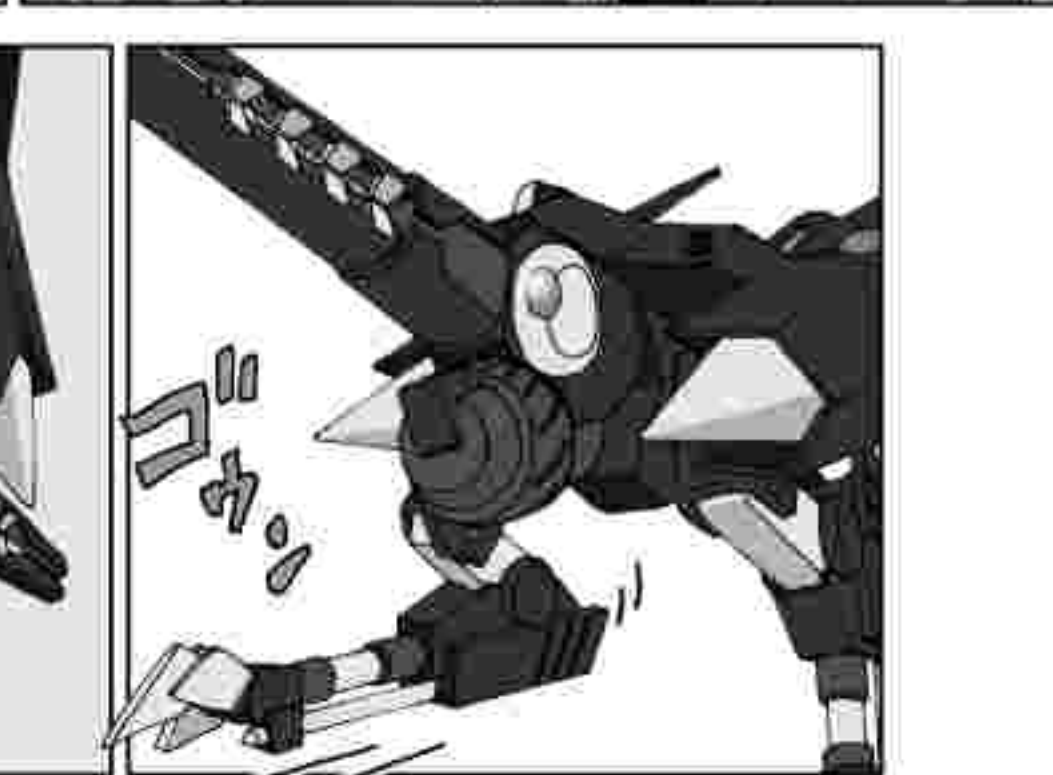
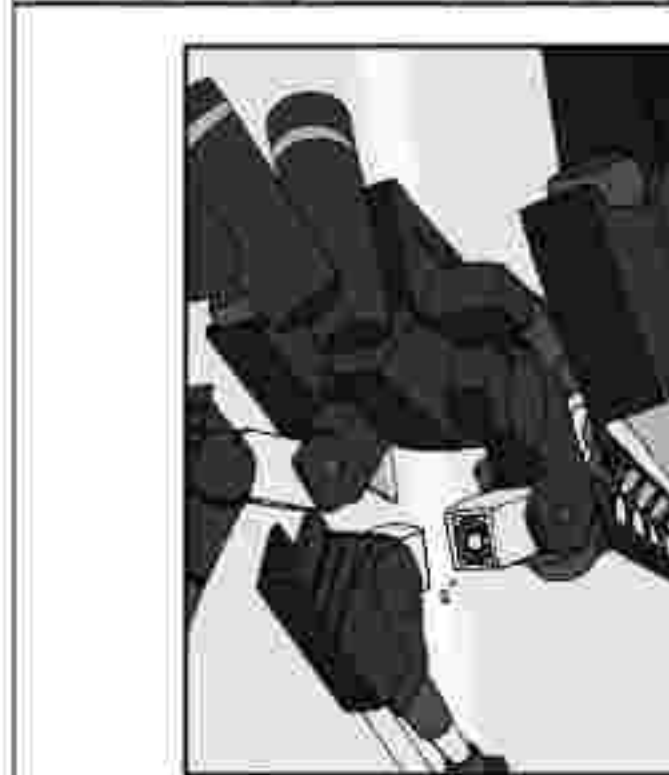
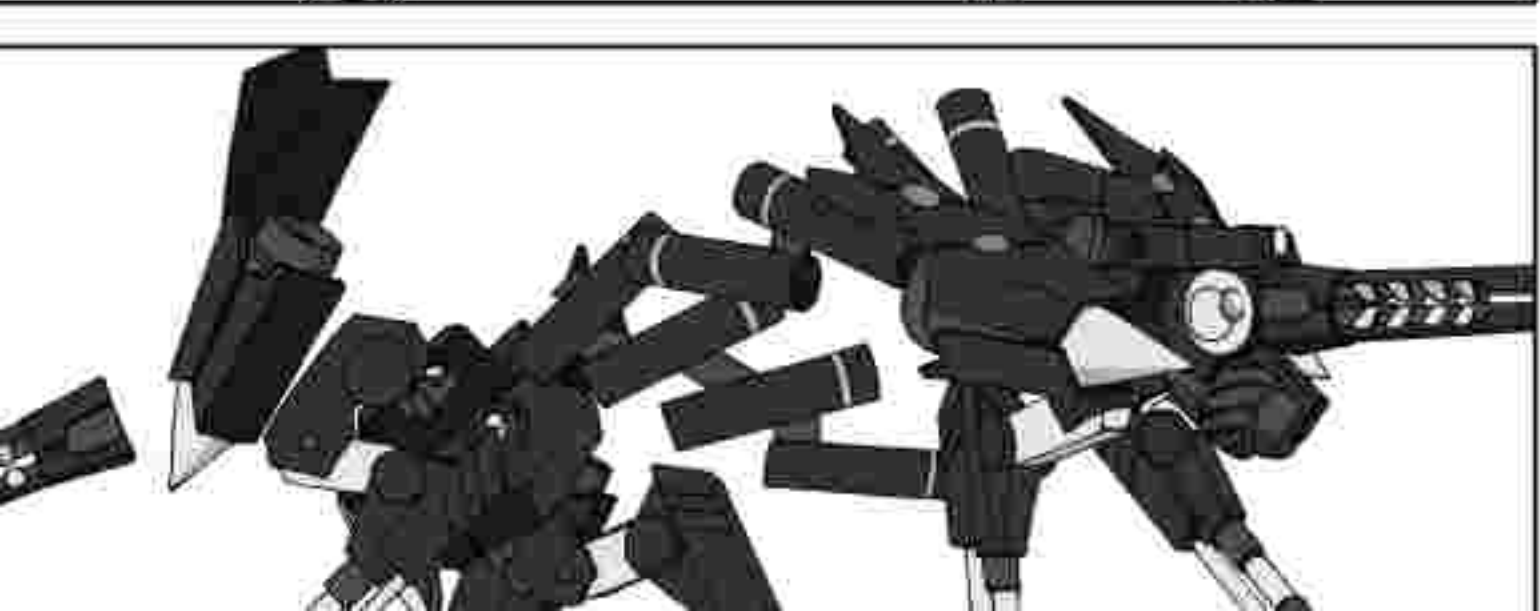
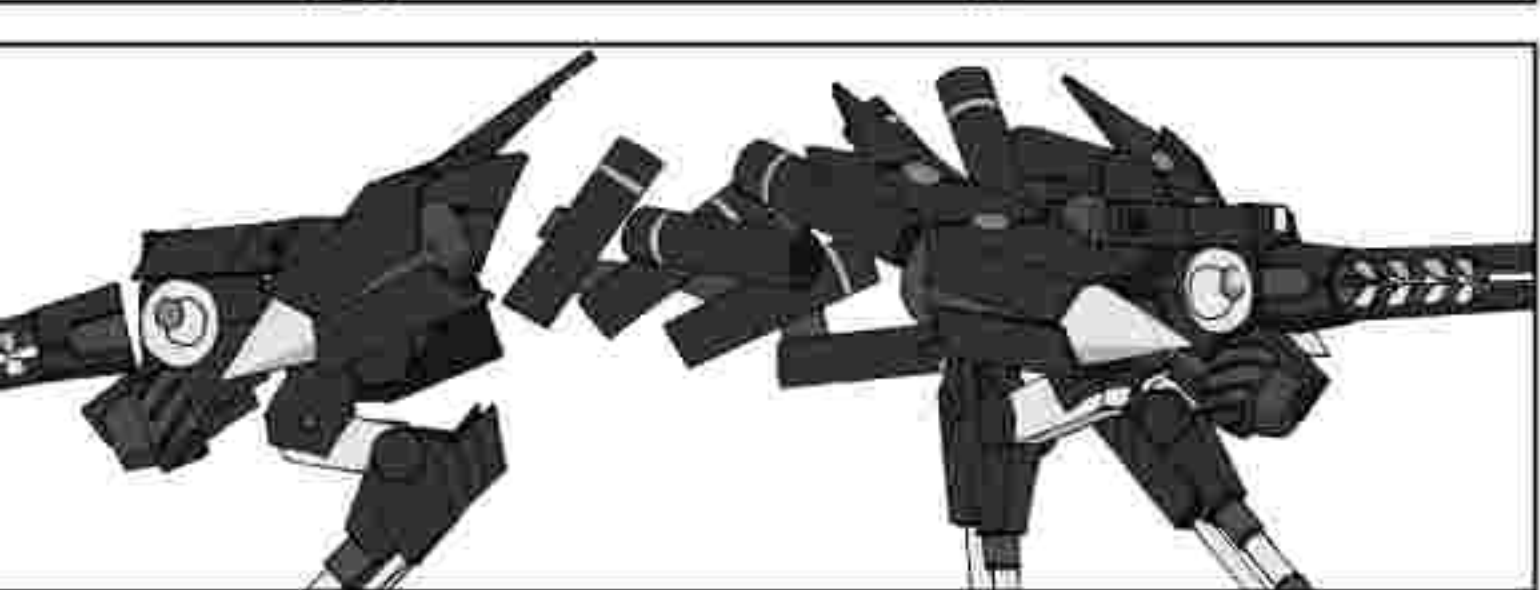
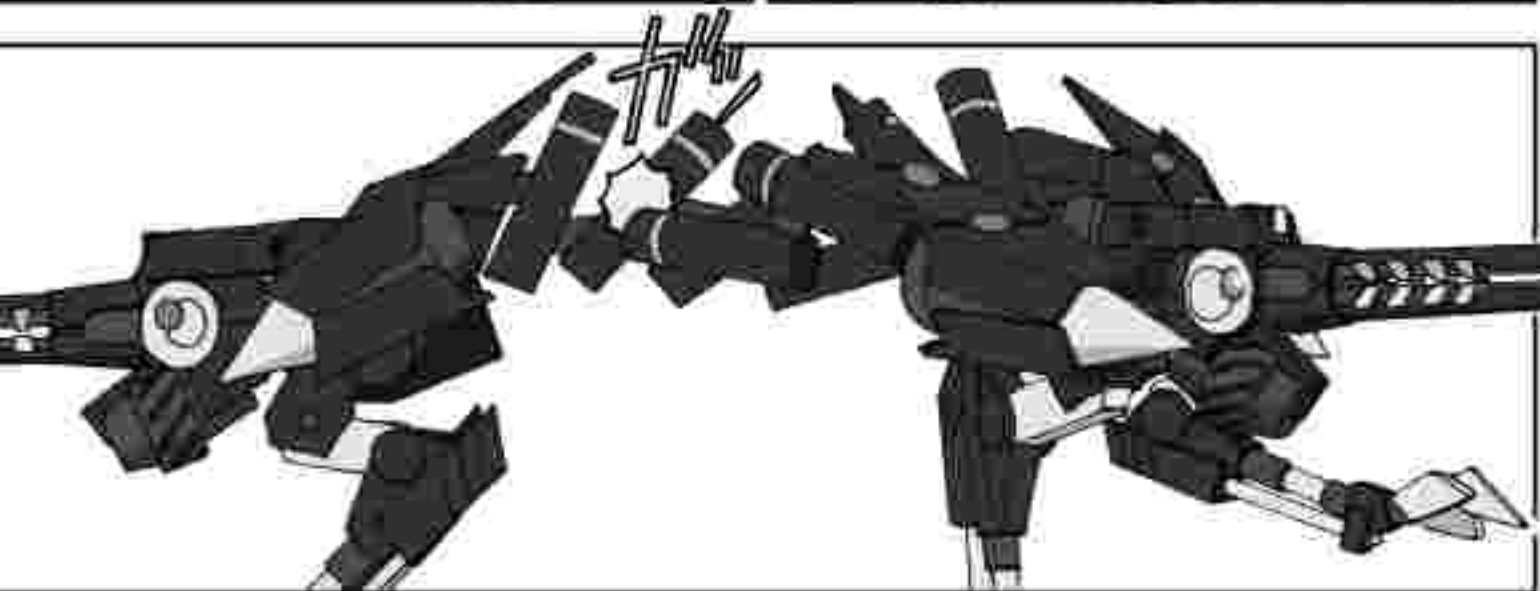
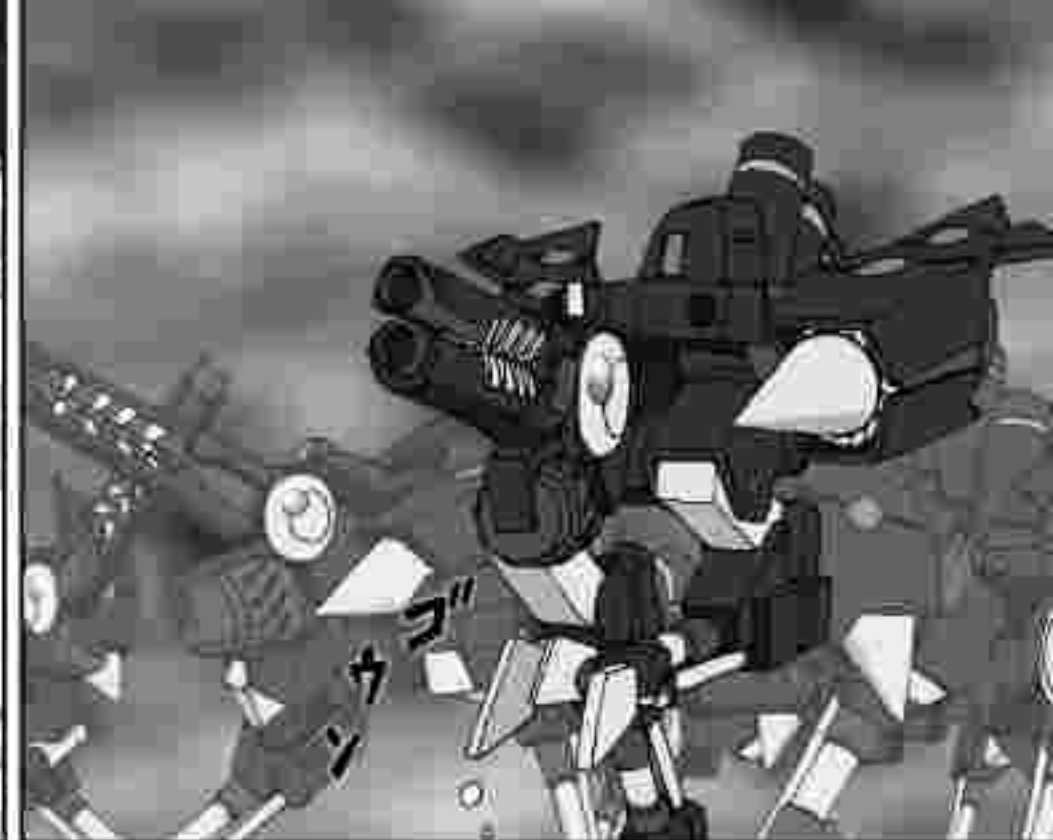
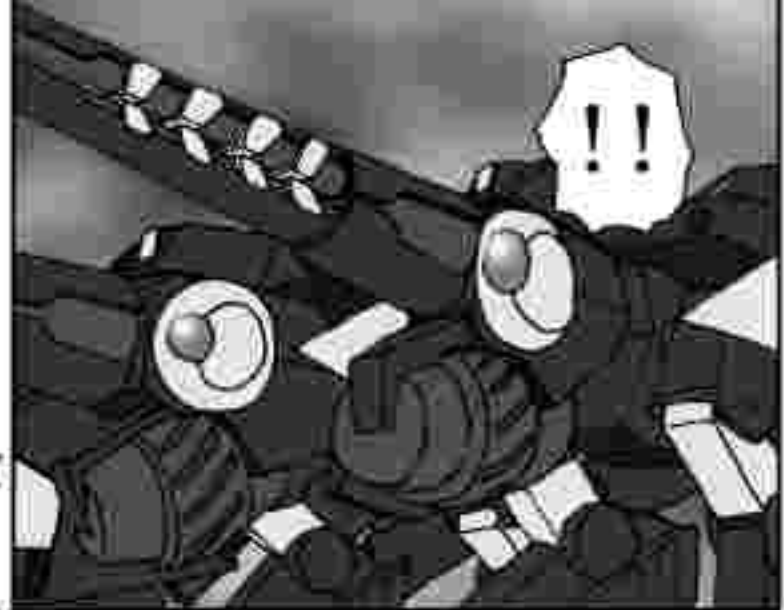
敵との相対位置を  
常に最適に保つ…

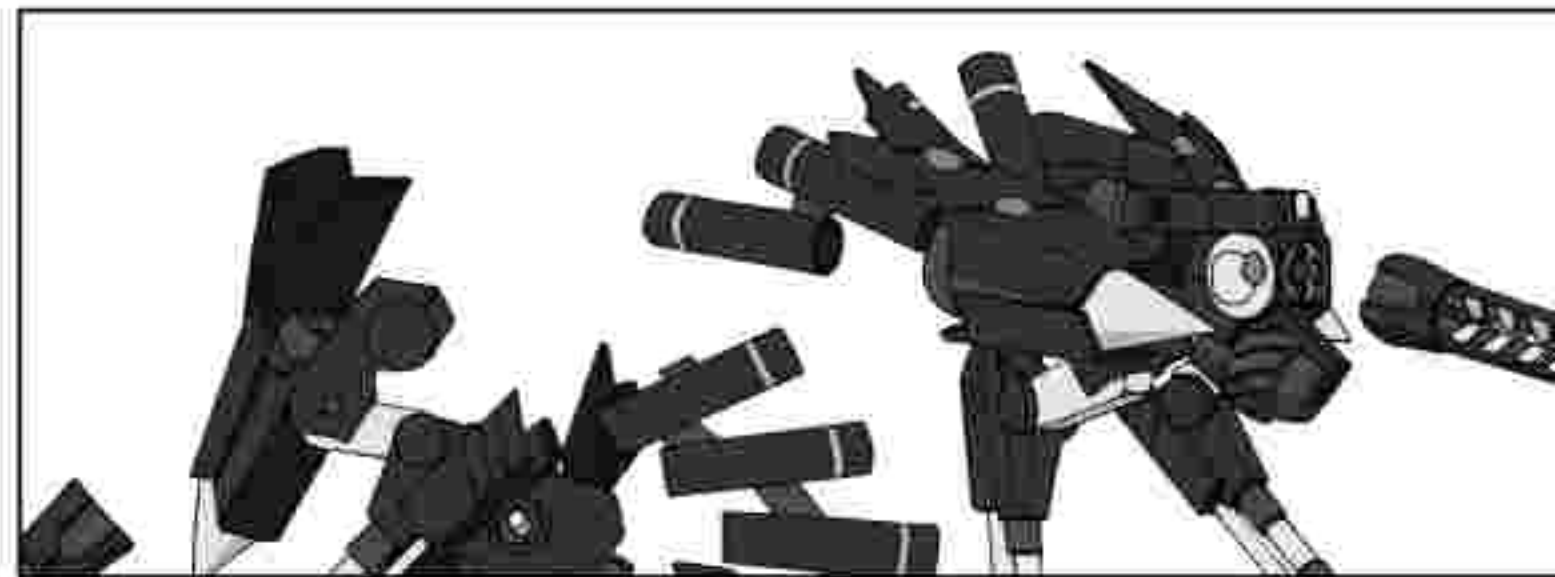
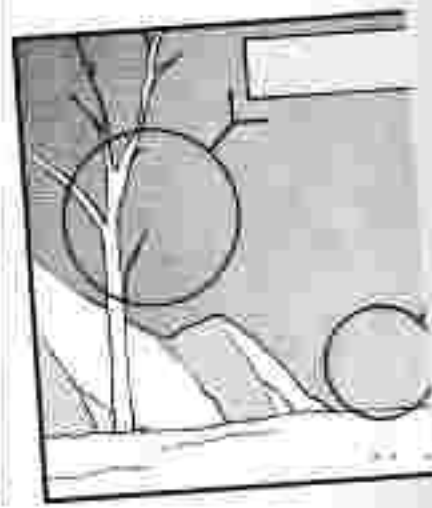
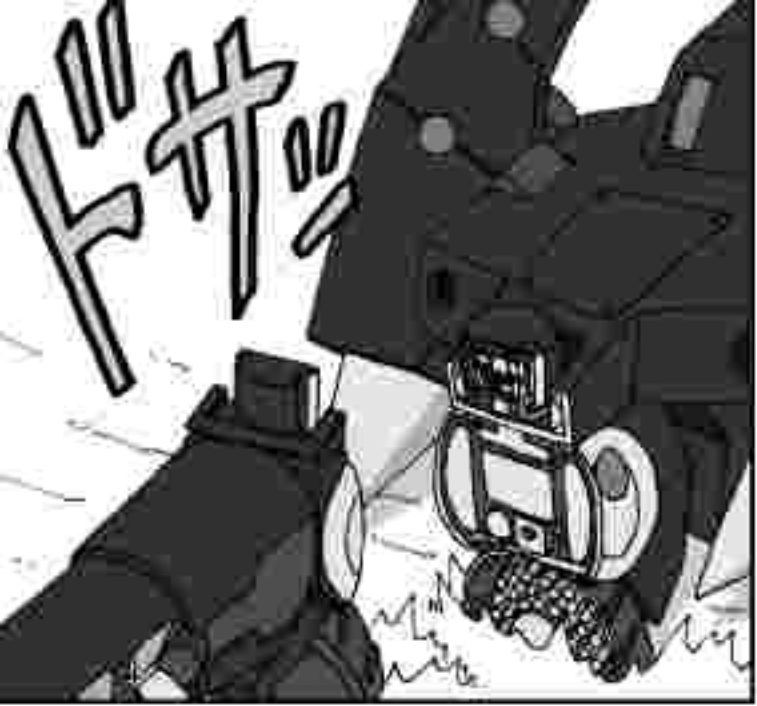
音を  
立てないように

足跡を  
残さないように





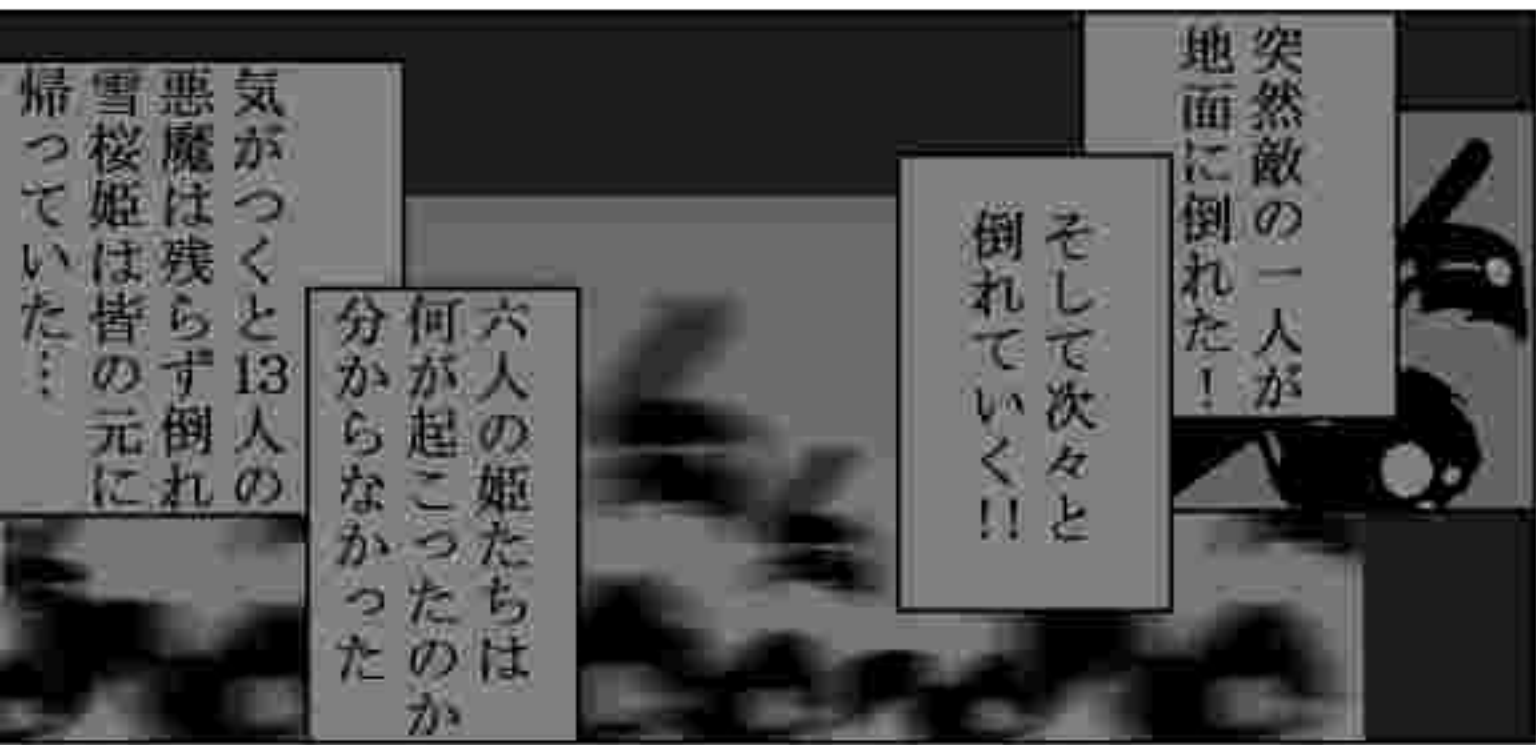




なぜ…  
真白ちゃんに  
こんな力が…  
…?

でも…  
この光景…  
知っている気が  
…

はっ…?

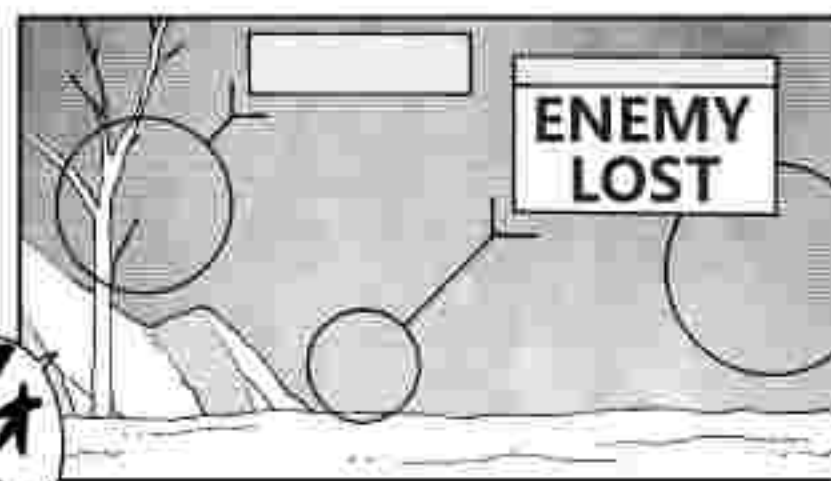


突然敵の一人が  
地面に倒れた!

そして次々と  
倒れていく!!

六人の姫たちは  
何が起こったのか  
分からなかった

気がつくくと13人の  
悪魔は残らず倒れ  
雪桜姫は皆の元に  
帰っていた…



真白ちゃん  
あなたの  
祖先は…

いえ…まさか

でもこの力  
どう考えれ  
ば…





いえ…

ボッ  
ボッ

…雪桜姫は  
そんなに勇敢では  
ないですよ…  
…と思います…

逃げ出したかった…

本当は雪桜姫も  
怖かった…



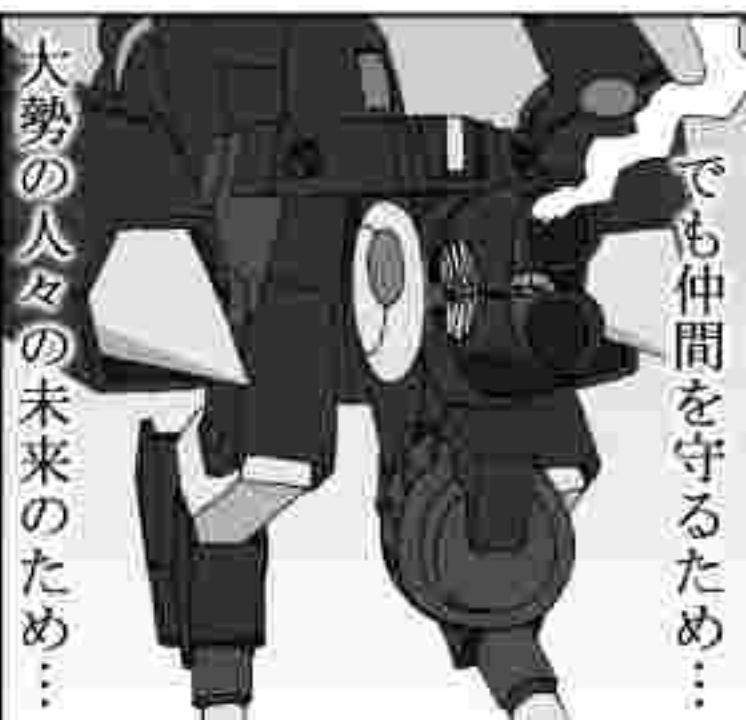
はあ

はあ



真白…

…ちゃん…



でも仲間を守るため…  
大勢の人々の未来のため…



震える手で自分より  
はるかに強大な敵に  
戦いを挑んだ…  
…のだと思います

なぜだろう…

ようやく真白ちゃんの事が  
少しだけ…

分かった気がする…



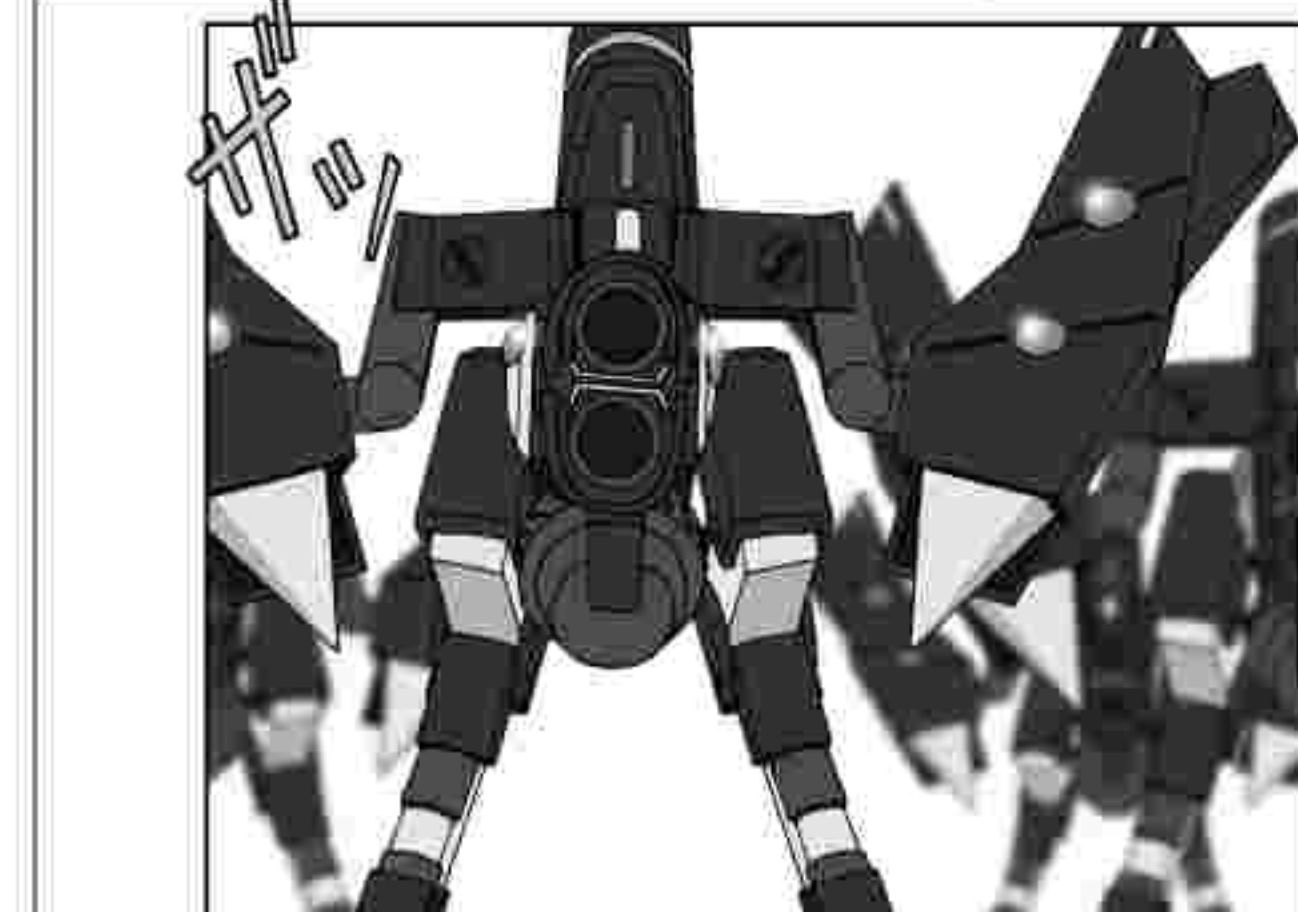
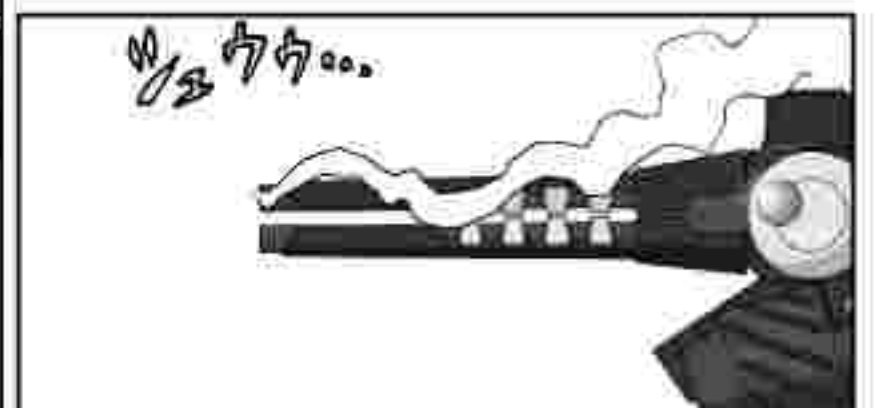
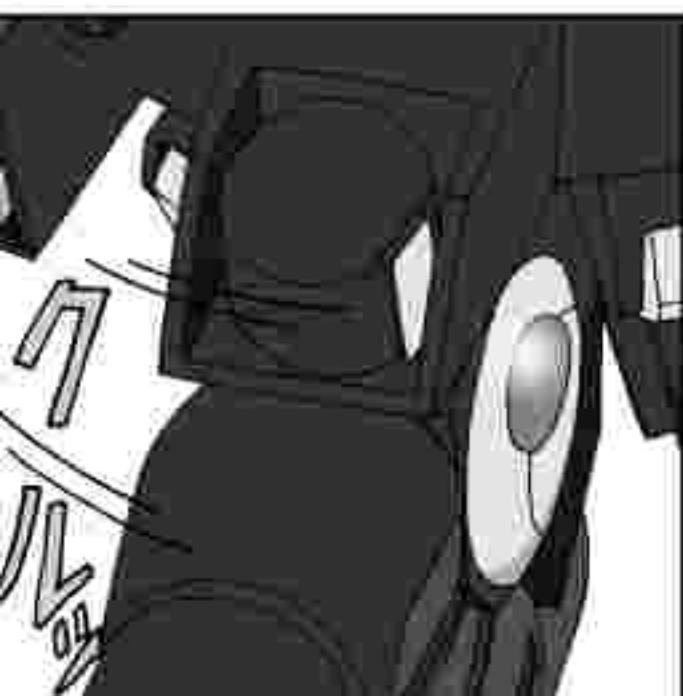
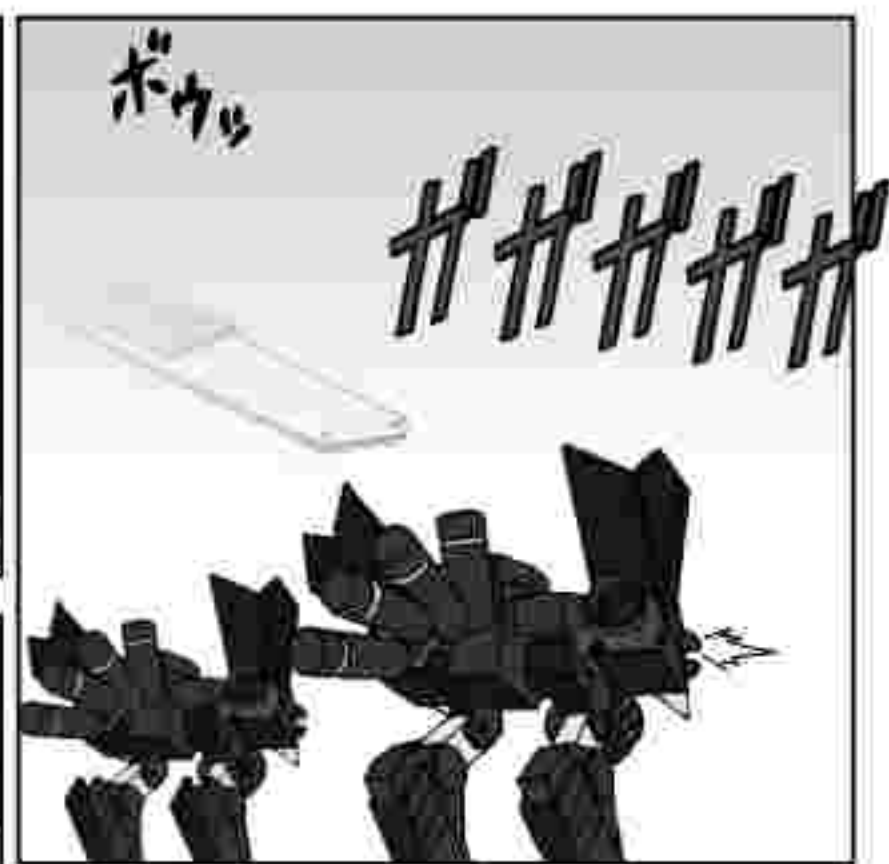
敵の注意を一点に  
集めるしか...



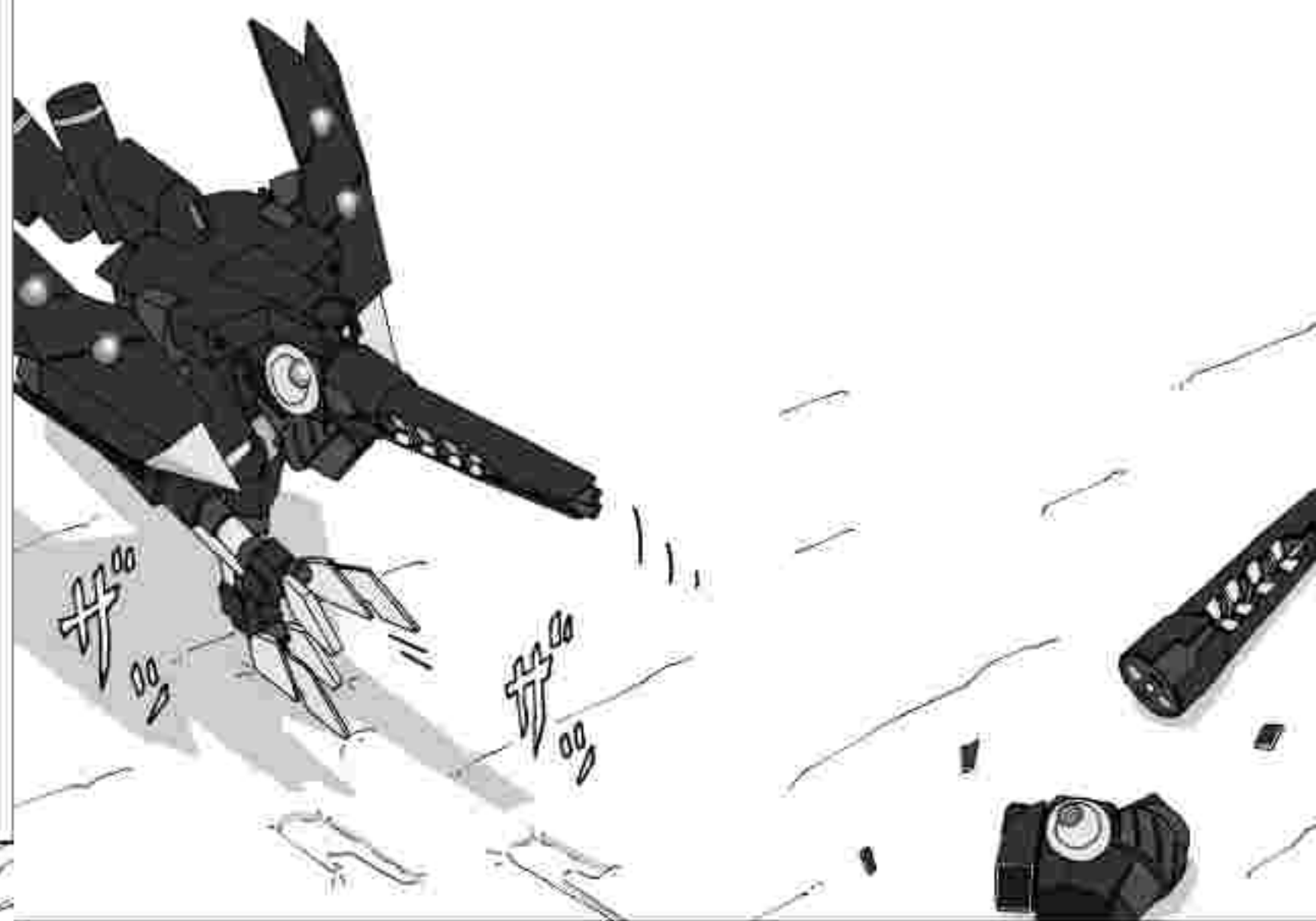
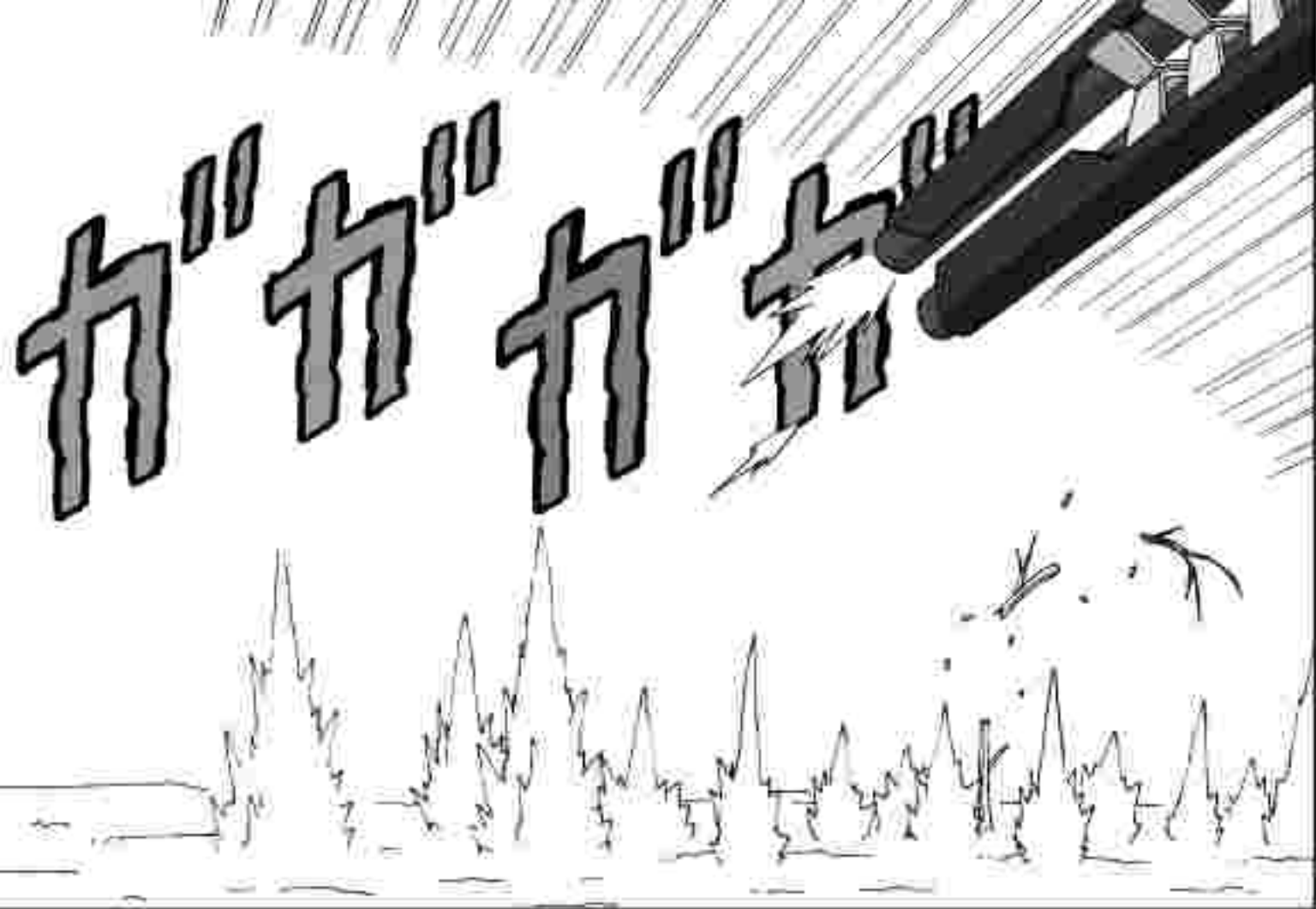
ヒッ



あと1分で  
動けなく...!



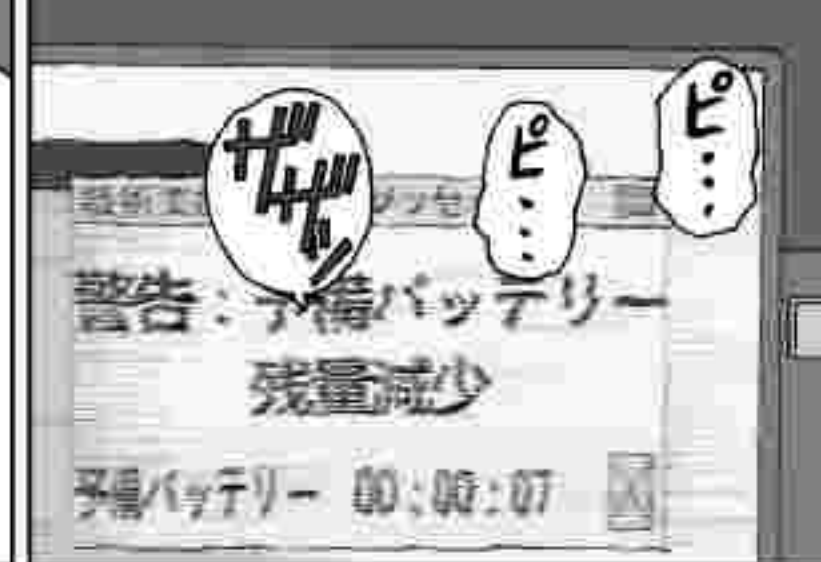




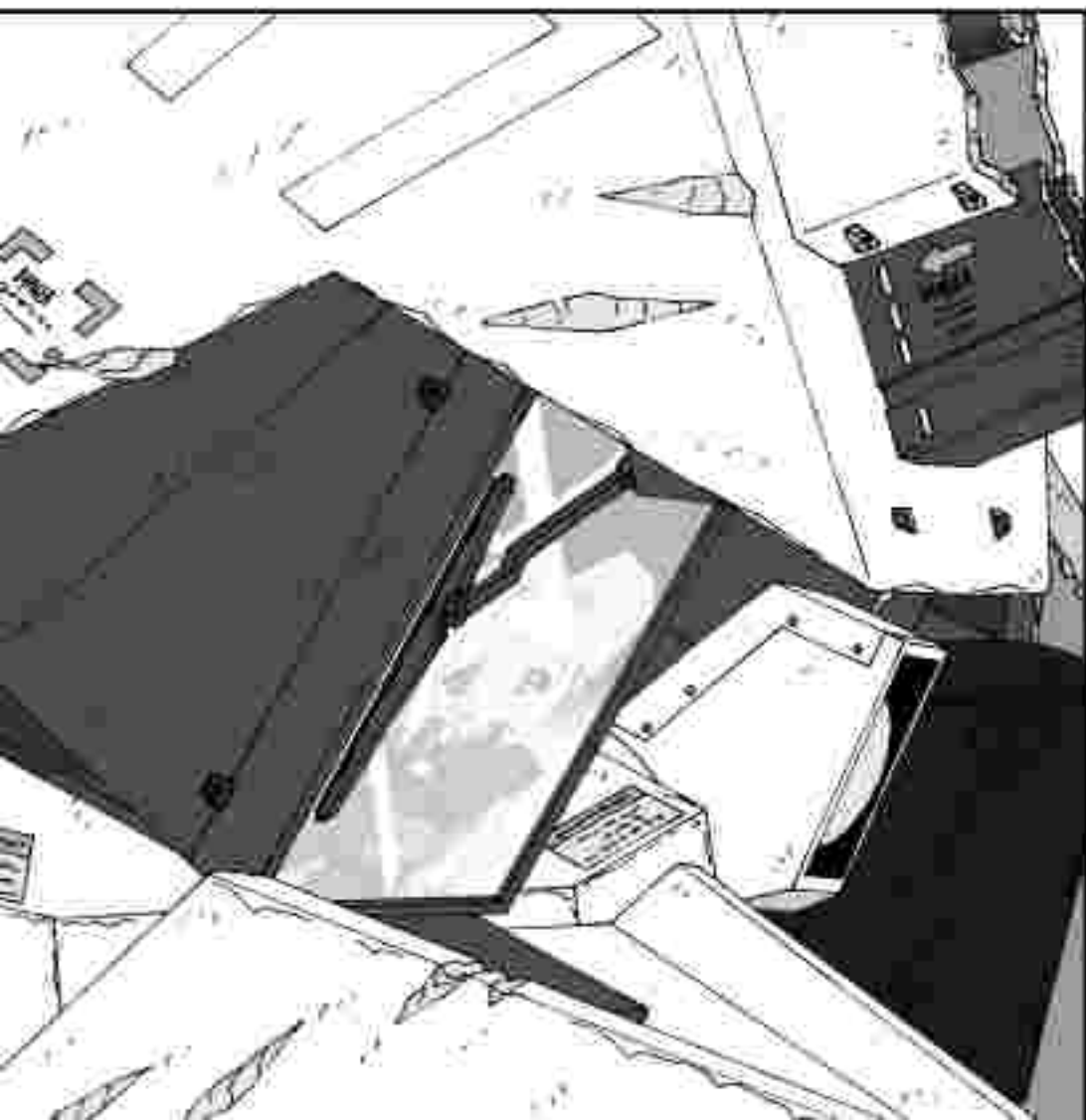
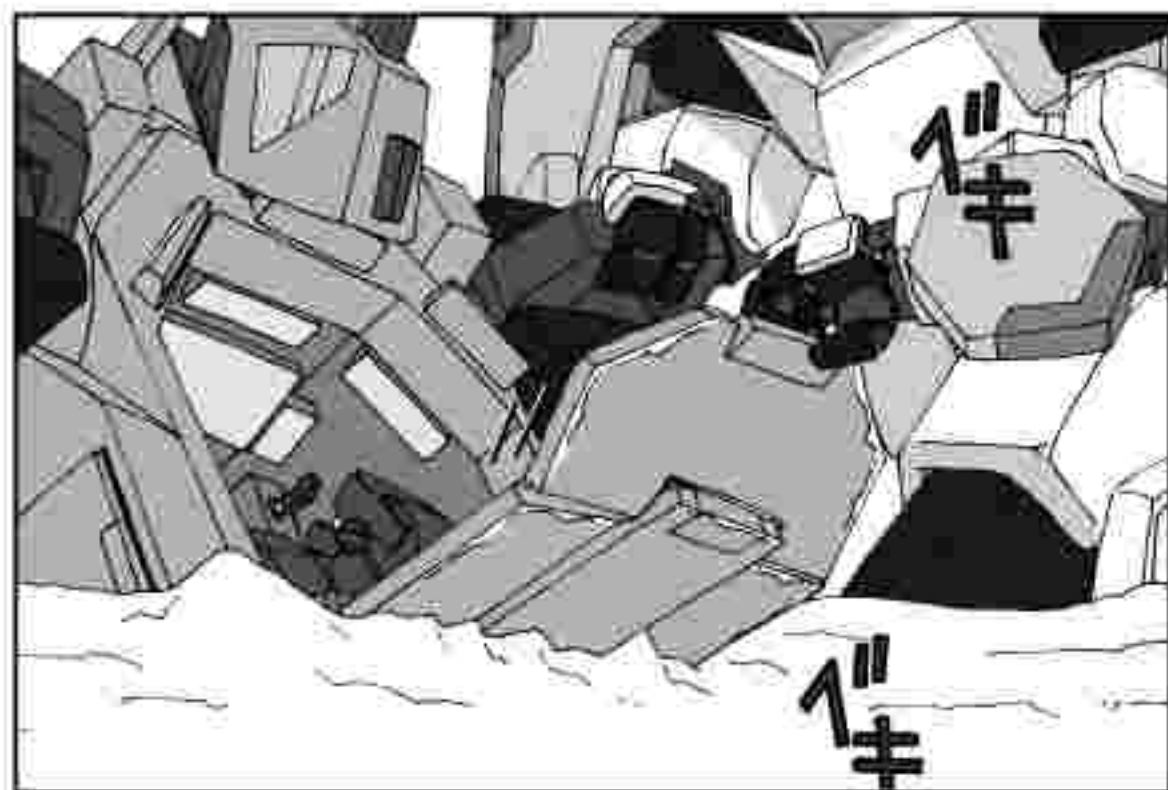




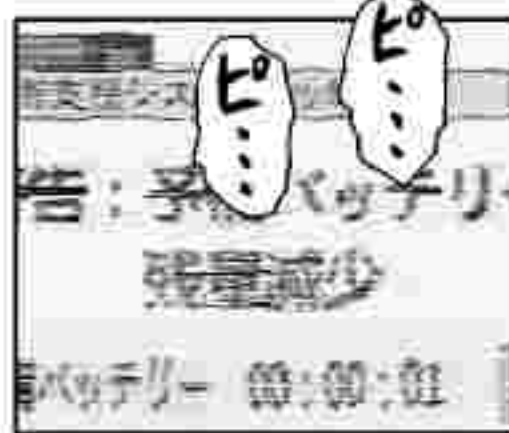
しょうき  
装騎：最後の仕事  
……人助けだよ……



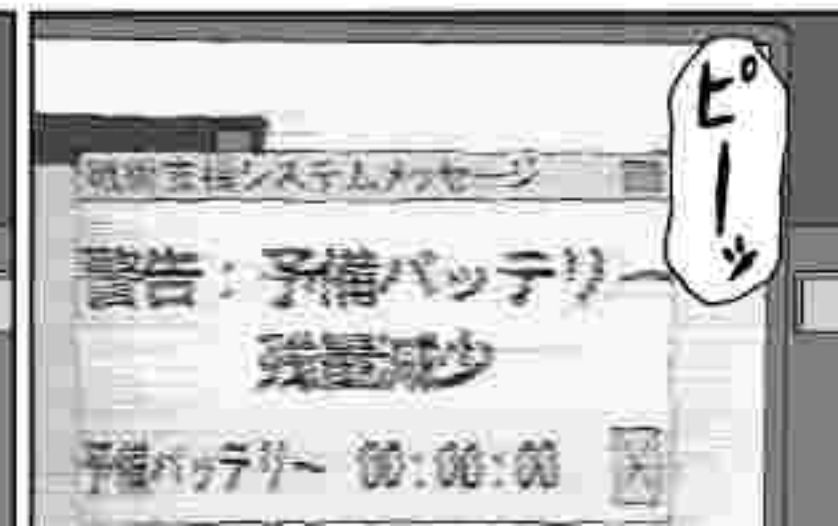
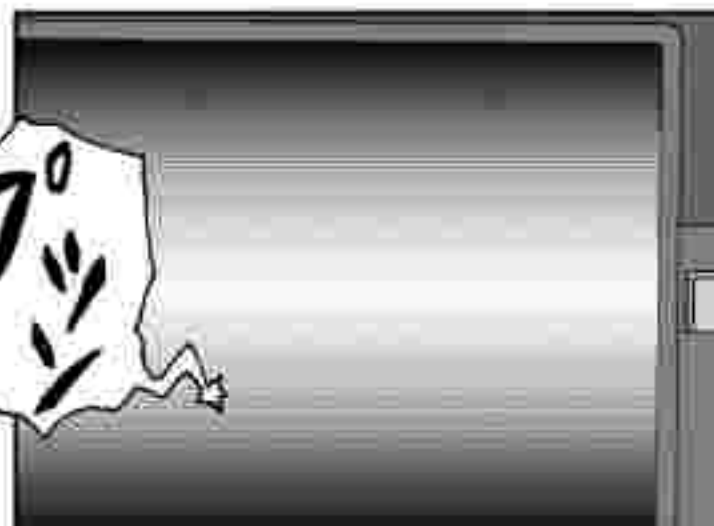
警告：予備バッテリー  
残量減少  
予備バッテリー 00:00:07



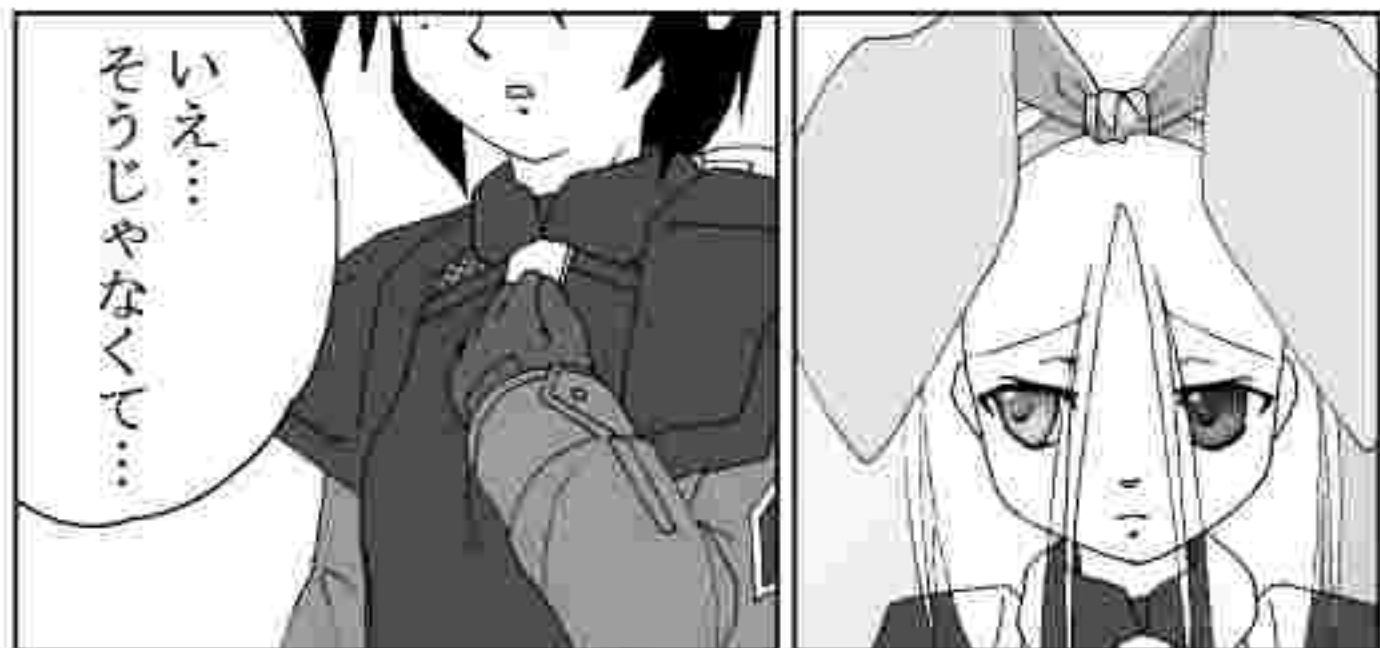
装騎……  
ありがとう……



警告：予備バッテリー  
残量減少  
予備バッテリー 00:00:01



警告：予備バッテリー  
残量減少  
予備バッテリー 00:00:00



真白ちゃん！

な…？



誰だって  
戦いは怖いわ…

あなたは怖い  
思いをして私を  
助けてくれたのね

…ありがとう

いえ…

怖くなんか…



それに…

子供の時から  
今まで…ずっと  
つらかったのね…

今まで気付いて  
あげられなくて  
ごめんね…



ああ…

それは私がずっと  
聞きたかった言葉

でも…  
なぜだろう

私はその言葉を  
素直に受け取る  
ことができない



一人で水の中にいた  
時はきつかけさえ  
あれば心を開こうと  
思っていたのに

誰かの前にでると  
いつもの私に  
戻ってしまう



いえ…

何も…問題  
ありません







それでも  
私は…



何も...

問題ありません...



それ以外の言葉なんて.....

期待してないくせに...!



私はあなたに...

ずっと一緒にいてほしい



あなたが私のことを嫌いだとしても...



私たちはあなたの味方だから

あなたの助けになりたい...だから...



つらいなら私にそう言ってほしい!

どうせ本当に  
助けを  
求めたって…

安易に他人に頼るな  
って言うくせに！

いつもそうだ！  
泣きたい時は泣けって  
言いながら…

本当に泣けば  
心が弱いって  
バカにするくせに！

つらい時は逃げれば  
いいって笑いながら…

本当に逃げれば  
逃げるなって  
怒るくせに！

私は何度も  
だまされて  
きたんだ!!



なんで皆いいかげんな  
事ばかり言うの!?







# 六話

絶望ぜつぼうと共に生きる



一週間後

太平洋人民  
共和国には一切  
抗議しない

敵の機体は  
データ消去後  
共和国に  
返還する

これは七姫政府の  
決定だ：公式には  
今回の事件は  
無かった事になる

事件が存在しない  
のだから  
お前達への報奨も  
無い

当然全て口外無用だ

：念の為言って  
おくが事件の映像を  
ようつべとかに投稿  
するんじゃないぞ

そんな！皆の  
死にそうなる  
目に……

よせ大神  
一等兵！！

だが軍人は政府の決定に  
従わねばならん……

日本民族の悪い  
クセだ：国が違えば  
人の考え方も変わる  
事を知らん……

分かっている……  
愚かな決定だ

「どんな国も貸し  
を作れば恩を感じて  
友好的になる」と  
信じ込んでいる

なあ……

ぽん

……

…雪桜姫の子孫が  
どこにいるか  
知らないか？

……は？

いや…誰かが  
子孫を担ぎ出し  
てくれれば…

七姫政府が  
改革されるかと  
思ってたな…

どうだ？お前ら  
休暇取って遊んで  
きたら？

…金は全部  
俺が出す…

俺は傷が痛むから  
基地で留守番  
しているよ

……そういえば俺  
戦いが終わったら  
皆で遊びに行こう  
って話してたな

最悪の事は考え  
るな！…戦いが  
終わったら皆で  
遊びに行こう

……..  
……..  
……..  
いえ

だろうな…

…バカな事を  
聞いたな…今のは  
忘れてくれ…

ふおおおっ!!!



いいんですか？  
…色々な意味で

こういう事も  
必要さ



どうせ新しい戦車が  
届くまでは  
仕事にならない

有給くらいなら  
何とかしてやる…

隊長が寂しがる  
ようならワシが  
話し相手になるから  
心配するな

…なぜ  
司令官が  
話し相手？

?





ところで…  
どこに遊びに  
行く？

あまり  
豪勢なのは…  
隊長に  
悪いわね…

うーん…  
花見とか  
どうです？

おおー  
いいですねえ

…この時期だと  
桜に雪がまぶされて  
とてもキレイ  
なんですよ

「雪桜」かあ…  
大昔この地に住んで  
いた人達も…

僕達と同じような  
風景を視て感動して  
いたのだろうか…



いえ…昔の東京は  
この季節あまり雪は  
降らなかつた…

…と  
思います

東京山脈が出来て  
から上昇気流が雲に  
なって雪を降らせる  
ようになった…

…のかと…

もしかして  
僕…恥さらした…？

いや…  
いいよね  
花見！

花見行こう  
花見!!!





ましろ  
真白ちゃんの  
正体って…  
何だと思う？

おおう…多々乃少佐  
より凄い事聞くねえ



まあ…何で誰も知ら  
ない昔の東京とか  
知っているのか…

不思議には  
思うけど…

詮索する気には  
なれないわね



それで…

いいの？

…



もう就寝時間か…



真白ちゃん  
もう眠ってる

今日も戦闘報告で  
大変だったからな



多々乃少佐が  
夕狭霧二等兵の  
異常な戦果について  
必要以上にしつこく  
聞いて…

ああ…  
隊長が怒って追っ  
払ったんだっけ…



ねえ…

カンだけど…  
夕狭霧二等兵が「真実」を  
話してくれれば…

七姫国中の…いや世界中の  
人達の利益になる気がする

だけど…

この世界の人は彼女に  
酷い事をしてきたのだと  
思う

なのに彼女に向かって  
この世界のために尽くせ…  
なんて言う資格はない

彼女が黙っているのは  
仕方のない事だと思う

彼女を利用  
するかジヤマに  
思う人達に…

危害を  
加えられる  
可能性もある

でも…

真白は命がけで  
僕達を助けてくれた  
じゃないか

その戦いの  
ように…

いつか彼女は  
誰かを助ける為に  
危険を承知で真実を  
話してくれるかも  
しれない…

その時は僕達が  
真白を守る番だ

うん…

真白ちゃん…

…いい友達が  
たくさん…

…できたね…

私たちはずっと前から  
真白ちゃんの友達の  
つもりだからね！

僕達だけじゃなく  
隊長や公星も真白を  
信じてると思うよ




……暗い……

何も見えない……

聞こえない……

……ここは……  
夢の中だろうか……





昼間：  
頼子さん何か  
言いたそうだった

私の事…  
何か気付かれた  
のかな…？




ま…そうだよね

ちよつと助けたくらいで  
皆の私への評価が上がって  
私を好きになって  
くれるなんて…

いえ…  
それなら絶対  
皆にバラすよね

人間なら誰でも  
そうする…



世の中そんな  
マンガみたいに上手く  
いく訳ないよね



ああ…先日の戦いは  
頑張ったけど…

皆の  
私への態度は  
変わらなかったな…

…でも…

…もしかしたら…

…いつの日か…

皆は…私の…友達に  
なつてくれるかも…  
…しれない…

そして皆で  
幸せに暮らすんだ



そんな目は決して  
来ない事を知りながら……

今日も私は……



夢を見るのだ





雪  
桜  
姫  
物  
語

完